日産純正部品

日産オリジナルナビゲーション

取扱説明書

MM518D-L
MM518D-W
MM318D-L
MM318D-W
MM318D-A

ご使用前に必ずお読みください。

日産純正部品
ナビゲーション
PART No.
B8260-5TA23
B8260-5TA25
B8260-5TP21
B8260-6FR21
B8260-3GP24
B8260-7992F
B8260-5TA24
B8260-5TA26
B8260-5TP22
B8260-6FR22
B8260-7992H
B8260-7992G

本書の見かた

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

◎ **道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）に従って走行してください。**
◎ **事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。**

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
⚠ 警告	守らないと「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	守らないと「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
システムを使用するときに守っていただきたいこと。	
アドバイス	守らないと破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
システムを使ううえで知っておいていただきたいこと。	
知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを ➔ マークで表示しています。
- 本書ではスイッチや操作画面のメニュー項目などをマークで表示しています。マークの見かたは次のとおりです。

メニュー	コントロールパネルのスイッチやステアリングスイッチなどを表します。
名称	操作画面や地図上に表示されるメニューや項目を表します。

- 本書内の画面やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ、消失したデータなどについては補償できません。

● 携帯端末で取扱説明書を閲覧することもできます。

QR コードから

MM518D-L MM518D-W

MM318D-L MM318D-W MM318D-A

本機で メニュー を押して、 情報・設定 → 情報 → 取扱説明書 をタッチすると QR コードを表示できます。

URL から

MM518D-L MM518D-W

http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/DOP/manual_mm518d-lw.pdf

MM318D-L MM318D-W MM318D-A

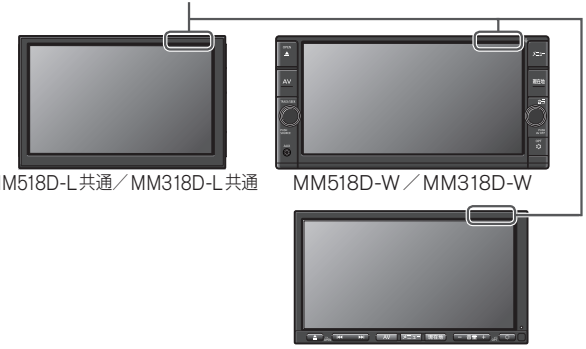
http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/DOP/manual_mm318d-law.pdf

– QR コードの読み取りかたは、お手持ちの携帯端末の取扱説明書をご覧ください。
– 画面のキズや汚れ、光の反射、QR コードのバージョンによっては読み取れない場合があります。
– Web サイトの閲覧には別途、通信料が発生します。

- 本書は、MM518D-L の画面および操作手順を例に説明しています。
  型式により機能や操作が異なる所には、型式名を記載しています。

MM518D-L 共通	：	MM518D-L
MM518D-L セレナ用	：	MM518D-L(セレナ)
MM518D-L エクストレイル用	：	MM518D-L(エクストレイル)
MM518D-L エルグランド用	：	MM518D-L(エルグランド)
MM518D-W	：	MM518D-W
MM318D-L 共通	：	MM318D-L
MM318D-L セレナ用	：	MM318D-L(セレナ)
MM318D-L エクストレイル用	：	MM318D-L(エクストレイル)
MM318D-W	：	MM318D-W
MM318D-A	：	MM318D-A

本体右上の型式を確認してください。型式によって機能の有無が異なります。



◆機種別機能概要一覧

○：対応　×：非対応　△：オプション品（別売）が必要
（各機能について詳しくはそれぞれのページをご覧ください。）

機能＼機種		MM518D-L / MM518D-W	MM318D-L / MM318D-W	MM318D-A
フリック／ドラッグ／ピンチ		○	○	○
ナビゲーション＋AV 2画面表示（デュアルウィンドウ）		○	○	○
TV	12セグ	○	○	○
	ワンセグ	○	○	○
	視聴予約	○	○	○
FM／AM／交通情報		○	○	○
iPod／iPhoneの音楽再生		○	△	△
Bluetooth® Audio		○	○	○
SDカード	音楽ファイル再生	○	○	○
	画像ファイル再生	○	○	○
	動画ファイル再生	○	○	○
WALKMAN®／USBメモリー	音楽ファイル再生	○	△	△
	画像ファイル再生	○	△	△
	動画ファイル再生	○	△	△
Blu-ray Disc再生		○	×	×
DVD再生		○	○	○
CD再生／CD録音		○	○	○
バックビューモニター		△	△	△
日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー＊1		△	△	△
ドライブレコーダー＊2		△	△	△
ETC／ETC2.0		△	△	△
ハンズフリーフォン		○	○	○

機能＼機種		MM518D-L / MM518D-W	MM318D-L / MM318D-W	MM318D-A
スマートフォン連携	Apple CarPlay	○	×	×
	Android Auto™	○	×	×
	NaviCon®	○	○	○
	音声認識（Drive T@lker）	○	○	○
NissanConnect サービス		○	○	○
AUX		○	○	×
VTR		△	△	△
HDMI		△	×	×

＊1…本機で映像を表示できるほか、再生するファイルの選択や設定などを本機を操作して行えるドライブレコーダーです。
＊2…本機で映像を表示でき、再生などの各操作はドライブレコーダー側で行うドライブレコーダーです。

MM518D-L MM518D-W

MM318D-L MM318D-W MM318D-A

Bluetooth® 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

■ 安全上のご注意・使用上のお願い **.10** ■ はじめに知っておきたいこと **.19** ■ はじめに設定しておきたいこと **.42** はじめに P.9

■ 地図画面 **.61** ■ 目的地を探す **.92** ■ ルート探索・案内 **.120**
■ 場所を登録する **.152** ■ 交通情報を使う **.157** ■ 地図を更新する **.166** ナビゲーション P.59

■ AVの共通操作 **.168** ■ テレビ・ラジオの視聴 **.186** ■ 音楽・映像の再生 **.211**
■ MUSIC STOCKERを使う **.282** ■ 外部機器の接続 **.313** AV P.167

■ カメラシステム **.318** ■ 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー **.329** ■ ドライブレコーダー **.347**
■ ETC **.348** カメラシステム、ドライブレコーダー、ETC P.317

■ ハンズフリーフォンを使う **.354** ■ ハンズフリーフォンの設定をする **.363** ハンズフリーフォン P.353

■ スマートフォン連携 **.374** ■ NissanConnect サービス **.386** スマートフォン連携、NissanConnect サービス P.373

■ 音声認識でルート探索する **.418** 音声認識 P.417

■ その他の機能と設定 **.425** ■ 困ったとき **.454** ■ 必要なとき **.488** その他 P.423

MEMO

安全上のご注意・使用上のお願い

安全上のご注意	P.10
使用上のお願い	P.15

はじめに知っておきたいこと

本機でできる主な機能	P.19
本機の電源を入れる／切る	P.21
各部の名称と機能	P.23
ステアリングスイッチを操作する	P.27
タッチパネルの操作のしかた	P.30
メニュー画面を表示する	P.34
メニューのボタン配置を変更する	P.36
文字入力のしかた	P.37
ディスプレイの角度を調整する	P.41

はじめに設定しておきたいこと

イージーセットアップを行う	P.42
自宅を新規登録する	P.45
Bluetooth® 対応機器の **Bluetooth®** 接続をする	P.48

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

● お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

⃠

運転者は走行中に本機や携帯電話の操作をしたり、画面を注視しない

必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

SDカードなどの小物部品は、乳幼児の手の届く所に置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

安全上のご注意

⚠ 警告

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

分解禁止

本機を分解したり、改造をしない

交通事故・火災・感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告

実際の交通規制に従う

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

バックビューモニターは補助手段として使用し、後退時には直接後方の安全確認をしながら運転する

交通事故の原因となります。

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

安全上のご注意

⚠ 注意

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイを開けたまま走行しない

急ブレーキ時に開いたディスプレイに体が当たり、思わぬけがをするおそれがあります。

ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を入れない

挟まれてけがの原因となることがあります。

ディスク／SDカード挿入口に手や指を入れない

けがの原因となることがあります。

直射日光が当たる場所で使用しない

金属部分が高温になり、触れると火傷する可能性があります。

液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れない

皮膚の炎症などの原因となることがあります。

- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、清浄な水で充分洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注意

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売会社にご依頼ください。

使用上のお願い

走行中の操作制限／視聴制限について

- 安全運転への配慮から、走行中は操作できない機能があります。
  また、TVやDVDなどの映像ソースは走行中は映像表示をせず、地図画面に切り替わります。
  操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車するときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

車のエンジン停止中でのご使用について

- エンジン停止中に本機をご使用になりますと、車のバッテリーがあがるおそれがあります。
  エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

インテリジェントキーの動作について

インテリジェントキーが装着されている車両では、インテリジェントキーを本機に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

温度について

極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。換気や暖房で車内を適温にしてご使用ください。

使用上のお願い

結露について

- 雨のとき、湿度が非常に高いとき、寒いときにヒーターをつけた直後などは本機内部の光学系レンズに結露(水滴)が生じることがあります。結露が生じると、レーザーによる読み取りができず、ディスクの再生が正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。
- タッチパネルの内側に結露が生じた場合、正常に動作しないことがありますので、タッチパネルの操作は結露が取り除かれてから行ってください。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

使用上のお願い

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- 画面にいつも同じ色に光る点やいつも黒い点が現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- タッチパネル面に保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けないでください。
- ディスプレイ表面は傷付きやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

■ディスプレイのお手入れについて

画面は指紋やほこりが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。（汚れを落とす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。）ぬれたぞうきん・有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。

著作権について

お客さまが録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータが記録されたUSBメモリーなどは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。また、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引きのばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

使用上のお願い

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化･消失など)については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証対象外となります。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客さまの責任において行ってください。
- 本機の使用を誤ったときや静電気・電気的なノイズの影響を受けたときに基本プログラムなどが消失・変化した場合は補償できません。また、修理によって本機に登録した内容(登録地点など)が消去された場合も補償できません。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

その他

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、プリセットした放送局などの設定もすべて消去されます。
- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めたりしますので避けてください。

本機でできる主な機能

快適なドライブができるようにさまざまなサポート機能があります。

本機でできる主な機能

機能		概要	参照先
ナビゲーション機能	地図表示	現在地 を押して現在地の地図画面を表示できます。また、地図はスクロールしたり、拡大／縮小したりできます。	➔P.61
	Quickメニュー	Quickメニューに普段よく使う機能を設定しておくと、その機能を簡単な操作で動作させることができます。	➔P.86
	目的地を探す・設定する	名称、周辺施設、住所、電話番号などさまざまな方法で目的地を探し、その目的地までのルートを探索することができます。	➔P.92
	ルート探索	最速ルート、複数ルート、経由地を設定した探索などさまざまな方法で探索できます。	➔P.120
	ルート案内の表示・音声の設定	交差点情報を表示したり、右左折を音声で案内したりしてルート案内します。また、各案内(表示・音声)の有無を設定することができます。	➔P.145
	交通情報(VICS情報)	FM多重放送によりVICS情報を受信して、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。	➔P.157
AV機能	地上デジタルテレビ	12セグおよびワンセグを受信できます。また、視聴予約をすることができます。	➔P.186
	iPod／iPhoneの音楽再生	iPod／iPhoneの音楽を本機で楽しむことができます。	➔P.212
	Bluetooth® Audio	オーディオ機器を**Bluetooth®**接続して音楽を楽しむことができます。	➔P.219
	SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽／画像／動画再生	SDカード／WALKMAN®／USBメモリーにある音楽／画像／動画ファイルを再生することができます。	➔P.229 ➔P.235 ➔P.239
	Blu-ray Disc*1／DVD／CDの再生	お持ちのBlu-ray Disc*1／DVD／CDを再生することができます。	➔P.245 ➔P.257 ➔P.274

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

本機でできる主な機能

機能		概要	参照先
AV機能	MUSIC STOCKER	お持ちの音楽CDを本機のSDカードに録音し、再生することができます。	➔P.287
ハンズフリーフォン機能	**Bluetooth®** ハンズフリーフォン	携帯電話を**Bluetooth®** 接続して、本機で電話を受けたり、発信したりすることができます。	➔P.354
スマートフォン連携機能	Apple CarPlay＊1	iPhoneのSiri(音声認識)を使う、音楽を聴く、電話をかけるなどの機能が、本機を操作して利用できます。	➔P.374
	Android Auto＊1	Android™スマートフォンの音楽を聴く、電話をかけるなどの機能が、本機を操作して利用できます。	➔P.378
	NaviCon®	スマートフォンのNaviCon®アプリで探した目的地を本機に転送して、ルート探索・案内などを行うことができます。	➔P.383
NissanConnect サービス	オペレータサービス	オペレータに要望を伝えて、目的地を設定したり、施設情報を取得したりできます。	➔P.390
	情報チャンネル	交通情報や天気予報、グルメなど見たい情報を取得し、本機で確認できます。	➔P.395
音声認識機能	Drive T@lker	本機のマイクに発話すると、音声認識により目的地を設定したり天気を調べたりできます。	➔P.418

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

本機の電源を入れる／切る

本機の電源は車両のキースイッチ（電源ポジション）と連動します。

電源を入れる

1 **車両のキースイッチ（電源ポジション）をACCまたはONにする**

※初めて本機を起動したときは、取付確認・設定画面が表示されますので、利用開始日登録およびイージーセットアップを行ってください。

➔ 利用開始日登録とイージーセットアップを行う（P.42）

電源を切る

1 **車両のキースイッチ（電源ポジション）をOFFにする**

アドバイス

オートACC機能付きの車種の場合

- 本機を操作するには、車のエンジンをかけてください。車両のキースイッチ（電源ポジション）をOFFにすると、本機の電源もOFFになります。詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 本機の電源を入れたあと、NissanConnect サービス機能のNissanConnect メッセージ取得の通知が表示される場合があります。
- 本機をバッテリー（+B）から取り外し再度接続して起動したときは、セキュリティコード入力画面が表示されます。設定したセキュリティコードを入力して 決定 をタッチしてください。

  ➔ セキュリティコードを設定する（P.436）

  ※間違ったセキュリティコードを入力するとメッセージが表示され、何度も入力画面を繰り返します。正しいセキュリティコードを入力し直してください。または、日産販売会社にご相談ください。

知識

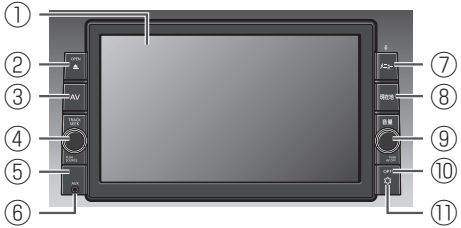
- 車両のキースイッチ（電源ポジション）をONにしたときに、ETC2.0車載器からエラーメッセージが音声でお知らせされた場合は、ETC2.0車載器の故障が原因と考えられます。再度車両のキースイッチ（電源ポジション）をONにしても異常が発生する場合は、ETC2.0車載器のアンテナにある確認ランプが点灯していることを確認してください。確認ランプが消灯しているときはETCを利用できません。詳しくは別売のETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。

各部の名称と機能

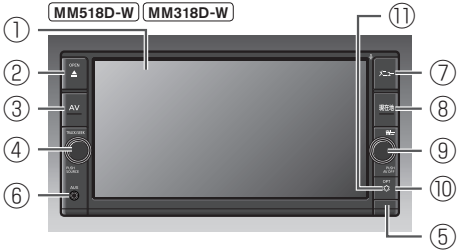
本機は、タッチパネル、ステアリングスイッチおよびコントロールパネルの各スイッチを使って操作します。

コントロールパネル

MM518D-L(セレナ) MM318D-L(セレナ)

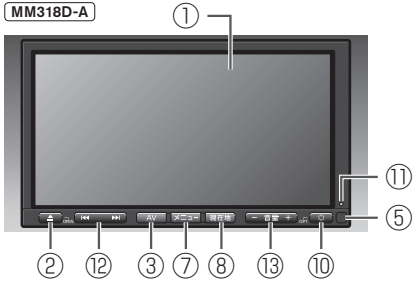


MM518D-W MM318D-W

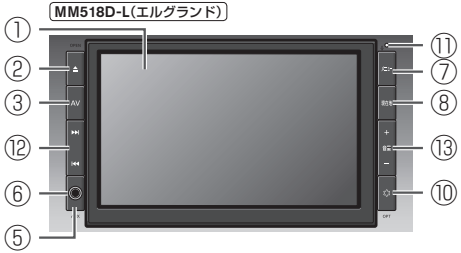


MM518D-L(エクストレイル) MM318D-L(エクストレイル)

MM318D-A



MM518D-L(エルグランド)



① **ディスプレイ**

② **▲ スイッチ**

ディスクやSDカードを挿入する／取り出す際に、ディスプレイを開閉します。

③ **AV スイッチ**

- 選択中のAV画面またはAVメニュー画面を表示します。
- 長押しすると、AVをON／OFFします。＊1

④ **TRACK SEEK ロータリースイッチ**

- 左右に回すと、音楽、ビデオを1つずつ送ったり、戻したりします。TV・ラジオでは選局します。
- 左右に回したままにすると、音楽、ビデオを早戻し／早送りします。
- 押すと、AVソースを切り替えます。

⑤ **リモコン受光部**

⑥ **AUX端子**

市販のポータブルオーディオ機器を接続します。

⑦ **メニュー スイッチ**

- トップメニュー画面を表示します。
  ※DVDまたはBlu-ray Disc再生中は再生操作ボタンを表示します。
- 長押しすると、音声認識を起動します。

⑧ **現在地 スイッチ**

- 今いる場所の地図画面を表示します。
- 長押しすると、画質調整画面を表示します。

＊1… MM518D-L(エルグランド) MM318D-A のみ

⑨ 音量 **ロータリースイッチ**

- 左右に回すと、AV ON時／ハンズフリーフォン中／音声案内中に各音量を調整できます。
- 押すと、AVをON／OFFします。

⑩ ☼ **スイッチ(オプションスイッチ)**

オプションスイッチ画面で選んだ機能の操作をします。

※インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)装着車の場合は、インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像画面を表示します。(一部の車種では表示できません。)

※ソナー付きのインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)装着車の場合は、☼を長押しすることでソナーのON／OFFの切り替えができます。詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

⑪ **セキュリティインジケータ**

“セキュリティインジケータ”を する に設定すると、本機の電源を切ったときにインジケータが点滅します。

(一部の機種では ☼ のマーク部分が点滅します。)

➔ その他のセキュリティ機能を設定する(P.438)

⑫ ⏮ ⏭ **スイッチ**

- 押すと、音楽、ビデオを1つずつ送ったり、戻したりします。TV・ラジオでは選局します。
- 押したままにすると、音楽、ビデオを早戻し／早送りします。

⑬ − 音量 ＋ **スイッチ**

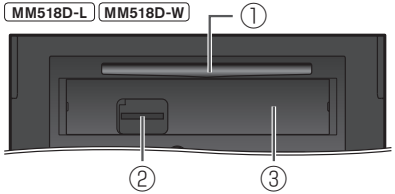
AV ON時／ハンズフリーフォン中／音声案内中に各音量を調整できます。

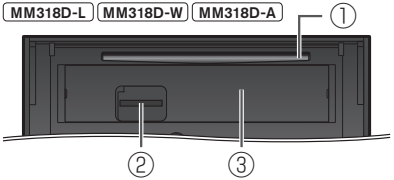
知識

- 音量は、それぞれの音声が出力中の間、調整できます。
  ※音声案内とハンズフリーフォンの音量は音声出力中でなくても別の方法で音量設定できます。
  ➔ 音声案内の音量調整をする(P.150)
  ➔ ハンズフリーフォンの通話設定をする(P.365)
  ※音声案内中やハンズフリーフォン使用中でもお客さまの設定によりAVソース音量を調整できます。
  ➔ 音量設定をする(P.173)

ディスクとSDカードの挿入口

※イラストはMM518D-L、MM318D-Wを例に記載しています。

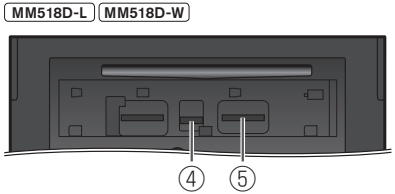


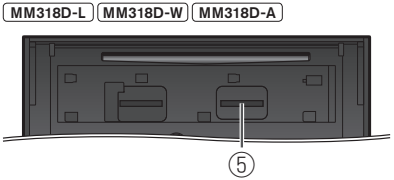


カード挿入口カバーを取り外した状態

※カード挿入口カバーは左にスライドさせて、取り外せます。

➔microSDカードを挿入する（P.243）





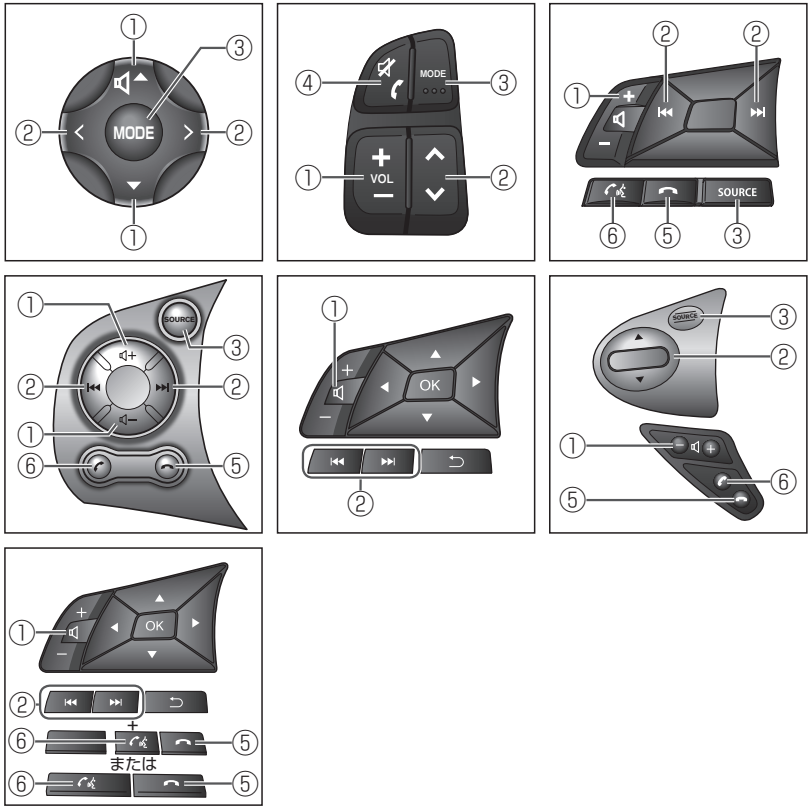
① **ディスク挿入口**
② **SDカード挿入口**
③ **カード挿入口カバー**
④ **microSDカード挿入口**
⑤ **地図SDカード挿入口**

ステアリングスイッチを操作する

車種によっては、ハンドルにスイッチが付いている場合があります。その場合、運転中にAVの操作が可能です。

ステアリングスイッチを操作する

イラストはイメージ図です。



知識

- ハンドルやステアリングスイッチの形状は車種によって異なります。
- 2011年5月以前に発売された車両には対応していません。
- 対応車種は日産販売会社にお問い合わせください。
- AV画面↔地図画面の切り替えは、本機のスイッチの AV ↔ 現在地 を押して切り替えてください。
- AVがOFFのときは音量調整、選曲／選局、消音の操作はできません。
- 音量スイッチで調整できるのは以下の音量です。
  - AVがONのとき：AV音量
  - ハンズフリーフォン着信中：着信音量
  - ハンズフリーフォン発信中：呼び出し音量
  - 通話中：受話音量
  - 音声案内中：案内音量

ステアリングスイッチを操作する

① **音量スイッチ(－／＋)／(▲／▼)**

＋側／▲側に押すと音量が大きくなり、－側／▼側に押すと音量が小さくなります。押したままにすると連続して音量の増減ができます。

② **選曲／選局スイッチ(▲／▼)／(＜／＞)／(∧／∨)／(⏮／⏭)**

FM／AMを聴いているとき

- ▲側／＞側／∧側／⏭側に押すとプリセットされている次の放送局を選局します。
  ▼側／＜側／∨側／⏮側に押すとプリセットされている前の放送局を選局します。
- 押したままにすると自動選局になり、放送局を受信すると止まります。

TVを見ているとき

▲側／＞側／∧側／⏭側に押すとチャンネルリスト上の次の放送局を選局します。
▼側／＜側／∨側／⏮側に押すとチャンネルリスト上の前の放送局を選局します。

CD／SD／WALKMAN®／USB／iPodを聴いているとき

- ▲側／＞側／∧側／⏭側に押すと次のトラックに進みます。
  ▼側／＜側／∨側／⏮側に押すと前のトラックに戻ります。
- ▲側／＞側／∧側／⏭側に押したままにすると早送りをします。
  ▼側／＜側／∨側／⏮側に押したままにすると早戻しをします。

③ **MODE ／ SOURCE スイッチ**

- 押すと、AVソースを切り替えます。

MM518D-L MM518D-W
Blu-ray Disc／DVD／CD→FM→AM→TV→HDMI→VTR／ドライブレコーダー→AUX→SD→MUSIC STOCKER→**Bluetooth®** Audio→Android Auto→Apple CarPlay→WALKMAN®／USB／iPod→

MM318D-L MM318D-W
CD／DVD→FM→AM→TV→VTR／ドライブレコーダー→AUX→SD→WALKMAN®／USB／iPod→MUSIC STOCKER→**Bluetooth®** Audio→

MM318D-A
CD／DVD→FM→AM→TV→VTR／ドライブレコーダー→SD→WALKMAN®／USB／iPod→MUSIC STOCKER→**Bluetooth®** Audio→

- 長押しすると、AVをON／OFFします。

④ **スイッチ**

- 音を消します。再度押すと音が出ます。
- はハンズフリーフォン着信中に押すと、電話を受けます。

⑤ **スイッチ**

ハンズフリーフォン通話中に押すと、電話を切ります。

⑥ ／ **スイッチ**

ハンズフリーフォン着信中に押すと、電話を受けます。

知識

- AVソース切り替え時、以下の場合はそのソースを飛ばします。
  - ディスク未挿入
  - iPod未接続
  - SDカード未挿入
  - **Bluetooth®** Audio未接続
  - WALKMAN®／USB未接続
  - “iPhone接続時の利用機能”が iPod またはApple CarPlay対応のiPhone未接続
  - “Android Autoの利用”が しない またはAndroid Auto対応のスマートフォン未接続

基本の操作

タッチ

画面に軽く触れます。

画面に表示されたボタンなどをタッチして本機の操作ができます。

ドラッグ

画面をタッチしたまま、なぞるように指を移動します。

メニュー画面、地図画面、リスト画面でスクロール操作ができます。

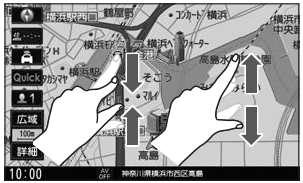
フリック

画面をサッとはらうように指を動かします。

メニュー画面、地図画面、リスト画面でスクロール操作ができます。

ピンチ

2本の指で画面にタッチしたまま、つまむようになぞったり、広げるようになぞったりします。



地図画面でつまむようにすると縮小、広げるようにすると拡大します。

2回タッチ

1本の指で素早く2回画面をタッチします。

地図画面で2回タッチすると拡大します。

2点タッチ

2本の指で画面を1回タッチします。

地図画面で2点タッチすると縮小します。

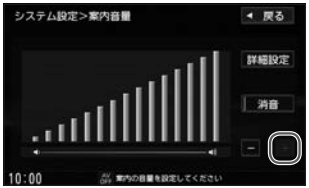
アドバイス

- タッチパネルの操作は指の腹で操作してください。爪やペンなどで操作すると反応しなかったり、画面にキズが付いたり、誤動作の原因となります。

知識

- タッチしても操作できない状況のとき、タッチパネルのボタンが暗く表示され操作できません。

  ＜操作できない状況の例＞
  - 設定値が上限に達したため、[+]がタッチできない



  - 走行中のため、操作できないようにしている

ページ送り／リスト送りをする

設定画面やリスト画面などで項目が多い場合、複数のページにわたって表示されることがあります。
このような画面では、以下の方法でページ送り／リスト送りをしてください。

■ページ送り／リスト送りボタンをタッチする

[▲]／[▼]をタッチします。

知識

- 走行中はページ送り／リスト送り操作が制限されます。

知識

- ページ／リストの一番上で[▲]をタッチすると、一番上から一番下へ移動できます。
  ※**Bluetooth**® Audioのトラックリストなど、上記の移動ができない場合があります。

■スクロールバーをタッチする

スクロールバーをタッチしてもページ送り／リスト送りができます。（下の方をタッチすると、下の方にあるページ／リストへ素早く移動できます。）

知識

- スクロールバーの灰色のバーが上の方にある場合、上の方のページを見ていることを示します。
- TVのチャンネルリストや**Bluetooth**® Audioのトラックリストなど、スクロールバーをタッチしてページ送り／リスト送りできない場合があります。

知識

- **Bluetooth®** Audioのトラックリストなどで、スクロールバーに灰色バー表示(全体のどの部分を見ているかの表示)をしない場合あります。

■ ドラッグ／フリックする（リスト画面のみ）

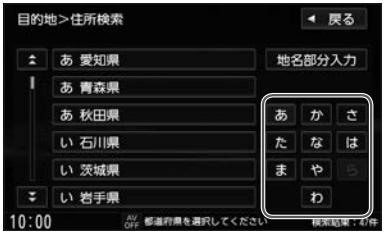
※ドラッグ／フリックできない場合は、リスト画面をしばらくタッチして、▲／▼マークが表示されてから、操作してください。

知識

- TVソース（チャンネルリストなど）、FM／AMソース（放送局リストなど）のリスト画面では、ドラッグ／フリックによるリスト送りはできません。
  その他のリスト画面でも、画面をしばらくタッチして▲／▼マークが表示されない場合は、ドラッグ／フリックによるリスト送りはできません。

■ ひらがなボタンをタッチする（一部のリスト画面のみ）

一部のリスト画面では、ひらがなボタンが表示され、タッチしたひらがなを頭文字に持つリストまで素早くリスト送りできます。（たとえば［な］をタッチすると、“奈良県”、“新潟県”など“な”行から始まる名称のリストまでリストを送ります。）



メニュー画面を表示する

メニュー を押すと、トップメニューが表示されます。
トップメニューで ▶ ／ 情報・設定 ／ ◀ をタッチすると、AVメニュー／情報・設定メニュー／目的地メニューを表示させることができます。

知識

- 目的地メニューの左側の4つのタッチボタンがトップメニューとして表示されます。
- AVメニューの右側の4つのタッチボタンがトップメニューとして表示されます。
- 未読のNissanConnect メッセージがある場合、トップメニューの NissanConnect サービス ボタンに未読マーク(✉)が表示されます。

メニュー画面を表示する

メニューのボタン配置を変更する

目的地メニューまたはAVメニュー内のボタン配置を変更できます。

メニューのボタン配置を変更する

1 目的地メニューまたはAVメニューから画面右上に表示される を タッチする

2 入れ替えたいタッチボタンを2つ選んで、それぞれをタッチする

選んだタッチボタンが入れ替わります。

知識

- 目的地メニューのタッチボタンとAVメニューのタッチボタンとを入れ替えることはできません。
- 目的地メニューの場合、メニュー配置変更画面の左側のタッチボタンとトップメニューの右側の4つのタッチボタンが共通になります。
  AVメニューの場合、メニュー配置変更画面の右側のタッチボタンとトップメニューの左側の4つのタッチボタンが共通になります。
- 操作方法 をタッチすると、操作説明画面を表示します。
- マップコード ／ 緯度・経度 ／ 郵便番号 など、メニュー内の下部のボタンは配置を変更できません。
- AVメニューを入れ替える ／ 目的地メニューを入れ替える をタッチして、AVメニューと目的地メニューとを切り替えることができます。

文字入力のしかた

目的地の名称を入力するときや、登録地の名称を編集するときなどは、以下の方法で入力します。

文字を入力する

1 入力したい文字ボタンをタッチする

2 変換 または 無変換 をタッチする

変換 ：入力した文字を漢字に変換します。 変換 をタッチ後、候補リストからどれに変換したいかを選んでタッチしてください。

無変換 ：入力した文字を漢字に変換しません。

※画面によっては 無変換 のタッチが不要な場合があります。

知識

- 画面によって入力できる文字種類・漢字変換・全角と半角の切り替えが制限されます。
- 画面によって表示されないボタンがあります。
- ← ／ → をタッチするとカーソルが移動します。
- □ をタッチするとスペースを入力します。
- 小文字／濁点文字／半濁点文字を入力したいときは、文字を入力して 小゛゜ をタッチします。
  例）“ぎゃ”と入力するには、 き → 小゛゜ → や → 小゛゜ の順にタッチします。
- 入力文字の種類を切り替えたいときは、 カナ ／ 英数 ／ 記号 ／ かな をタッチします。
  ※タッチするたびに文字の種類が切り替わります。
- 半角／全角を切り替えたいときは、 半角 ／ 全角 をタッチします。
  ※タッチするたびに半角／全角が切り替わります。

知識

- 別売のリモコンを使って、ひらがな／カタカナ入力で長音符号“ー”を入力するとき、[゛゜ー]を押しても入力できない場合があります。その場合、リモコンボタンの[0わ]を“ー”が表示されるまで数回押してください。
- [←]／[→]をタッチするとカーソルが移動し、漢字に変換するひらがなの選択範囲を変更します。

文字を消去する

1 消去したい文字の右にカーソルを移動し、 修正 をタッチする

知識

- 修正 を長押しすると、すべての文字を消去します。

文字の入力方法を切り替える

50音での入力方式と携帯電話での操作のような入力方式を切り替えます。

1 文字入力画面で 入力切替 をタッチする

知識

携帯電話での操作のような入力方式について

- 入力したい文字の行のボタンをタッチして文字入力します。（たとえば、“え”を入力するには あ を4回タッチします。）
- 同じ行の文字を続けて入力する場合は、確定 をタッチしてから次の文字を入力してください。
- ␣ をタッチするとスペースを入力します。

入力予測機能について

名称検索画面、ジャンル名入力画面、地名部分入力画面では、入力予測機能が働きます。
文字入力を始めると、過去の入力履歴から予測して入力候補を表示します。入力候補から選んでタッチしてください。

知識

- 入力候補の文が長く、続きを見たい場合は 候補 をタッチしてください。
- 入力履歴は初期化できます。
  ➔ データを初期化(消去)する(P.452)

ディスプレイの角度を調整する

MM518D-L(セレナ) MM518D-L(エクストレイル) MM518D-W MM318D-L MM318D-W MM318D-A のみ

光の反射などで画面が見づらいときに、ディスプレイの角度を調整できます。

ディスプレイの角度を調整する

1 ▲ を押す

2 ◀ ／ ▶ をタッチする

アドバイス

- ディスプレイの角度を手や工具を使って無理やり調整しないでください。ディスプレイに強い力がかかると、故障の原因となることがあります。

知識

- ディスプレイの角度は5段階に調整できます。
- 本機の電源を切ると、ディスプレイは閉じます。
- 角度調整後は、本機を起動したときディスプレイが自動的に調整した角度まで開きます。

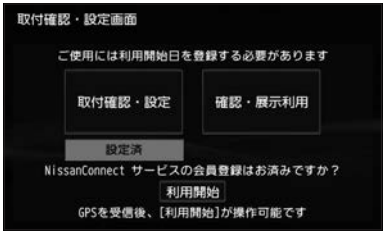
イージーセットアップを行う

設定しておくと便利な項目を、まとめて設定することができます。

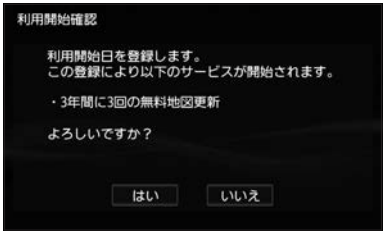
利用開始日登録とイージーセットアップを行う

初回起動時、取付確認・設定画面が表示されます。

1 利用開始 をタッチする



2 はい をタッチする



3 OK をタッチする

知識

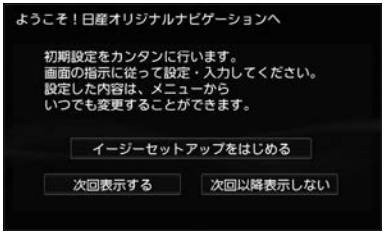
- 一度登録すると、次回から登録確認画面は表示されません。登録しないで本機の電源を切ると、本機を起動時、再度取付確認・設定画面が表示されます。
- 利用開始 をタッチできない場合は、車をGPSが受信できる見晴らしの良い場所に移動してください。
- 利用開始 以外をタッチした場合は、本機の電源を入れ直してください。
- 登録した利用開始日から3年間、全国地図更新を無料で3回ご利用いただけます。無料の全国地図更新は、有料点検入庫時(安心6か月点検、法定12か月点検、初回車検)に限りご利用いただけます。

次のページに続く

イージーセットアップを行う

前のページから

4 **イージーセットアップをはじめる を タッチする**



5 **画面に従って、<セットアップ操作>をする**

6 **終了 をタッチする**

イージーセットアップを終了し、現在地の地図画面を表示します。

<セットアップ操作>

音量	ルート案内時の音声音量やハンズフリーフォンの通話音量などを設定します。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。 ➔ 音量設定をする（P.173）
自宅	自宅へのルートを探索するために自宅を登録します。 登録方法を選んでください。 ※自宅が登録済みの場合は、確認メッセージが表示されます。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。 ➔ 自宅を新規登録する（P.45）

知識

- 次回表示する をタッチすると、次回起動時、再度イージーセットアップ画面を表示します。
  次回以降表示しない をタッチすると、次回起動時、イージーセットアップ画面を表示しません。
  再度イージーセットアップをしたい場合は、メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → イージーセットアップ をタッチしてください。
- セットアップ操作中に 前へ ／ 次へ をタッチすると、1つ前の項目の画面／次の項目の画面を表示します。

Bluetooth設定	ハンズフリーフォンなどを使うために**Bluetooth®**対応機器の登録などを行います。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。 ➔**Bluetooth®**対応機器を本機に登録する（P.49）
ユーザー切替	ユーザーの切り替え、ユーザー名の変更、ユーザーボタンの地図画面の表示有無を設定します。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。 ➔ユーザーを切り替える／ユーザー名を変更する（P.432）
オプションスイッチ	コントロールパネルの（オプションスイッチ）にどの機能を設定するか選びます。 ※イージーセットアップ以外でも設定できます。 ➔オプションスイッチを設定する（P.434）

自宅を新規登録する

自宅を登録しておくと、簡単に自宅までのルートを探索できます。
イージーセットアップで自宅を登録していない場合は、下記手順で新規登録してください。

自宅を新規登録する

1	目的地メニューから 自宅 をタッチする
2	自宅を探す方法を選んでタッチして操作を進めていき、設定メニューが表示されたら 自宅登録 をタッチする

知識

- すでに登録した自宅の場所を変更する場合は以下をご覧ください。
  ➔ 自宅／登録地点の編集をする（P.153）
- 自宅を登録すると、地図上にマーク（ ）が表示されます。
  ※“登録地を表示”を しない に設定している場合は表示されません。
  ➔ 地図画面の表示設定をする（P.77）

自宅を新規登録する

■住所を入力して自宅を登録する場合の操作例

1	目的地メニューから 自宅 をタッチする
2	住所 をタッチする
3	**都道府県名、市区町村名を順に選んでタッチする** ひらがなボタンをタッチすると、リスト送りできます。 たとえば な をタッチすると、リストを“な”行から始まるリストの所までリスト送りできます。

次のページに続く

自宅を新規登録する

前のページから

4	町名、丁目、番地などを順に選んでタッチする	
5	設定メニューが表示されたら 自宅登録 をタッチする	

Bluetooth® 対応機器のBluetooth® 接続をする

ハンズフリーフォンや音声認識など、使用前にBluetooth® 接続が必要な機能があります。

Bluetooth® 接続をするには

Bluetooth® 接続をするには、まずBluetooth® 対応機器を本機に登録する必要があります。

➔ Bluetooth® 対応機器を本機に登録する（P.49）

本機に登録後、割り当て設定を行ってください。割り当て設定された機器がBluetooth® 接続されます。

➔ 割り当て設定をする（P.52）

Bluetooth® 接続を解除するには、割り当て設定で割り当て解除を行う、またはBluetooth® 機能をOFFにしてください。

アドバイス

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。
- Bluetooth® 接続をするにはBluetooth® 機能をONにしておく必要があります。
  ➔ 本機のBluetooth® 機能をON／OFFする（P.57）
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種については、日産販売会社にお問い合わせいただくか、日産Webサイト（www.nissanconnect.jp）の「適合携帯電話一覧」で必ずご確認ください。

知識

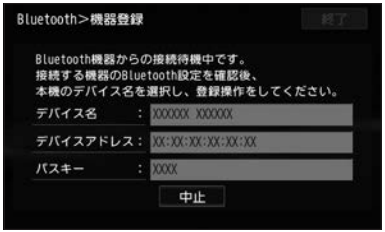
- 一度Bluetooth® 接続をすると、次回からは自動でBluetooth® 接続を行います。
- Bluetooth® 対応機器が接続できない状況（Bluetooth® 対応機器の電源が入っていない、Bluetooth® 対応機器でBluetooth® 機能をOFFにしているなど）の場合は接続できません。
- Bluetooth® 接続されるまで時間がかかる場合があります。

Bluetooth® 対応機器のBluetooth® 接続をする

Bluetooth® 対応機器を本機に登録する

1 メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → Bluetooth →
“機器登録” の 登録する をタッチする

2 Bluetooth® 対応機器側のBluetooth® 機能がONになっていることを確認し、Bluetooth® 対応機器側を操作して登録を行う



アドバイス

- 登録は、本機とBluetooth® 対応機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、Bluetooth® 対応機器の取扱説明書もご覧になりながら登録を行ってください。
- 誤登録を防ぐため、登録前に周囲の他のBluetooth® 対応機器の電源をお切りください。

知識

- 5台まで登録可能です。すでに5台登録済みの場合は登録操作はできません。
- 登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。
- 本機に登録済みのBluetooth® 対応機器を登録し直す場合は、本機で登録を消去してから登録操作を行ってください。

知識

- 本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。**Bluetooth®** 対応機器側で名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。また、絵文字を使用している場合、本機では _(アンダーバー)表示されます。

Bluetooth® を使用する機能と割り当て設定について

登録したBluetooth® 対応機器をどの機能で使用するかに応じて下表のように割り当て設定を行ってください。

使用する機能	割り当て設定
ハンズフリーフォン	“電話1( )”または“電話2( )”を有効にする
データ通信＊1	“電話1( )”を有効にする
Bluetooth® Audio	“オーディオ(♪)”を有効にする
NaviCon®	“スマホ連携( )”を有効にする
Drive T@lker	“電話1( )”または“電話2( )”を有効にし、さらに“スマホ連携( )”を有効にする

※“スマホ連携( )”に割り当て設定をした場合は、さらにスマホ連携アプリ選択も行ってください。

＊1…通信アダプタを利用せず携帯電話を利用してNissanConnect サービスやオンライン検索を行うときのデータ通信です。
電話1に割り当て設定したあと、データ通信設定を行う必要があります。
➔ 携帯電話のデータ通信設定をする（P.447）

割り当て設定をする

1

メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → Bluetooth → “機器選択” の 選択する をタッチする

※ **Bluetooth®** 対応機器が登録されていない場合、“機器選択” の **選択する** はタッチできません。

2

割り当て設定をする Bluetooth® 対応機器の ／ ／ をタッチする

タッチするたびに割り当て有効↔割り当て解除が切り替わります。

割り当てが有効のとき、ボタンの色が青くなります。

知識

- 新規に **Bluetooth®** 対応機器を登録したときや登録を消去したときは、割り当てが変わる場合があります。
  （割り当てが変わると、**Bluetooth®** 接続先が新しく割り当てられた **Bluetooth®** 対応機器へ変更されます。）
- **Bluetooth®** 対応機器によっては、**Bluetooth®** Audioとデータ通信の同時利用ができない場合があります。
- **Bluetooth®** 対応機器を割り当てた場合、その仕様によっては **Bluetooth®** 操作を行えない場合があります。その場合は、割り当てを解除してください。割り当てを解除すると、解除された **Bluetooth®** 対応機器の接続は切断されます。
- “電話1”、“電話2”、“オーディオ”、“スマホ連携” に割り当て設定ができる **Bluetooth®** 対応機器はそれぞれ1台までです。

Bluetooth® 対応機器のBluetooth® 接続をする

■ スマホ連携アプリ選択をする

1	メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → スマートフォン連携 → スマホ連携アプリ選択 をタッチする
2	Drive T@lker ／ NaviCon から選んでタッチする

■ 登録したBluetooth® 対応機器の登録を消去する

1	メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → Bluetooth → “機器選択” の 選択する をタッチする ※ Bluetooth® 対応機器が登録されていない場合、“機器選択” の 選択する はタッチできません。
2	消去したいBluetooth® 対応機器の 🗑 をタッチする 登録されていた機器が消去されます。

登録したBluetooth® 対応機器の詳細情報を見る

1 メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → Bluetooth →
“機器選択” の 選択する をタッチする

※ Bluetooth® 対応機器が登録されていない場合、“機器選択” の 選択する は
タッチできません。

2 詳細情報を見たいBluetooth® 対応機器名を選んでタッチする

本機のBluetooth® 機器情報を確認する(デバイス名／パスキーの変更)

1 メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → Bluetooth →
"Bluetooth 機器情報" の 表示する をタッチする
Bluetooth® 機器情報画面が表示されます。

2 デバイス名変更 または パスキー変更 をタッチする
デバイス名変更 ：デバイス名を変更します。
パスキー変更 ：パスキーを変更します。

3 入力後、 決定 をタッチする

携帯電話接続確認案内の設定をする

“電話1”／“電話2”に割り当て設定をした携帯電話とBluetooth®接続ができなかった場合に、メッセージを音声でお知らせするか設定できます。

1 メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → Bluetooth をタッチする

2 “携帯電話接続確認案内”の する ／ しない から選んでタッチする

知識

- する に設定しても、割り当てが“オーディオ”や“スマホ連携”のみの携帯電話についてはお知らせしません。
- する に設定しても、Apple CarPlay接続中またはAndroid Auto接続中はお知らせしません。
- する に設定すると、割り当てが“電話1”／“電話2”の片方のみの場合は起動から約30秒後、“電話1”／“電話2”の両方の場合は起動から約60秒後に割り当て設定されている携帯電話とBluetooth®接続ができなかったときに、メッセージと音声でお知らせします。
  ※ハンズフリーフォン以外のBluetooth®機能が動作中の場合、接続確認案内までにBluetooth®接続が行われず、接続確認の案内が表示される場合があります。
- 接続確認案内のメッセージが表示される前にハンズフリーフォンの画面を表示した場合、接続確認の案内は行われません。

Bluetooth® 対応機器のBluetooth® 接続をする

■ 本機のBluetooth® 機能をON／OFFする

1	メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → Bluetooth をタッチする
2	“Bluetooth” の する（ON）／ しない（OFF）から選んでタッチする

MEMO

地図画面

地図画面の表示内容について	P.61
地図上のマークや記号について	P.71
地図を操作する	P.72
地図画面の表示設定をする	P.77
自車位置設定(現在地の修正)をする	P.83
ランドマークの設定をする	P.85
Quickメニュー	P.86
右画面表示にする	P.90

目的地を探す

目的地探索画面	P.92
名称で施設検索して探す	P.94
住所で探す	P.97
目的地履歴の中から探す	P.99
登録地点の中から探す	P.101
周辺施設を検索して探す	P.103
地図をスクロールして探す	P.111
ジャンルで施設検索して探す	P.112
郵便番号で探す	P.116
電話番号で探す	P.117
マップコードで探す	P.118
緯度・経度で探す	P.119

ルート探索・案内

ルートを探索する	P.120
デモ走行をする	P.125
現在地から自宅までのルートを探索する	P.126
現在のルートを全体表示する	P.127
ルート案内を停止／開始する	P.129
ルート上の渋滞地点を確認する	P.130
ルートを変更(ルート編集)する	P.131
ルートを再探索する	P.137
現在のルートを保存する／消去する	P.138
保存したルートを呼び出す／消去する	P.139
迂回ルートを探索する	P.140
ルート探索の設定をする	P.141
表示・音声の案内設定をする	P.145
音声案内の音量調整／詳細設定をする	P.150

場所を登録する

地点登録をする	P.152
自宅／登録地点の編集をする	P.153
自宅／登録地点を消去する	P.156

(次のページに続く)

交通情報を使う

VICS情報を見る	P.157
FM多重放送の選局をする（VICS受信）	P.162
VICS情報の地図表示設定をする	P.164
渋滞情報の保存時間を設定する	P.165

地図を更新する

地図更新について	P.166

地図画面の表示内容について

現在地の地図表示

現在地 を押すと、現在地の地図を表示します。

① **ハンズフリーフォンのアイコン**

ハンズフリーフォンが使用可能なとき、携帯電話の電波と電池状態が表示されます。

※機種によっては電波と電池状態が表示されない場合があります。

※電波と電池状態の表示は、携帯電話の表示と異なる場合があります。

：“電話1”に割り当て設定した携帯電話でハンズフリーフォンが使用可能

：“電話2”に割り当て設定した携帯電話でハンズフリーフォンが使用可能

知識

道路の表示

青色	：高速道路、有料道路
赤色	：国道
緑色	：主要地方道、県道
青色（破線）	：フェリー航路
灰色	：一般道、細街路

※細街路：道幅5.5 m未満の道路

- 建設中の道路など地図ソフト作成時点で未開通の道路は、計画道路（破線）として表示されます。
- 計画道路（破線）はルート探索の対象となりません。
- 市街地図では計画道路も実線表示している所がありますが、ルート探索の対象となりません。
- 市街地図の場合、高速道路、有料道路以外は異なる色で表示されます。
- 設定や縮尺により、道路の表示がされなかったり、表示色が上記と異なる色で表示されたりする場合があります。

地図画面の表示内容について

② **方位ボタン／GPS受信表示**

タッチすると地図表示(向き／3D)を切り替えます。
現在地の測位の状態を円の色で示します。
黄色：現在地の測位ができている状態
灰色：現在地の測位ができていない、または測位計算中

③ **VICS WIDEボタン／VICS情報提供時刻表示**

ルート案内中にタッチすると、地図画面を渋滞／規制地点へ切り替えます。
※ボタン内に表示される時刻は、本機がVICS情報を受信した時刻ではありません。
VICS情報が提供された時刻が表示されます。

④ **NissanConnect サービスボタン**

タッチするとNissanConnect サービスメニュー画面を表示します。

⑤ **Quick**

タッチするとQuickメニューを表示します。
(普段よく使う設定を表示したり、機能を素早く操作したりすることができます。)

⑥ **ユーザーボタン**

ユーザー切り替え、ユーザー名の変更、ユーザーボタンの地図画面の表示有無を設定する画面を表示します。

⑦ **広域**／**詳細**

タッチすると地図を縮小／拡大します。
100m：地図の縮尺を示します。
※市街地図の縮尺表示では、を表示します。
(例)市街地図50 m：50m

知識

- 走行中は、細街路を表示しません。
  ※細街路を走行しているときは、細街路を表示します。
  ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
- 測位に時間がかかる場合があり、本機を起動してしばらくはGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

地図画面の表示内容について

⑧ **目的地方向表示**

ルート案内中、現在地から目的地／経由地までの方向を直線で表示します。

※目的地／経由地のどちらの方向を表示するか設定できます。

※設定により非表示にできます。

➔ 地図画面の表示設定をする（P.77）

⑨ **探索したルート**

ルート案内中、探索したルートを表示します。

（水色：有料道、黄色：一般道、ピンク色：細街路）

⑩ **VICSマーク／渋滞情報**

VICS情報を受信すると、交通規制や渋滞などの情報を表示します。

➔ 地図上表示（P.160）

※設定により非表示にできます。

➔ VICS情報の地図表示設定をする（P.164）

⑪ **明るさアップボタン**

車のライト点灯時に表示され、画面の明るさを切り替えます。

※設定や時間帯によって表示されない場合があります。

⑫ **簡易エコスコアボタン**

タッチすると、エコスコア画面を表示します。

➔ エコ運転診断の結果を表示する（P.428）

⑬ **時計表示**

現在の時刻を表示します。

※設定により非表示にできます。

➔ 地図画面の表示設定をする（P.77）

地図画面の表示内容について

⑭ **通信アダプタの通信／携帯電話の通話状態**

：通信アダプタで通信中

：携帯電話で発信／着信／通話中

非表示：未通信／未通話

⑮ **通信アダプタの接続状態**

：通信圏内

：通信圏外または、通信アダプタの設定を しない にしているとき

⑯ **各種マーク表示**

再生中のAVソースや接続されている機器などのマークを表示します。

⑰ **各種情報表示**

地図情報（住所名／道路名）やAV情報（再生中の曲名やラジオ周波数など）などを表示します。

⑱ **自車マーク**

自車の位置と進行方向を示します。

※地図が3D表示のとき、スクロール画面では自車マークを◆で表示します。

⑲ **目的地／経由地への残距離、到着予想時刻**

ルート案内中、現在地から目的地／経由地までの残距離と到着予想時刻を表示します。

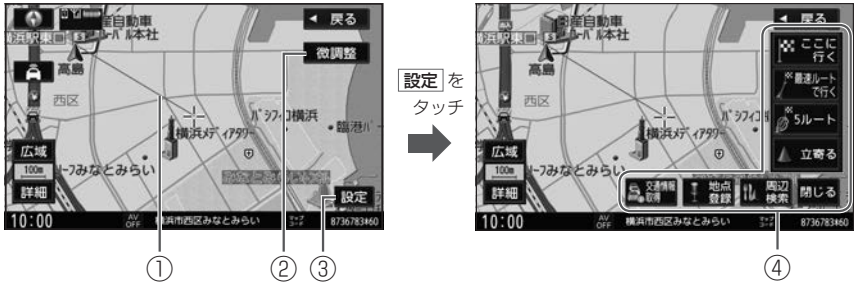
93.9km 11:25着 ：目的地までの残距離、到着予想時刻

93.9km 11:25着 ：経由地までの残距離、到着予想時刻

地図画面の表示内容について

■ スクロール時の地図表示と設定メニュー

地図をスクロールすると、カーソル(-¦-)と設定ボタンが表示されます。 設定 をタッチすると設定メニューが表示されます。



① **現在地方向表示**

カーソル(-¦-)から現在地の方向を直線で表示します。

② 微調整

スクロールの位置を微調整します。(平面地図のみ)

③ 設定

<設定メニュー>を表示します。

④ **設定メニュー**

地図画面の表示内容について

＜設定メニュー＞

ここに行く	カーソル(-¦-)の場所を目的地に設定します。
最速ルートで行く	カーソル(-¦-)の場所を目的地に設定します。また、ルート案内するとき最速ルートを探索します。
出発地設定	カーソル(-¦-)の場所を出発地に設定します。 ※ 出発地設定 はルート編集で出発地を変更する場合に表示されます。
5ルート	カーソル(-¦-)の場所を目的地に設定して複数ルート探索をします。
立寄る	カーソル(-¦-)の場所を経由地に設定します。 ※ 立寄る はルート案内している場合にタッチできます。
自宅登録	カーソル(-¦-)の場所を自宅に登録します。 ※ 自宅登録 は自宅未登録の場合、目的地メニューから自宅登録するときに表示されます。
交通情報取得	NissanConnect サービスを利用して、カーソル(-¦-)の場所周辺の渋滞情報を取得します。
地点登録	カーソル(-¦-)の場所を登録地点として登録します。
周辺検索	カーソル(-¦-)の場所周辺の施設検索ができます。
地点編集	登録地点を編集します。 ※ 地点編集 は登録地点にカーソル(-¦-)を合わせた場合に表示されます。
施設詳細	施設／盗難多発地点の詳細情報を見ることができます。 ※ 施設詳細 は施設のランドマークや盗難多発地点にカーソル(-¦-)を合わせた場合に表示されます。

知識

- 地点編集 ／ 施設詳細 ／ テナント情報 は地図が3D表示の場合は表示されません。

最速ルートについて

- 最速ルートとは、NissanConnect サービスで交通情報を取得し、早く到着できるルートを予測してルート案内する機能です。最速ルート探索を行うには、NissanConnect サービスのお申し込みが必要です。
- “行き先設定時に取得”を する に設定すると、 最速ルートで行く を選ばなくても、ルート探索するとき常に最速ルートを探索するよう設定できます。
  ➔ 交通情報の自動取得設定をする（P.410）

施設の詳細情報について

- 地図データに収録されていない場合は情報表示しません。

地図画面の表示内容について

テナント情報	施設／ビルのテナントリストや各テナントの詳細情報を見ることができます。 ※ テナント情報 は市街地図表示のときテナント情報のある施設／ビルにカーソル(-¦-)を合わせた場合に表示されます。
閉じる	設定メニューを閉じます。

知識

- 電話番号の情報がある場合、詳細情報画面に 電話する が表示されます。
  電話する → 発信 をタッチすると、ハンズフリーフォンで電話の発信をします。(ハンズフリーフォンで電話ができない状態のときは発信できません。)

テナント情報について

- テナント情報 をタッチすると、テナントリストが表示されます。テナントリストから選んでタッチすると、選んだテナントの詳細情報を表示します。
- 地図データに収録されていない場合は情報表示しません。(テナントリストに1件も表示が無い場合があります。)

ルート案内時の地図表示

■交差点情報の表示

① **次の案内ポイントの交差点情報**

次の案内ポイントまでの目安距離と、レーンガイドを表示します。
進むべきレーンを黄色の矢印で表示します。
※車線ごとのVICS渋滞情報がある場合、色で表示します。
（赤色：渋滞、橙色：混雑、緑色：順調）

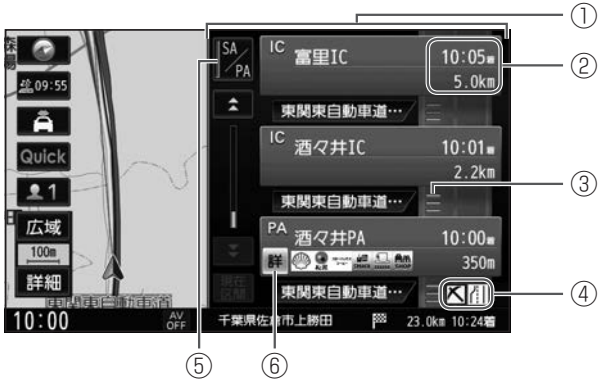
※ルート案内中、次の案内ポイントまで10 km以上の場合は“みちなり”と表示されます。

② **通過交差点のレーンガイド**

ルート案内中、現在地から次の案内ポイントまでの間にレーン情報のある交差点がある場合、その交差点までの距離とレーンガイドを表示します。

地図画面の表示内容について

■ルート情報の表示



① **ルート情報**

② **経由地や各ポイントなどへの到着時刻や距離**

③ **VICS渋滞情報**

この区間の渋滞情報を線の色で表示します。（赤：渋滞、橙：混雑、緑：渋滞なし）

④ **VICSマーク**

この区間の規制などの情報をマークで表示します。

⑤ **SA／PA**

タッチして表示灯を点灯すると、ルート情報の表示がサービスエリア／パーキングエリアのみになります。

※高速道路または有料道路を走行中でないとき、ルート情報にサービスエリア／パーキングエリアが無いときはタッチできません。

地図画面の表示内容について

⑥ 詳

施設の特徴や情報などの詳細情報を表示します。
※情報が収録されている所でのみ表示します。
※走行中は詳細情報を表示できません。

地図上のマークや記号について

改善のため予告なく変更することがあります。

地図表示記号(例)

- 都道府県庁舎(灰色)
- 市役所・特別区庁舎(灰色)
- 町村役場・政令指定都市区役所庁舎
- 官公署・市町村役場支所(出張所)
- 消防署(含む：分署・支署・出張所)
- 自衛隊
- 学校
- 病院
- 警察署・交番・駐在所
- 図書館
- 海水浴場・(湖水、池)水泳場
- ホテル・旅館・宿泊施設
- 史跡・旧跡、観光名所
- 神社
- 寺院(仏閣、地蔵)
- 教会
- 城・城跡
- 美術館
- 博物館
- 郵便局
- 銀行
- 飛行場・空港
- 港
- フェリーターミナル
- ファミリーレストラン
- 山頂
- 工場
- 一方通行記号
- 交差点
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- ジャンクション
- 料金所
- ランプ(出入口)
- ランプ(出口専用)
- 駐車場
- 運動施設
- サッカースタジアム
- 墓地
- 冬季通行止め
- その他目標施設
- ウインズ
- ガソリンスタンド
- 展望タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場
- 温泉
- スキー場
- 遊園地・テーマパーク
- テーマパークゲート
- キャンプ場
- スタジアム
- 公園
- マリーナ
- 盗難多発地点
- 冠水注意ポイント

立体アイコン(例)

東京タワー

東京都庁
(第一庁舎)

通天閣

原爆ドーム

JR 東京駅

地図を操作する

現在地の地図画面を表示する

1 現在地 を押す

知識

表示された現在地が実際の現在地と違うときは

- GPS受信表示が黄色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。現在地の位置が補正されます。

地図をスクロールする(地図を動かす)

地図画面をタッチ／ドラッグ／フリックすると、地図がスクロールします。
※走行中はスクロール操作が制限されます。

地図画面をタッチ

タッチした場所が中心になるよう地図がスクロールします。タッチしたままにすると、スクロールし続けます。

地図画画面をドラッグ

指の動きに合わせて、地図がスクロールします。

地図画面をフリック

フリックした方向に、地図がスクロールします。

知識

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図をスクロールして現在の縮尺の地図が収録されていない地域にくると、地図が切れたような画面になります。そのままスクロールを続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。

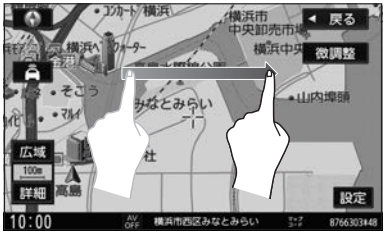
■3D表示の場合

3D表示の地図をスクロールすると、
／が表示され、地図を回転できます。

をタッチ：カーソル（-¦-）を中心に右回転（時計回り）
をタッチ：カーソル（-¦-）を中心に左回転（反時計回り）

スクロール位置を微調整する

1 **地図をスクロールし、 微調整 をタッチする**



2 **スクロールしたい方向の矢印をタッチする**

以外をタッチしてもスクロールしません。

3 **微調整が終了したら 調整終了 をタッチする**

通常のスクロール画面に戻ります。

知識

- 3D表示の地図では微調整ができません。
- をタッチしたままにすると、その方向に一定の速度でスクロールします。

地図の縮尺を変える(拡大／縮小する)

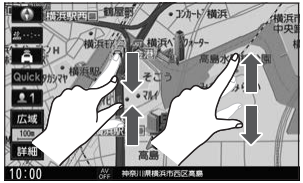
■ボタンをタッチして縮尺を変える

1	地図画面の 広域 ／ 詳細 をタッチする	

■地図画面上でピンチ／2回タッチ／2点タッチして縮尺を変える

ピンチ

2本の指で地図画面にタッチしたまま、つまむようになぞったり、広げるようになぞったりします。



つまむようにすると縮小、広げるようにすると拡大します。

2回タッチ

1本の指で素早く2回画面をタッチします。

2回タッチすると拡大します。

2点タッチ

2本の指で画面を1回タッチします。

2点タッチすると縮小します。

知識

- 選べる縮尺は、10 m、25 m、50 m、50 m、100 m、200 m、500 m、1 km、2 km、4 km、10 km、20 km、50 km、200 km、500 kmです。
- 広域 ／ 詳細 をタッチしたままにすると地図をフリーズームできます。お好みの縮尺になったら指を離してください。
- 広域 ／ 詳細 をタッチすると画面下部に縮尺を示す縮尺バーが表示されます。縮尺バーをタッチやドラッグしても拡大／縮小ができます。

地図の向きを変える／地図を3D表示にする

1 **地図画面の（方位ボタン）をタッチする**

タッチするたびに<地図の向き>が切り替わります。

<地図の向き>

北方向が上	北方向が常に上に向くよう地図を表示します。
進行方向が上	車の進行方向が常に上に向くよう地図を表示します。 （走行に合わせて地図が回転します。）
3D表示	地図を3D表示します。 （3D表示では、進行方向が上を向きます。）

知識

- 設定メニュー表示中や目的地検索中などでは、地図の向き／3D表示の切り替えができない場合があります。
- 地図の向きによって（方位ボタン）の表示が変わります。
  北方向が上：
  進行方向が上・3D表示：

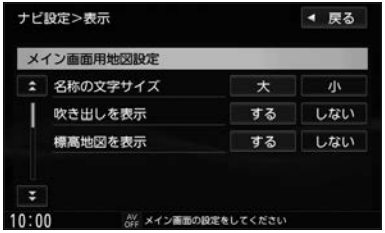
3D表示について

- 画面表示が煩雑にならないように文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行われなかったりします。
- 3D表示のとき、地図の傾きを調整できます。
  ➔ 地図画面の表示設定をする（P.77）
- 文字と建物が重なり、文字が見えにくくなる場合があります。

地図画面の表示設定をする

地図画面の表示設定をする

1	メニュー を押して、 情報・設定 → ナビ設定 → 表示 をタッチする
2	<設定項目>の設定ボタン(する ／ しない など)から選んでタッチする



<設定項目>

名称の文字サイズ ＊1＊2	地図に表示されている地名などの文字サイズ(大 ／ 小)を設定できます。 ※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。
吹き出しを表示 ＊1＊2	高速道路出入口や主要交差点の名称を吹き出しで表示 する ／ しない を設定できます。 ※表示は収録されているデータに基づいて行うため、収録されていない場所では表示しません。 ※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。

＊1…メイン画面用地図設定　＊2…右画面用地図設定

地図画面の表示設定をする

標高地図を表示 ＊1＊2		縮尺が10 km以上の地図画面では、地形地図で表示 する ／ しない を設定できます。 ※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。
地図モード ＊1＊2		地図表示（向き／3D）を設定できます。 ※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。 ※地図の向きによって方位ボタンの表示が変わります。 北向き：　　進行方向・3D：
	北向き	北方向が常に上に向くよう地図を表示します。
	進行方向	進行方向が常に上に向くよう地図を表示します。
	3D	3D地図を表示します。
3D視角調整 ＊1＊2		地図が3D表示のとき、地図の傾きを調整できます。 ※メインと右画面、それぞれの地図画面で個別に設定できます。
		角度を下げます。
		角度を上げます。
右画面に地図表示 ＊2		右画面に地図を表示 する ／ しない を設定できます。

＊1…メイン画面用地図設定　　＊2…右画面用地図設定

地図画面の表示設定をする

昼夜切り替え		地図色の切り替え設定をします。
	時刻連動	地図色の昼モード／夜モードを日付・時刻をもとに自動で切り替えます。
	昼画面固定	地図色を昼モードで表示します。
	夜画面固定	地図色を夜モードで表示します。
	ライト連動	地図色を車のライトON／OFFに連動して自動で切り替えます。 車のライトON：夜モードで表示 車のライトOFF：昼モードで表示
地図切り替え		地図表示を 標準 ／ 道路メイン ／ 文字メイン から選んで設定できます。
	標準	標準的な地図表示です。
	道路メイン	道路を見やすくした地図表示です。
	文字メイン	文字情報を強調した地図表示です。
標高地図色		標高地図の色を 季節連動 ／ 標準 ／ 春 ／ 夏 ／ 秋 ／ 冬 から選んで設定できます。 ※ 季節連動 を選ぶと日付をもとに標高地図色を自動で切り替えます。（春：3月～5月、夏：6月～8月、秋：9月～11月、冬：12月～2月）
マップコードを表示		情報バーにマップコードを表示 する ／ しない を設定できます。 ※現在地の地図画面では表示されません。

地図画面の表示設定をする

地図情報を表示		情報バーに表示する地図情報を住所名／道路名のどちらで表示するか設定できます。
	住所名	周辺の住所を表示します。
	道路名	地図データに収録されている道路を走行しているとき道路名を表示します。 ※道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。 ※GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出たりする場合があります。
AV情報を表示		情報バーに、再生中の曲名やラジオ周波数、放送局名などを表示 する ／ しない を設定できます。 ※現在地の地図画面のみ表示されます。 ※**Bluetooth**® Audio再生時は曲名が表示されない場合があります。
残距離・到着時刻を表示		ルート案内中、情報バーに表示される残距離・到着時刻について、および現在地の地図画面に表示される目的地方向について、 経由地 ／ 目的地 どちらの地点の表示をするか設定できます。 ※ 経由地 を選んでも、全経由地を通過後など、次の案内場所が目的地の場合は、目的地の残距離・目的地の到着時刻・目的地方向を表示します。
緯度・経度を表示		地図画面(現在地の地図画面は除く)に、緯度・経度を表示 する ／ しない を設定できます。

地図画面の表示設定をする

冠水注意ポイントを表示	地図画面に冠水注意ポイント( )を表示 する ／ しない を設定できます。 ※豪雨で一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を冠水注意ポイントとして表示します。 ※一部地域を除く都道府県に対応しており、縮尺200 m以下の地図画面で表示します。
市街地図での冠水注意ポイントを表示	市街地図画面に冠水注意ポイント( )を表示 する ／ しない を設定できます。 ※“冠水注意ポイントを表示”を する に設定している場合のみ設定できます。
登録地を表示	地図画面に自宅マークおよび登録地点マークを表示 する ／ しない を設定できます。
安全運転メッセージ	本機を起動時に安全運転メッセージを画面と音声でお知らせ する ／ しない を設定できます。 ※ する に設定しても、条件によりお知らせしない場合があります。
エコ運転診断機能を表示	現在地の地図画面にエコ運転診断機能の結果を表示 する ／ しない を設定できます。
デュアルウィンドウを表示	AV映像(テレビやビデオなどの動画)を右画面に表示 する ／ しない を設定できます。 ※メッセージが表示されると一時的に映像が停止(黒画面)します。

地図画面の表示設定をする

時計表示	時計の表示を する ／ しない ／ 映像中はしない から設定できます。 映像中はしない に設定すると、AV映像（テレビやビデオなどの動画）を全画面表示で見ているときは時計を表示しません。
ランドマーク	➔ ランドマークの設定をする（P.85）
ランドマーク表示	上記で設定したランドマークを地図画面上に表示 する ／ しない を設定できます。
自車位置	➔ 自車位置設定（現在地の修正）をする（P.83）
走行軌跡表示	➔ 走行軌跡を記録する（P.427）

自車位置設定(現在地の修正)をする

自車位置設定(現在地の修正)をする

1 メニュー を押して、 情報・設定 → ナビ設定 → 表示 をタッチし、
"自車位置" の 修正する をタッチする

2 地図をスクロールし、自車位置に設定したい場所へカーソル(−¦−)を合わせる

3 カーソル(−¦−)の位置を確認し、
セット をタッチする

4 ↺／↻ をタッチして、
自車マークの角度を修正し、
セット をタッチする

知識

- 地図の縮尺を拡大しておくと、より正確な位置の修正ができます。
- 地図スクロールするとき、 微調整 をタッチするとカーソル(−¦−)の位置を微調整できます。
  ➔ スクロール位置を微調整する(P.74)

自車位置設定(現在地の修正)をする

自車位置の道路を切り替える

一般道に自車マークが表示されているが、実際はすぐ近くの有料道を走行している場合などに利用できます。あらかじめQuickメニューに 道路切替 を設定しておく必要があります。

1 **現在地の地図画面で Quick → 道路切替 をタッチする**

道路切替 をタッチ後、しばらく走行すると自車位置が修正(近くの別の道路に移動)されます。

知識

- 道路切替 は自車マークのある道路と実際に走行中の道路が近くにある場合のみ有効です。
- 実際に走行中の道路に自車位置を修正できない場合があります。
- 有料道へ自車位置を修正した場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。

ランドマークの設定をする

ランドマークの設定をする

どの施設のランドマークを表示するか設定できます。
※ランドマークは、縮尺500 m以下の地図画面で表示されます。

1 **メニュー を押して、 情報・設定 → ナビ設定 → 表示 をタッチし、“ランドマーク” の 設定する をタッチする**

2 **リストから表示したい施設のジャンルをタッチして✔印を付ける**

タッチするたびに✔印の表示↔非表示が切り替わります。

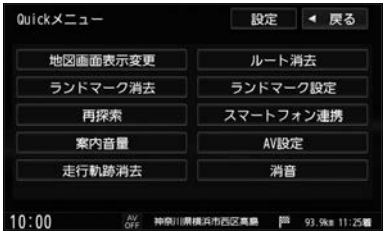
知識

- ランドマークの✔印は最大300件まで付けることができます。
- リストで▶マークがあるジャンルは、そのジャンル内の各施設について個別に表示設定ができます。
  ▶マークのあるジャンルをタッチすると、各施設のリスト画面が表示されるので、ランドマークを表示したい施設をタッチして✔印を付けてください。
  全解除 をタッチするとジャンル内の全施設の✔印を消します。
  全選択 をタッチするとジャンル内の全施設に✔印を付けます。

Quickメニュー

Quickメニューを使うと、普段よく使う設定を表示したり、機能を素早く操作したりすることができます。また、Quickメニューの各項目の配置を変更できます。

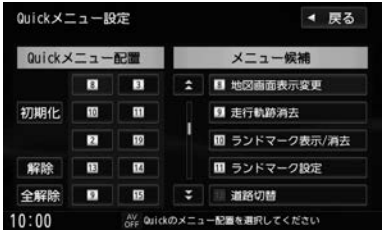
Quickメニューを使う

1	現在地の地図画面で Quick をタッチする	
2	Quickメニューから機能を選んでタッチする	

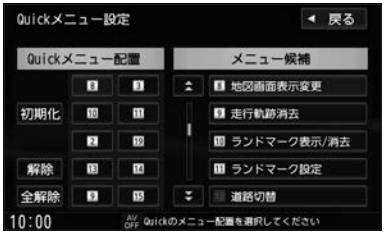
Quickメニューのメニュー配置を変更する

1 現在地の地図画面で Quick → 設定 をタッチする

2 “Quick メニュー配置” から変更したいボタンを選んでタッチする



3 <メニュー候補>から新しく表示させたいメニューを選んでタッチする



知識

- Quickメニューに配置できるメニューは10個までです。
- 初期化 をタッチすると、Quickメニューの配置をお買い上げ時に戻します。
- 全解除 をタッチすると、全ボタンのメニュー項目を消します。
- 解除 をタッチすると、選んだボタンのメニュー項目を消します。

<メニュー候補>

お気に入り地点	お気に入り地点を目的地にしてルート探索します。
再探索	ルート案内中、探索条件を選んでルートを再探索します。
ルート消去	現在設定されているルートを消去します。

渋滞地点	ルート案内中、ルート上の渋滞／規制地点を表示します。 ➔ ルート上の渋滞地点を確認する（P.130）
VICS文字情報	FM多重放送で受信したVICSの文字情報を表示します。
VICS図形情報	FM多重放送で受信したVICSの図形情報を表示します。
地点を登録	現在地を登録地点として登録します。
地図画面表示変更	右画面表示の設定画面を表示します。
走行軌跡消去	今まで記録した走行軌跡を消去します。
ランドマーク表示／消去	地図画面上のランドマークの表示／非表示を切り替えます。
ランドマーク設定	どの施設のランドマークを表示するか設定します。 ➔ ランドマークの設定をする（P.85）
道路切替	走行中の道路から付近の別の道路へ自車位置を変更します。
案内音量	音声案内の音量設定画面を表示します。
AV設定	AV設定画面を表示します。 ➔ AV設定をする（P.175）
消音	AVソースの音声を消したり、消音を解除したりします。
ユーザー切替	ユーザー選択、ユーザー名の変更、ユーザーボタンの地図画面上の表示有無を設定する画面を表示します。
携帯電話登録一覧	**Bluetooth**® 対応機器の登録一覧画面を表示します。
リダイヤル	ハンズフリーフォンで前回発信した番号に発信します。

Quickメニュー

スマートフォン連携	スマートフォン連携機能(Apple CarPlay*1、Android Auto*1、NaviCon®)の各設定や連携アプリ選択を行います。
Drive T@lker	Drive T@lkerを利用した音声認識を起動します。 ※Apple CarPlay*1およびAndroid Auto*1の音声認識機能は起動しません。
ETC情報	本機に接続しているETC／ETC2.0車載器の情報(利用履歴など)を見ます。
ETC2.0受信情報	ETC2.0で受信した道路交通情報を表示します。
交通情報	交通情報(ラジオ)に切り替えます。
オプションスイッチ設定	オプションスイッチの設定画面を表示します。
手動録画	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの手動録画を行います。
静止画撮影	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの静止画撮影を行います。
音声記録ON／OFF	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの常時録画の音声記録ON／OFFを切り替えます。

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

右画面表示にする

画面を2つに分け、右画面に縮尺の異なる地図やルート情報などを表示できます。
あらかじめQuickメニューに 地図画面表示変更 を設定しておく必要があります。

右画面表示をする

1 現在地の地図画面で Quick → 地図画面表示変更 をタッチする

2 ＜右画面表示＞から選んでタッチする

＜右画面表示＞

地図	地図を表示します。 左右に地図画面を表示して、それぞれ別の縮尺の地図を表示させたりすることができます。
ルート情報	ルート情報を表示します。（ルート案内中のみ）
デュアルウィンドウ	AV映像（テレビやDVDなどの動画）を表示します。
OFF	右画面表示をしません。
ハイウェイモード	高速道路／一般有料道路走行中のみルート情報を右画面表示します。 タッチすると表示灯の点灯↔消灯が切り替わります。 （点灯：ハイウェイモードON、消灯：ハイウェイモードOFF）

知識

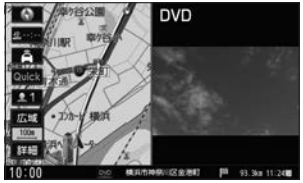
- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- デモ走行中は右画面地図表示↔全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面表示時に左画面の地図をスクロールすると、全画面に切り替わります。（ 現在地 を押すと右画面表示に戻ります。）
- 右画面の地図はスクロールができません。
- ハイウェイモードにしている場合、他の表示項目を選んでいてもハイウェイモードが優先されます。
- ルート案内中に交差点拡大図などを表示する設定にしている場合、左記で設定した右画面表示よりも交差点拡大図などを優先して表示します。
- ルート情報 を選んでいる場合は、ハイウェイモード をタッチできません。
- ハイウェイモードで右画面表示をしている場合は、 OFF をタッチしても全画面表示に戻りません。 ハイウェイモード をタッチして表示灯を消灯させてください。

右画面表示にする

地図表示

ルート情報表示

デュアルウィンドウ



目的地探索画面

目的地を探すにはいくつかの方法があります。

目的地メニュー

メニュー を押して、◀ をタッチすると目的地メニューが表示されます。

＜目的地メニュー＞

自宅	あらかじめ本機に登録した自宅を目的地に設定します。 自宅未登録のときは自宅を登録します。	➔ 現在地から自宅までのルートを探索する（P.126）
名称	施設の名称を入力して目的地を設定します。	➔ 名称で施設検索して探す（P.94）
周辺施設	現在地周辺やルート沿いなどにある施設を検索して、選んだ施設を目的地に設定します。	➔ 周辺施設を検索して探す（P.103）
住所	住所で目的地を設定します。	➔ 住所で探す（P.97）
電話番号	電話番号を入力して目的地を設定します。	➔ 電話番号で探す（P.117）
履歴	過去に目的地設定した場所のリストから選んで目的地を設定します。	➔ 目的地履歴の中から探す（P.99）
ジャンル	ジャンル別の施設リストから選んで目的地を設定します。	➔ ジャンルで施設検索して探す（P.112）
登録地	あらかじめ登録した登録地点を目的地に設定します。	➔ 登録地点の中から探す（P.101）

目的地探索画面

マップコード	マップコードを入力して目的地を設定します。	➔ マップコードで探す（P.118）
緯度・経度	緯度と経度を入力して目的地を設定します。	➔ 緯度・経度で探す（P.119）
郵便番号	郵便番号を入力して目的地を設定します。	➔ 郵便番号で探す（P.116）

名称で施設検索して探す

施設の名称を入力して目的地を設定します。

名称で施設検索して探す

1 目的地メニューから 名称 をタッチする

2 目的地の施設名をひらがなで入力し、 検索 をタッチする

目的地検索結果画面が表示されます。

3 リストから施設を選んで 決定 をタッチする

4 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- 濁点(ばの「゛」)、半濁点(ぱの「゜」)、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
  (例：“とうきょうどーむ”は“とうきようとむ”でも検索できます。)
- 入力できない文字は暗くなります。
- 手順 3 の検索結果画面について詳しくは、下記ページをご覧ください。
  ➔ 目的地検索結果画面について(P.95)
- 検索結果は最大10 000件まで表示されます。

■目的地検索結果画面について

① **施設の電話番号**

- 選んでいる施設に番号情報がある施設のみ表示します。
- ハンズフリーフォンが可能な場合は☎をタッチすると発信できます。

② 距離順

リストを現在地から近い順に並べ替えます。

③ 50音順

リストを50音順に並べ替えます。

④ 絞込み

リストを地域やジャンルで絞り込みます。

地域：都道府県を選び、続いて市区町村を選んで絞り込みます。

ジャンル：施設のジャンルを選び、続いて施設の種類を選んで絞り込みます。

⑤ **施設までのおおよその距離**

⑥ 施設詳細

選んでいる施設の詳細情報を表示します。

⑦ 出入口指定

選んでいる施設の出入口情報や提携駐車場情報などがある場合はリストを表示します。

住所で探す

1 目的地メニューから 住所 をタッチする

2 **都道府県名、市区町村名を順に選んでタッチする**

ひらがなボタンをタッチすると、リスト送りできます。

たとえば な をタッチすると、リストを“な”行から始まるリストの所までリスト送りできます。

3 **町名、丁目、番地などを順に選んでタッチする**

数字ボタンをタッチしても、丁目や番地を選ぶことができます。

4 **設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする**

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

■住所の一部をひらがなで入力して探す

1 目的地メニューから 住所 をタッチする

2 地名部分入力 をタッチする

3 住所の一部をひらがなで入力し、 検索 をタッチする

入力した地名が含まれるリストが表示されます。

4 リストから住所を選んでタッチする

絞込み をタッチするとリストを都道府県で絞り込みます。（リストがすべて同じ都道府県の場合は表示されません。）

5 町名、丁目、番地などを順に選んでタッチする

6 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

目的地履歴の中から探す

過去に目的地設定した場所のリストから選んで目的地を設定します。

目的地履歴の中から探す

1 **目的地メニューから 履歴 をタッチする**

目的地履歴(過去に設定した目的地のリスト)の画面が表示されます。

2 **リストから目的地を選んでタッチし、決定 をタッチする**

3 **設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする**

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- 目的地履歴は100件まで表示できます。100件を超えると古いものから自動的に消去されます。

目的地履歴の中から探す

■目的地履歴の画面について

目的地履歴の画面で目的地履歴を消去できます。

① 消去

選んでいる目的地履歴を消去します。

② 全消去

目的地履歴をすべて消去します。

登録地点の中から探す

1 **目的地メニューから 登録地 をタッチする**

登録地点リストの画面が表示されます。

2 **リストから目的地を選んでタッチし、決定 をタッチする**

3 **設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする**

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

■登録地点リストの画面について

① **施設の電話番号**

- 選んでいる施設に番号情報がある施設のみ表示します。
- ハンズフリーフォンが可能な場合は☎をタッチすると発信できます。

② フォルダ

フォルダリストから選んで、選んだフォルダ内の登録地点のみを表示します。

③ 登録順

登録した順に並べ替えて表示します。

④ マーク順

マークごとにまとめて表示します。

知識

- 登録地点のフォルダを変更したり、マークを変更したい場合は、下記をご覧ください。
  ➔自宅／登録地点の編集をする（P.153）

周辺施設を検索して探す

現在地周辺やルート沿いなどにある施設を検索して、選んだ施設を目的地に設定します。

現在地周辺の施設を探す

1 目的地メニューから 周辺施設 → 地図周辺 をタッチする

2 検索する施設のジャンル／種類をリストから選んでタッチする

目的地検索結果画面が表示されます。

3 リストから目的地に設定する施設を選んでタッチして、 決定 をタッチする

4 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- 現在地周辺を検索する場合は、現在地から半径10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。

手順 2 で▶マークのあるジャンルをタッチしたとき

- 検索リストで▶マークがあるジャンルは、そのジャンル内のどの施設を検索するか選ぶことができます。
  ▶マークのあるジャンルをタッチすると、施設リストが表示されるので、検索したい施設をタッチして✔印を付け、 検索 をタッチしてください。
  全解除 をタッチするとジャンル内の全施設の✔印を消します。
  全選択 をタッチするとジャンル内の全施設に✔印を付けます。

リストを絞り込む

- 手順 2 でジャンルを選ぶとき、ジャンル名を入力してリストを絞り込むことができます。 ジャンル名入力 をタッチし、ジャンル名／施設名をひらがなで入力し、 検索 をタッチしてください。

■目的地検索結果画面について

① **施設の電話番号**

- 選んでいる施設に番号情報がある施設のみ表示します。
- ハンズフリーフォンが可能な場合は☎をタッチすると発信できます。

② **施設の情報アイコン**

（情報のある場合のみ）

③ **施設までのおおよその距離**

④ 施設詳細

選んでいる施設の詳細情報を表示します。

⑤ 出入口指定

選んでいる施設の出入口情報や提携駐車場情報などがある場合はリストを表示します。

ルート沿いにある施設を探す

1 目的地メニューから 周辺施設 → ルート沿い をタッチする

2 検索する施設のジャンル／種類をリストから選んでタッチする

目的地検索結果画面が表示されます。

3 リストから目的地に設定する施設を選んでタッチして、 決定 をタッチする

4 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- ルート案内中のみ検索が可能です。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は、現在地からルートの進行方向に沿って10 km以内で、ルートの左右約100 m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。

■目的地検索結果画面について

① **施設の電話番号**
- 選んでいる施設に番号情報がある施設のみ表示します。
- ハンズフリーフォンが可能な場合は☎をタッチすると発信できます。

② **施設の方向**
施設がルート沿いの左右どちらにあるかを表示します。

③ **施設の情報アイコン**
（情報のある場合のみ）

④ **施設までのおおよその距離**

⑤ 施設詳細
選んでいる施設の詳細情報を表示します。

⑥ 出入口指定
選んでいる施設の出入口情報や提携駐車場情報などがある場合はリストを表示します。

周辺施設を検索して探す

目的地周辺の施設を探す

1 目的地メニューから 周辺施設 → 目的地周辺 をタッチする

2 検索する施設のジャンル／種類をリストから選んでタッチする

目的地検索結果画面が表示されます。

3 リストから目的地に設定する施設を選んでタッチして、 決定 をタッチする

4 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- ルート案内中のみ検索が可能です。
- 目的地周辺を検索する場合は、目的地から半径10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。

■目的地検索結果画面について

① **施設の電話番号**
- 選んでいる施設に番号情報がある施設のみ表示します。
- ハンズフリーフォンが可能な場合は [☎] をタッチすると発信できます。

② **施設の情報アイコン**
（情報のある場合のみ）

③ **目的地から施設までのおおよその距離**

④ [施設詳細]
選んでいる施設の詳細情報を表示します。

⑤ [出入口指定]
選んでいる施設の出入口情報や提携駐車場情報などがある場合はリストを表示します。

周辺施設を検索して探す

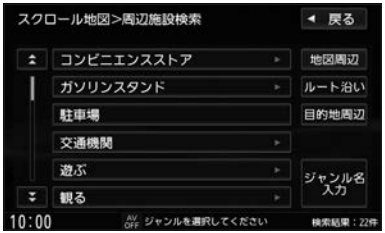
地図をスクロールして表示した場所周辺の施設を探す

1 地図画面で地図をスクロールし、検索したい場所を表示する

2 設定 → 周辺検索 をタッチする

3 検索する施設のジャンル／種類をリストから選んでタッチする

目的地検索結果画面が表示されます。



4 リストから目的地に設定する施設を選んでタッチして、 決定 をタッチする

5 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- 地図をスクロールして表示した場所周辺を検索する場合は、その場所から半径10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。

■目的地検索結果画面について

① **施設の電話番号**

- 選んでいる施設に番号情報がある施設のみ表示します。
- ハンズフリーフォンが可能な場合は☎をタッチすると発信できます。

② **施設の情報アイコン**

（情報のある場合のみ）

③ **スクロール先から施設までのおおよその距離**

④ 施設詳細

選んでいる施設の詳細情報を表示します。

⑤ 出入口指定

選んでいる施設の出入口情報や提携駐車場情報などがある場合はリストを表示します。

地図をスクロールして探す

地図をスクロールして探す

1 地図画面を表示する

2 地図をスクロールしてカーソル(−┼−)を目的地に合わせ、 設定 をタッチする

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- 地図画面を表示するには、 現在地 を押してください。

ジャンルで施設検索して探す

ジャンル別の施設リストから選んで目的地を設定します。

ジャンルで施設検索して探す

1 目的地メニューから ジャンル をタッチする

2 検索する施設のジャンルをリストから選んでタッチする

さらに詳しい項目が表示される場合は、タッチして選んでください。

3 <検索条件>を選んでタッチする

目的地検索結果画面が表示されます。

4 リストから施設名を選んでタッチして、決定 をタッチする

5 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- ルート案内をしていない場合は<検索条件>の 目的地周辺 ／ ルート周辺 は選べません。
- 現在地周辺／目的地周辺を検索する場合は、現在地周辺／目的地周辺から半径10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向に沿って10 km以内で、ルートの左右約100 m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- <検索条件>の 地域／路線 は、施設のジャンルで 交通機関 → 高速・都市高速・有料道路施設 → IC ／ SA ／ PA をタッチしたとき選ぶことができ、IC／SA／PAのうち選んだものを路線で検索できます。
- 手順 2 で 交通機関 → 高速・都市高速・有料道路施設 → 地域／路線選択 をタッチすると、指定した路線上にあるIC／SA／PAをまとめて検索できます。

ジャンルで施設検索して探す

＜検索条件＞

地図周辺	現在地周辺にある施設を検索します。
目的地周辺	目的地周辺にある施設を検索します。
ルート周辺	ルート沿いにある施設を検索します。
都道府県	指定した都道府県にある施設を検索します。 検索したい都道府県を選んでください。
地域／路線	指定した路線上にある施設を検索します。 検索したい地域や路線を選んでください。

知識

- 手順 4 で 距離順 やひらがなボタンは、＜検索条件＞の 都道府県 または 地域／路線 を選んだときのみ表示されます。

ジャンルで施設検索して探す

■目的地検索結果画面について

① **施設の電話番号**

- 選んでいる施設に番号情報がある施設のみ表示します。
- ハンズフリーフォンが可能な場合は☎をタッチすると発信できます。

② 距離順

リストを現在地から近い順に並べ替えます。

距離順に並んでいるとき、距離順の表示灯が点灯します。

③ あ か さ >

たとえばなをタッチすると、リストを“な”行から始まるリストの所までリスト送りできます。

距離順の表示灯が点灯中は、ひらがなボタン(あ か さなど)をタッチしてもリスト送りできません。

④ **施設までのおおよその距離**

知識

- 距離順ボタンやひらがなボタン(あ か さなど)は、<検索条件>の都道府県または地域／路線を選んだときのみ表示されます。

⑤ 施設詳細

選んでいる施設の詳細情報を表示します。

⑥ 出入口指定

選んでいる施設の出入口情報や提携駐車場情報などがある場合はリストを表示します。

郵便番号で探す

1 目的地メニューから 郵便番号 をタッチする

2 郵便番号を入力し、 検索 をタッチする

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- 企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。
- 4桁以上の入力が必要です。
- 入力途中で 検索 をタッチした場合、検索リストが表示される場合があります。その場合はリストから郵便番号を選んでタッチし、 決定 をタッチしてください。

電話番号で探す

電話番号で探す

1 目的地メニューから 電話番号 をタッチする

2 電話番号を市外局番から全桁(最大10桁)入力し、 検索 をタッチする

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- 個人宅の電話番号は収録されていません。
- 入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合はリストが表示されます。リストから施設を選んでタッチし、 決定 をタッチしてください。

マップコードで探す

マップコードとは、数字で地図上の位置を表すコードで、施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されているコードです。

マップコードで探す

1 目的地メニューから マップコード をタッチする

2 マップコードを入力し、 検索 を タッチする

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- 標準マップコード入力後、 * をタッチし2桁の数字を追加して入力することにより、より高い位置精度で場所を指定できます。

緯度・経度で探す

1 目的地メニューから 緯度・経度 をタッチする

2 緯度と経度を入力し、 検索 をタッチする

3 設定メニューが表示されたら、ボタンを選んでタッチする

※地図表示の場所を目的地に設定する場合は、 ここに行く をタッチしてください。
ルート探索が開始され、 案内開始 をタッチするとルート案内が開始されます。

知識

- 日本測地系の緯度・経度を入力してください。
  本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系の緯度・経度には対応しておりません。

ルートを探索する

ルートを探索する

1 目的地メニューで目的地を探す

2 設定メニューが表示されたら
ここに行く をタッチする

3 案内開始 をタッチする

知識

- ルート探索をする前に、本機が現在地と進行方向を正しく表示しているかどうかを確認してください。
- ルート探索については下記もご覧ください。
  ➔ ルート探索について（P.494）

ルートを探索する

■探した目的地の表示場所を位置調整するには

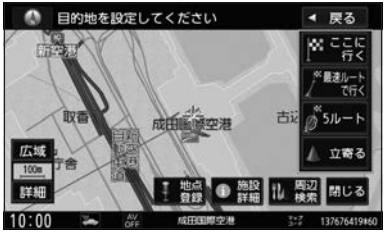
1	設定メニューの 閉じる をタッチして設定メニューを閉じる
2	地図をスクロールして目的の場所にカーソル(−┼−)を合わせる
3	設定 をタッチして、再度設定メニューを表示する
4	ここに行く をタッチする

■ 最速ルートで探索する

最速ルートとは、NissanConnect サービスで交通情報を取得し、早く到着できるルートを予測してルート案内する機能です。

1 目的地メニューで目的地を探す

2 設定メニューが表示されたら
最速ルートで行く をタッチする



3 案内開始 をタッチする

知識

- 最速ルート探索を行うには、NissanConnect サービスのお申し込みが必要です。
- 最速ルートは、ルート探索時点で所要時間が最短と予測されるルートを表示するものであり、必ずしも渋滞を回避するものではありません。渋滞の道路を案内したり、渋滞の無い道路を迂回したりする場合があります。また実際の最速ルートとならない場合があります。
- NissanConnect サービスで交通情報を取得中は、情報バーに が点滅表示します。 点滅中は通信中のため本機の操作はできません。（音量調整、AVのON／OFFなどは可能です。）

複数ルート探索をする

探索条件別に最大５ルート探索します。

1 目的地メニューで目的地を探す

2 設定メニューが表示されたら
5ルート をタッチする

3 探索条件をタッチしてルートを確認し、
案内開始 をタッチする

知識

- 経由地を設定していると、複数ルート探索はできません。
- 探索条件については下記をご覧ください。
  ➔ ルート探索の設定をする（P.141）
- ルート確認時、 詳細情報 をタッチすると、ルートの詳細情報が表示されます。
- ルート確認時、選択したルートでの目的地までのおおよその距離と所要時間が表示されます。（有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。）

経由地を設定する

最終目的地までのルート検索をしてから、経由地設定を始めてください。経由地は5地点まで設定できます。

1	目的地メニューで経由地を探す
2	設定メニューで 立寄る をタッチする
3	経由地を追加したいところの 追加 をタッチする

知識

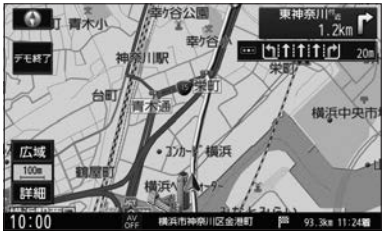
- ルート編集画面でも経由地の設定が可能です。
➔ ルートを変更(ルート編集)する(P.131)

デモ走行をする

探索したルートの走行シミュレーションが地図画面上でできます。出発前に前もってルート確認するのに便利です。

デモ走行をする

1 ルート探索後、 メニュー を押して、
ルート → ルートの全表示 → デモ走行
をタッチする



アドバイス

- デモ走行時、交差点拡大図を表示しない／道路名表示をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。

知識

- デモ走行中の動作は、実際の操作と異なるものがあります。（Quickメニューが操作不可、走行軌跡表示をしないなど）
- デモ走行を終えるには デモ終了 をタッチ、または メニュー を押してください。

現在地から自宅までのルートを探索する

あらかじめ本機に自宅を登録しておく必要があります。

現在地から自宅までのルートを探索する

1	目的地メニューから 自宅 をタッチする
2	案内開始 をタッチする

現在のルートを全体表示する

出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。

ルートの全表示画面について

メニュー を押して、 ルート → ルートの全表示 をタッチすると、ルート全体を表示します。

① **ルートの情報**

出発地：目的地から一番近いICの名称

入口：最初に乗るICの名称

：出発地から目的地までのおおよその距離

¥：有料道路を使用した場合の合計料金

※有料道路を通らない場合や、ルートの一部に料金不明な有料道路がある場合は「－－－円」と表示されます。

：出発地から目的地までのおおよその所要時間

② 詳細情報

設定したルートの道路の種類や案内区間の距離・料金を確認します。

③ **目的地**

④ **設定ルート**

知識

- 3D表示のときでも、ルートの全表示は平面地図画面で表示されます。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認できます。
- 表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

⑤ デモ走行
設定したルートの走行シミュレーションをします。

⑥ **出発地**

⑦ 案内開始
ルート案内を開始します。

ルート案内を停止／開始する

よく知っている道など案内が不要な場合はルート案内を一時的に停止したり、再開したりすることができます。

ルート案内を停止する

1 メニュー を押して、ルート → 案内停止 をタッチする

ルート案内を開始する

1 メニュー を押して、ルート → 案内開始 をタッチする

一時的に停止したルート案内を再開します。

知識

- ルート設定をしていない場合は選べません。
- ルート案内を一時的に停止しても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートを変更したり、保存ルートを呼び出したりするまでは 案内開始 をタッチすると再開できます。

ルート上の渋滞地点を確認する

あらかじめ、FM多重放送の選局をしてVICS情報を受信しておく必要があります。

➔FM多重放送の選局をする（VICS受信）（P.162）

ルート上の渋滞地点を確認する

1 **現在地の地図画面で、**

（VICS WIDEボタン）をタッチする

渋滞／規制のVICS情報がある場合、地図画面を渋滞／規制地点へ切り替えます。

知識

- 渋滞地点は現在地から前方10 km以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- ルート案内を停止している場合、本機能は動作しません。

ルートを変更(ルート編集)する

ルート編集画面

メニュー を押して、 ルート → ルート編集 をタッチするとルート編集画面が表示されます。
ルート編集画面では、以下の設定ができます。

① **目的地編集ボタン**
目的地の場所の変更や消去をします。
➔ 出発地／経由地／目的地の場所を変更する(P.134)
➔ 出発地／経由地／目的地を消去する(P.135)

② **入れ替えボタン**
出発地／経由地／目的地を入れ替えます。
➔ 出発地／経由地／目的地を入れ替える(P.135)

③ **経由地編集ボタン**
経由地の場所の変更や消去をします。
➔ 出発地／経由地／目的地の場所を変更する(P.134)
➔ 出発地／経由地／目的地を消去する(P.135)

④ **出発地編集ボタン**
出発地の場所の変更や消去をします。
➔ 出発地／経由地／目的地の場所を変更する(P.134)
➔ 出発地／経由地／目的地を消去する(P.135)

⑤ 複数探索
ルート探索が完了したものから順に、最大5ルートが表示されます。
好きなルートを選んでタッチし、 案内開始 をタッチすると、ルート案内を開始します。
※経由地を設定したとき、 複数探索 は選べません。

⑥ 最速ルート
ルート探索が開始され、完了後 案内開始 をタッチすると、最速ルート(NissanConnect サービスで交通情報を取得し、早く到着できるルートを予測してルート案内する機能)でルート案内します。
➔ 最速ルートで探索する(P.122)
※NissanConnect サービスのお申し込みが必要です。

⑦ 迂回
迂回ルートを探索します。
➔ 迂回ルートを探索する(P.140)

⑧ 探索条件
全区間一括で詳細な探索条件を変更します。
➔ ルート探索の設定をする(P.141)

⑨ 探索開始
ルート探索が開始され、完了後 案内開始 をタッチすると、ルート案内を開始します。

⑩ **各区間の探索条件**
変更 をタッチすると、各区間の探索条件を変更します。
➔ 各区間の探索条件を変更する(P.136)

⑪ **＋目的地**

目的地を追加します。もとの目的地は経由地になります。

➔ 経由地を追加する／目的地を追加する(P.135)

⑫ **＋経由地**

各区間に新たな経由地を追加します。

➔ 経由地を追加する／目的地を追加する(P.135)

ルートを変更(ルート編集)する

出発地／経由地／目的地の場所を変更する

1 メニュー を押して、 ルート → ルート編集 をタッチする

2 変更したい地点をタッチする

3 変更 をタッチする

4 場所を探す方法を選んでタッチする

5 画面に従って操作していき、設定メニューが表示されたら、
出発地設定 ／ 立寄る ／ ここに行く をタッチする

知識

- 場所を探す各方法の操作については、目的地設定の各説明(P.94～P.119)を参考にしてください。
  地図 を選んだ場合は直近に地図表示した場所の地図が、 目的地付近 ／ 経由地付近 ／ 出発地付近 ／ 現在地付近 を選んだ場合はそれぞれ選んだ付近の地図が表示されますので、地図をスクロールして場所を探し 設定 をタッチしてください。
- 事前にルートを調べたいときなど、現在地と異なる場所を出発地にしたルート案内を見たい場合は、 デモ走行 をタッチしてください。

ルートを変更(ルート編集)する

経由地を追加する／目的地を追加する

1	メニュー を押して、 ルート → ルート編集 をタッチする
2	＋経由地 ／ ＋目的地 をタッチする
3	場所を探す方法を選んでタッチする
4	画面に従って操作していき、設定メニューが表示されたら、 立寄る ／ ここに行く をタッチする

知識

- 経由地の追加は、最終目的地までのルート探索をしてから設定してください。
- 経由地は5地点まで設定できます。
- 目的地を追加した場合、もとの目的地は経由地になります。
- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- すでに通過した区間には経由地を設定することはできません。

出発地／経由地／目的地を消去する

1	メニュー を押して、 ルート → ルート編集 をタッチする
2	消去したい地点をタッチして、 消去 をタッチする

知識

- 出発地／目的地は、経由地を設定している場合のみ消去できます。

出発地／経由地／目的地を入れ替える

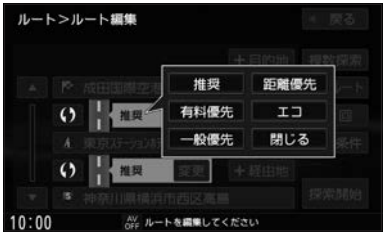
1	メニュー を押して、 ルート → ルート編集 をタッチする
2	入れ替えたい地点間の をタッチする

知識

- すでに通過した地点の入れ替えはできません。

ルートを変更(ルート編集)する

各区間の探索条件を変更する

1	メニュー を押して、 ルート → ルート編集 をタッチする
2	探索条件を変更したい区間の 変更 をタッチする
3	探索条件を選んでタッチする 

ルートを再探索する

探索条件を変更してルートを再探索します。
あらかじめQuickメニューに 再探索 を設定しておく必要があります。

ルートを再探索する

1	現在地の地図画面で Quick → 再探索 をタッチする	
2	探索条件を選んでタッチする	

知識

- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過した経由地は除く）
- 経由地を設定している場合、選んだ探索条件は次の経由地までとなります。
- ルートの再探索は、安全な場所に車を止めてから行ってください。再探索中に移動すると、探索したルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている場合があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動したあとで行ってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地（現在地）が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

現在のルートを保存する／消去する

現在のルートを保存する

1 メニュー を押して、
ルート → ルート保存 をタッチする

知識

- 現在のルートは、ルートの変更や再探索をして、新たなルートを設定した場合、自動的に消去されます。
  残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- 20ルートまで保存できます。

現在のルートを消去する

1 メニュー を押して、 ルート → ルート消去 をタッチする

保存したルートを呼び出す／消去する

保存したルートを呼び出す

1 メニュー を押して、 ルート → 登録ルート をタッチする

2 リストから呼び出したいルートを選んでタッチする

保存したときの探索条件でルート探索が開始されます。

※現在設定中のルートがある場合は消去して、選んだルートを呼び出します。

保存したルートを消去する

1 メニュー を押して、 ルート → 登録ルート をタッチする

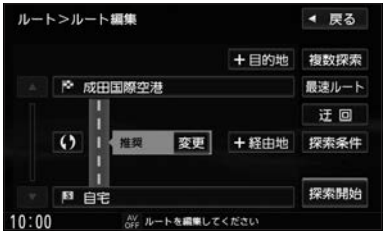
2 リストから消去したいルートの 🗑 をタッチする

迂回ルートを探索する

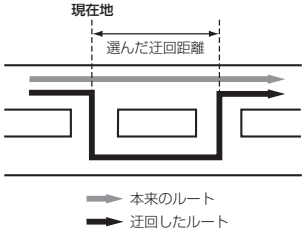
ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正できます。

迂回ルートを探索する

1 メニュー を押して、ルート → ルート編集 → 迂回 をタッチする



2 迂回距離を選んでタッチする



知識

- 保存ルートを呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回ルートの探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 下記の場合、現在のルートをそのまま表示することがあります。
  - 他の道が無い場合
  - 探索した迂回路が極端に遠回りになる場合
- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過している経由地は除く）

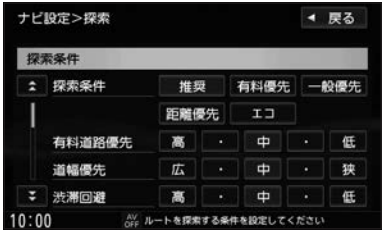
ルート探索の設定をする

ルートをどのように探索するか設定します。

ルート探索の設定をする

1 メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 探索 をタッチする

2 ＜設定項目＞の設定ボタン(推奨／有料優先 など)から選んでタッチする



＜設定項目＞

探索条件	推奨	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索します。
	有料優先	高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索します。
	一般優先	国道や県道などを通るルートを優先的に探索します。
	距離優先	走行距離が短くなるようなルートを優先的に探索します。
	エコ	燃料消費と有料道路料金をトータルで節約するルートを探索します。

知識

探索条件について

- 有料道路を優先しない探索条件を選んでも、有料道路を使用したルート探索をすることがあります。
- 距離優先 を選ぶと、細い道路ばかりのルートや、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- 距離優先 を選んだ場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- ルート案内中に探索条件を変更し 戻る をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。

フェリーを優先について

- する を選んでもフェリー航路を優先しない場合があります。
- しない を選んでもフェリー航路をルートに選ぶ場合があります。陸路のルートに修正したい場合は、陸路に経由地を設定して再度ルート探索してください。

ルート探索の設定をする

有料道路優先	ルート探索のとき、なるべく有料道路を通るようにするかどうか、優先度を5段階で設定できます。 ※探索条件で 推奨 ／ 距離優先 ／ エコ を選んで探索した場合のみ有効です。
道幅優先	ルート探索のとき、なるべく広い道路を通るようにするかどうか、優先度を5段階で設定できます。
渋滞回避	ルート探索のとき、渋滞情報を考慮する度合いを5段階で設定できます。 ※渋滞情報を考慮するにはFM多重放送でVICS情報を受信、またはNissanConnect サービスで交通情報を取得する必要があります。
自動再探索	ルート案内中に設定ルートから外れてしまった場合、自動でルートを再探索 する ／ しない を設定できます。
フェリーを優先	ルート探索時にフェリー航路を選びやすく する ／ しない を設定できます。 出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上に無い)場合は、陸路をルートに選びます。
季節規制考慮	季節ごとの道路規制(冬季通行止めなど)を考慮してルート探索 する ／ しない を設定できます。

知識

- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間や運行状況などをご確認ください。

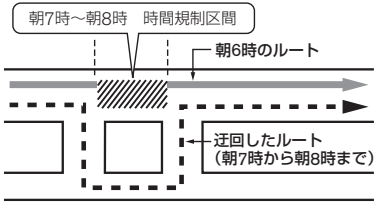
時間規制道路を考慮について

- 細街路の時間規制は考慮されない場合があります。
- 規制があっても案内することがありますので、実際の交通規制に従って走行してください。

スマートICを利用について

- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。ETCを搭載していない車両は通行できません。
- 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行っていますが、対象車種を考慮したルート探索は行っていません。
  - 営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。

ルート探索の設定をする

時間規制道路を考慮	時間ごとの道路規制を考慮してルート探索 する ／ しない を設定できます。 (例)下記斜線部分に朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。  ルート探索した時間が朝6時のときは迂回しないルート探索をしますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。
スマートICを利用	スマートICの利用を考慮してルートを探索 する ／ しない を設定できます。
ルート学習結果を利用	ルート学習をし、学習結果を考慮してルート探索 する ／ しない を設定できます。
新旧ルート比較画面を表示	VICS自動再探索が行われたとき、再探索の前後ルートの比較画面を表示 する ／ しない を設定できます。 ※しばらくすると、画面は自動的に消えます。画面が消えるまで無操作の場合は、新ルートで案内します。
VICS自動再探索	ルート案内中に先のルート上に道路の規制情報(通行止めなど)や渋滞情報を受信したとき、自動で再探索 する ／ しない を設定できます。

知識

- 通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

- 別売のETCユニットまたはETC2.0車載器を接続すると自動的に する が選ばれます。

ルート学習結果を利用について

- ルート学習とは、ルート案内中、本機が案内したルートとは異なるルートを走った場合、自動で再探索をします。同じ道で自動再探索が何度か起きると、本機は実際に走った道を学習し、学習後のルート探索では、学習した道を選びやすくなります。
- する を選んでも、学習結果をルート探索に利用しない場合があります。(渋滞情報により自動再探索した場合など)
- ルート学習のデータは以下の場合に消去されます。
  - ルート学習を初期化したとき
    ➔ データを初期化(消去)する(P.452)
  - 地図更新を行ったとき

ルート探索の設定をする

リアルタイム交通／VICS情報を考慮		道路の規制情報・渋滞情報を考慮してルート探索 する ／ しない を設定できます。
到着予想		ルート案内時などに表示される目的地／経由地までの到着時刻の予想方法を 自動 ／ 手動 から選んで設定します。
	自動	VICS情報を利用して到着時刻を予想します。
	手動	あらかじめ設定した平均走行速度で各道路を走行するものとして到着時刻を予想します。 各道路の − ／ ＋ をタッチして平均走行速度を設定してください。
料金表示		本機の料金表示について、どの車種の料金で表示するか設定します。

知識

新旧ルート比較画面を表示について

- AVソースなど現在地の地図画面でない場合、現在地から約30 km以上離れた場所のルートが変更された場合、規制情報によるルート変更の場合は比較画面を表示しません。
- 比較画面の 旧ルートに戻す をタッチすると、再探索前のルートで案内します。

VICS自動再探索について

- “リアルタイム交通／VICS情報を考慮”を しない に設定している場合、本設定は変更できません。
- FM多重放送・NissanConnect サービス・別売のETC2.0車載器により受信した道路交通情報をもとにVICS自動再探索を行います。
- 探索したルートは、必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。

リアルタイム交通／VICS情報を考慮について

- FM多重放送・NissanConnect サービス・別売のETC2.0車載器により受信した道路交通情報をもとに考慮します。
- 探索したルートは、必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。

表示・音声の案内設定をする

表示・音声の案内設定をする

1 メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 案内 をタッチする

2 ＜設定項目＞の設定ボタン(する ／ しない など)から選んでタッチする

＜設定項目＞

ルートの全表示		ルート探索終了後、ルートの全体表示画面を表示 する ／ しない を設定できます。
交差点情報を表示	常時	ルート案内中でなくても、交差点に近づくと交差点情報を表示します。
	案内中	ルート案内中のみ交差点情報を表示します。
	しない	交差点情報を表示しません。

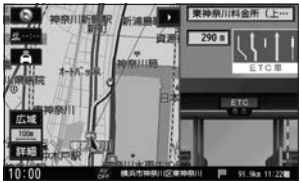
知識

- 各案内(表示・音声)は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
  - データが収録されていない場所／交差点では、各案内は行われません。
  - データは地図ソフト作成時のものであるため、案内された内容が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。
- GPS衛星から電波が受信できなかったりGPSデータの誤差が大きいなどにより、現在地が正しく測位ができなかったりする場合は、各案内が正常に行われません。
- 連続する交差点間の距離が短い場合は、交差点拡大図などの各交差点表示が行われない場合があります。

ルートの全表示について

- しない を選んでも、複数ルート探索をしたあとはルートの全体表示画面を表示します。

表示・音声の案内設定をする

ETCレーンを表示	ルート案内中、料金所の手前でETCレーンを表示 する ／ しない を設定できます。	
JCTビューを表示	ルート案内中、高速道路や都市高速道路のJCT分岐や都市高速道路の出口(ランプ)に近づいたとき、その付近の案内図を表示 する ／ しない を設定できます。	
目的地方向を表示	ルート案内中、現在地の地図画面に目的地／経由地の方向を示す直線を表示 する ／ しない を設定できます。	
ルート情報を表示	ルート案内中、ルート情報を常に表示 する ／ しない を設定できます。 ※ しない に設定した場合、“ハイウェイモードを表示”の設定に従って表示します。	
ハイウェイモードを表示	高速道路／一般有料道路を走行中のみルート情報を表示 する ／ しない を設定できます。	

知識

ETCレーンの表示について

- ETCレーン表示は、ETCユニット未接続時でも表示されます。
- ▶ をタッチすると、表示を一時的に消します。(再度表示するには ◀ をタッチしてください。)

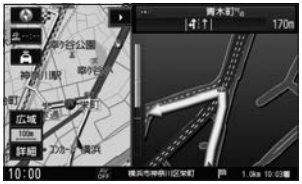
JCTビューの表示について

- ▶ をタッチすると、表示を一時的に消します。(再度表示するには ◀ をタッチしてください。)

ハイウェイモードの表示について

- “ルート情報を表示”を する に設定している場合、本設定は変更できません。

表示・音声の案内設定をする

交差点拡大図を表示		ルート案内中、主要な交差点に近づいたときに交差点の拡大図を表示 する ／ しない を設定できます。	
リアル3D表示		ルート案内中、交差点の手前で3D表示を する ／ しない を設定できます。	
方面看板を表示	常時	ルート案内中でなくても、交差点に近づくと方面看板を表示します。	
	案内中	ルート案内中のみ方面看板を表示します。	
	しない	方面看板を表示しません。	
高速道路での逆走報知		➔ 高速道路での逆走報知を設定する（P.425）	
AV画面中の案内割込み		AV画面表示中に右折または左折などのルート案内情報がある場合、ルート案内画面へ切り替え する ／ しない を設定できます。	

知識

交差点拡大図の表示について

- ▶ をタッチすると、表示を一時的に消します。（再度表示するには ◀ をタッチしてください。）

リアル3D表示について

- ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の一部交差点でリアル3D交差点（立体的デザイン）を表示します。
- ▶ をタッチすると、表示を一時的に消します。（再度表示するには ◀ をタッチしてください。）

方面看板の表示について

- ▶ をタッチすると、表示を一時的に消します。（再度表示するには ◀ をタッチしてください。）

表示・音声の案内設定をする

デュアルウィンドウ中の案内割込み		デュアルウィンドウ表示中に右折または左折などのルート案内情報がある場合、ルート案内画面へ切り替え する ／ しない を設定できます。
EWS(緊急情報)の割込み		EWS受信時に、EWSへ自動的に切り替え する ／ しない を設定できます。 ➔ 緊急警報放送について（P.187）
分岐案内頻度		案内ポイントに近づいたときに案内する頻度を設定します。 ※本設定が有効となる案内ポイントは、目的地・踏切・有料道路の出入口およびジャンクション･料金所･フェリー乗り場・一般道の右左折のみです。
合流案内	常時	ルート案内中でなくても、高速道路で合流地点に近づくと、音声案内をします。
	案内中	ルート案内中のみ、高速道路で合流地点に近づくと、音声案内をします。
	しない	合流の音声案内をしません。
踏切案内	常時	ルート案内中でなくても、踏切に近づくと、音声案内をします。
	案内中	ルート案内中のみ、踏切に近づくと、音声案内をします。
	しない	踏切の音声案内をしません。

知識

AV画面中の案内割込みについて

- ルート案内画面へ切り替わる直前にスイッチを押したりボタン操作を行ったりすると、画面が切り替わらない場合があります。

踏切案内について

- 踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。

表示・音声の案内設定をする

専用レーン案内		ルート案内中、右折または左折の専用レーンがある場合に音声案内を する ／ しない を設定できます。
VICS案内		渋滞／規制のVICS情報を受信すると、渋滞／規制情報の音声案内を する ／ しない を設定できます。
休憩メッセージ案内		ルート案内中、一定時間経ったとき休憩を促す音声メッセージ案内を する ／ しない を設定できます。
トンネル出口案内		トンネルの出口の音声案内を する ／ しない を設定できます。
AVスイッチで案内音声の取消し	する	音声案内中に AV を押すと、音声案内を中止します。
	しない	音声案内中に AV を押しても、音声案内を中止しません。

音声案内の音量調整／詳細設定をする

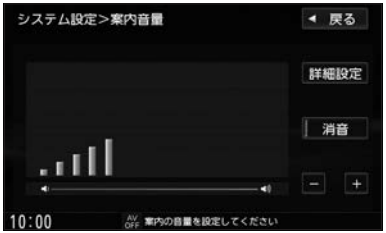
音声案内の音量調整をする

1 メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → 音量 → 案内音量 をタッチする

2 − ／ ＋ をタッチする

調整した音量でテスト音声が出ます。

※音声案内が消音に設定されている場合は音量を調整できません。

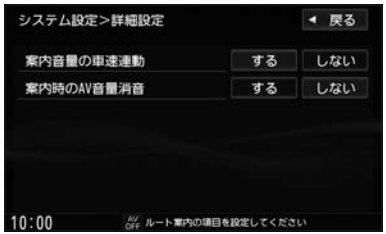


知識

- 消音 をタッチするたびに、消音↔消音解除が切り替わります。（表示灯点灯：消音、消灯：消音解除）
- 音声案内を消音に設定しても、次の音声は消音しません。
  - “携帯電話接続確認案内”を する に設定しているときに案内する音声
  - ETCの設定の各設定項目を する に設定しているときに案内する音声
    ➔ETCの設定をする（P.349）
  - “盗難多発地点音声案内”を する に設定しているときに案内する音声

音声案内の音量調整／詳細設定をする

音声案内の詳細設定をする

1	メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → 音量 → 案内音量 をタッチする
2	詳細設定 をタッチする
3	＜設定項目＞の設定ボタン（する ／ しない）から選んでタッチする 

＜設定項目＞

案内音量の車速連動	走行速度が速くなると、音声案内の音量を自動で上げる（する）／上げない（しない）を設定できます。
案内時のAV音量消音	音声案内中、AVソースの音声を消音 する ／ しない を設定できます。

地点登録をする

地点を登録するとその地点を地図上にマーク表示できたり、その地点までのルート探索が簡単にできたりして便利です。

地点登録をする

1 地図をスクロールして、登録したい地点にカーソル(−¦−)を合わせる

2 設定 → 地点登録 をタッチする

知識

- 地点は1ユーザーにつき最大900地点(自宅を含む)まで登録できます。
- Quickメニューに 地点を登録 を設定している場合は、 地点を登録 をタッチして現在地を登録できます。

自宅／登録地点の編集をする

自宅／登録地点の編集をする

1 メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 登録地編集 をタッチする

2 自宅編集 ／ お気に入り地点編集 ／ 登録地編集 から選んでタッチし、編集したい登録地点の登録地点詳細画面を表示する

登録地編集 をタッチした場合は、リストから編集する登録地点を選びます。

3 ＜編集項目＞のボタンをタッチして編集をする

＜編集項目＞

名称	登録地点の名称を編集します。
フォルダ	登録地点をフォルダに分けます。
電話番号	登録地点の電話番号を登録／編集します。
メモ	メモを登録／編集します。
マーク	地図に表示する登録地点マークを変更します。

知識

- 手順 2 で 登録地編集 をタッチしてフォルダリストが表示された場合は、フォルダを選んでから、地点を選んでください。
- 電話番号が登録されていると、登録地点詳細画面で 電話する が表示されます。ハンズフリーフォンで電話ができる状態で 電話する をタッチすると、登録した番号に発信できます。
- 自宅をフォルダに入れることはできません。

自宅／登録地点の編集をする

アラーム	登録地点に近づいた時のアラーム音の設定をします。 アラーム音と案内距離を選んでタッチしてください。 また 進入角度 をタッチすると、特定の方向から登録地点に近づいたときのみアラーム音が鳴るように設定できます。 ➔ アラームの進入角度設定をする（P.155）
消去	登録地点を消去します。
並べ替え	登録地点リスト（ 登録順 で表示したとき）の並び順を変更します。 登録地点をリストの何番目に移動するかを指定して並べ替えます。
位置修正	登録地点の位置を修正します。
電話する	ハンズフリーフォンで電話ができる状態でタッチすると、登録した電話番号に発信します。
お気に入り地点に登録する ／ お気に入り地点を解除する	登録地点をお気に入り地点に登録／お気に入り地点の登録を解除します。

知識

アラームについて

- アラームを設定しても、音声案内を消音に設定している場合はアラームは鳴りません。
  ➔ 音声案内の音量調整をする（P.150）

登録地点の並べ替えについて

- 自宅は登録地点リストに表示されないため、並べ替えはできません。
- 登録地点が1地点のみの場合は 並べ替え は表示されません。
- すべての登録地点を表示している場合は全登録地点で並べ替え、フォルダで表示している場合は選んだフォルダ内で並べ替えます。

お気に入り地点について

- お気に入り地点の登録は1地点のみです。
- お気に入り地点を登録すると、登録地点マークが自動的に ★ に変わります。
- お気に入り地点マーク ★ は変更できます。 ★ に戻したい場合は、一度お気に入り地点の登録を解除してから再度登録してください。

自宅／登録地点の編集をする

■アラームの進入角度設定をする

1 編集したい登録地点の登録地点詳細画面を表示する

➔ 自宅／登録地点の編集をする（P.153）

2 アラーム → 進入角度 をタッチする

3 登録地点付近の地図画面になるので、矢印（／）をタッチして、自車マーク（）の向きを調整する

※調整した自車マークの向きで近づいたときのみアラーム音が鳴ります。

4 セット をタッチする

知識

- 設定を解除するには 進入角度 をタッチして表示灯を消灯してください。

■ 登録地点のフォルダ名を編集する

1 メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 登録地編集 → フォルダ名編集 をタッチする

2 フォルダを選んでタッチして、フォルダ名を変更し、決定 をタッチする

知識

- メインフォルダはフォルダ名を変更できません。

自宅／登録地点を消去する

自宅／登録地点を消去する

1	メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 登録地編集 をタッチする
2	自宅編集 ／ お気に入り地点編集 ／ 登録地編集 から選んでタッチし、消去したい登録地点の登録地点詳細画面を表示する 登録地編集 をタッチした場合は、リストから消去したい登録地点を選びます。
3	消去 をタッチする

知識

- 手順 2 で 登録地編集 → 全消去 をタッチすると、登録地点をすべて消去します。

VICS情報を見る

FM多重放送によりVICS情報を受信できます。（FM多重放送の選局が必要です。➔FM多重放送の選局をする（VICS受信）（P.162））
VICS情報は情報内容によって表示方法が異なり、手動表示／自動割り込み表示／地図上表示で表示されます。

VICSとは

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。

知識

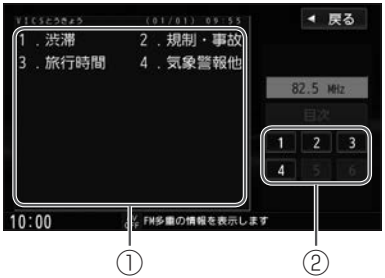
- 車両のキースイッチ（電源ポジション）をOFFにしたり、FM多重放送の受信周波数が変わったりすると、受信したVICS情報が消去されることがあります。

手動表示(文字情報／図形情報を見る)

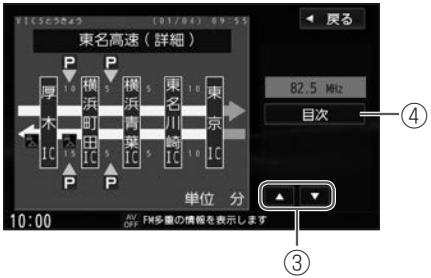
1 メニュー を押して、 情報・設定 → 情報 → 渋滞情報 をタッチする

2 “FM VICS” の 文字情報 ／ 図形情報 ／ 緊急情報 から表示したいものを選んでタッチする

文字情報表示画面



図形情報表示画面



① **目次内容**

② **目次選択ボタン**

③ ▲／▼

ページを戻し／送りします。

④ 目次

目次画面に戻ります。

知識

- 手動表示の情報を表示中に緊急情報を受信した場合は、自動的に緊急情報表示に切り替わります。この場合、自動的にはもとの画面に戻りませんので、もとの画面に戻すには再度左記の操作を行ってください。

自動割り込み表示

緊急情報などVICS情報には自動で割り込み表示をするものがあります。

知識

- 範囲表示 をタッチすると、警戒地域の範囲の表示／非表示を切り替えます。（緊急情報によっては警戒地域の範囲を地図上に赤の透過色で表示する場合があります。）
- ルート再探索中の場合など、一部割り込み表示をしないことがあります。

VICS情報を見る

地図上表示

VICS情報を受信すると、地図画面に交通規制や渋滞などの情報が表示されます。

① **VICS情報提供時刻**
"--:--"のときはVICS情報が未受信です。

② **VICS渋滞情報**

③ **VICSマーク**

知識

- 情報が多い場合は、VICS情報を表示するまでに数秒かかることがあります。
- 渋滞情報は、情報が不明な場合は表示されません。
- 縮尺によっては地図上表示ができない場合があります。
- 地図をスクロール中、VICS情報の表示は、データ処理のために消える場合がありますが、スクロールをやめると表示されます。
- 地図をスクロールしてVICSマークにカーソル(-¦-)を合わせると、詳細情報が表示されます。
- 黄の透過色の表示はマーク情報の対象範囲を示します。

■VICS渋滞情報

━━━	従来の渋滞情報 道路に設置の車両感知器などで収集した現在の渋滞情報
═══	プローブ情報<リアルタイム情報> タクシーなど走行している車から収集した現在の渋滞情報
======	プローブ情報<統計情報> タクシーなどから収集した情報を統計処理し、渋滞を予測した情報

※色は渋滞度を示します。（赤色：渋滞、橙色：混雑、緑色：順調）

■VICSマーク

規制などの情報をマークで表示します。

（例）

	事　故		対面通行		チェーン規制		大型通行止め
	故障車		車線規制		凍　結		雨
	路上障害		入口制限	10	速度規制		雪
	工　事		入口閉鎖		徐　行	災害速報	災害速報
	作　業		行事等		進入禁止	気象速報	気象警戒情報
	片側交互通行		火　災		通行止め	特別警報	特別警報

FM多重放送の選局をする（VICS受信）

1 メニュー を押して、情報・設定 → 情報 → 渋滞情報 → 周波数設定 をタッチする

2 ＜選局方法＞を選んで選局する

＜選局方法＞

自動選局	自動で放送局をサーチして、選局します。 自動選局 をタッチし、表示灯を点灯してください。 （表示灯点灯：自動選局、消灯：自動選局解除）
手動選局	放送局周波数を手動で変更して選局する方法です。 ＋ ／ − をタッチし、放送局周波数を変更してください。
エリア選局	現在地周辺の放送局リストから選局する方法です。 エリア選局 をタッチし、放送局リストから選局してください。
プリセット選局	あらかじめプリセットボタンに登録しておいた放送局を選局する方法です。 プリセットボタンから選局してください。 ➲ プリセットボタンに放送局を登録する（P.163）

知識

- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、自動選局／エリア選局ができない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。
- 電波が強くなければVICS情報は受信できません。音声放送が聞けたとしても、VICS情報は受信できない場合があります。

自動選局について

- 自動選局に設定すると、“サーチ中”と表示され、自動選局を開始します。（放送局が受信できるまでは、“サーチ中”を表示したままとなります。）
- 自動選局に設定中は、受信中の電波が弱くなると自動的に電波の強い周波数（放送局）に切り替えます。

手動選局について

- ＋ ／ − をタッチするたびに0.1 MHzずつ放送局周波数が変わります。タッチしたままにすると始めは0.1 MHzずつ、そのあと1 MHzずつ変わります。

FM多重放送の選局をする（VICS受信）

プリセットボタンに放送局を登録する

1 **登録したい放送局を手動選局またはエリア選局で選局する**

➔FM多重放送の選局をする（VICS受信）（P.162）

2 **登録先のプリセットボタンを選んで長押しする**

選局中の放送局周波数が上書きで登録されます。

知識

- 放送局を3局まで登録できます。
- 自動選局に設定している場合は解除してください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始め、登録する前に周波数が変わってしまう場合があります。

VICS情報の地図表示設定をする

VICS情報を地図画面のどの道路(一般道路、有料道路)に表示するか、またどの項目(駐車場、規制など)を表示するかを設定できます。

VICS情報の地図表示設定をする

1 メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 渋滞情報 → VICS表示設定 をタッチする

2 <表示設定項目>から表示設定をしたい項目を選んでタッチする

表示灯の点灯↔消灯を切り替えて設定します。(点灯:表示、消灯:非表示)

知識

- 有料道 / 一般道 の表示灯を点灯すると、駐車場 / 規制 / 渋滞・混雑 / 渋滞なし の表示設定に従ってVICS情報表示をします。
- 規制 の表示灯を消灯すると、規制情報に加え、範囲情報も非表示になります。

<表示設定項目>

情報点滅		渋滞情報などを示す矢印や線表示を点滅させる/させないを設定します。
有料道		有料道路のVICS情報の表示/非表示を設定します。
一般道		一般道路のVICS情報の表示/非表示を設定します。
駐車場		駐車場情報の表示/非表示を設定します。
規制情報	規制	規制情報の表示/非表示を設定します。
	範囲	範囲情報(例:大雨洪水警報により通行止め規制が起こっている範囲)のある規制情報について表示/非表示を設定します。
渋滞情報	渋滞・混雑	渋滞情報のうち<赤色:渋滞>と<橙色:混雑>について表示/非表示を設定します。
	渋滞なし	渋滞情報のうち<緑色:順調>について表示/非表示を設定します。

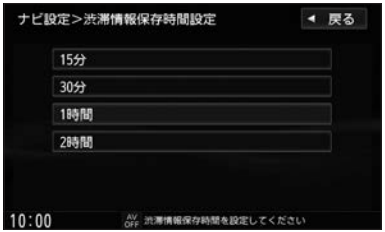
渋滞情報の保存時間を設定する

取得した渋滞情報を保存する時間を設定できます。

渋滞情報保存時間を設定する

1 メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 渋滞情報 → 渋滞情報保存時間設定 をタッチする

2 保存時間を選んでタッチする



知識

- 渋滞情報が受信されない状態で、設定した保存時間を過ぎると情報が消去されます。
- 設定した保存時間内に新しい渋滞情報を受信した場合は、情報が上書きされます。

地図更新について

- 本機では、車両初年度登録日より3年の間に、日産販売会社(ディーラー)で点検入庫時(安心6か月点検、法定12か月点検、初回車検)に限り、全国地図更新を無料で3回ご利用いただけます。(レンタカー、自家用貨物自動車は、期間内の法定6か月点検も含みます。)
  ※無料地図更新での更新可能な地図データは2021年第02版までとなりますので、ご了承ください。
- 全国地図更新は、日産販売会社(ディーラー)にて取り扱う更新となります。詳しくは日産販売会社(ディーラー)にご相談ください。
- 地図を更新すると、以下の項目が消去または初期設定(工場出荷状態)に戻ります。あらかじめご了承ください。
  －ランドマークの設定が初期設定に戻ります。
  －受信したVICS情報の一部が消去されます。
  －保存されていないルートは消去されます。
  －ルート学習結果が消去されます。

AVの共通操作

再生／視聴するAVソースを選ぶ	P.168
AVをON／OFFにする	P.171
AVソースの音量を調整する	P.172
AV画面に切り替える	P.174
AV設定をする	P.175

テレビ・ラジオの視聴

TVを見る	P.186
TVの設定をする	P.202
ラジオ（FM／AM）を聴く	P.205
ラジオで交通情報を聴く	P.210

音楽・映像の再生

iPodを接続する	P.211
iPodの音楽を聴く	P.212
Bluetooth® Audioを聴く	P.219
WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する	P.226
SDカードを挿入する／取り出す	P.228
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽を聴く	P.229
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの画像を見る	P.235
SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る	P.239
ディスクを挿入する／取り出す	P.242
Blu-ray Discを見る	P.243
DVDを見る	P.257
Blu-ray Disc・DVDの設定をする	P.266
CDを聴く	P.274

MUSIC STOCKERを使う

音楽CDを録音する	P.282
録音設定をする	P.286
MUSIC STOCKERの音楽を聴く	P.287
録音した曲を消去する	P.293
Gracenoteデータベースの更新について	P.296
ローカルアップデートをする	P.299
Gracenoteデータベースを初期化する	P.302
録音した曲のタイトル情報を修正する	P.303
再生しないアルバム／トラックを選ぶ	P.305
ジャケット写真を登録する	P.307
お気に入り登録をする	P.308
MUSIC STOCKERの空き容量を確認する	P.312

外部機器の接続

外部機器の映像／音声を視聴する	P.313

再生／視聴するAVソースを選ぶ

AVソースはAVメニューから選択します。

再生／視聴するAVソースを選ぶ

1	**AV を押す** ＜AVメニュー＞が表示されます。 再生中のAV画面に切り替わる場合があります。この場合は、再度 AV を押してください。
2	**再生／視聴したいソースを＜AVメニュー＞から選んでタッチする**

再生／視聴するAVソースを選ぶ

＜AVメニュー＞

iPod	iPod／iPhoneに取り込んだ音楽を再生します。	➔iPodの音楽を聴く（P.212）
SD	SDカードに保存した音楽／画像／動画を再生します。	➔SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽を聴く（P.229） ➔SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの画像を見る（P.235） ➔SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る（P.239）
FM／AM	FM／AMラジオ放送を聴きます。FM放送↔AM放送を切り替えるには、FM／AM操作画面の FM／AM をタッチしてください。	➔ラジオ（FM／AM）を聴く（P.205）
TV	地上デジタルTV放送を視聴します。	➔TVを見る（P.186）
WALKMAN®／USB	WALKMAN®／USBメモリーに保存した音楽／画像／動画を再生します。	➔SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽を聴く（P.229） ➔SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの画像を見る（P.235） ➔SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る（P.239）
Bluetooth Audio	**Bluetooth®**対応オーディオ機器を本機と**Bluetooth®**接続して本機で音楽を聴きます。	➔**Bluetooth®** Audioを聴く（P.219）
CD／DVD／Blu-ray Disc ＊1 CD／DVD ＊2	CD／DVD／Blu-ray Discを再生します。	➔CDを聴く（P.274） ➔DVDを見る（P.257） ➔Blu-ray Discを見る（P.243）
MUSIC STOCKER	本機で録音した音楽CDの曲を再生します。	➔MUSIC STOCKERの音楽を聴く（P.287）

＊1… MM518D-L MM518D-W　＊2… MM318D-L MM318D-W MM318D-A

再生／視聴するAVソースを選ぶ

HDMI ＊1	HDMIケーブルで接続した外部機器の映像・音声を本機で視聴できます。	➔ 外部機器の映像／音声を視聴する（P.313）
VTR ＊2	AVケーブルで接続した外部機器の映像・音声を本機で視聴できます。	➔ 外部機器の映像／音声を視聴する（P.313）
ドライブレコーダー ＊2	別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー／ドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面でドライブレコーダーの映像を見ることができます。	➔ 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る（P.329） ➔ ドライブレコーダーの映像を見る（P.347）
AUX ＊3	本機のAUX端子に接続した外部機器の音声を本機で聴くことができます。	➔ 外部機器の映像／音声を視聴する（P.313）
交通情報	交通情報のラジオ放送を聴くことができます。	➔ ラジオで交通情報を聴く（P.210）

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ
＊2…別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー／ドライブレコーダーを接続している場合、 VTR が ドライブレコーダー になります。
＊3… MM518D-L MM518D-W MM318D-L MM318D-W のみ

AVをON／OFFにする

AVをON／OFFにする

1 AV を長押しする＊1／音量 を押す＊2

知識

- 音楽CDを録音中の場合、CDソースをOFFにしても録音は継続されます。
- **Bluetooth®** Audioソースの場合、**Bluetooth®**対応オーディオ機器の仕様によっては、AVをOFFにしたり本機の電源を切ったりしても、再生を継続するものがあります。電池の消費などが気になる場合は、機器側で再生を停止するか、機器の電源をOFFにしてください。

＊1… MM518D-L(エルグランド) MM318D-A

＊2… MM518D-L(セレナ) MM518D-L(エクストレイル) MM518D-W MM318D-L MM318D-W

AVソースの音量を調整する

AVソースの音量を調整する

1 AVソース再生中に
－ 音量 ＋ を押す＊1／ 音量 を回す＊2

知識

- AVがOFFのとき、音量は調整できません。
- AVソースは各ソースで個別に音量を調整できます。
  ※AM放送とFM放送は音量調整が連動します。

音を消すには

- （オプションスイッチ）に消音を設定している場合は、 を押すと音を消すことができます。消音を解除するには再度 を押してください。
  ➔オプションスイッチを設定する（P.434）

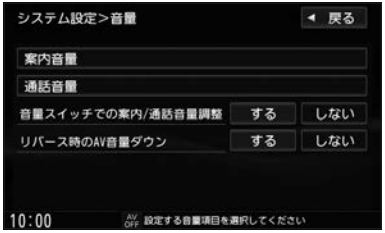
＊1… MM518D-L（エルグランド） MM318D-A
＊2… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W MM318D-L MM318D-W

AVソースの音量を調整する

音量設定をする

1 メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → 音量 をタッチする

2 ＜設定項目＞を選んで設定する



知識

- 音声認識中は、“音量スイッチでの案内／通話音量調整”の設定に関わらず − 音量 ＋ *1／ 音量 *2を操作すると音声認識の音声ガイド音量を調整します。

＜設定項目＞

案内音量	➔ 音声案内の音量調整をする（P.150）
通話音量	➔ ハンズフリーフォンの通話設定をする（P.365）
音量スイッチでの案内／通話音量調整	− 音量 ＋ *1／ 音量 *2で調整する音量が下記のようになります。 する ：音声案内中は音声案内の音量を調整、ハンズフリーフォン使用中は受話音量／着信音量を調整します。 しない ：音声案内中やハンズフリーフォン使用中、音声案内の音量／受話音量／着信音量は調整せず、AV音量を調整します。
リバース時のAV音量ダウン	車を後退時にAV音量を下げる（ する ）／下げない（ しない ）を設定できます。

＊1… MM518D-L（エルグランド） MM318D-A
＊2… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W MM318D-L MM318D-W

AV画面に切り替える

AV画面に切り替える

1	**AV を押す** ※AVがOFFの場合はAVメニューが表示されます。

AV設定をする

音響効果の設定などAVに関する設定ができます。

AV設定画面

メニュー を押して、 情報・設定 → AV設定 をタッチするとAV設定画面が表示されます。
AV設定画面では、以下の設定ができます。

① **バランス／フェーダー設定**
前後左右のスピーカーの音量バランスを設定します。
➔ バランス／フェーダー設定をする（P.177）

② **音響効果の設定**
サラウンドの種類を選んで設定します。
➔ 音響効果の設定をする（P.178）

知識

- AVがOFFのとき、AV設定はできません。AVをONにしてから設定してください。
- イコライザー設定と音響効果のSRS CS Autoは同時に両方有効にはできません。（例：SRS CS Autoを設定すると、イコライザー設定はOFFになります。）

③ **イコライザー設定**

各帯域の音のレベル設定をして、音質調整をします。

➔ イコライザー設定をする（P.181）

④ **車速連動音量**

車速連動音量設定をします。

➔ 車速連動音量を設定する（P.183）

⑤ **その他設定**

スピーカーの設定などをします。

➔ スピーカーの出力レベルを設定する（P.184）
➔ スピーカーディレイを設定する（P.185）

バランス／フェーダー設定をする

1	メニュー を押して、 情報・設定 → AV設定 をタッチする
2	“バランス／フェーダー” の 設定 をタッチする
3	＜調整ボタン＞をタッチして、調整する

＜調整ボタン＞

▲	後スピーカーの音量が下がります。
▼	前スピーカーの音量が下がります。
◀	右スピーカーの音量が下がります。
▶	左スピーカーの音量が下がります。

知識

- イラストを直接タッチし、ポイント( )を移動して調整することもできます。
- センター をタッチすると、音量バランスをセンターに戻します。

音響効果の設定をする

※交通情報ソースを聴いているとき本設定はできません。

1 メニュー を押して、情報・設定 → AV設定 をタッチする

2 “モード” の ◀ ／ ▶ をタッチして、<音響効果>を選ぶ

知識

- 音響効果の設定を解除するには、“モード” の ◀ ／ ▶ をタッチして、「OFF」を選んでください。

<音響効果>

音の匠 MM518D-L MM518D-W のみ		レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しむことができます。 “モード” で「音の匠」を選んだあと、“サラウンド” の ◀ ／ ▶ をタッチして、音の匠の種類を選んでください。
	匠 TAKUMI マスターサウンド	レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりよいスタジオサラウンドに近い音を再現します。(2Wayスピーカ向き)
	極 KIWAMI 高域強調	音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカー向き)
	和 NAGOMI 会話重視	人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聴きながら車内の会話が楽しめるモード

SRS CS Auto		SRSのサラウンド効果を得ることができます。2スピーカーでは、設定しても本サラウンド効果は得られません。必要に応じて設定が可能です。“モード”で「SRS CS Audio」を選んだあと、“サウンド”の 設定 をタッチして、効果の種類を選んでください。 ➔SRS CS Autoの設定をする（P.180）
DSP		“モード”で「DSP」を選んだあと、“サラウンド”の ◀ ／ ▶ をタッチして、擬似再現したい音場環境を選んでください。
	LIVE	ライブハウスのような音場
	HALL	コンサートホールのような音場
	STADIUM	スタジアムのような音場
	CHURCH	残響音の多い教会のような音場

SRS CS Autoの設定をする

1	メニュー を押して、 情報・設定 メニューから AV設定 をタッチする
2	“モード” の ◀ ／ ▶ をタッチして、「SRS CS Auto」を選んで、“サラウンド” の 設定 をタッチする
3	＜設定項目＞を選ぶ

＜設定項目＞

SRS CS Auto	FOCUS	感覚的に、耳の高さから音が聞こえるように調整できます。（車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります。）＋ ／ − をタッチして、各スピーカーの調整をしてください。
	TruBass	低音の強さを設定できます。 ＋ ／ − をタッチして、各スピーカーの調整をしてください。 ＋ ：低音が強くなる − ：低音が弱くなる
	MixToRear	DVDなどによってはセリフなどがフロントスピーカーのみで出力されるものがあります。 MixToRearを調整すると、フロントの出力を後席にも出力できます。 ◀ ／ ▶ をタッチして、出力量を調整してください。 ◀ ：後席の出力量が小さくなる ▶ ：後席の出力量が大きくなる

AV設定をする

イコライザー設定をする

あらかじめ登録されたイコライザー設定(おすすめ／ROCK／JAZZ)と、お好みの設定値に変更して使用するイコライザー設定(USER)から選ぶことができます。
※交通情報ソースを聴いているとき本設定はできません。

1	メニュー を押して、情報・設定 → AV設定 をタッチする
2	“イコライザープリセット” の おすすめ ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER から お好みのイコライザー設定を選んでタッチする

知識

- 音響効果設定で「SRS CS Auto」を設定している場合はイコライザー設定はできません。
- USER は初期値がOFF(各帯域のレベルがすべてゼロ)ですので、“イコライザープリセット”の 設定 をタッチして、設定値を変更してください。
- OFF をタッチするとイコライザー設定を解除します。

■イコライザープリセットの設定値を変更する

1 メニュー を押して、情報・設定 → AV設定 をタッチする

2 “イコライザープリセット” の 設定 をタッチする

3 設定値を変更したいボタン(おすすめ ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER)を選んでタッチする

初期化 をタッチすると選んでいるプリセット(おすすめ ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER)の設定値を初期値に戻します。

4 各帯域の ▲ ／ ▼ をタッチしてレベルを調整する

画面をタッチしてもレベルを調整できます。

5 登録 をタッチする

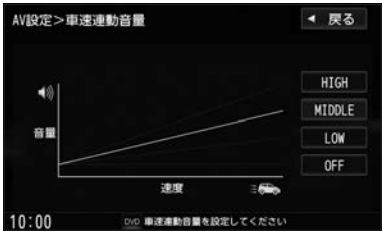
車速連動音量を設定する

車の速度に応じてAVソースの音量を自動調整するよう設定できます。

1 メニュー を押して、 情報・設定 → AV設定 をタッチする

2 車速連動音量 をタッチする

3 ＜車速連動レベル＞から選んでタッチする



＜車速連動レベル＞

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化します。
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの中間の振り幅で変化します。
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化します。
OFF	音量の車速連動をしません。

知識

- “案内音量の車速連動”が する に設定されている場合、ルート案内などの音声案内の音量も自動調整されます。

スピーカーの出力レベルを設定する

1 AVメニューから FM／AM をタッチする

2 ⏮ ⏭ を押して＊1／ TRACK SEEK を回して＊2、放送局が無い周波数に合わせる

ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。

3 メニュー を押して、 情報・設定 → AV設定 → その他設定 → スピーカー設定 → スピーカー出力レベル をタッチする

4 ◀／▶ をタッチして各スピーカーの出力レベルを設定する

ラジオの「ザー」という音が最も小さく聞こえるスピーカーを探し、そのスピーカーと同じ音量に聞こえるように、他のスピーカーの音量を調整してください。

知識

- 0 dBが標準で、マイナス値にすると出力が小さく、プラス値にすると出力が大きくなります。
- 2スピーカーの場合でも、“リアR”、“リアL”の ◀／▶ をタッチできますが、設定は無効です。

＊1… MM518D-L(エルグランド) MM318D-A
＊2… MM518D-L(セレナ) MM518D-L(エクストレイル) MM518D-W MM318D-L MM318D-W

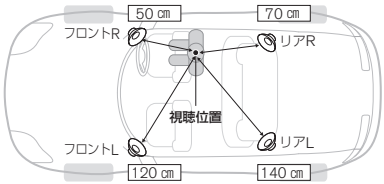
スピーカーディレイを設定する

視聴位置から最も距離の離れたスピーカーに合わせて他のスピーカーの出力タイミングを遅らせます。（設定値 10 cmあたり約0.3 ミリ秒遅らせます。）

1 メニュー を押して、情報・設定 → AV設定 → その他設定 → スピーカー設定 → スピーカーディレイ をタッチする

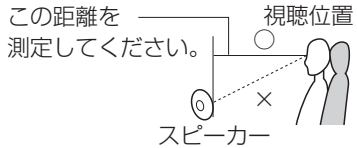
2 ◀ ／ ▶ をタッチして視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定する

設定例



知識

- 視聴位置からスピーカーまでの距離は水平距離を測って設定してください。



- 2スピーカーの場合でも、“リアR”、“リアL”の ◀ ／ ▶ をタッチできますが、設定は無効です。

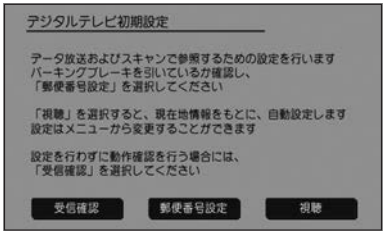
AV

TV画面を表示する

1	AVメニューから TV をタッチする

■TVの初期設定を行う

初期設定をしていない場合、AVメニューから TV をタッチしたあと、初期設定画面が表示されます。初期設定では、データ放送でお住まいの地域の情報(天気予報など)を見られるように、郵便番号を設定します。

1	郵便番号設定 をタッチする	
2	お住まいの地域の郵便番号を入力して、視聴 をタッチする	

知識

- 引っ越しなどでお住まいの地域が変わる場合は、設定を変更してください。
  ➔ ユーザー情報設定を変更する(P.203)
- 手順 1 で 視聴 をタッチすると、初期設定をしないで、すぐにTVを見ることができます。この場合、郵便番号は現在地情報をもとに自動で設定されますので、お住まいの地域の設定に変更するために、ユーザー情報設定で設定を変更してください。
  ➔ ユーザー情報設定を変更する(P.203)

緊急警報放送について

■緊急警報放送(EWS:Emergency Warning System)とは

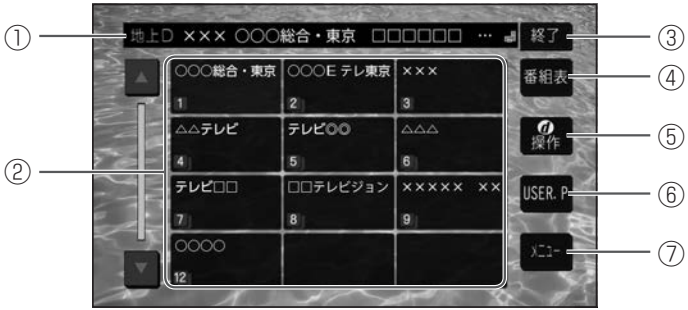
大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

■緊急警報放送(EWS)を受信したら、自動的に緊急警報放送に切り替わります

- 緊急警報放送が終了しても、TV画面のままになります。(もとのAVソースには戻りません。もとに戻すには、手動で切り替えてください。)
- 視聴中のTVの放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的には切り替わりません。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- TVソース以外のソースを選んでいても、緊急警報放送が開始された場合、自動的に緊急警報放送に切り替わることがあります。

操作画面の見かた

TV視聴中に画面をタッチするとTV操作画面が表示されます。



① **視聴中の番組**

② **チャンネルリスト**

③ **終了**

TV画面に戻します。

④ **番組表**

番組表を表示します。

⑤ **d操作**

カーソルパネルを表示します。

⑥ **チャンネル設定の切替ボタン**

USER.P ：スキャンを行って設定したチャンネルリスト設定(ユーザープリセット)に切り替えます。

➔ ユーザープリセットのチャンネル設定をする(P.204)

(初めて USER.P をタッチしたときは、スキャンするかどうかメッセージが表示されますので、 はい をタッチしてスキャンを行ってください。)

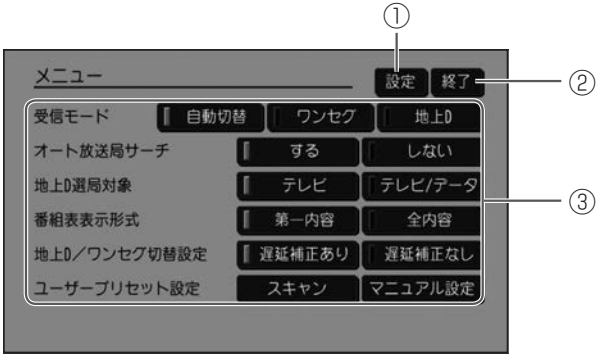
AREA.P ：現在地情報をもとに自動で設定したチャンネルリスト設定(エリアプリセット)に切り替えます。

⑦ メニュー

＜TVメニュー＞を表示します。

■TVメニューの見かた

TV視聴中に画面をタッチして メニュー をタッチすると、TVメニューが表示されます。



① 設定
TVの設定をします。
➔TVの設定をする／情報を見る（P.202）

② 終了
TV画面に戻します。

③ **TVメニュー**

＜TVメニュー＞

受信モード	自動切替	電波の受信状況により、12セグ／ワンセグを自動で切り替えます。
	ワンセグ	受信状況に関わらずワンセグを受信します。
	地上D	受信状況に関わらず12セグを受信します。
オート放送局サーチ		受信状態が悪くなった場合、受信状態の良い中継局／系列局に自動で切り替える（する）／切り替えない（しない）を選択できます。 ※ する に設定しても、必ず切り替えができるわけではありません。
地上D選局対象	テレビ	テレビサービスのみ選局します。 ※番組表の表示もテレビサービスのみになります。
	テレビ／データ	テレビサービスと独立データサービスを選局します。
番組表表示形式	第一内容	番組表表示するとき、各放送局の第一サービスのみを表示します。 ※第一サービス以外のサービスを視聴中の場合は、第一サービスと視聴中のサービスの2つを表示します。
	全内容	番組表表示するとき、各放送局の全サービスを表示します。
地上D／ワンセグ切替設定		※設定したあと別のチャンネルに切り替えたときに設定が有効になります。
	遅延補正あり	地上デジタル（12セグ）を遅延補正し、12セグとワンセグを切り替えるときスムーズに切り替えます。
	遅延補正なし	地上デジタル（12セグ）を遅延補正しません。
ユーザープリセット設定		➔ ユーザープリセットのチャンネル設定をする（P.204）

選局する

■TV操作画面のチャンネルリストから選局する

1	TV操作画面のチャンネルリストから選んでタッチする ➔ 操作画面の見かた（P.188）

■チャンネルを1つずつ進めたり戻したりする

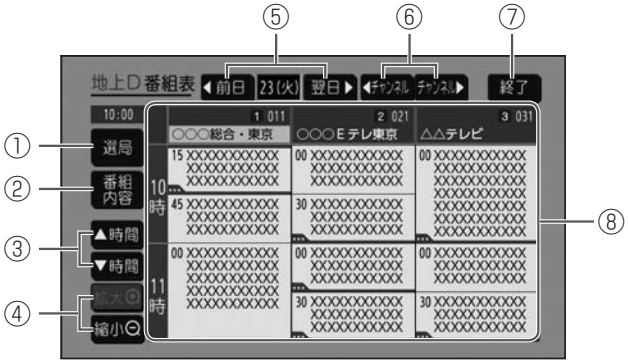
1	⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2

＊1… MM518D-L（エルグランド） MM318D-A
＊2… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W MM318D-L MM318D-W

番組表の見かた

TV操作画面で 番組表 をタッチすると番組表が表示されます。

➔ 操作画面の見かた(P.188)



① 選局

TV操作画面(チャンネルリストの画面)を表示します。

② 番組内容

視聴中の番組内容を表示します。

③ ▲時間 ▼時間

表示する時間帯を選びます。(過去の番組は表示できません。)

④ 拡大⊕ 縮小⊖

番組表を拡大／縮小します。

知識

- TVメニューで番組表表示形式の設定をすると、1つの放送局(チャンネル)に複数の番組がある場合に、1番組のみ表示するか、全番組を表示するかを選べます。
  ➔TVメニューの見かた(P.190)
- 番組と番組の間にある緑線は放送時間の短い番組があるという印です。タッチすると番組名が表示されます。
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでしばらくかかる場合があります。
- 12セグの場合、番組表は現在放送中の番組から7日後まで表示されます。
- ワンセグの場合、番組表は現在放送中の番組から最大10番組まで表示されます。

⑤ ◀前日 翌日▶
前日／翌日に切り替えます。（過去の日は表示できません。）

⑥ ◀チャンネル チャンネル▶
表示するチャンネルを選びます。

⑦ 終了
TV画面に戻します。

⑧ **番組表**
番組をタッチすると、選んだ番組の番組内容を表示します。
チャンネル（放送局名）をタッチすると、選んだチャンネルを選局します。

■番組内容画面の見かた

番組表で番組をタッチすると、番組内容画面が表示されます。

① **内容表示切替ボタン**

内容 ：番組内容表示に切り替えます。

属性 ：番組属性表示に切り替えます。

② 今すぐ見る 視聴予約

すでに放送が始まっている番組を選んだ場合は 今すぐ見る が表示され、タッチするとTV画面に切り替わります。

まだ放送が始まっていない番組を選んだ場合は 視聴予約 が表示され、タッチすると視聴予約ができます。

視聴予約をする

1 TV操作画面で 番組表 をタッチする

➔ 操作画面の見かた(P.188)

2 番組表から視聴予約したい番組を選んでタッチする

3 視聴予約 をタッチする

知識

- 予約開始時間が重なった場合は、視聴予約できません。
- 番組視聴中に予約した番組が始まると、その番組のチャンネルに切り替わります。
- 他のソース使用中に予約した番組が始まると、自動でTVソース(予約番組)に切り替わります。
- 視聴予約した放送局が受信できない場合、予約した番組のチャンネルに切り替わったあと、自動で中継局や系列局のサーチを行います。
- 走行中でも視聴予約は実行されますが、TV映像は表示されません。
- 放送時間が変更になっても、予約時間は自動で変更になりません。
- 視聴予約をした番組が終了しても、予約した番組が始まる前に見ていたチャンネルには戻りません。

知識

- 受信モードが 自動切替 になっていない場合、視聴予約したチャンネルに切り替えられない場合があります。（例：ワンセグ番組表で視聴予約していて、予約開始時間に受信モードを 地上D にしていると、視聴予約は実行できません。）
- 緊急警報放送視聴中は視聴予約を実行しません。

視聴予約を確認する／取り消す

1 **TV操作画面で メニュー → 設定 → 視聴予約確認／編集 をタッチする**

➔ 操作画面の見かた（P.188）

視聴予約している番組のリストが表示されます。

2 **リストから取り消したい番組を選んでタッチし、✔印を付ける**

タッチするたびに✔印が付いたり消えたりします。

3 **取消 をタッチする**

✔印を付けた番組が視聴予約リストから消去されます。

信号切り替えを行う

1 TV操作画面で メニュー → 設定 → 信号切替 をタッチする

➔ 操作画面の見かた（P.188）

2 ＜設定項目＞を選んで設定する

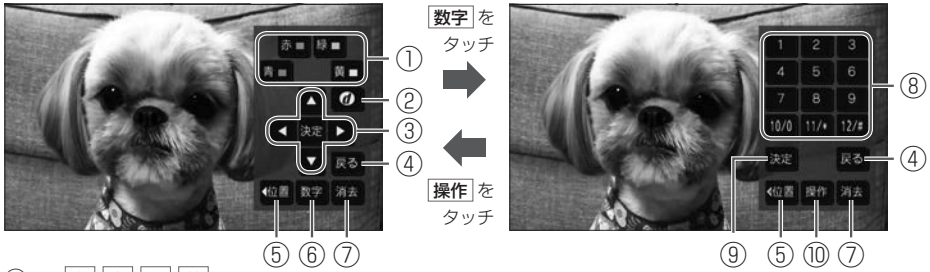
＜設定項目＞

マルチビュー	視聴中のチャンネルで主番組と副番組が放送されている場合、◀／▶で切り替えることができます。
映像	視聴中の番組に複数の映像がある場合、◀／▶で切り替えることができます。
音声	視聴中の番組に複数の音声がある場合、◀／▶で切り替えることができます。
二重音声	音声多重放送の場合、◀／▶で切り替えることができます。
字幕	字幕の言語をタッチして選ぶことができます。（表示しない：字幕を表示しません）
文字スーパー	文字スーパーの言語をタッチして選ぶことができます。（表示しない：文字スーパーを表示しません）

データ放送を視聴する

1	**TV操作画面で d操作 をタッチする** ➔ 操作画面の見かた(P.188) カーソルパネルが表示されます。
2	**d をタッチする**

■カーソルパネルの見かた



① 青 赤 緑 黄
データ放送のコンテンツに依存した動作をします。

② d
データ放送を表示します。データ放送表示時に再度タッチで、通常放送画面に戻ります。

③ ◀ ▼ ▶ ▲ 決定
データ放送画面内の項目を選択／実行します。

④ 戻る
データ放送表示時に1つ前の画面に戻ります。

⑤ 位置
カーソルパネル／数字パネルの表示位置を変更します。（画面左／右）

⑥ 数字
数字パネルに切り替えます。

⑦ 消去
カーソルパネル／数字パネルを消します。

⑧ **数字ボタン**

⑨ 決定
入力した数字を決定／実行します。

⑩ 操作
カーソルパネルに切り替えます。

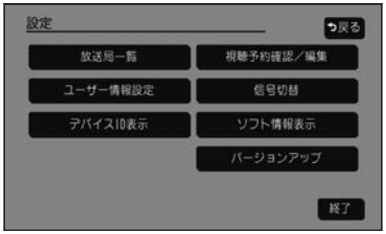
TVの設定をする

TVの設定をする／情報を見る

1 TV操作画面で メニュー → 設定 をタッチする

➔ 操作画面の見かた（P.188）

2 ＜設定項目＞を選んでタッチする



＜設定項目＞

放送局一覧	チャンネル設定されている放送局を確認できます。
視聴予約確認／編集	➔ 視聴予約を確認する／取り消す（P.198）
ユーザー情報設定	➔ ユーザー情報設定を変更する（P.203）
信号切替	➔ 信号切り替えを行う（P.199）
デバイスID表示	デバイスIDを確認できます。
ソフト情報表示	ソフト情報を確認できます。
バージョンアップ	TV機能のバージョンアップをします。

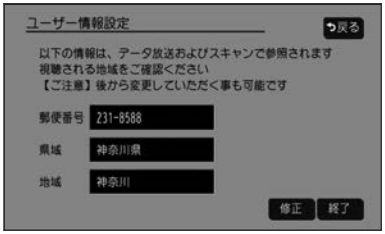
TVの設定をする

ユーザー情報設定を変更する

1 TV操作画面で メニュー → 設定 → ユーザー情報設定 をタッチする

➔ 操作画面の見かた(P.188)

2 修正 をタッチする



3 お住まいの地域の郵便番号を入力して、 次へ をタッチする

4 お住まいの都道府県を選んでタッチする

※以下の地域にお住まいの場合は下記のようにタッチしてください。

・伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合：
沖縄・その他の島部 → 東京都島部 をタッチ

・南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合：
沖縄・その他の島部 → 鹿児島県島部 をタッチ

5 表示された地域を確認して、 完了 → 終了 をタッチする

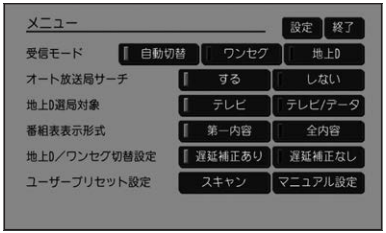
知識

- 郵便番号を設定することで、地域に密着したデータ放送(たとえば、地域の天気予報など)を視聴できるようになります。

ユーザープリセットのチャンネル設定をする

1 **TV操作画面で メニュー → スキャン をタッチする**

➔ 操作画面の見かた（P.188）



2 **各チャンネル番号の放送局名を確認して、 終了 をタッチする**

各チャンネルに設定されている放送局を変更するには、 ▲ ／ ▼ をタッチして修正したいチャンネルにカーソルを合わせ、 ◀ ／ ▶ をタッチして放送局を選んでください。

知識

- 手順 1 で スキャン をタッチできない場合、TV操作画面で USER.P をタッチしてから、手順 1 をやり直してください。
- 本設定の終了後に手順 2 の放送局変更をやり直したいときは、TV操作画面で メニュー → マニュアル設定 メニューをタッチしてください。

AV

ラジオ(FM／AM)を聴く

ラジオ(FM／AM)を聴く

1 **AVメニューから FM／AM をタッチする**

FM／AM操作画面になります。

2 **FM／AM操作画面の FM／AM をタッチして、FM放送↔AM放送を切り替える**

知識

- 本機はワイドFM(FM補完放送)に対応しています。ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、災害や電波障害に強いFMの周波数帯を使いAMラジオの番組を放送することです。AM放送が聴き取りにくい地域でもFM放送でAMラジオの番組を聴くことができます。ワイドFMの対応、周波数などについては、各地域放送局のWebサイトをご確認ください。

FM／AM操作画面の見かた

FM操作画面(エリアプリセットリスト表示時)

USER.P をタッチ　　AREA.P をタッチ

FM操作画面(ユーザープリセットリスト表示時)

① **各種マーク**

- EQ ：イコライザー設定マーク
- HALL ：サラウンド設定マーク
- STEREO ：ステレオ受信マーク
- AREA.P ：放送局のリストマーク

知識

- 選んだ放送局が必ず受信できるわけではありません。
- エリアプリセットリストは最大で18局まで表示されます。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- エリアプリセットリストは自動的に更新されませんので、長距離移動したときなど現在地周辺の放送局をリストに表示できていない場合があります。その場合は、エリア更新 をタッチしてエリアプリセットリストを更新してください。(エリア更新 をタッチしても、現在地から距離が離れている放送局は表示されない場合があります。)
- 放送局名は本機のデータに基づいて表示されます。
- データの無い放送局名は表示されません。
- 放送局のリストで、ワイドFMとして利用される90.1 MHz以上の周波数には ワイドFM が表示されます。

② FM／AM
FM放送↔AM放送を切り替えます。

③ USER.P／AREA.P
USER.P：放送局のリストをユーザープリセットリストに切り替えます。
AREA.P：放送局のリストをエリアプリセットリストに切り替えます。

④ エリア更新
エリアプリセットリストを更新します。

⑤ **放送局のリスト**
放送局のリストにはエリアプリセットリストとユーザープリセットリストがあり、
切り替えることができます。
エリアプリセットリスト：現在地周辺の放送局のリスト
ユーザープリセットリスト：お客さまが登録した放送局のリスト

➔ ユーザープリセットリストに放送局を登録する（P.209）

ラジオ(FM／AM)を聴く

選局する

■エリアプリセットリストから選局する

1	AREA.P をタッチして、エリアプリセットリストに切り替える

■ユーザープリセットリストから選局する

1	USER.P をタッチして、ユーザープリセットリストに切り替える

■手動選局する

1	⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2 操作するたびにFMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わります。

■自動選局する

1	⏮ ⏭ を押したまま＊1／TRACK SEEK を回したまま＊2にし、 **“ピッ”と鳴ったら指を離す** “サーチ中”と表示され、受信可能な放送局の周波数になると自動で止まります。

知識

- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をユーザープリセットリストに登録してください。

知識

- 自動選局中に ⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2と自動選局は止まります。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

＊1… MM518D-L(エルグランド) MM318D-A
＊2… MM518D-L(セレナ) MM518D-L(エクストレイル) MM518D-W MM318D-L MM318D-W

ユーザープリセットリストに放送局を登録する

FM／AMそれぞれ6局まで登録できます。

1	登録したい放送局を選局する
2	USER.P をタッチして、ユーザープリセットリストに切り替える
3	ユーザープリセットリストから登録先のボタンを選んでタッチしたままにする ボタンの表示が現在選局中の放送局表示に変わります。

ラジオで交通情報を聴く

1	AVメニューから 交通情報 をタッチする	
2	周波数(1620kHz ／ 1629kHz)を選んでタッチする	

iPodを接続する

本機で接続確認済みのiPodは下記をご覧ください。

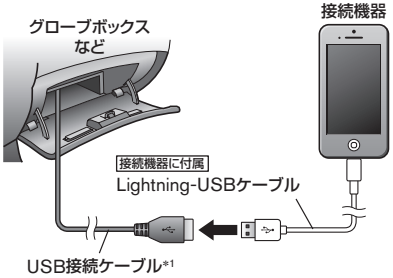
➔ 本機で接続確認済みのiPod（P.530）

接続する前に MM518D-L MM518D-W のみ

Apple CarPlay対応のiPhoneを接続する場合のみ、次の設定を行ってからiPhoneを接続してください。

1	メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → スマートフォン連携 → Apple CarPlay設定 をタッチする
2	“iPhone接続時の利用機能” の iPod をタッチする

接続する



＊1…USB接続ケーブルは、MM518D-L MM518D-W では付属、MM318D-L MM318D-W MM318D-A では別売です。

知識

- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPod使用時は、WALKMAN®やUSBメモリーは使用できません。
- 本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体でお使いください。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。（リセットの方法はApple社にお問い合わせください。）
- USB接続ケーブルの場所は、車種によって異なります。詳しくは日産販売会社にご確認ください。

iPodの音楽を聴く

あらかじめiPodを接続しておく必要があります。本書では特にことわりの無い限り、iPod／iPhoneを「iPod」と表記しています。
➔iPodを接続する（P.211）

再生する

1 AVメニューから iPod をタッチする

アドバイス

- iPod本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

1 ⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2

早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を押したままにする＊1／TRACK SEEK を回したままにする＊2

指を離すと通常再生に戻ります。

＊1… MM518D-L（エルグランド） MM318D-A
＊2… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W MM318D-L MM318D-W

操作画面の見かた

再生画面(タイトル情報表示時)

再生画面(トラックリスト表示時)

知識

- iPodの機種やバージョンによっては、タイトル情報が正しく表示されないことがあります。
- タイトル情報はiPod本体に収録されている内容となります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示できます。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では-(ハイフン表示)となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストが表示されるまでに時間がかかります。

iPodの音楽を聴く

① **動作状態**

▶ ：通常再生　▶▶ ：早送り　◀◀ ：早戻し　II ：一時停止

② **再生時間**

③ **ジャケット写真(アートワーク)**

④ **タイトル情報**

トラック名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名を表示します。

⑤ **Sound**

AV設定画面を表示します。

➔AV設定をする(P.175)

⑥ **各種設定マーク**

EQ ：イコライザー設定　HALL ：サラウンド設定　REPEAT TRACK ：再生モードマーク

⑦ **オーディオ操作ボタン**

タッチして選曲や再生モードの変更をします。

⑧ **再生中の曲のアーティスト名とアルバム名**

iPodの音楽を聴く

<オーディオ操作ボタン>

選曲モード	➔ 選曲モードから選曲する(P.217)
再生モード	➔ リピート／シャッフル再生する(P.218)
▶II	一時停止／再生します。
⏮	前の曲に1つずつ戻します。 再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。
⏭	次の曲に1つずつ進めます。 再生中にタッチしたままにすると、早送りします。
🎸	ジャンルリストを表示します。 ※トラックリスト表示時のみ
👤	アーティストリストを表示します。 ※トラックリスト表示時のみ
⊙	アルバムリストを表示します。 ※トラックリスト表示時のみ
≡	トラックリストを表示します。 ※トラックリストは選曲モードによって変わります。 ※iPodの機種やバージョン、選曲モードによっては、トラックリストを表示できない場合があります。
♪	タイトル情報を表示します。

トラックリストから選曲する

1 をタッチして、トラックリスト表示にする

2 再生したい曲を選んでタッチする

知識

- トラックリストは選曲モードによって変わります。
- iPodの機種やバージョン、選曲モードによっては、トラックリストを表示できない場合があります。

AV

iPodの音楽を聴く

選曲モードから選曲する

1	選曲モード をタッチする
2	選曲方法を選んでタッチする
3	表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする

知識

- 選曲モードはiPod本体に収録されている内容となります。
- 走行中は選曲モードが確定した時点で再生を開始します。（トラックリストなどの表示はしません。）
- 手順 2 で アーティスト を選んだあと、手順 3 で すべて をタッチすると、アーティストの絞り込みをせずにアルバム選択のリストに移ります。
- 再生中画面 ⮌ をタッチすると、再生画面を表示します。

リピート／シャッフル再生する

1 再生モード をタッチし、
<再生モード>を選んでタッチする

知識

- iPodによっては、通常再生の場合、トラックリストの全曲の再生が終わったら再生が停止するときがあります。繰り返し聴きたい場合は、リピートオールに切り替えてください。

<再生モード>

リピート	タッチするたびに、リピートオール／リピートトラック／通常再生を切り替えます。 リピートオール　：全曲を繰り返し再生します。 リピートトラック：再生中の曲を繰り返し再生します。
シャッフル	タッチするたびに、シャッフルトラック／通常再生を切り替えます。＊1 シャッフルトラック：現在のトラックリストの曲順を順不同にして再生します。

＊1…iPodによっては、シャッフルトラック／シャッフルアルバム／通常再生と切り替わります。
シャッフルアルバムに切り替えると、現在のトラックリストの曲順をアルバム単位で順不同にして再生します。
（アルバム内は順番に再生します。）

Bluetooth® Audioを聴く

あらかじめBluetooth®対応オーディオ機器を本機とBluetooth®接続しておく必要があります。
➔Bluetooth®対応機器のBluetooth®接続をする（P.48）

再生する

1 AVメニューから Bluetooth Audio をタッチする

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

1 ⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2

早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を押したままにする＊1／TRACK SEEK を回したままにする＊2
指を離すと通常再生に戻ります。

知識

- 接続機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは ▶ をタッチしてください。
- 接続機器がBluetooth®接続できない状況（接続機器の電源が入っていない、接続機器側でBluetooth®接続をOFFにしているなど）の場合はBluetooth®接続できません。
- 接続機器によっては、音声出力や画面表示するのに時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、接続機器側の音楽プレイヤーを起動する必要があります。また、音楽プレイヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、Bluetooth® Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。（例：iPodとケーブル接続している場合）

＊1… MM518D-L（エルグランド） MM318D-A
＊2… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W MM318D-L MM318D-W

知識

- 接続機器によっては、本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない場合があります。
- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、本機から操作できない場合があります。その場合は、接続機器側で操作してください。
- 接続機器で動画再生中の音声を**Bluetooth®** Audioとして本機から出力する場合、接続機器側の映像よりも音声が遅れて出力される場合があります。
- 接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なったりする場合があります。その場合は、**Bluetooth®** Audioに切り替える前にすべてのアプリを終了して、**Bluetooth®** Audioを接続し直してください。

操作画面の見かた

再生画面(タイトル情報表示時)

① **動作状態**

▶ ：通常再生　▶▶ ：早送り　◀◀ ：早戻し　II ：一時停止

② **再生時間**

③ **タイトル情報**

トラック名、アーティスト名、アルバム名を表示します。

④ **Sound**

AV設定画面を表示します。

➔AV設定をする(P.175)

⑤ **再生機器の名称**

⑥ **各種設定マーク**

EQ ：イコライザー設定　HALL ：サラウンド設定　REPEAT TRACK ：再生モードマーク

知識

- 画面表示や操作ボタンは、接続機器によって一部表示されない場合があります。

AV

⑦ **オーディオ操作ボタン**

タッチして選曲や再生モードの変更をします。

<オーディオ操作ボタン>

選曲モード	➔ 選曲モードから選曲する（P.224） ※接続機器がAVRCP ver.1.4以上の場合に操作できます。
再生モード	➔ リピート／ランダム再生する（P.225） ※接続機器がAVRCP ver.1.3以上でリピート／ランダム再生可能な場合に操作できます。
▶	再生します。
❚❚	一時停止します。
⏮	前の曲に1つずつ戻します。 再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。
⏭	次の曲に1つずつ進めます。 再生中にタッチしたままにすると、早送りします。
☰	トラックリストを表示します。 ※トラックリストは選曲モードによって変わります。
♪	タイトル情報を表示します。

トラックリストから選曲する

※接続機器がAVRCP ver.1.4以上の場合に操作できます。

1	をタッチして、トラックリスト表示にする	
2	再生したい曲を選んでタッチする	

知識

- トラックリストは選曲モードによって変わります。

AV

選曲モードから選曲する

※接続機器がAVRCP ver.1.4以上の場合に操作できます。

1	選曲モード をタッチする
2	選曲方法を選んでタッチする
3	表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする

知識

- 再生したい曲を選んだあと、再生中画面 をタッチすると、再生画面を表示します。
- 接続機器によっては 選曲モード をタッチしても選曲モード画面を表示できない場合があります。
- 接続機器によっては選曲モードに表示される内容や選曲操作方法が異なる場合があります。

AV

リピート／ランダム再生する

※接続機器がAVRCP ver.1.3以上でリピート／ランダム再生可能な場合のみ再生モードが選べます。（接続機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。）

1	再生モード をタッチし、 ＜再生モード＞を選んでタッチする	

＜再生モード＞

リピート	タッチするたびに、リピートオール／リピートトラック／通常再生を切り替えます。 リピートオール　：トラックリスト内の全曲を繰り返し再生します。 リピートトラック：再生中の曲を繰り返し再生します。
ランダム	タッチするたびに、ランダム／通常再生を切り替えます。 ランダム：トラックリスト内の曲を順不同に再生します。

知識

- 接続機器によっては、通常再生の場合、トラックリストの全曲の再生が終わったら再生が停止するときがあります。繰り返し聴きたい場合は、リピートオールに切り替えてください。

AV

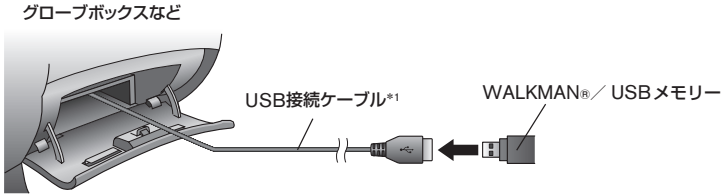
WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する

接続する前に MM518D-L MM518D-W のみ

WALKMAN®は、次の設定を行ってから接続してください。

1	メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → スマートフォン連携 → Android Auto設定 をタッチする
2	“Android Autoの利用” の しない をタッチする

接続する



＊1…USB接続ケーブルは、MM518D-L MM518D-W では付属、MM318D-L MM318D-W MM318D-A では別売です。

アドバイス

- 接続／取り外しは、本機の電源を切ってからまたはAVをOFFにしてから行ってください。再生中に接続／取り外しをすると、WALKMAN®／USBメモリーの本体やファイルが壊れたり、雑音発生によりスピーカーが破損したりする場合があります。
- WALKMAN®の種類によっては、WALKMAN®本体に付属されているUSBケーブルを使用して本機にUSB接続する必要があります。
- 本機の電源を切ったあとは、必ずWALKMAN®を取り外してください。WALKMAN®の電池を消耗することがあります。

WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する

アドバイス

- WALKMAN®／USBメモリー使用時、iPodは使用できません。

知識

- USB接続ケーブルの場所は、車種によって異なります。詳しくは日産販売会社にご確認ください。

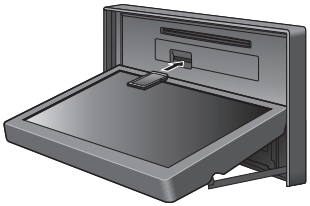
SDカードを挿入する／取り出す

SDカードを挿入する

1 ▲ を押して、オープン をタッチする

2 **SDカード挿入口にSDカードを挿入する**

自動的にディスプレイが閉じます。



SDカードを取り出す

1 ▲ を押して、オープン をタッチする

2 **SDカードを1回押して、取り出す**

3 クローズ をタッチして、ディスプレイを閉じる

アドバイス

- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターに装着してご使用ください。ただし、アダプターをご使用の際は、正常に動作しない場合があります。

知識

- SDカードは、ラベル面を上にカチッと音がするまで挿入してください。
- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。SDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的には閉じません。
- 長時間使用すると、SDカードが熱くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- カード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽を聴く

あらかじめSDカードを本機に挿入／WALKMAN®またはUSBメモリーを本機と接続しておく必要があります。
➔SDカードを挿入する（P.228）、➔WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する（P.226）

再生する

1 AVメニューから SD ／ WALKMAN®／USB をタッチする

SD ：SDカードの再生をします。

WALKMAN®／USB ：WALKMAN®／USBメモリーの再生をします。

知識

- SDカードを使用するときは、下記もご覧ください。
  ➔SDカードについて（P.527）
- 再生可能な音楽ファイルについては下記をご覧ください。
  ➔音楽データの規格について（P.540）
- 画像／動画が再生された場合は、画面をタッチして操作ボタンを表示し、モード切替 → 音楽ファイル をタッチすると音楽再生に切り替わります。

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

1 ⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2

早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を押したままにする＊1／TRACK SEEK を回したままにする＊2

指を離すと通常再生に戻ります。

＊1… MM518D-L（エルグランド） MM318D-A

＊2… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W MM318D-L MM318D-W

操作画面の見かた

SD音楽再生画面(タイトル情報表示時)

① **再生中の機器**

② **動作状態**

▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し　II：一時停止

③ **再生時間**

④ **ジャケット写真(アートワーク)**

⑤ **タイトル情報**

トラック名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名、フォルダ名を表示します。

⑥ **Sound**

AV設定画面を表示します。

➔AV設定をする(P.175)

⑦ **各種設定マーク**

EQ：イコライザー設定　HALL：サラウンド設定

REPEAT TRACK：再生モードマーク　MP3：再生ファイルマーク

⑧ **オーディオ操作ボタン**

タッチして選曲や再生モードの変更をします。

<オーディオ操作ボタン>

選曲モード	➔ 選曲モードから選曲する（P.233）
再生モード	➔ リピート／ランダム／スキャン再生する（P.234）
モード切替	画像再生／動画再生に切り替えます。
▶II	一時停止／再生します。
⏮	前の曲に１つずつ戻します。 再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。
⏭	次の曲に１つずつ進めます。 再生中にタッチしたままにすると、早送りします。
⊖ ／ ⊕	前のフォルダ／次のフォルダの先頭の曲から再生します。 ※選曲モードで 全曲 ／ フォルダ をタッチして選曲した場合のみ
⊖ ／ ⊕	前のアルバム／次のアルバムの先頭の曲から再生します。 ※選曲モードで アルバム ／ アーティスト をタッチして選曲した場合のみ
	フォルダリストを表示します。 ※選曲モードで 全曲 ／ フォルダ をタッチして選曲した場合のみ
	アルバムリストを表示します。 ※選曲モードで アルバム ／ アーティスト をタッチして選曲した場合のみ
	トラックリストを表示します。 ※トラックリストは選曲モードによって変わります。
♪	タイトル情報を表示します。

トラックリストから選曲する

1 をタッチして、トラックリスト表示にする

2 再生したい曲を選んでタッチする

知識

- トラックリストは選曲モードによって変わります。

フォルダリストから選曲する

1 をタッチして、フォルダリスト表示にする

2 再生したいフォルダを選んでタッチする

知識

- フォルダリストから選曲できるのは、選曲モードで 全曲 ／ フォルダ をタッチして選曲した場合のみです。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽を聴く

アルバムリストから選曲する

1 ◉ をタッチして、アルバムリスト表示にする

2 再生したいアルバムを選んでタッチする

知識

- アルバムリストから選曲できるのは、選曲モードで アルバム ／ アーティスト をタッチして選曲した場合のみです。
- アルバムリストは選曲モードによって変わります。

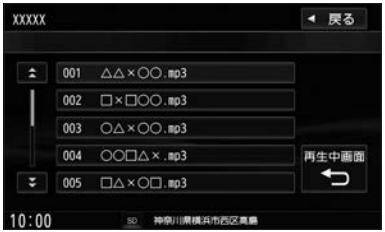
選曲モードから選曲する

1 選曲モード をタッチする

2 選曲方法を選んでタッチする

3 表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする

フォルダリスト画面



知識

- SDカード／WALKMAN®／USBメモリーに収録されている曲数が多くなるほど各リストが表示されるまでに時間がかかります。
- 走行中は選曲モードが確定した時点で再生を開始します。（トラックリストなどの表示はしません。）
- 再生中画面 ⮌ をタッチすると、再生画面を表示します。

■ リピート／ランダム／スキャン再生する

1	再生モード をタッチし、 <再生モード>を選んでタッチする	

<再生モード>

リピート	タッチするたびに、リピートトラック／通常再生を切り替えます。 リピートトラック：再生中の曲を繰り返し再生します。
ランダム	タッチするたびに、ランダム／通常再生を切り替えます。 ランダム：トラックリスト内の曲を順不同に再生します。
スキャン	タッチするたびに、スキャン／通常再生を切り替えます。 スキャン：曲を約10秒ずつ再生します。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの画像を見る

あらかじめSDカードを本機に挿入／WALKMAN®またはUSBメモリーを本機と接続しておく必要があります。
➔SDカードを挿入する（P.228）、➔WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する（P.226）

再生する

1 **AVメニューから SD ／ WALKMAN®／USB をタッチする**

SD ：SDカードの再生をします。
WALKMAN®／USB ：WALKMAN®／USBメモリーの再生をします。

知識

- SDカードを使用するときは、下記もご覧ください。
  ➔SDカードについて（P.527）
- 音楽／動画が再生された場合は、モード切替 → 画像ファイル をタッチすると画像再生に切り替わります。（動画再生中の場合、画面をタッチして モード切替 を表示してください。）
- 再生可能な画像ファイルについては下記をご覧ください。
  ➔再生可能な画像ファイルについて（P.544）

操作画面の見かた

画像再生中に画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

（例）SD画像再生画面

① **再生中の機器**

② **画像情報表示**

画像情報（画像ファイル名、撮影年月日）を表示します。

③ スライドショー

画像をスライドショーします。

➔ スライドショーで画像を見る（P.238）

④ 回転

画像を回転します。

※スライドショー中は操作できません。

※タッチするたびに表示中の画像が90°ずつ時計回りに回転します。

⑤ リスト

リストから画像を選びます。

➔ 画像リストから再生する画像を選ぶ（P.238）

※スライドショー中は操作できません。

⑥ モード切替

音楽再生／動画再生に切り替えます。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの画像を見る

1つずつ画像を戻したり進めたりする

1	⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2

知識

- 操作ボタン非表示時に左右へドラッグ／フリックしても画像を戻したり進めたりできます。

画像リストから再生する画像を選ぶ

1	リスト をタッチする
2	フォルダを選んでタッチする
3	再生したい画像を選んでタッチする

知識

- スライドショー中は操作できません。
- リスト は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。

スライドショーで画像を見る

現在選択中のフォルダ内の画像ファイルをスライドショーします。

1	スライドショー をタッチする	

知識

- スライドショー は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。
- 終了 をタッチすると、スライドショーを終了します。
- 再生間隔 をタッチすると、スライドショーの再生間隔を設定できます。
- 終了 ／ 再生間隔 はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。

＊1… MM518D-L(エルグランド) MM318D-A

＊2… MM518D-L(セレナ) MM518D-L(エクストレイル) MM518D-W MM318D-L MM318D-W

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る

あらかじめSDカードを本機に挿入／WALKMAN®またはUSBメモリーを本機と接続しておく必要があります。
➔SDカードを挿入する（P.228）、➔WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する（P.226）

■ 再生する

1 **AVメニューから SD ／ WALKMAN®／USB をタッチする**

SD ：SDカードの再生をします。
WALKMAN®／USB ：WALKMAN®／USBメモリーの再生をします。

■ 操作画面の見かた

動画再生中に画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

（例）SD動画再生画面

知識

- SDカードを使用するときは、下記もご覧ください。
  ➔SDカードについて（P.527）
- 再生可能な動画ファイルについては下記をご覧ください。
  ➔再生可能な動画ファイルについて（P.545）
- 音楽／画像が再生された場合は、モード切替 → 動画ファイル をタッチすると動画再生に切り替わります。（画像再生中の場合、画面をタッチして モード切替 を表示してください。）

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る

① **再生中の機器**

② **動作状態**

▶ ：通常再生　▶▶ ：早送り　◀◀ ：早戻し　II ：一時停止

③ **動画情報表示**

タイトル情報（動画ファイル名、フォルダ名）、再生時間を表示します。

④ **各種設定マーク**

EQ ：イコライザー設定　HALL ：サラウンド設定

⑤ 再生リスト

再生リストから動画を選びます。

➔ 動画リストから選ぶ（P.241）

⑥ モード切替

音楽再生／画像再生に切り替えます。

⑦ ▶II

一時停止／再生します。

SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る

■ 動画リストから選ぶ

1 再生リスト をタッチする

2 再生したい動画を選んでタッチする

知識

- 再生リスト は動画再生中に画面をタッチすると表示されます。
- リスト変更 をタッチし、全ファイル ／ フォルダ から選んでリストを変更できます。
- フォルダ をタッチした場合は、リストからフォルダを選んでタッチしてください。

■ 1つずつ動画を戻したり進めたりする

1 ⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2

■ 早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を押したままにする＊1／TRACK SEEK を回したままにする＊2

指を離すと通常再生に戻ります。

＊1… MM518D-L(エルグランド) MM318D-A

＊2… MM518D-L(セレナ) MM518D-L(エクストレイル) MM518D-W MM318D-L MM318D-W

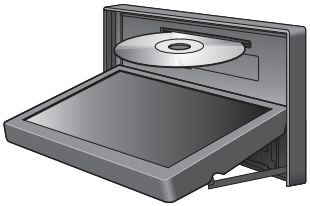
ディスクを挿入する／取り出す

ディスクを挿入する

1 ▲ を押して、オープン をタッチする

2 ディスク挿入口にディスクを挿入する

自動的にディスプレイが閉じます。



知識

- ディスクは、記録面を下にして入れてください。

ディスクを取り出す

1 ▲ を押して、ディスクイジェクト をタッチする

ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す

3 クローズ をタッチして、ディスプレイを閉じる

知識

- ディスプレイが開いたまま本機の電源を切った場合は、自動的にディスプレイが閉じます。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合がありますので、お気を付けください。
- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。
- カード挿入口カバーが外れている、または正しく取り付けられていない場合、ディスプレイは閉じません。

Blu-ray Discを見る

MM518D-L MM518D-W のみ

Blu-ray Discの中には、ディスクに収録された特典映像などをmicroSDカードに書き込んで、再生時に利用できるものがあります。

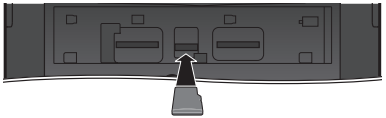
microSDカードを挿入する

microSDカードを挿入しなくてもBlu-ray Discは再生できます。

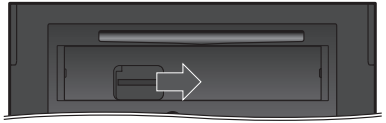
1 ▲ を押して、オープン をタッチする

2 カード挿入口カバーを
左にスライドさせて、取り外す

3 microSDカードを挿入口に挿入する



4 カード挿入口カバーを
くぼみの左端に合わせてはめ込んだあと、
右にスライドさせて取り付ける

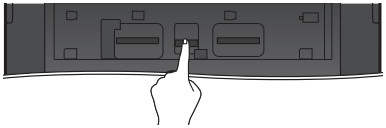
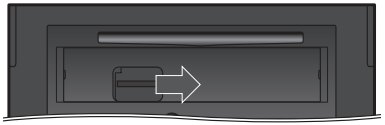


5 クローズ をタッチして、ディスプレイを閉じる

知識

- 下記のmicroSDカードが使用できます。
  - microSDXCメモリーカード(32 GB超～2 TBまで、512 GB以下を推奨)
  - microSDHCメモリーカード(2 GB超～32 GBまで)
  - microSDメモリーカード(2 GBまで)
- SD規格に準拠していないmicroSDカードは使用できません。
- microSDカードは、角がカットされた側を右にしてカチッと音がするまで差し込んでください。

microSDカードを取り出す

1	▲ を押して、 オープン をタッチする	
2	カード挿入口カバーを 左にスライドさせて、取り外す	
3	microSDカードを1回押して、 取り出す	
4	カード挿入口カバーを くぼみの左端に合わせてはめ込んだあと、 右にスライドさせて取り付ける	
5	クローズ をタッチして、ディスプレイを閉じる	

Blu-ray Discを見る

MM518D-L MM518D-W のみ

再生する

1 ディスクを挿入し、AVメニューから CD／DVD／Blu-ray Disc をタッチする

➔ ディスクを挿入する（P.242）

知識

- ディスクによっては、パスワード入力をしないと再生できないよう設定されているものがあります。パスワード確認入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
- 2枚以上セットになっているBlu-ray Discは、1枚目を見終わってディスクを取り出したあと、次のディスクを挿入するよう指示する表示が出たままになる場合があります。
- 本機はBD-Live（BDライブ）非対応のため、BDライブ対応コンテンツ部分の再生はできません。
- 3D映像の再生はできません。
- ディスクによっては読み込みに時間がかかる場合があります。映像が表示されるまでしばらくお待ちください。

Blu-ray Discを見る

MM518D-L MM518D-W のみ

操作画面の見かた

Blu-ray Disc再生中に メニュー を押すと、＜Blu-ray Disc操作ボタン＞を表示します。

① **画面表示**
タイトル番号とチャプター番号、もしくは再生時間を表示します。表示しない設定もできます。
➔ 画面表示を切り替える(P.252)

② **Blu-ray Disc操作ボタン**
タッチしてトップメニューの表示やカーソルの操作などをします。

知識

- ディスクによっては、一部の操作に対応していなかったり、特定の操作を禁止したりしている場合があります。この場合、ボタンをタッチするなどしても実行できません。
- ディスクによっては、画面をタッチしてメニューの操作を行うことができます。画面をタッチして操作できない場合は、 メニュー を押してBlu-ray Disc操作ボタンを表示させてください。

AV

Blu-ray Discを見る

MM518D-L MM518D-W のみ

＜Blu-ray Disc操作ボタン＞

トップメニュー／タイトル	トップメニューが収録されているディスクではトップメニューを表示します。 BDAVまたはAVCRECで記録されたディスクではタイトルリストを表示します。 ➔ タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する（P.252）
ポップアップメニュー／プレイリスト	ポップアップメニューが収録されているディスクではポップアップメニューを表示します。 BDAVまたはAVCRECで記録されたディスクではプレイリストを表示します。 ➔ タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する（P.252）
■	停止します。
▶II	一時停止／再生します。
各種切替	各種切替パネルに切り替えます。 ➔ 各種切替パネル（P.248）
設定	Blu-ray Discの設定をします。 ➔ Blu-ray Disc・DVDの設定をする（P.266）
色／10キー	色／10キーパネルに切り替えます。 ➔ 色／10キーパネル（P.250）
▲／▼／◀／▶	カーソルを上下左右に移動させ項目を選びます。
実行	選んだ項目を実行します。
ボタン消	Blu-ray Disc操作ボタンを消します。
ボタン移動	ボタン表示を画面の上下に移動します。

知識

- ■ をタッチして停止した場合、▶II をタッチすると続き再生することができます。続き再生解除 をタッチすると、再生開始位置の情報を解除し、次回再生するときは最初から再生されます。
- ディスクによっては続き再生ができない場合があります。

■各種切替パネル

Blu-ray Disc操作ボタンで 各種切替 をタッチすると、<各種切替パネル>を表示します。

<各種切替パネル>

タイム	画面表示を切り替えます。 ➔ 画面表示を切り替える(P.252)
音声	タッチするたびに音声を切り替えます。
字幕	字幕を切り替えます。 ➔ 字幕を切り替える(P.256)
リピート	リピート再生します。 ➔ リピート再生する(P.254)
アングル	タッチするたびに再生アングルを切り替えます。
サーチ	お好みのタイトル/チャプターから再生します。 ➔ お好みのタイトル/チャプターから再生する(P.253)

主／副	タッチするたびに主音声／副音声／主＋副を切り替えます。
副映像	副映像の映像・音声を切り替えます。 ➔ 副映像の映像・音声を切り替える（P.255）
リジューム	メニューを表示する前の再生画面に戻します。 ※ディスクによっては動作しません。
ボタン消	各種切替パネルを消します。

■色／10キーパネル

Blu-ray Disc操作ボタンで 色／10キー をタッチすると、<色／10キーパネル>を表示します。

<色／10キーパネル>

ボタン移動	Blu-ray Disc操作ボタンを画面の上下に移動します。
青 赤 緑 黄	色ボタンを使って項目を選びます。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	10キーを使って項目を選びます。
ボタン消	色／10キーパネルを消します。

Blu-ray Discを見る

MM518D-L MM518D-W のみ

チャプター戻し／チャプター送りする

1	⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2

早戻し／早送りする

1	⏮ ⏭ を押したままにする＊1／TRACK SEEK を回したままにする＊2 指を離すと通常再生に戻ります。

スロー再生する

1	一時停止中に ⏭ を押したままにする＊1／TRACK SEEK を右に回したままにする＊2 指を離すと通常再生に戻ります。 ※スロー戻しはできません。

＊1… MM518D-L（エルグランド）
＊2… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W

Blu-ray Discを見る

MM518D-L MM518D-W のみ

タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する

1 メニュー を押して、タイトル ／ プレイリスト をタッチする

タイトル ：タイトルリストを表示します。

プレイリスト ：プレイリストを表示します。

2 リストから再生したいものを選んでタッチする

知識

- BDAVまたはAVCRECで記録されたディスクのみ操作できます。
- ディスクにプレイリストが無い場合、プレイリスト をタッチしてもプレイリストは表示されません。

画面表示を切り替える

1 メニュー を押して、各種切替 → タイム をタッチする

タイム をタッチするたびに画面表示が切り替わります。

下記の画面表示から選んでください。

- タイトル番号・チャプター番号を表示
- 再生時間を表示
- 画面表示しない

お好みのタイトル／チャプターから再生する

タイトル番号／チャプター番号を入力して、入力したタイトル／チャプターから再生します。

1 メニュー を押して、各種切替 → サーチ をタッチする

2 切替 をタッチして、画面表示を切り替える

タッチするたびに画面表示（画面上部に表示）が切り替わります。

“TITLE：__／XXX”
：タイトル番号を入力する場合に表示してください。

“CHAPTER：__／XXX”
：チャプター番号を入力する場合に表示してください。

3 0 ～ 9 をタッチして、タイトル番号／チャプター番号を入力する

画面表示が表示されている間に入力してください。
画面表示はしばらくすると消えます。消えた場合は操作をやり直してください。

4 実行 をタッチする

知識

- ディスクに収録されていないタイトル／チャプター番号を入力した場合は実行できません。

AV

リピート再生する

1 **メニュー を押して、 各種切替 → リピート をタッチする**

タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)とともにリピートの種類が切り替わります。

"CHAPTER REPEAT"：再生中のチャプターを繰り返し再生します。

"TITLE REPEAT"　：再生中のタイトルを繰り返し再生します。

"REPEAT OFF"　：繰り返し再生しません。

知識

- CHAPTER REPEAT中にチャプター戻し／送りするなど、別のチャプターに移動したり、チャプターの頭出しをしたりすると、CHAPTER REPEATが解除される場合があります。
- ディスクによっては、リピートの種類を選んでもリピート再生できないものもあります。

副映像の映像・音声を切り替える

1	メニュー を押して、 各種切替 → 副映像 をタッチする
2	＜映像・音声の設定＞から選んでタッチする

＜映像・音声の設定＞

映像切替	タッチするたびに別の副映像に切り替わります。
映像ON／OFF	タッチするたびに副映像の表示／非表示が切り替わります。
音声切替	タッチするたびに副映像の音声が切り替わります。
音声ON／OFF	タッチするたびに副映像の音声がON／OFFします。

字幕を切り替える

1	メニュー を押して、 各種切替 → 字幕 をタッチする
2	＜字幕設定＞から選んでタッチする

＜字幕設定＞

字幕切替	タッチするたびに字幕言語が切り替わります。
字幕ON／OFF	タッチするたびに字幕の表示／非表示が切り替わります。
スタイル切替	タッチするたびに字幕スタイルが切り替わります。

DVDを見る

再生する

1 ディスクを挿入し、AVメニューから CD／DVD／Blu-ray Disc ＊1／CD／DVD ＊2 をタッチする

➔ ディスクを挿入する（P.242）

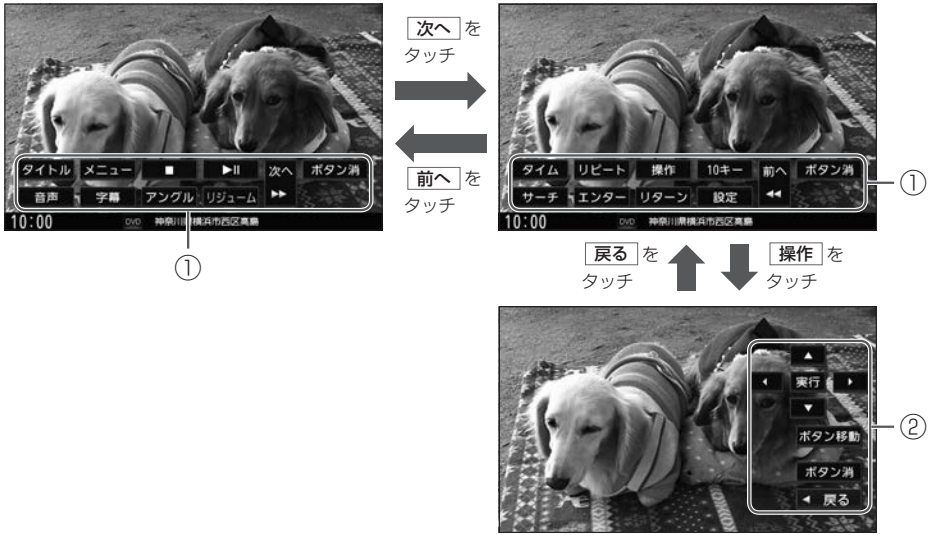
知識

- AVCRECで記録されたDVDの再生画面はBlu-ray Disc再生画面と操作が同じですので、操作方法は下記をご覧ください。
  ➔ Blu-ray Discを見る（P.245）
  （AVCRECで記録されたDVDの再生は MM518D-L MM518D-W のみ可能）

＊1… MM518D-L MM518D-W
＊2… MM318D-L MM318D-W MM318D-A

操作画面の見かた

DVD再生中に メニュー を押すと＜DVD操作ボタン＞を表示します。さらに、＜DVD操作ボタン＞の 操作 をタッチすると、＜カーソル操作ボタン＞を表示します。



知識

- ディスクによっては、一部の操作に対応していなかったり、特定の操作を禁止したりしている場合があります。
  この場合、ボタンをタッチするなどしても実行はできません。
- ディスクによっては、画面をタッチしてメニューの操作を行うことができます。画面をタッチして操作できない場合は、 メニュー を押してDVD操作ボタンを表示させて操作してください。

DVDを見る

① **DVD操作ボタン**
タッチしてタイトルメニューの表示や音声の切り替えなどをします。

② **カーソル操作ボタン**
タッチしてカーソルの操作などをします。

＜DVD操作ボタン＞

タイトル	タイトルメニューが収録されているディスクではタイトルメニューを表示します。 VRモードのDVDではタイトルリストを表示します。 ➔ タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する（P.265）
メニュー	DVDメニューが収録されているディスクではDVDメニューを表示します。 VRモードのDVDではプレイリストを表示します。 ➔ タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する（P.265）
■	再生を停止します。
▶II	一時停止／再生します。
次へ	DVD操作ボタンを切り替えます。
ボタン消	DVD操作ボタンを消します。
音声	タッチするたびに音声言語を切り替えます。
字幕	タッチするたびに字幕言語を切り替えます。
アングル	タッチするたびに再生アングルを切り替えます。
リジューム	メニューに切り替える前の再生画面に戻します。

知識

- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は別の音声に切り替えてください。
- ディスクによっては、DVD操作ボタンでは音声言語／字幕言語の切り替えができないものがあります。その場合は、DVDメニューやDVD設定の言語設定で切り替えてください。

再生アングルの切り替えについて

- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

タイム	画面表示を切り替えます。 ➔ 画面表示を切り替える(P.262)
リピート	リピート再生します。 ➔ リピート再生する(P.264)
操作	カーソル操作ボタンを表示します。
10キー	10キーパネルに切り替えます。
前へ	DVD操作ボタンを切り替えます。
サーチ	お好みのタイトル／チャプターから再生します。 ➔ お好みのタイトル／チャプターから再生する(P.263)
エンター	選んだ項目を実行します。
リターン	一つ前の画面に戻します。
設定	DVDの設定をします。 ➔Blu-ray Disc・DVDの設定をする(P.266)

＜カーソル操作ボタン＞

▲／▼／◀／▶	項目を選びます。
実行	選んだ項目を実行します。
ボタン移動	ボタン表示を画面の左右に移動します。
ボタン消	カーソル操作ボタンを消します。

チャプター戻し／チャプター送りする

1	⏮ ⏭ を押す＊1／TRACK SEEK を回す＊2

早戻し／早送りする

1	⏮ ⏭ を押したままにする＊1／TRACK SEEK を回したままにする＊2 指を離すと通常再生に戻ります。

スロー戻し／スロー送りする

1	一時停止中に ⏮ ⏭ を押したままにする＊1／TRACK SEEK を回したままにする＊2 指を離すと通常画面に戻ります。 ※VRモードのDVDではスロー戻しはできません。

＊1… MM518D-L(エルグランド) MM318D-A
＊2… MM518D-L(セレナ) MM518D-L(エクストレイル) MM518D-W MM318D-L MM318D-W

画面表示を切り替える

1 **メニュー を押して、 次へ → タイム をタッチする**

タイム をタッチするたびに画面表示が切り替わります。
下記の画面表示から選んでください。

- タイトル番号・チャプター番号を表示
- 再生時間を表示
- 画面表示しない

お好みのタイトル／チャプターから再生する

タイトル番号／チャプター番号を入力して、入力したタイトル／チャプターから再生します。

1 メニュー を押して、次へ → サーチ をタッチする

2 切替 をタッチして、
画面表示を切り替える

タッチするたびに画面表示（画面上部に表示）が切り替わります。

“TITLE：__／XX”
：タイトル番号を入力する場合に表示させてください。

“CHAPTER：__／XXX”
：チャプター番号を入力する場合に表示させてください。

3 0 ～ 9 をタッチして、タイトル番号／チャプター番号を入力する

画面表示が表示されている間に入力してください。
画面表示はしばらくすると消えます。消えた場合は操作をやり直してください。

4 実行 をタッチする

知識

- ディスクに収録されていないタイトル／チャプター番号を入力した場合は実行できません。

AV

リピート再生する

1 **メニュー を押して、 次へ → リピート をタッチする**

タッチするたびに画面表示(画面上部に表示)とともにリピートの種類が切り替わります。

“CHAPTER REPEAT”：再生中のチャプターを繰り返し再生します。

“TITLE REPEAT”　：再生中のタイトルを繰り返し再生します。

“REPEAT OFF”　：繰り返し再生しません。

知識

- CHAPTER REPEAT中にチャプター戻し／送りするなど、別のチャプターに移動したり、チャプターの頭出しをしたりすると、CHAPTER REPEATが解除される場合があります。
- ディスクによっては、リピートの種類を選んでもリピート再生できないものもあります。

タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する

1 **メニュー を押して、 タイトル ／ メニュー をタッチする**

タイトル ：タイトルリストを表示します。

メニュー ：プレイリストを表示します。

2 **リストから再生したいものを選んでタッチする**

知識

- VRモードのDVDのみ操作できます。
- ディスクにプレイリストが無い場合、メニュー をタッチしてもプレイリストは表示されません。

Blu-ray Disc・DVDの設定をする

視聴制限の設定を除き、Blu-ray Disc設定とDVD設定は共通です。
Blu-ray Disc・DVDの設定をすると、設定内容によっては続き再生が解除される場合があります。

再生言語の設定

1

Blu-ray Disc再生中

メニュー を押して、 設定 → 言語設定 をタッチする

DVD再生中

メニュー を押して、 次へ → 設定 → 言語設定 をタッチする

2

音声言語／字幕言語／メニュー言語
それぞれについて、言語表示のボタンをタッチし、言語コードを入力して決定をタッチする

言語コード表（P.267）

知識

- 言語コード入力のとき、入力した数字を修正するには クリア をタッチして数字を再度入力してください。
- ディスクによっては設定されたとおりに再生しないものもあります。
- オリジナル をタッチすると、ディスクで優先されている言語で再生します。
- OFF をタッチすると、字幕は表示しません。
- 言語が オリジナル または OFF に設定されている場合は、言語表示のボタンが“言語を選択”と表示されます。
- 初期値 をタッチすると、お買い上げ時の設定に戻します。

■言語コード表

コード		言　語
1027	AA	アファル語
1028	AB	アブバジア語
1032	AF	アフリカーンス語
1039	AM	アムハラ語
1044	AR	アラビア語
1045	AS	アッサム語
1051	AY	アイマラ語
1052	AZ	アゼルバイジャン語
1053	BA	バシキール語
1057	BE	ベラルーシ語
1059	BG	ブルガリア語
1060	BH	ビハーリー語
1061	BI	ビスラマ語
1066	BN	ベンガル、バングラ語
1067	BO	チベット語
1070	BR	ブルトン語
1079	CA	カタロニア語
1093	CO	コルシカ語
1097	CS	チェコ語
1103	CY	ウェールズ語
1105	DA	デンマーク語
1109	DE	ドイツ語
1130	DZ	ブータン語

コード		言　語
1142	EL	ギリシャ語
1144	EN	英語
1145	EO	エスペラント語
1149	ES	スペイン語
1150	ET	エストニア語
1151	EU	バスク語
1157	FA	ペルシャ語
1165	FI	フィンランド語
1166	FJ	フィジー語
1171	FO	フェロー語
1174	FR	フランス語
1181	FY	フリジア語
1183	GA	アイルランド語
1186	GD	スコットランドゲール語
1194	GL	ガルシア語
1196	GN	グアラニ語
1203	GU	グジャラート語
1209	HA	ハウサ語
1217	HI	ヒンディー語
1226	HR	クロアチア語
1229	HU	ハンガリー語
1233	HY	アルメニア語
1235	IA	国際語

コード		言　語
1239	IE	国際語
1245	IK	Inupiak語
1248	IN	インドネシア語
1253	IS	アイスランド語
1254	IT	イタリア語
1257	IW	ヘブライ語
1261	JA	日本語
1269	JI	イディッシュ語
1283	JW	ジャワ語
1287	KA	グルジア語
1297	KK	カザフ語
1298	KL	グリーンランド語
1299	KM	カンボジア語
1300	KN	カンナダ語
1301	KO	韓国語
1305	KS	カシミール語
1307	KU	クルド語
1311	KY	キルギス語
1313	LA	ラテン語
1326	LN	リンガラ語
1327	LO	ラオス語
1332	LT	リトアニア語
1334	LV	ラトビア、レット語

コード		言　語
1345	MG	マダガスカル語
1347	MI	マオリ語
1349	MK	マケドニア語
1350	ML	マラヤーラム語
1352	MN	モンゴル語
1353	MO	モルダビア語
1356	MR	マラータ語
1357	MS	マレー語
1358	MT	マルタ語
1363	MY	ミャンマ語
1365	NA	ナウル語
1369	NE	ネパール語
1376	NL	オランダ語
1379	NO	ノルウェー語
1393	OC	プロバンス語
1403	OM	(アファン)オロモ語
1408	OR	オリヤー語
1417	PA	パンジャブ語
1428	PL	ポーランド語
1435	PS	パシュトー語
1436	PT	ポルトガル語
1463	QU	ケチュア語
1481	RM	ラエティ＝ロマン語

コード		言　語
1482	RN	キルンディ語
1483	RO	ルーマニア語
1489	RU	ロシア語
1491	RW	キニヤルワンダ語
1495	SA	サンスクリット語
1498	SD	シンド語
1501	SG	サンゴ語
1502	SH	セルビアクロアチア語
1503	SI	シンハラ語
1505	SK	スロバキア語
1506	SL	スロベニア語
1507	SM	サモア語
1508	SN	ショナ語
1509	SO	ソマリ語
1511	SQ	アルバニア語
1512	SR	セルビア語
1513	SS	シスワティ語
1514	ST	セストゥ語
1515	SU	スンダ語
1516	SV	スウェーデン語
1517	SW	スワヒリ語
1521	TA	タミール語
1525	TE	テルグ語

コード		言　語
1527	TG	タジク語
1528	TH	タイ語
1529	TI	ティグリニャ語
1531	TK	トゥルクメン語
1532	TL	タガログ語
1534	TN	セツワナ語
1535	TO	トンガ語
1538	TR	トルコ語
1539	TS	ツォンガ語
1540	TT	タタール語
1543	TW	トウィ語
1557	UK	ウクライナ語
1564	UR	ウルドゥー語
1572	UZ	ウズベク語
1581	VI	ベトナム語
1587	VO	ボラピュク語
1613	WO	ウォロフ語
1632	XH	コーサ語
1665	YO	ヨルバ語
1684	ZH	中国語
1697	ZU	ズール語

Blu-ray Disc・DVDの設定をする

ダイナミックレンジ圧縮の設定

本設定をONにすると、ドルビーデジタル方式で記録されたディスク再生時に、最小音と最大音の音量差を縮めて再生します。小さい音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

1

Blu-ray Disc再生中

メニュー を押して、 設定 → ダイナミックレンジ圧縮 をタッチする

DVD再生中

メニュー を押して、 次へ → 設定 → ダイナミックレンジ圧縮 をタッチする

2

ON ／ OFF から選んでタッチする

HDMI出力音声の設定 MM518D-L MM518D-W のみ

※HDMI出力先の機器(後席専用モニターなど)が音声出力しない機器の場合、本設定は不要です。

1

Blu-ray Disc再生中

メニュー を押して、 設定 → HDMI出力音声 をタッチする

DVD再生中

メニュー を押して、 次へ → 設定 → HDMI出力音声 をタッチする

2

ビットストリーム ／ LPCM から選んでタッチする

知識

- ビットストリーム を選んでも、接続している後席専用モニターがビットストリームに対応していない場合は、LPCM出力になります。
- ビットストリーム を選ぶと圧縮された音声信号、 LPCM を選ぶと非圧縮の音声信号が出力されます。

Blu-ray Disc・DVDの設定をする

Blu-ray Disc副映像の音声・操作音のON／OFF設定 MM518D-L MM518D-W のみ

1	Blu-ray Disc再生中に メニュー を押して、 設定 → 副映像用音声・操作音 をタッチする
2	ON ／ OFF から選んでタッチする

視聴制限の設定

■Blu-ray Discの視聴制限を設定する MM518D-L MM518D-W のみ

年齢を入力して、その年齢を視聴制限しているディスクを再生するとき、パスワードを入力しないと再生できないよう設定できます。

1	Blu-ray Disc再生中に メニュー を押して、 設定 → 視聴年齢制限 をタッチする
2	設定したい視聴年齢制限を入力し、 決定 をタッチする 制限したい年齢の下限を目安に設定してください。 制限を解除したい場合は255を入力してください。
3	視聴制限のパスワードを入力し、 決定 をタッチする

知識

- 視聴年齢制限設定時やパスワード入力のときに、入力した数字を修正するには クリア をタッチして数字を再度入力してください。
- お買い上げ時の視聴制限のパスワードは“0000”となっています。
- パスワードを入力しないかぎり、視聴制限を変更できません。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限できません。

Blu-ray Disc・DVDの設定をする

■DVDの視聴制限レベルを設定する

視聴制限が収録されているDVDを再生するとき、パスワードを入力しないと再生できないよう設定できます。

1 DVD再生中に メニュー を押して、 次へ → 設定 → 視聴制限レベル をタッチする

2 設定したい視聴制限レベル(レベル1 ～ レベル8 ／ 制限なし)を選んでタッチする

3 視聴制限のパスワードを入力し、 決定 をタッチする

知識

- お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。

■視聴制限のパスワードを変更する

1

Blu-ray Disc再生中

メニュー を押して、 設定 → パスワード変更 をタッチする

DVD再生中

メニュー を押して、 次へ → 設定 → パスワード変更 をタッチする

2 “現在のパスワード”／“新しいパスワード”／“パスワード再入力”をそれぞれ入力し、 決定 をタッチする

知識

- 変更したパスワードは、忘れないでください。
- パスワードを忘れてしまったら、“現在のパスワード”に“0000”を入力してください。

Blu-ray Disc・DVDの設定をする

microSDカードに書き込まれたBlu-ray Discの付加情報を消去する＊1

1	Blu-ray Disc再生中に メニュー を押して、 設定 → データ消去 をタッチする

本機に記録されたBlu-ray Discの履歴を消去する＊1

1	Blu-ray Disc再生中に メニュー を押して、 設定 → 履歴消去 をタッチする

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

再生する

1 **ディスクを挿入する**

➔ ディスクを挿入する（P.242）

すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AVメニューから CD／DVD／Blu-ray Disc *1／CD／DVD *2をタッチしてください。

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

1 ⏮ ⏭ を押す*3／TRACK SEEK を回す*4

早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を押したままにする*3／TRACK SEEK を回したままにする*4

指を離すと通常再生に戻ります。

知識

- MUSIC STOCKERに1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMUSIC STOCKERへ自動で録音を開始します。（自動録音／手動録音は変更できます。）
  ➔ 録音設定をする（P.286）
- 1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

＊1… MM518D-L MM518D-W
＊2… MM318D-L MM318D-W MM318D-A
＊3… MM518D-L（エルグランド） MM318D-A
＊4… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W MM318D-L MM318D-W

操作画面の見かた

CD再生画面(タイトル情報表示時)

CD(MP3／WMA)再生画面(タイトル情報表示時)

① **動作状態**

▶ ：通常再生　▶▶ ：早送り　◀◀ ：早戻し　II ：一時停止

② **再生時間**

③ **タイトル情報**

トラック名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名を表示します。

④ **Sound**

AV設定画面を表示します。

➔AV設定をする(P.175)

⑤ **各種設定マーク**

EQ ：イコライザー設定　HALL：サラウンド設定

REPEAT TRACK：再生モードマーク　MP3：再生ファイルマーク*1

＊1…MP3／WMA再生時のみ

⑥ **オーディオ操作ボタン**

タッチして選曲や再生モードの変更をします。

<オーディオ操作ボタン>

●録音	➔ 手動で録音する（P.284）
録音設定	➔ 録音設定をする（P.286）
再生モード	➔ リピート／ランダム／スキャン再生する（P.278）
オンライン検索	➔ オンライン検索をする（市販の音楽CDのみ）（P.279）
▶II	一時停止／再生します。
⏮	前の曲に1つずつ戻します。 再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。
⏭	次の曲に1つずつ進めます。 再生中にタッチしたままにすると、早送りします。
⊖／⊕	前のフォルダ／次のフォルダの先頭の曲から再生します。 ※MP3／WMA再生時のみ
☰	トラックリストを表示します。 ※MP3／WMAファイルを再生中の場合、再生しているフォルダ内のトラックリストが表示されます。
♪	タイトル情報を表示します。

トラックリストから選曲する

1	をタッチして、トラックリスト表示にする
2	再生したい曲を選んでタッチする

知識

- MP3／WMAファイルを再生中の場合、再生しているフォルダ内のトラックリストが表示されます。

AV

リピート／ランダム／スキャン再生する

1	再生モード をタッチし、 <再生モード>を選んでタッチする	

<再生モード>

リピート	タッチするたびに、リピートトラック／リピートフォルダ*1／通常再生を切り替えます。 リピートトラック　：再生中の曲を繰り返し再生します。 リピートフォルダ*1：選曲中のフォルダ内で繰り返し再生します。
ランダム	タッチするたびに、ランダム／通常再生を切り替えます。 ランダム：音楽CD再生時　　：ディスク内の曲を順不同に再生します。 MP3／WMA再生時：選曲中のフォルダ内で順不同に再生します。
スキャン	タッチするたびに、スキャン／通常再生を切り替えます。 スキャン：曲を約10秒ずつ再生します。

＊1…MP3／WMA再生時のみ

■ オンライン検索をする(市販の音楽CDのみ)

画面のタイトル情報が正しく表示されていないときに、通信アダプタ(または携帯電話)によるデータ通信でGracenote音楽認識サービスより新タイトル情報を取得できます。

1 **CD再生画面で オンライン検索 をタッチする**

データ通信を開始し、タイトル情報を取得します。

知識

- タイトル情報取得をやめる場合は、メッセージ表示中に 中止 をタッチしてください。(タイトル情報更新中に 中止 は選べません。)
- タイトル情報を取得中は、情報バーに が表示されます。(携帯電話のときは)
- 通信アダプタの圏外にいる場合、 が と表示されます。

AV

知識

オンライン検索について

- オンライン検索中に**Bluetooth®** Audioの操作や通話などを行った場合、検索に失敗する場合があります。
- 以下の場合、オンライン検索は使用できません。
  - 接続している通信アダプタ(または携帯電話)の圏外に車が移動したとき
  - トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得してください。
- 新作CDなどは、情報が取得できない場合があります。また、必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。
- タイトル情報の検索結果が複数ある場合は、どのタイトル情報に更新するか選んでください。
- “通信アダプタを利用”の設定を しない に設定して、携帯電話を“電話1”に割り当て設定している場合、携帯電話でデータ通信を行います。この場合、通信料金がかかります。

➔ 通信アダプタを設定する(P.413)

知識

CD再生画面のタイトル情報について

- 音楽CDのタイトル情報は、本機のGracenoteデータベースを使って表示しています。
- 音楽CDにCD-TEXT情報がある場合、タイトル情報はCD-TEXT情報で表示され、ジャンルは空欄となります。
  ※市販されているほとんどの音楽CDにはCD-TEXT情報は入っていません。
- 音楽CDにCD-TEXT情報がなく本機データベースにも一致しなければ、アーティスト名／アルバム名は“No Title”と表示され、トラック名は“TRACK XX”（録音曲選択画面では“トラックXX”、XXはトラック番号）と表示されます。ジャンルは空欄となります。
- すべてのタイトル情報の取得および正確性を保証するものではありません。トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。
- オンライン検索をすると、挿入中の音楽CDのタイトル情報について本機のGracenoteデータベースを更新します。

音楽CDを録音する

本機で市販の音楽CDをSDカードに録音できます。録音した曲はMUSIC STOCKERで再生できます。あらかじめ本機にSDカードを挿入しておく必要があります。**➔SDカードを挿入する(P.228)**

録音・再生について

- 録音は本機で再生できる市販の音楽CDのみ可能です。
  ※MP3／WMAファイルのあるCDは録音できません。
- 録音した曲は本機のMUSIC STOCKERソースでのみ再生できます。本機のSDソースでは再生できません。
- 同じSDカードに同じ曲を重複して録音することはできません。
- 最大録音曲数は10 000曲までです。SDカードに空きがあっても10 000曲を超える録音はできません。
- 音楽CDの記録面のキズ、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- 本機はギャップレス録音(曲と曲の間の無音部分が無いCDを再生しても音が途切れないよう録音する機能)に対応しています。ギャップレス録音するには、音楽CDの全曲を一度にまとめて録音してください。複数回に分けて録音すると、ギャップレス録音できません。
- 録音中の再生音はMUSIC STOCKERに録音された音のため、音楽CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音をしながら他のソースに切り替えることができます。また、AVをOFFにしても録音は継続されます。
- 録音中は、情報バーにREC が表示されます。
- 録音中は、MUSIC STOCKERの再生は可能ですが、SDソースでの再生はできません。
- CDソースでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音を行うと設定は解除されます。
- 録音の開始時や、終了時には、数秒間音楽や音声が停止することがあります。
- 録音中に音楽CDを取り出した場合、録音中の曲を消去します。
- 録音中に車両のキースイッチ(電源ポジション)を切り替えたり、本機に振動や衝撃を加えたりすると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。
- dts-CDは録音できません。

■SDカードについて

- 録音に使用するSDカードは同梱のSDカードを使用してください。同梱以外のSDカードでは動作保証いたしかねます。
- 録音するとSDカードに「RECAUDIO」というフォルダが作成されます。「RECAUDIO」フォルダはパソコンなどで消去／変更を行わないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、SDカード内の保存データについては補償できません。

■MUSIC STOCKERのタイトル情報について

本機は市販の音楽CDを録音するときタイトル情報も一緒に記録します。MUSIC STOCKERのタイトル情報は、録音時にCD再生画面に表示されたタイトル情報で記録します。
MUSIC STOCKERでは、録音した各トラック／アルバムのタイトル情報を修正できます。
➔ 録音した曲のタイトル情報を修正する（P.303）

知識

- トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示文字数は最大で全角32（半角64）文字です。
- 録音時に記録されるタイトル情報がCD再生画面の表示どおりになるのは、録音したCDの情報が本機データベースに一致した場合のみです。本機データベースに一致しなかった場合、トラック名：“トラックXX”（XXはトラック番号）、アルバム名：“新規アルバムXXXXXXXX”（XXXXXXXXは録音した日付）、アーティスト名：“新規アーティスト”と記録されます。
- 該当するジャンル名が無い場合は“その他”と表示されます。

音楽CDを録音する

自動で録音する

1 **録音する音楽CDを挿入する**

➔ ディスクを挿入する(P.242)

未録音の音楽CDを挿入したとき、自動で録音が始まります。
(1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合は自動録音されません。)

知識

- 自動で録音するには、録音設定で 自動録音 に設定しておく必要があります。
  ➔ 録音設定をする(P.286)

手動で録音する

1 **録音する音楽CDを挿入する**

➔ ディスクを挿入する(P.242)

2 **CD再生画面で ●録音 をタッチする**

3 **<録音方法>を選ぶ**

4 **●録音開始 をタッチする**

知識

- CD再生画面を表示するには音楽CD挿入中にAVメニューから CD／DVD／Blu-ray Disc ＊1／ CD／DVD ＊2をタッチします。
- SDカードの残容量が足りない場合は 全曲録音 をタッチできません。(不要な録音データを消去してください。)
  ➔ 録音した曲を消去する(P.293)

＊1… MM518D-L MM518D-W
＊2… MM318D-L MM318D-W MM318D-A

音楽CDを録音する

<録音方法>

全曲録音	全曲録音します。
選択曲録音	録音する曲を選びます。トラックリストから録音したい曲をタッチして✔印を付けて 決定 をタッチしてください。

録音を中止する

1 CD再生画面で 録音中止 をタッチする

知識

- 録音を中止しても録音が終わっているトラックはSDカードに保存されます。

録音設定をする

自動録音／手動録音の選択や、音質の設定ができます。

録音設定をする

1 CD再生画面で 録音設定 をタッチする

※録音中は 録音設定 をタッチできません。

2 ＜設定項目＞のボタンをタッチする

＜設定項目＞

録音管理	音楽CDを本機に挿入すると曲の再生とともに自動で録音を開始するか、手動録音で録音するかを設定します。 ※ 自動録音 に設定していても、1曲でも録音済みの音楽CDを挿入した場合、自動録音は開始されません。
録音音質	◀／▶ をタッチして録音音質(ビットレート)を設定できます。

知識

- CD再生画面を表示するには音楽CD挿入中にAVメニューから CD／DVD／Blu-ray Disc ＊1／CD／DVD ＊2をタッチします。

録音音質と録音可能曲数の目安

録音音質(ビットレート)	録音可能曲数
96 kbps	約2 900曲
128 kbps	約2 100曲
192 kbps	約1 450曲
256 kbps	約1 050曲
320 kbps	約850曲

※1曲を4分で換算し、同梱のSDカード(8 GB)を使用した場合

＊1… MM518D-L MM518D-W
＊2… MM318D-L MM318D-W MM318D-A

MUSIC STOCKERの音楽を聴く

本機でSDカード(MUSIC STOCKER)に録音した曲を再生します。再生前に、録音に使用したSDカードを挿入しておく必要があります。
➔ 音楽CDを録音する(P.282)、➔SDカードを挿入する(P.228)

■ 再生する

1	AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

1	⏮ ⏭ を押す*1 ／ TRACK SEEK を回す*2

■ 早戻し／早送りする

1	⏮ ⏭ を押したままにする*1 ／ TRACK SEEK を回したままにする*2 指を離すと通常再生に戻ります。

＊1… MM518D-L(エルグランド) MM318D-A
＊2… MM518D-L(セレナ) MM518D-L(エクストレイル) MM518D-W MM318D-L MM318D-W

操作画面の見かた

再生画面（タイトル情報表示時）

① **動作状態**

▶ ：通常再生　▶▶ ：早送り　◀◀ ：早戻し　II ：一時停止

② **再生時間**

③ **ジャケット写真**

登録したジャケット写真を表示します。

➔ ジャケット写真を登録する（P.307）

④ **タイトル情報**

トラック名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名を表示します。

⑤ **Sound**

AV設定画面を表示します。

➔ AV設定をする（P.175）

⑥ **各種設定マーク**

EQ ：イコライザー設定　HALL ：サラウンド設定　REPEAT TRACK ：再生モードマーク

⑦ **オーディオ操作ボタン**

タッチして選曲や再生モードの変更をします。

<オーディオ操作ボタン>

選曲モード	➔ 選曲モードから選曲する(P.291)
再生モード	➔ リピート／ランダム／スキャン再生する(P.292)
編集	録音した曲の管理や、タイトル情報を編集できます。
情報	録音データの初期化や、SDカードの情報を表示します。
▶II	一時停止／再生します。
⏮	前の曲に1つずつ戻します。 再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。
⏭	次の曲に1つずつ進めます。 再生中にタッチしたままにすると、早送りします。
⊖ ／ ⊕	前のアルバム／次のアルバムの先頭の曲から再生します。
◉	アルバムリストを表示します。 ※アルバムリストは選曲モードによって変わります。
≡	トラックリストを表示します。 ※トラックリストは選曲モードによって変わります。
♪	タイトル情報を表示します。

知識

- 選曲モードで ジャンル ／ お気に入り (トラック1～トラック4)をタッチして選曲した場合、 ⊖ ／ ⊕ は表示されません。

AV

MUSIC STOCKERの音楽を聴く

トラックリストから選曲する

1 をタッチして、トラックリスト表示にする

2 再生したい曲を選んでタッチする

知識

- トラックリストは選曲モードによって変わります。

再生するアルバムを選ぶ

1 をタッチして、アルバムリスト表示にする

2 再生したいアルバムを選んでタッチする

知識

- 選曲モードで ジャンル ／ お気に入り (トラック1～トラック4)をタッチして選曲した場合、 はタッチできません。
- アルバムリストは選曲モードによって変わります。

MUSIC STOCKERの音楽を聴く

選曲モードから選曲する

1	選曲モード をタッチする
2	選曲方法を選んでタッチする
3	表示されるリストから順次選んでタッチしていき、再生したい曲を選んでタッチする

知識

- 再生中画面 ⮌ をタッチすると、再生画面を表示します。
- 名前順 をタッチすると、リストを名前順に並べ替えます。*1(タイトル情報の“よみ”に基づいて50音順に並べ替えます。“よみ”情報が無いものは一番下に並べます。)
  ※別の画面に切り替わると、登録順の並びになります。
- 登録順 をタッチすると、リストを録音した順に並べ替えます。*1(新しいものが一番上です。)

＊1…リストの並べ替えボタン(名前順 ／ 登録順)は、アーティストリスト表示またはアルバムリスト表示(お気に入りアルバムを除く)のときのみ表示されます。

リピート／ランダム／スキャン再生する

1	再生モード をタッチし、 <再生モード>を選んでタッチする	

<再生モード>

リピート	タッチするたびに、リピートトラック／通常再生を切り替えます。 リピートトラック：再生中の曲を繰り返し再生します。
ランダム	タッチするたびに、ランダム／通常再生を切り替えます。 ランダム：現在のトラックリストの曲を順不同にして再生します。
スキャン	タッチするたびに、スキャン／通常再生を切り替えます。 スキャン：曲を約10秒ずつ再生します。

録音した曲を消去する

すべての曲を消去する(録音データ初期化)

1	AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする
2	情報 → 録音データ初期化 をタッチする

⚠ 注意

- 消去(初期化)中は他の操作(AVソースを切り替える、車両のキースイッチ(電源ポジション)を切り替えるなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 消去(初期化)すると、お客さまの音楽データは消去され、もとに戻せません。

録音した曲を消去する

1曲選んで消去する

1	AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする
2	編集 → 曲管理 をタッチする
3	リストから消去したい曲のアルバムを選んでタッチし、 トラック表示 をタッチする
4	リストから消去したい曲を選んでタッチし、 消去 をタッチする

録音した曲を消去する

アルバムを選んでアルバムごと消去する

1	AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする
2	編集 → 曲管理 をタッチする
3	リストから消去したいアルバムを選んでタッチし、 消去 をタッチする

更新方法の種類

■オンライン検索

通信アダプタ(または携帯電話)を使用して、Gracenote音楽認識サービスより音楽CD(アルバム)または曲で個別にタイトル情報を取得します。

- CD再生画面のタイトル情報についてデータベース更新する場合は下記をご覧ください。
  ➔ オンライン検索をする(市販の音楽CDのみ)(P.279)
- 録音した曲のタイトル情報についてデータベース更新する場合は下記をご覧ください。
  ➔ 録音した曲のタイトル情報を修正する(P.303)

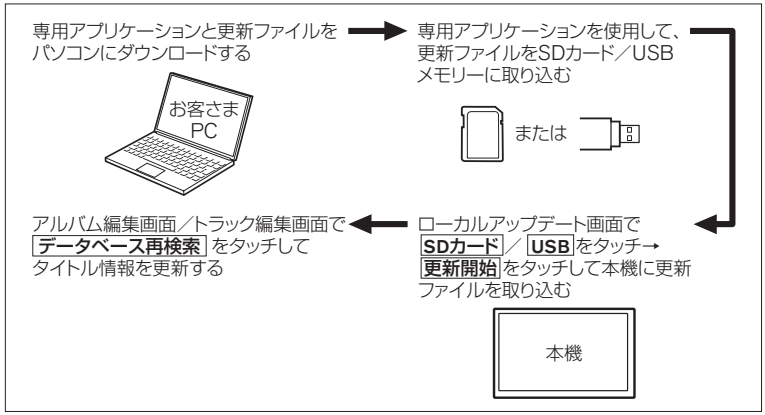
Gracenoteデータベースの更新について

■パソコンを使用したデータベース更新

パソコンで指定Webサイトからデータベース更新ファイルを取得して本機データベースを更新する方法です。ローカルアップデートと、カスタムアップデートが選べます。

- ローカルアップデート(定期更新)は、多数のタイトル情報をまとめてデータベース更新する方法です。

ローカルアップデートの流れ



操作方法について詳しくは下記をご覧ください。

➔ ローカルアップデートをする(P.299)

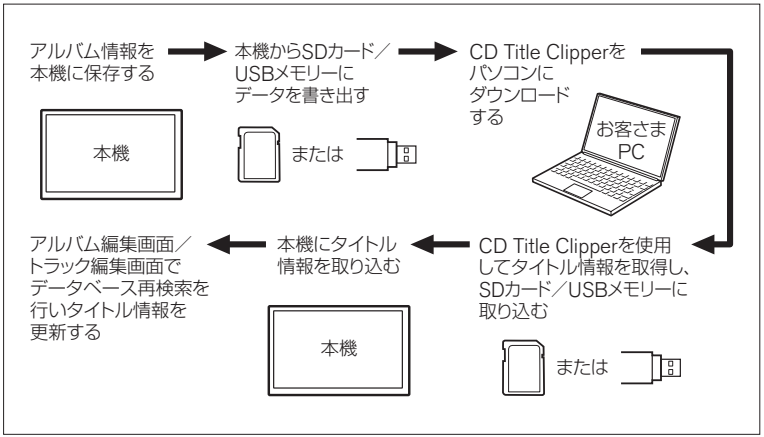
知識

- ローカルアップデートおよびカスタムアップデートを行うには、パソコン、SDカード、インターネット接続環境などの動作環境を整えていただく必要があります。
  ※パソコンの動作環境(OSなど)については、指定Webサイトをご覧ください。
- ローカルアップデート、カスタムアップデートには専用アプリケーションが必要です。専用アプリケーションは指定Webサイトから入手できます。操作手順(操作方法)は指定Webサイトでご確認ください。ご利用いただくにはユーザー登録をお願いいたします。
  指定Webサイト
  http://www.nissan.co.jp/
  ※上記にアクセスし、「アクセサリー」メニューから「ナビゲーション／オーディオ」→「ナビ関連データ」→「楽曲タイトルデータベース更新について」を選んでください。
  ※Webサイトのアドレスやメニューは都合により変更させていただく場合があります。

Gracenoteデータベースの更新について

- カスタムアップデート（個別更新）は、アルバム／トラックで個別にデータベース更新する方法です。
  指定Webサイト（http://www.nissan.co.jp/）から専用アプリケーション（CD Title Clipper）とその取扱説明書をダウンロードし、更新してください。

カスタムアップデートの流れ



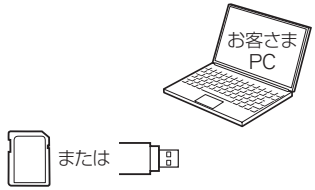
知識

- ローカルアップデートのデータベース更新は2026年3月をもって終了させていただきます。ご了承ください。

ローカルアップデートをする

日産の指定Webサイト(http://www.nissan.co.jp/)で定期的に更新される更新ファイルを使って、収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新できます。

■手順1：SDカードまたはUSBメモリーにデータベースファイルを取り込む

1	専用アプリケーションとデータベースファイルをパソコンにダウンロードする	
2	専用アプリケーションを使用して半角で「NVDATA」というフォルダを作成し、パソコンにダウンロードしたデータベースファイルを「NVDATA」フォルダに移動し、SDカードまたはUSBメモリーに取り込む	

知識

- ローカルアップデート(定期更新)は情報の取り込みのみを行います。
- 指定Webサイトも合わせてご覧になり、操作してください。

■手順2：本機にデータベースファイルを取り込む

1 SDカードまたはUSBメモリーを本機に挿入／接続する

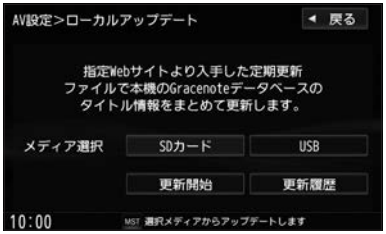
2 メニュー を押して、情報・設定 → AV設定 → その他設定 → gracenote をタッチする

3 ローカルアップデート(定期更新) をタッチする

録音中はタッチできません。

4 選択メディアを選んで、更新開始 をタッチする

取り込み(更新)完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、OK をタッチする



取り込み完了後、データベース再検索 でタイトル情報を修正してください。

➔ データベース再検索／オンライン検索で修正する(P.304)

⚠ 注意

- 更新中は他の操作(AVソースを切り替える、車両のキースイッチ(電源ポジション)を切り替える、電源を切る、CD・SDカードを取り出すなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

知識

- 更新履歴 をタッチすると、SDカードまたはUSBメモリーから更新したGracenoteデータベースのバージョンを確認できます。
  ※表示されていないバージョンを更新してください。バージョン情報は、一定の個数を超えると古い順に上書きされます。

ローカルアップデートをする

知識

- 最新の更新ファイルで更新しても、すべてのデータベースが更新されるわけではありません。更新をしたい期間の更新ファイルをすべてダウンロードし、更新を行ってください。

Gracenoteデータベースを初期化する

Gracenoteデータベースを初期化する

1	メニュー を押して、情報・設定 → AV設定 → その他設定 → gracenote をタッチする
2	初期化 をタッチする 録音中はタッチできません。

⚠ 注意

- 初期化中は他の操作(AVソースを切り替える、車両のキースイッチ(電源ポジション)を切り替えるなど)をしないでください。
  他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化すると、お客さまが今までオンライン検索／ローカルアップデート／カスタムアップデートで更新したデータは消去され、もとに戻せません。

知識

- 本機を他人に譲り渡したり処分したりする場合は必ずデータベースの初期化を行ってください。

録音した曲のタイトル情報を修正する

トラック名／アーティスト名／アルバム名の修正およびジャンル分類を修正できます。

文字入力で修正する

1 AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする

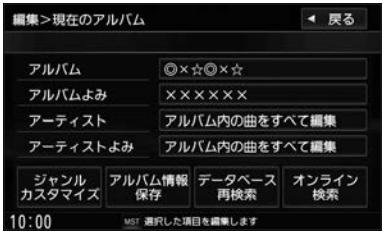
2 タイトル情報を修正したい曲を選曲する

3 編集 → 現在のトラック ／ 現在のアルバム をタッチする

現在のトラック ：選曲中のトラックのアーティスト名／トラック名／ジャンル分類を修正

現在のアルバム ：選曲中のアルバムのアルバム名／アーティスト名／ジャンル分類を修正

4 変更する項目をタッチし、文字を入力する
ジャンル分類を修正したい場合は、
ジャンルカスタマイズ をタッチして、
ジャンルリストから選ぶ



知識

- アルバム編集画面でアーティスト名を入力して修正した場合、修正結果は再生画面で確認してください。
- 本機でSDカードに録音した曲ファイルのタグ情報をパソコンなどで変更しても、MUSIC STOCKERには反映されません。

録音した曲のタイトル情報を修正する

■ データベース再検索／オンライン検索で修正する

1	AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする
2	タイトル情報を修正したい曲を選曲する
3	編集 → 現在のトラック ／ 現在のアルバム をタッチする
4	データベース再検索 ／ オンライン検索 をタッチする データベース再検索 ：本機のデータベースを再検索して、タイトル情報を修正 オンライン検索 ：通信アダプタ（または携帯電話）を使用し、インターネットでタイトル情報を取得して修正

知識

- データベース再検索 ／ オンライン検索 をタッチしてタイトル情報が複数検索された場合は、タイトル情報選択画面が表示されます。 次へ ／ 前へ をタッチしてアルバムを選び、 更新 をタッチしてください。
- 本機のデータベースにタイトル情報が無いアルバム／トラックの場合、 データベース再検索 をタッチしても修正できません、またデータベースの情報が間違っている場合もあります。この場合、データベースの更新をしてから再度 データベース再検索 をタッチしてください。

➔ Gracenoteデータベースの更新について（P.296）

再生しないアルバム／トラックを選ぶ

再生しないアルバムを選ぶ

1 AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする

2 編集 → 曲管理 → 再生選択 をタッチする

3 再生しないアルバムをタッチして✔印を非表示にし、決定 をタッチする

知識

- 再生選択は、ジャンル／お気に入りのリストには反映されません。
- 再生選択で再生しない設定をしても、選曲モードでアーティスト名は表示されます。
- 本機の登録アルバム数が100より多い場合、再生選択画面に 前へ ／ 次へ が表示されます。 前へ ／ 次へ をタッチして100アルバムごとに再生選択をしてください。
- 全選択 をタッチすると、すべての表示リストに✔印を付けます。
- 全解除 をタッチすると、すべての表示リストの✔印を消します。
- アルバム／トラックをタッチするたびに✔印が表示↔非表示になります。

再生しないアルバム／トラックを選ぶ

再生しないトラックを選ぶ

1	AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする
2	編集 → 曲管理 をタッチする
3	アルバムリストからアルバムを選んでタッチし、 トラック表示 → 再生選択 をタッチする
4	再生しないトラックをタッチして✔印を非表示にし、 決定 をタッチする

ジャケット写真を登録する

録音したアルバムにジャケット写真を登録すると、MUSIC STOCKER再生画面に登録したジャケット写真が表示されます。

ジャケット写真を登録する

本機に、登録したい画像ファイルが入ったSDカードを挿入／USBメモリーを接続してください。

1	AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする
2	編集 → 曲管理 をタッチする
3	アルバムリストからアルバムを選んでタッチし、 ジャケット写真 をタッチする
4	登録したい画像ファイルが入ったメディア(SDカード ／ USB)を選んでタッチし、 ジャケット写真を選択する をタッチする
5	フォルダリストから登録したい画像ファイルが入ったフォルダを選んでタッチし、登録したい画像をタッチする

知識

MUSIC STOCKER再生画面

ジャケット写真

- ジャケット写真を登録したアルバムをパソコンなど本機以外で使用する場合、ジャケット写真は表示されません。

ジャケット写真に登録できる画像ファイル形式

- JPEG形式のみ登録できます。
- 176×176ピクセル以上、1 024×1 024ピクセル以下の画像を推奨します。176×176ピクセル未満では表示エリアより小さく表示されます。

お気に入り登録をする

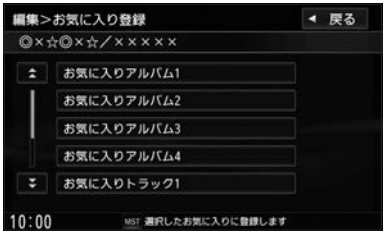
お気に入りフォルダにアルバム／トラックを登録する

1 MUSIC STOCKERでお気に入りに登録したいアルバム／トラックを選曲する

2 編集 → お気に入り登録 をタッチする

3 登録先のフォルダ（お気に入りフォルダ）を選んでタッチする

選曲した曲のアルバムを登録する場合は お気に入りアルバム1 ～ お気に入りアルバム4 から、選曲したトラックを登録する場合は お気に入りトラック1 ～ お気に入りトラック4 から選んでください。



知識

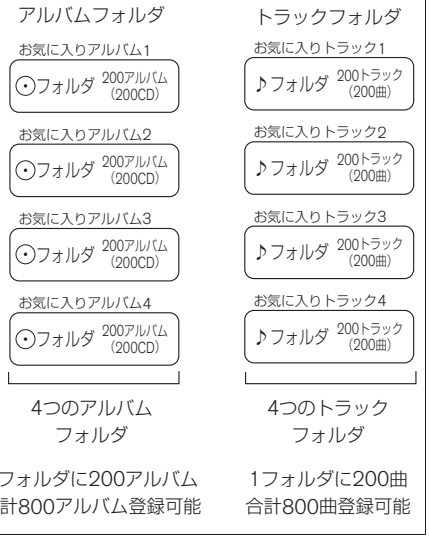
- お気に入りに登録したアルバム／トラックは選曲モードの お気に入り で選曲できます。
- 曲管理画面からでもお気に入り登録ができます。
- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。

お気に入り登録をする

知識

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成

お気に入りフォルダには、4つのアルバムフォルダと4つのトラックフォルダがあります。



お気に入りフォルダからアルバム／トラックを消去する

1 AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする

2 編集 → お気に入り管理 をタッチする

3 お気に入りフォルダを選んでタッチし、フォルダ内表示 をタッチする

※ 消去 をタッチすると、選んだお気に入りフォルダの曲をすべて消去します。

4 リストから消去したいアルバム／トラックを選んでタッチし、消去 をタッチする

⚠ 注意

- 消去中は他の操作（AVソースを切り替える、車両のキースイッチ（電源ポジション）を切り替えるなど）をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

知識

- お気に入りフォルダからアルバム／トラックを消去しても、お気に入りの登録は消去されますが、録音データは消去されません。

お気に入り登録をする

お気に入りフォルダのフォルダ名を変更する

1	AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする
2	編集 → お気に入り管理 をタッチする
3	フォルダリストから名称を変更したいフォルダを選んでタッチし、 フォルダ名編集 をタッチする
4	フォルダ名を入力して、 決定 をタッチする

MUSIC STOCKERの空き容量を確認する

MUSIC STOCKERの空き容量を確認する

1	AVメニューから MUSIC STOCKER をタッチする
2	情報 → MUSIC STOCKER情報 をタッチする

外部機器の映像／音声を視聴する

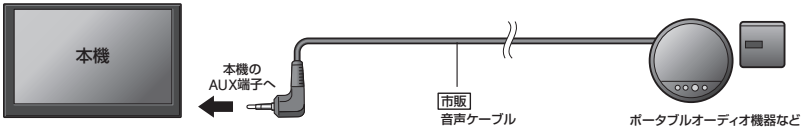
市販のAV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

外部機器の接続について

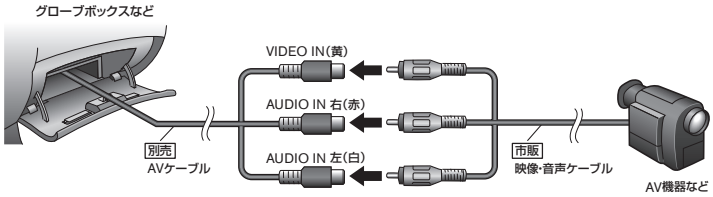
本機は外部機器と以下の方法で接続できます。

■本機のAUX端子に接続（音声のみ）

※ MM318D-A は対応していません。

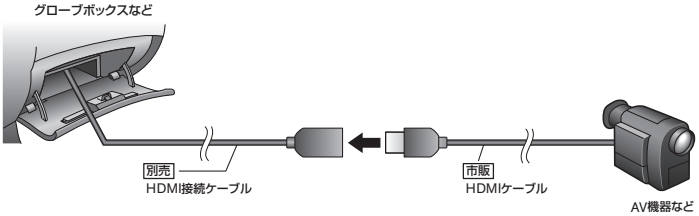


■AVケーブルで接続



■HDMIケーブルで接続

MM518D-L MM518D-W のみ



知識

- ディスプレイを開閉するときに音声ケーブルがからまったり、プラグ部がぶつかったりしないよう注意して接続してください。
- 音声ケーブルは抵抗なし品を使用してください。抵抗入りケーブルは音声が聞こえません。
- 別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー／ドライブレコーダーを本機に接続している場合、AVケーブルの接続はできません。
- AVケーブルの場所は、車種によって異なります。詳しくは日産販売会社にご確認ください。
- HDMI接続ケーブルの場所は、車種によって異なります。詳しくは日産販売会社にご確認ください。

外部機器の映像／音声を視聴する

外部機器の映像を見る／音声を聴く

1	外部機器を本機と接続する ➔ 外部機器の接続について（P.313）
2	本機を起動し、外部機器の電源を入れる
3	AVメニューから＜接続方法＞をタッチする
4	AV機器やポータブルオーディオ機器などを操作する

＜接続方法＞

AUX ＊1	本機のAUX端子に接続します。
VTR	AVケーブルで接続します。
HDMI ＊2	HDMIケーブルで接続します。

アドバイス

- 接続する前に、外部機器と本機の電源を切ってください。（本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。）
- 電源を切るときは、接続した機器の電源を切ってから本機の電源を切って（車両のキースイッチ（電源ポジション）をOFFにして）ください。

知識

- 操作のしかたはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

＊1… MM518D-L MM518D-W MM318D-L MM318D-W のみ
＊2… MM518D-L MM518D-W のみ

外部機器の映像／音声を視聴する

知識

- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるよう調整してください。

VTRソース・AUXソース＊1について

- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音声にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子	
映像入力レベル	1 Vpp（入力インピーダンス75 Ω）
音声最大入力レベル	2.0 V（入力インピーダンス47 kΩ）
AUX入力端子	
音声最大入力レベル	2.0 V（入力インピーダンス47 kΩ）

HDMIソース＊2について

- 対応している映像信号は1 920×1 080i（60 Hz）、1 280×720p（60 Hz）、720×480p（60 Hz）、640×480p（60 Hz）です。
- HDMIケーブルで接続した機器の音声が**Bluetooth®**で接続されている場合、HDMIで音声が出ないことがあります。そのような場合は機器側の**Bluetooth®**の接続をOFFにしてからHDMIを使用してください。

＊1… MM518D-L MM518D-W MM318D-L MM318D-W のみ
＊2… MM518D-L MM518D-W のみ

MEMO

カメラシステム

バックビューモニターを使う P.318

インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）を使う P.328

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る P.329

録画／記録したファイルを再生する P.332

ファイルを保護／解除する P.337

ファイルを消去する P.339

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする P.342

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化（フォーマット）する P.346

ドライブレコーダー

ドライブレコーダーの映像を見る P.347

ETC

ETC／ETC2.0の設定をする P.348

ETC情報を見る P.351

ETC2.0の情報を見る P.352

バックビューモニターを使う

本機にディーラーオプションのバックビューモニターを接続すると、画面に車両後方の映像を表示できます。

ご使用になる前に

■取り扱い上のご注意

- **カメラには強い衝撃を与えない**
  カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。破損して火災・感電の原因となることがあります。
- **カメラを汚さない**
  －カメラ部に泥・雨滴・雪などが付着すると、バックビューモニターの映りが悪くなりますので、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
  －カメラ部に泥・雪などが付着して、泥が固まったり、氷がついたりしているときは、棒などでたたいて泥や氷を落とさずに、ぬるま湯をかけて洗い流してください。破損して火災・感電の原因となることがあります。

- **タバコなどの火気を近づけない**
  カメラやコード類にタバコなどの火気を近づけないでください。破損や発火の原因となることがあります。
- **安全な保守・点検を行うために**
  －カメラレンズ部はキズを付けない
  ボディ洗車する場合やカメラレンズ部の汚れを拭き取る際はキズを付けないよう注意してください。カメラレンズ部への洗車ブラシ等のご使用はしないでください。バックビューモニター映像への影響がでることがあります。
  －ボディワックスはカメラレンズ部に付けない
  ボディワックスをかける場合は、ワックスがカメラレンズ部に付かないよう注意してください。カメラレンズ部のコーティング性能を劣化させる原因となることがあります。

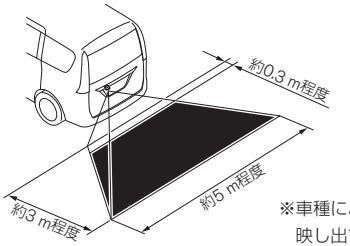
- **ベンジン・シンナー等でカメラを拭かない**
  アルコール・ベンジン・シンナー等でカメラを拭かないでください。変色及びカメラレンズ部のコーティング性能の劣化などの原因となります。汚れを落とすときは、ぬれた柔らかい布で拭いてから、から拭きをしてください。
- **部分的に明るい光を映したとき、画面が白くぼやけて見えにくくなることがありますが、故障ではありません。**
- **無線機のアンテナを近くに取り付けない**
  無線機の電波がケーブルに飛び込むと、バックビューモニター映像にナナメの縞模様が出ることがあります。

使用方法

■バックビューモニターの映像を映し出すには

1	**車両のキースイッチ(電源ポジション)をONにする**
2	**車両のシフトレバーをリバースに入れる** バックビューモニター映像が自動的に映し出されます。

■バックビューモニターの映し出す範囲(イメージ図)



※車種によりバックビューモニターの映し出す範囲が異なります。

アドバイス

- カメラのレンズ部が汚れていると、映りが悪くなりますので清掃してください。

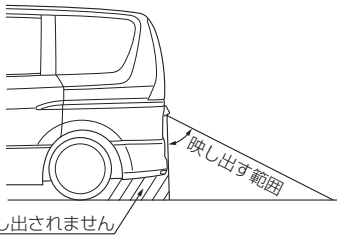
知識

- シフトレバーをリバース以外にすると、もとの画面に戻ります。可動式ディスプレイ付き車は自動格納されない機種もあります。手動または格納スイッチを操作してください。
- 次のような場合は、バックビューモニターの映像が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
  - 暗いところ(夜間など)や極端に暑いとき(寒いとき)は、映りが悪くなることがあります。
  - 直接カメラに強い光が入ると、映像に影響が出ることがあります。
  - 蛍光灯等の照明の下では、画面がちらつくことがあります。
  - バンパーなどからの強い反射光が入ると、映像に影響が出ることがあります。

■バックビューモニター使用時のご注意

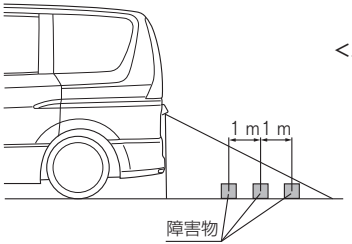
⚠ 警告

- バックビューモニターが映し出す範囲には限界があります。
  後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら後退を開始してください。
- バックビューモニターの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- バックビューモニターの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。

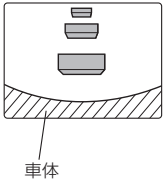


⚠ 注意

- バックビューモニターの映像は広角レンズを使用しておりますので、実際の距離と感覚が異なります。
  ゆっくり後退してください。
- バックビューモニターの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた鏡像です。



<バックビューモニター映像画面>



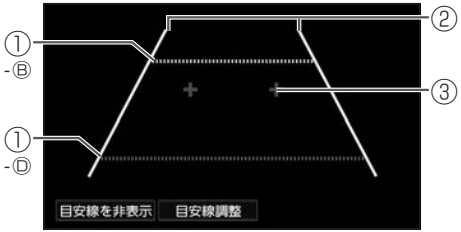
知識

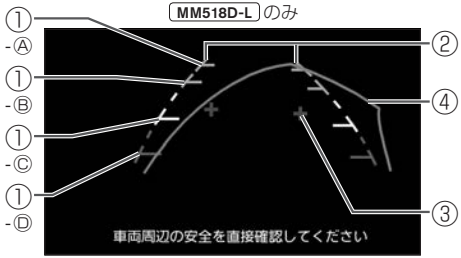
- 夜間や暗い場所、照明の下などではモニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- ディスプレイ表示の優先順により、バックビューモニターの映像が映らないときや、バックビューモニターの映像表示中に他の画面が割り込むことがあります。
- バックビューモニターの作動中は、他画面の操作ができない機種があります。ナビゲーション等の操作を行う場合は、車両のシフトレバーをリバース以外にしてください。
- 字光式ナンバープレートを装着すると、バックビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- 後席専用モニター付き車は、後席の画面表示がなくなったり、バックビューモニター映像に切り替わる場合があります。

■ 目安線の表示／非表示を切り替える

1	バックビューモニター映像表示中に、画面をタッチし、目安線を表示／目安線を非表示をタッチする	

目安線の見かた





アドバイス

- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- バックビューモニターの映像に表示される車幅・距離目安線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 直接目で後方および周囲の安全を確認しながら後退を開始してください。バックビューモニターの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

① **距離目安線**

車両後方の距離の目安を表示します。

Ⓐ 緑：車両後端約3 m

Ⓑ 緑：車両後端約2 m

Ⓒ 黄：車両後端約1 m

Ⓓ 赤：車両後端約0.5 m

② **車幅目安線**

後退したときの車幅の目安を表示します。

③ **バックドア開閉目安点**

バックドアの開閉に必要なスペースの目安を表示します。

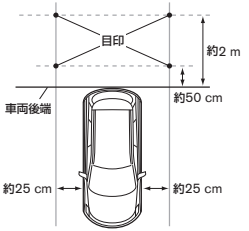
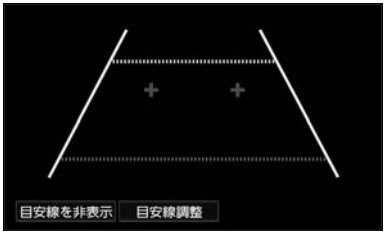
④ **予想進路線**

ハンドルの切れ角に対応する予想進路の目安を表示します。

ハンドル角に合わせて向きが変わり、ハンドルが中立状態になると消えます。

目安線を調整する

■距離目安線と車幅目安線を調整する

1	右図のように、4点の目印を付ける	
2	パーキングブレーキをかけ、車両のシフトレバーをリバースに入れる	
3	画面をタッチし、 目安線調整 をタッチする	

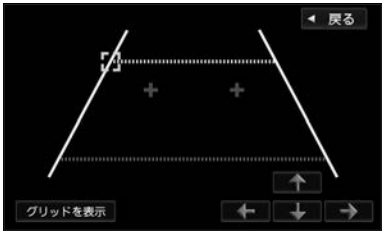
知識

- ガムテープなどで目印を付けてください。
- 目安線調整 が表示されない場合は、目安線を表示 をタッチして目安線を表示してください。
- 車種によってはバックビューモニターの取付位置により、目安線が車両にかかる場合があります。

次のページに続く

前のページから

4 目安線の端点をタッチして、
表示された[ ]が手順 1 で付けた目印と重なるように ↑ / ↓ / ← / → で、調整する

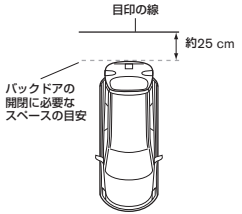
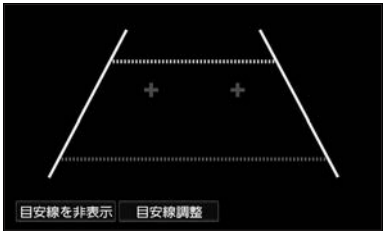


5 4点の調整が終了したら、 戻る をタッチする

知識

- グリッドを表示 をタッチするとグリッド線を表示します。

■バックドア開閉目安点を調整する

1	右図のように、目印の線を付ける	
2	パーキングブレーキをかけ、車両のシフトレバーをリバースに入れる	
3	画面をタッチし、 目安線調整 をタッチする	

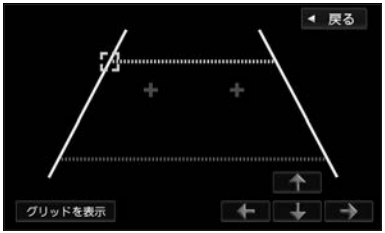
知識

- 目安線調整 が表示されない場合は、目安線を表示 をタッチして目安線を表示してください。

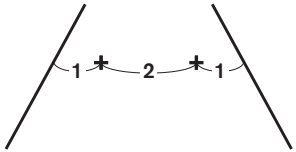
次のページに続く

前のページから

4 “✚” をタッチして、
↑／↓／←／→ で、
手順 1 で付けた目印の線と重なるように調整する



5 “✚” をタッチして、← ／ → で
車幅目安線との間隔がおおよそ1：2：1になるよう調整する



6 2点の調整が終了したら、 戻る をタッチする

アドバイス

- バックビューモニター画面上の “✚” はバックドアの開閉に必要なスペースの目安点です。これ以上車両を後退させるとバックドアを開いたとき障害物とぶつかる危険性があります。

知識

- グリッドを表示 をタッチするとグリッド線を表示します。

インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)を使う

インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)搭載車に本機を装着すると、インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像を表示できます。※車種によっては、モニター名称が異なります。

映像を表示する／非表示にする

■映像を表示する

1 (オプションスイッチ)を押す、または車両のシフトレバーをリバースに入れる

※車種によっては、 を操作しても表示できない場合があります。
この場合、車両側のスイッチを操作して表示させてください。

■映像を非表示にする

1 を数回押す、または車両のシフトレバーをリバース以外に入れる

走行速度が上がると、インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像からもとの画面に切り替わります。

※車種によっては、 を操作しても非表示にできない場合があります。
この場合、車両側のスイッチを操作して非表示にさせてください。

アドバイス

- インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の注意事項および詳しい操作方法については、車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 車種によっては、本機の画面にインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像が表示できない場合があります。

ソナーのON／OFFを切り替える

ソナー付きのインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)装着車の場合は、本機でソナーのON／OFFを切り替えることができます。

1 を長押しする

アドバイス

- ソナーについて詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

知識

- 車種によってはソナーのON／OFFができない場合があります。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面で日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見ることができます。

■ 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る

1 AVメニューから ドライブレコーダー をタッチする

■ 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー映像画面の見かた

① **時計表示**

現在の時刻を表示します。

※設定により非表示にできます。

➔ 地図画面の表示設定をする（P.77）

アドバイス

- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの注意事項および詳しい操作方法については、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

知識

- 別売のAVケーブルを本機に接続している場合、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは接続できません。
- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは、パソコンとビューアーソフトを使って、ファイルの再生やバックアップなどを行うことができます。詳しくは日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

② **録画マーク**

●REC：常時録画中
●☜：手動録画中
●ⓘ：イベント記録中
ⓘ II：録画停止中

③ **録画終了までの残り秒数**

手動録画中／イベント記録中の録画終了までの残り秒数を表示します。

④ **音声記録マーク**

：音声記録ON
：音声記録OFF

⑤ **録画画質マーク**

UXP：最高画質
XP：高画質
SP：標準画質
LP：長時間画質

⑥ **静止画撮影マーク**

静止画を撮影したときに表示します。

⑦ **エラーマーク**

⊗☜：手動録画不可
⊗ⓘ：イベント記録不可
⊗P：駐車録画不可

⑧ **操作ボタン**

手動録画をしたり、静止画の撮影などをします。
操作ボタンは、映像画面をタッチすると表示されます。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る

＜操作ボタン＞

ボタン消	操作ボタンを消します。
メニュー	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのメニュー画面を表示します。
音声	常時録画の音声記録ON／OFFを切り替えます。
静止画	静止画を撮影します。
手動録画	手動録画を行います。

知識

- メニュー をタッチすると、録画が停止します。
  AV や 現在地 を押すなどして日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー画面を終了すると録画が再開されます。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。
- 音声 では手動録画とイベント記録の音声記録ON／OFFの切り替えはできません。
- 手動録画中に 手動録画 をタッチすると手動録画を延長できます。

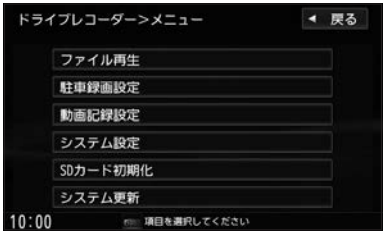
録画／記録したファイルを再生する

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画／記録したファイルを本機で再生できます。

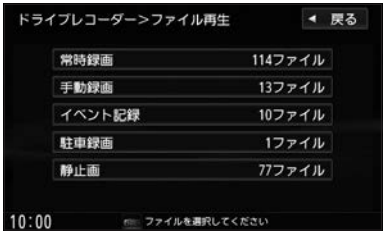
録画／記録したファイルを再生する

1 AVメニューから ドライブレコーダー をタッチする

2 画面をタッチし、
メニュー → ファイル再生 をタッチする



3 フォルダを選んでタッチする



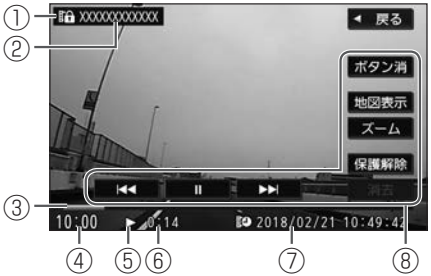
4 再生したいファイルを選んでタッチする

知識

- 手順 2 で メニュー をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー再生画面の見かた

ファイル再生画面（録画再生時）



地図表示 をタッチ　　戻る をタッチ

ファイル再生画面（地図表示時）

① **保護マーク**
再生中のファイルが保護されていると表示します。

② **ファイル名**

知識

- 地図表示 をタッチして表示された地図画面では、地図のスクロールができません。

③ **プログレスバー**
再生の進捗を表示します。

④ **時計表示**
現在の時刻を表示します。
※設定により非表示にできます。
➔ 地図画面の表示設定をする（P.77）

⑤ **動作状態**
▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し　❙❙：一時停止
❙▶：スロー送り　◀❙：スロー戻し　📷：静止画ファイル再生

⑥ **再生時間**

⑦ **再生ファイルの日時**

⑧ **操作ボタン**
タッチして地図画面と２画面にしたり、早送りや一時停止などをします。
操作ボタンが消えている場合は、ファイル再生画面をタッチすると表示されます。

⑨ **撮影地点マーク**
撮影した場所を（静止画の場合は）で示します。

知識

- 本機の電源を入れてから日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーと接続できるまでの間など、録画中に位置情報を記録できない場合があります。この場合、撮影地点マークは表示されません。

＜操作ボタン＞

ボタン消	操作ボタンを消します。
地図表示	画面を2つに分け、地図画面と再生画面を表示します。
ズーム	映像を拡大／縮小します。 ➔ 映像を拡大／縮小する（P.336）
保護 ／ 保護解除	再生中のファイルの保護↔保護解除が切り替わります。 ※常時録画ファイルは保護できません。
消去	再生中のファイルを消去します。 ※保護されているファイルは消去できません。
⏮	前のファイルに戻します。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー戻しします。
⏸ ／ ▶	一時停止／再生します。
⏭	次のファイルに進めます。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早送りします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー送りします。

■映像を拡大／縮小する

ファイル再生画面で ズーム をタッチすると、<ズーム操作ボタン>を表示します。

<ズーム操作ボタン>

ボタン消 ／ ボタン表示	ズーム操作ボタンの非表示↔表示が切り替わります。
拡大	映像を拡大します。
縮小	映像を縮小します。

知識

- 選べる倍率は、等倍、2倍、4倍です。
- 倍率を2倍または4倍にした画面では、画面をタッチするとタッチしたところが中心になるよう画面が動きます。

ファイルを保護／解除する

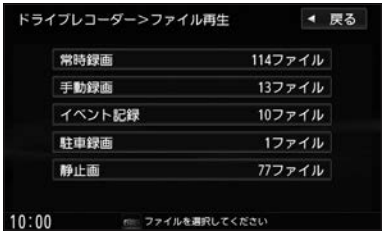
別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画／記録したファイルを保護したり、保護を解除したりすることができます。

ファイルを選んで保護／解除する

1 AVメニューから ドライブレコーダー をタッチする

2 画面をタッチし、
メニュー → ファイル再生 をタッチする

3 フォルダを選んでタッチする



知識

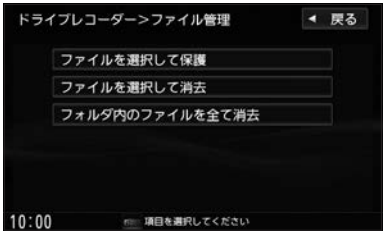
- 手順 2 で メニュー をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。
- 常時録画ファイルは保護できません。

次のページに続く

ファイルを保護／解除する

前のページから

4 ファイル管理 → ファイルを選択して保護 をタッチする



5 リストから保護したいファイルを選んでタッチする

タッチするたびに保護マーク( )の表示↔非表示が切り替わります。

表示　　：保護します。

マーク非表示：保護しません。
（保護を解除します。）

6 決定 をタッチする

知識

- 全選択 をタッチするとすべてのファイルに保護マーク( )を付けます。
- 全解除 をタッチするとすべてのファイルの保護マーク( )を消します。

ファイルを消去する

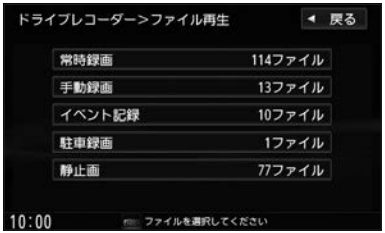
別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画／記録したファイルを消去できます。

ファイルを選んで消去する

1 AVメニューから ドライブレコーダー をタッチする

2 画面をタッチし、
メニュー → ファイル再生 をタッチする

3 フォルダを選んでタッチする



知識

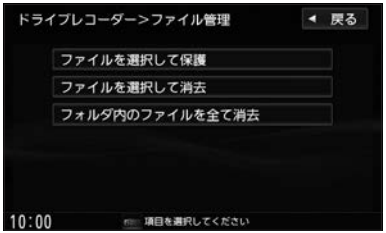
- 保護されたファイルは消去できません。
- 手順 2 で メニュー をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

次のページに続く

ファイルを消去する

前のページから

4 **ファイル管理 → ファイルを選択して消去 をタッチする**



5 **リストから消去したいファイルを選んでタッチし、✔印を付ける**

タッチするたびに✔印の表示↔非表示が切り替わります。

6 **決定 をタッチする**

✔印を付けたファイルが消去されます。

知識

- 全選択 をタッチするとすべてのファイルに✔印を付けます。（保護されたファイルは✔印が付きません。）
- 全解除 をタッチするとすべてのファイルの✔印を消します。

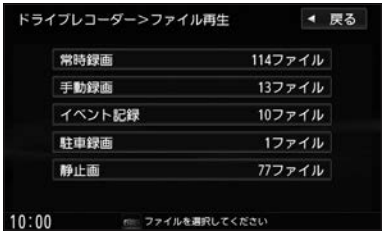
ファイルを消去する

フォルダ内のファイルをすべて消去する

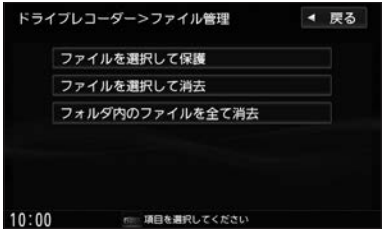
1 AVメニューから ドライブレコーダー をタッチする

2 画面をタッチし、
メニュー → ファイル再生 をタッチする

3 フォルダを選んでタッチする



4 ファイル管理 →
フォルダ内のファイルを全て消去 を
タッチする



知識

- 保護されたファイルは消去できません。
- 手順 2 で メニュー をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

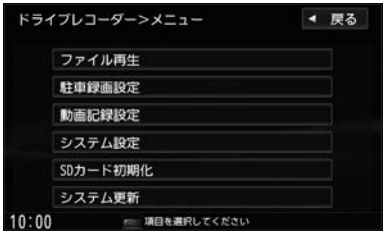
別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機で日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定を行うことができます。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

1 AVメニューから ドライブレコーダー をタッチする

2 画面をタッチし、 メニュー をタッチする

3 ＜設定項目＞を選ぶ



知識

- 手順 2 で メニュー をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

＜設定項目＞

駐車録画設定	録画時間	駐車録画の録画時間を 15秒間 ／ 30秒間 ／ 1分間 から選んで設定できます。 録画しない に設定すると、駐車録画を行いません。
	録画待機開始時間	車両のキースイッチ(電源ポジション)をOFFにした直後から一定時間、駐車録画を無効にするよう設定できます。 降車30秒後から ／ 降車1分後から ／ 降車3分後から から選んで無効にする時間を設定してください。 降車時から に設定すると、車両のキースイッチ(電源ポジション)をOFFにした直後から駐車録画が有効になります。
	録画待機終了時間	車両のキースイッチ(電源ポジション)をACCまたはONにする直前の一定時間、駐車録画を無効にするよう設定できます。 乗車30秒前まで ／ 乗車1分前まで ／ 乗車3分前まで から選んで無効にする時間を設定してください。 乗車時まで に設定すると、車両のキースイッチ(電源ポジション)をACCまたはONにする直前の駐車録画を無効にしません。
	上書き保存	駐車録画のファイル数がいっぱいになると、古い駐車録画ファイルから順に上書き する ／ しない を設定できます。
	感度設定	駐車録画を開始する検出の感度を5段階で設定できます。

知識

録画時間の目安について

microSDカード容量8 GBで常時録画の場合

最高画質　：最大70分
高画質　　：最大100分
標準画質　：最大150分
長時間画質：最大240分

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

動画記録設定	動画画質	録画する映像の画質を 最高画質(UXP) ／ 高画質(XP) ／ 標準画質(SP) ／ 長時間画質(LP) から選んで設定できます。
	音声記録	録画時に音声を記録するかどうかを しない ／ する(常時録画のみ) ／ する(手動・イベント・駐車録画) ／ する(すべての録画) から選んで設定できます。
	上書き保存(手動)	手動録画のファイル数がいっぱいになると、古い手動録画ファイルから順に上書き する ／ しない を設定できます。
	上書き保存(イベント)	イベント記録のファイル数がいっぱいになると、古いイベント記録ファイルから順に上書き する ／ しない を設定できます。
	感度設定(イベント)	イベント記録を開始する検出の感度を5段階で設定できます。

知識

- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音やファイル再生音声は、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー本体のスピーカーから出力されます。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

システム設定	通知音量	−／＋をタッチして、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音の音量を設定できます。
	再生音量	−／＋をタッチして、ファイルの再生音声の音量を設定できます。
	出荷時設定	初期化するをタッチして、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	システムバージョン	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムバージョンを表示します。
SDカード初期化		日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化（フォーマット）します。
システム更新		日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムを更新します。 ※システム更新については日産販売会社にお問い合わせください。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化(フォーマット)する

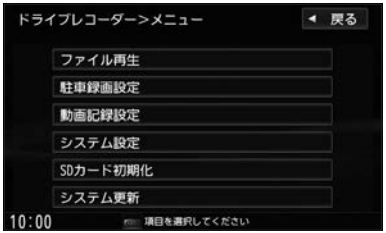
別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化(フォーマット)します。
※本操作では本機のSDカードは初期化されません。

microSDカードを初期化(フォーマット)する

1 AVメニューから ドライブレコーダー をタッチする

2 画面をタッチし、 メニュー をタッチする

3 SDカード初期化 をタッチする



アドバイス

- microSDカードを初期化(フォーマット)すると、保護したファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップしてから初期化(フォーマット)してください。

知識

- 手順 2 で メニュー をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

ドライブレコーダーの映像を見る

別売のドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面でドライブレコーダーの映像を見ることができます。

ドライブレコーダーの映像を見る

1 AVメニューから ドライブレコーダー をタッチする

アドバイス

- ドライブレコーダーの注意事項および詳しい操作方法については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

知識

- 別売のAVケーブルを本機に接続している場合、別売のドライブレコーダーは接続できません。

ETC／ETC2.0の設定をする

ETCの利用について

アドバイス

必ず、ETCシステム利用規定などをお読みください

- ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。
- 利用規定などは、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。
- ETCユニットまたはETC2.0車載器について詳しくはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。接続可能なETCユニットまたはETC2.0車載器の詳細は日産販売会社へご相談ください。
- ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取り扱い方法については、ETCユニットまたはETC2.0車載器に添付の取扱説明書をご覧ください。

ETC／ETC2.0の設定をする

ETCの設定をする

本機に別売のETCユニットまたはETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETCの設定を行うことができます。

1 メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → ETC をタッチする

2 ＜設定項目＞の設定ボタン（する／しない）から選んでタッチする

＜設定項目＞

ETC音声ガイド	本機でETC利用料金などを音声案内 する ／ しない を設定できます。 ※利用料金などの音声案内は、画面の表示と異なる場合があります。
カード入れ忘れ案内	本機を起動したときにETCカードが挿入されていない場合、音声とメッセージ画面でお知らせ する ／ しない を設定できます。
カード抜き忘れ案内	本機の電源を切ったときにETCカードが挿入されたままの場合、音声でお知らせ する ／ しない を設定できます。
カード有効期限切れ案内	ETCカードの有効期限が当月の場合、または有効期限が切れている場合、音声とメッセージ画面でお知らせ する ／ しない を設定できます。 ※本機起動中にETCカードを挿入したとき、もしくは挿入したままで本機を起動したときにお知らせします。

アドバイス

- カード有効期限切れ案内は、ETCカードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETCを使用する前は、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

知識

- “ETC音声ガイド”を しない に設定していても、カード入れ忘れ案内、カード抜き忘れ案内は、それぞれの設定に従って案内します。

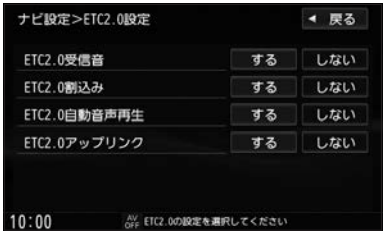
ETC／ETC2.0の設定をする

ETC2.0の設定をする

別売のETC2.0車載器を接続している場合は、ETC2.0の交通情報サービスの利用や、ETC2.0の設定ができます。

1 メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 渋滞情報 → ETC2.0設定 をタッチする

2 ＜設定項目＞の設定ボタン（する／しない）から選んでタッチする



＜設定項目＞

ETC2.0受信音	ETC2.0で情報を受信すると音を鳴らす（する）／鳴らさない（しない）を設定できます。
ETC2.0割込み	ETC2.0で自動割り込み表示する情報を受信したとき、割り込み表示を する ／ しない を設定できます。
ETC2.0自動音声再生	ETC2.0で音声情報を受信した場合、音声の自動再生 する ／ しない を設定できます。
ETC2.0アップリンク	本機およびETC2.0車載器で収集した情報を、路側機（情報を配信するため道路に設置された無線基地局：ITSスポット）へ自動的に送信 する ／ しない を設定できます。

知識

- “ETC2.0受信音”を しない に設定していても、重要な情報（注意や警戒を喚起する情報など）の場合は受信音が鳴ります。
- “ETC2.0割込み”を しない に設定していても、重要な情報（注意や警戒を喚起する情報など）の場合は割り込み表示をします。
- “ETC2.0アップリンク”を する に設定していても、走行開始地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

ETC情報を見る

別売のETCユニットまたはETC2.0車載器を接続している場合は、本機でETC情報(利用履歴など)を見ることができます。

ETC情報を見る

1	メニュー を押して、 情報・設定 → 情報 → ETC情報 をタッチする
2	表示したい情報を選んでタッチする

ETC2.0の情報を見る

別売のETC2.0車載器を接続している場合は、道路本線上や料金所に設置された路側機(ITSスポット)から提供される情報を受信できます。

ETC画面について

ETC2.0で受信できる情報は内容によって表示方法が異なり、手動表示／自動割り込み表示で表示されます。

手動表示の情報画面(例)

自動割り込み画面(例)

① ▲／▼
ページを戻し／送ります。

② 再生／停止
音声情報の再生／停止をします。
※音声情報が無い場合は再生できません。

手動表示の情報画面を見る

1	**メニュー を押して、情報・設定 → 情報 → 渋滞情報 → “ETC2.0” の受信情報 をタッチする**

ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーフォンで通話する P.354

ハンズフリーフォンの設定をする

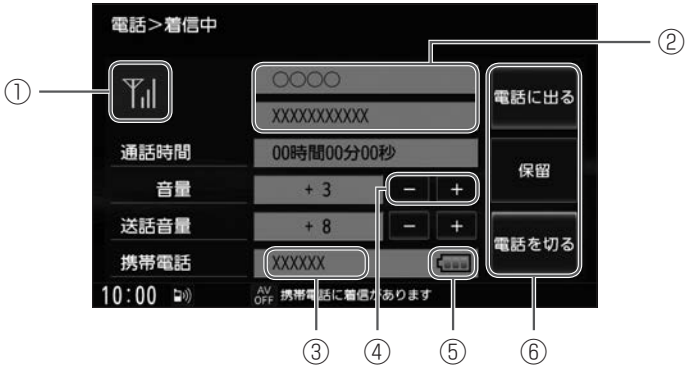
ワンタッチダイヤルの電話番号を登録／消去する P.363
ハンズフリーフォンの通話設定をする P.365
携帯電話の電話帳・発着信履歴を本機に転送する P.367

ハンズフリーフォンで通話する

あらかじめ携帯電話を本機と Bluetooth® 接続しておく必要があります。
➔Bluetooth® 対応機器の Bluetooth® 接続をする（P.48）

着信画面の見かた

電話がかかってくると着信中画面が表示されます。



① **電波状態**
電波の受信状態を表示します。

② **着信相手の名前、電話番号**
名前は本機の電話帳に名前登録がある場合のみ表示します。

③ **携帯電話の名称**

④ **音量の調整**
呼び出し音の音量を調整します。

⑤ **電池残量**
携帯電話の電池の状態を表示します。

アドバイス

- Apple CarPlay接続中またはAndroid Auto接続中は、本機のハンズフリーフォン機能を使用できません。Apple CarPlayまたはAndroid Autoの電話機能を利用してください。
- NissanConnect サービスのオペレータサービスを利用中は、本機のハンズフリーフォン機能を使用できません。
- 発信／着信／通話は携帯電話2台同時にはできません。（例：電話1で発信／着信／通話中、電話2に電話がかかってきたとき着信はできません。なお、電話2にかかってきたときの動作は設定により着信拒否されます。）

知識

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話の着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

⑥ **着信メニュー**
タッチして電話を受けたり、応答保留などをします。

知識

- 電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)
また、電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

<着信メニュー>

電話に出る	通話が開始され、通話中画面が表示されます。
保留	相手と電話がつながり、相手へ電話に出られないことを音声で案内します。 保留中は 通話 が表示され、タッチすると保留をやめて電話に出ます。
電話を切る	かかってきた電話を応答せずに切ります。

知識

- 応答を保留するには、携帯電話側が応答保留に対応している必要があります。(対応していない携帯電話ではメッセージが表示されます。)
- 保留中も相手には通話料金がかかります。

電話を受ける

1 電話に出る をタッチする

通話中画面の見かた

通話が始まると、通話中画面が表示されます。

① **受話音量の調整**
相手の声の音量(受話音量)を調整します。

② **送話音量の調整**
相手に伝わる自分の声の音量(送話音量)を調整します。

③ **通話中メニュー**
タッチしてミュートを行ったりトーン入力などをします。

知識

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じにはなりません。(通話時間は目安です。)
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。

ハンズフリーフォンで通話する

＜通話メニュー＞

ミュート／通話	ミュートをタッチして、自分の声を相手に聞こえないようにします。（相手の声は聞こえます。） ※ミュートを行うと、ミュートが通話に変わります。通話をタッチするとミュートが解除され、自分の声が相手に聞こえるようになります。
携帯電話切替／ハンズフリー切替	携帯電話切替をタッチすると、ハンズフリーフォンをやめて、携帯電話での通話に切り替えます。 ※携帯電話に切り替えると、携帯電話切替がハンズフリー切替に変わります。ハンズフリー切替をタッチすると、ハンズフリーフォンに戻ります。
トーン	0～9、＊、#が表示され、タッチするとトーン入力をします。
電話を切る	電話を切って通話を終了します。

アドバイス

- 走行中に携帯電話での通話に切り替えて、運転者が通話することはおやめください。

知識

- 通話先の相手によっては、トーン入力ができない場合があります。
- 走行中はトーン入力できません。

■通話中の地図画面表示について

通話中に現在地を押すと、地図画面を表示できます。地図画面から通話中画面に戻るには、メニューを押して、電話をタッチしてください。
地図画面からでも電話を切ることができます。
電話を切るをタッチすると、電話を切って通話を終了します。

ハンズフリーフォンで通話する

電話をかける

1 メニュー を押して、 電話 をタッチする

2 電話1 ／ 電話2 から選んでタッチする

3 ＜電話をかける方法＞を選んでタッチする

＜電話をかける方法＞

ダイヤル	電話番号を入力して電話をかけます。 電話番号を入力して、 発信 をタッチしてください。
リダイヤル	前回電話をかけた番号に発信します。 電話番号を確認して、 はい をタッチしてください。
履歴	発着信・不在着信履歴から電話をかけます。 履歴リストから電話をかける相手を選んでタッチし、 発信 をタッチしてください。 ➔ 発着信履歴・不在着信履歴を見る（P.361）

知識

- 走行中は発信操作が制限されます。

ハンズフリーフォンで通話する

電話帳	あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に転送しておくと、電話帳から電話をかけることができます。 ➔ 携帯電話の電話帳・発着信履歴を本機に転送する（P.367） 電話をかける相手を選んでタッチして、番号1に発信／番号2に発信から選んでタッチしてください。
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤル画面が表示され、あらかじめ登録した電話番号に電話をかけます。 ➔ ワンタッチダイヤルの電話番号を登録／消去する（P.363） 電話をかける相手の発信を選んでタッチしてください。
販売会社	事前に日産販売会社が登録した販売会社に電話をかけます。

発信中画面の見かた

電話をかけると、発信中画面が表示されます。

① **発信先の名前、電話番号**
名前は本機の電話帳／ワンタッチダイヤルに名前登録がある場合のみ表示します。

② **音量の調整**
呼び出し音の音量を調整します。

③ **電話を切る**
発信を中止します。

アドバイス

- 走行中は発信操作が制限されます。

知識

- 接続中の携帯電話によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
  例）本機は発信中で相手はまだ電話に出ていないが、本機の画面では通話中となります。

発着信履歴・不在着信履歴を見る

1 メニュー を押して、 電話 をタッチする

2 電話1 ／ 電話2 を選んでタッチし、 履歴 をタッチする

3 発信 ／ 着信 ／ 不在着信 を選んでタッチする

知識

履歴リスト画面について

- 発信履歴リスト／着信履歴リスト／不在着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合、電話をかけることはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。
- 施設の詳細、登録地点詳細画面から電話をかけた場合も履歴がリストに表示されます。（施設名は表示されません。）
- 同じ相手への発信履歴や同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。

発着信履歴・不在着信履歴を消去する

1	メニュー を押して、電話 をタッチする
2	電話1 ／ 電話2 を選んでタッチし、履歴 をタッチする
3	履歴を全件消去する場合は、全消去 をタッチする 履歴を1件消去する場合は、発信 ／ 着信 ／ 不在着信 から選んでタッチし、消去する履歴をタッチして、消去 をタッチする

知識

- “携帯メモリ自動転送”で する を選んでいる場合は履歴を消去できません。
  ➔ 電話帳・発着信履歴の自動転送機能を設定する（P.370）

ワンタッチダイヤルの電話番号を登録／消去する

あらかじめ携帯電話を本機とBluetooth® 接続しておく必要があります。
➔Bluetooth® 対応機器のBluetooth® 接続をする（P.48）

ワンタッチダイヤルの電話番号を登録／消去する

1 メニュー を押して、 電話 をタッチする

2 電話1 ／ 電話2 を選んでタッチし、 ワンタッチダイヤル をタッチする

3 登録／消去したい場所の 編集 を選んでタッチする

4 ＜登録方法＞をタッチする

＜登録方法＞

電話帳から	あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に転送しておくと、電話帳から選んで登録できます。 ➔ 携帯電話の電話帳・発着信履歴を本機に転送する（P.367） 登録したい発信先を選んでタッチして、 番号1を登録 ／ 番号2を登録 から選んでタッチしてください。
履歴から	発着信・不在着信履歴から選んで登録できます。 発信 ／ 着信 ／ 不在着信 を選んでタッチし、リストから登録したい履歴を選んでタッチしたあと、 登録 をタッチしてください。

知識

- ワンタッチダイヤルは登録した携帯電話ごとに、それぞれ5件まで登録されます。登録した電話番号は別の携帯電話では使用できません。
- 携帯電話の登録を消去すると、その携帯電話で登録したワンタッチダイヤルの電話番号も消去されます。

ワンタッチダイヤルの電話番号を登録／消去する

直接入力	登録したい発信先の名前と電話番号を入力して登録できます。 “名前”／“電話番号” の 編集 をタッチし、文字／電話番号を入力して 決定 をタッチしたあと、 登録 をタッチしてください。
消去	登録した名前・電話番号を消去します。

ハンズフリーフォンの通話設定をする

ハンズフリーフォンの通話設定をする

1 メニュー を押して、電話 → その他設定 → 通話設定 をタッチする

2 ＜設定項目＞の設定ボタン(－／＋など)をタッチして設定する

＜設定項目＞

着信音量	着信時の呼び出し音の音量を－／＋で設定できます。
受話音量	通話中の相手の声の音量を－／＋で設定できます。
送話音量	通話中の相手に伝わる自分の声の音量を－／＋で設定できます。
送話雑音除去	相手が聞き取りやすくなるよう、マイクに入ったノイズ音(周囲の騒音など)を小さく抑えて送話する機能のON／OFFを設定できます。
通話中の着信拒否	“電話1”で発信／着信／通話中に、“電話2”へ電話がかかってきたとき、かかってきた電話を着信拒否する／しないを設定できます。“電話2”で発信／着信／通話中も同様に“電話1”にかかってきた電話を着信拒否します。
自動応答保留	電話がかかってきたとき、自動的に応答保留をする／しないを設定できます。応答保留を行うと、電話回線がつながり電話に出られないことを音声で案内します。

知識

- 通話設定は、車を完全に停止した場合のみ操作できます。
- 各項目の設定は、“電話1”／“電話2”共通の設定となります。(個別には設定できません。)

送話雑音除去について

- 送話雑音除去は、ノイズ(騒音)の種類によっては十分に抑えられない場合があります。
- 携帯電話(相手側を含む)によっては、送話雑音除去をONに設定すると自分の声が途切れて相手にうまく伝わらない場合があります。この場合は、送話雑音除去をOFFに設定すると聞き取りやすくなる場合があります。

通話中の着信拒否について

- 通話中の着信拒否は、携帯電話を本機に2台接続している場合の機能です。
- 着信の場合、発信操作を拒否された側には、本機能で拒否された旨は通知されません。
  ※電話を突然切られたような状態になります。

ハンズフリーフォンの通話設定をする

知識

- “通話中の着信拒否”を する に設定していると、発信／着信／通話中は他方の携帯電話での発信／**Bluetooth®**接続はできません。
  ※端末操作で発信操作を行いたい場合は、“通話中の着信拒否”を しない に設定するか、**Bluetooth®**接続を携帯電話側で解除してください。

自動応答保留について

- 保留中も、相手には通話料金がかかります。
- 自動応答保留を行うには、携帯電話側が応答保留に対応している必要があります。

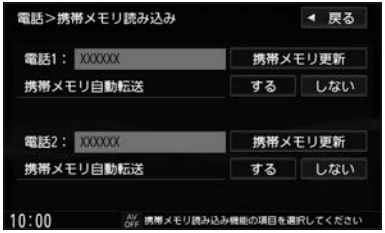
携帯電話の電話帳・発着信履歴を本機に転送する

あらかじめ携帯電話を本機と**Bluetooth®**接続しておく必要があります。
➔**Bluetooth®**対応機器の**Bluetooth®**接続をする（P.48）

携帯電話の電話帳・発着信履歴を本機に転送する

1 メニュー を押して、電話 → その他設定 → 携帯メモリ読み込み をタッチする

2 転送したい携帯電話の 携帯メモリ更新 をタッチする



3 データ送信を開始する

PBAP接続に対応していない携帯電話の場合は、携帯電話を操作して、転送したい電話帳を選んでデータ送信を開始してください。
PBAP接続に対応している携帯電話の場合は、自動で電話帳・発着信履歴の転送が開始されます。
※携帯電話によっては携帯電話側で転送を開始する操作が必要な場合があります。

4 電話帳転送が完了したら、終了 をタッチする

アドバイス

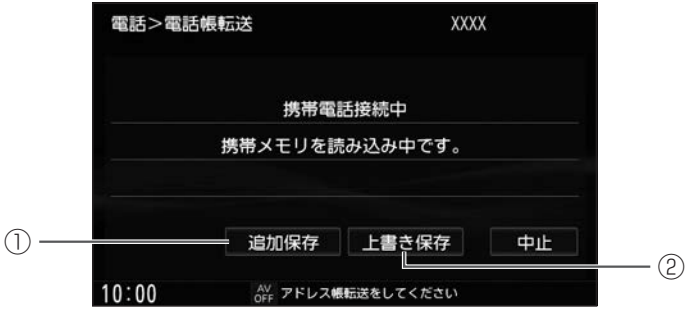
- PBAP接続に対応していない携帯電話の場合、転送は電話帳のみとなります。発着信履歴の転送はできません。
- 電話帳・発着信履歴の転送は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の取扱説明書もご覧になりながら転送操作を行ってください。

知識

- **Bluetooth®**対応オーディオ機器を接続している場合は、転送終了まで接続できない場合があります。

■ 追加保存 ／ 上書き保存 選択画面について

PBAP接続に対応していない携帯電話で、電話帳の全件転送(一括送信)を選んだ場合、
下記画面が表示されます。
※転送は電話帳のみとなります。発着信履歴の転送はできません。



① 追加保存
本機に登録済みの電話帳を残して、追加登録します。

② 上書き保存
本機に登録済みの電話帳をすべて消去したうえで、読み込みを開始します。

携帯電話の電話帳・発着信履歴を本機に転送する

知識

電話帳の転送について

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。
- 携帯電話によっては本機へ電話帳を正常に転送できない場合があります。
- 本機のメモリがいっぱいになったり（1台あたり最大1 500件、なお携帯電話の登録台数は5台まで）、不正なデータがあったりする場合、転送は終了されます。
  ※すでに本機に転送されたものは本機に保存されます。
- 転送中に車両のキースイッチ（電源ポジション）を切り替えた場合、読み込みは中止されます。その場合は、読み込みをやり直してください。（故障のおそれがありますので、読み込み中は車両のキースイッチ（電源ポジション）を切り替えないでください。）
- 転送中に着信があった場合、**Bluetooth®** 接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み込みはできません。（携帯電話の機種によっては読み込みができる場合があります。）
- 読み込みできる文字数・桁数は、名前：全角9文字まで／よみ：半角18文字まで／電話番号：36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 全件転送（一括送信）をすると携帯電話の機種によってオーナー番号（お客さま自身の番号）も登録される場合があります。

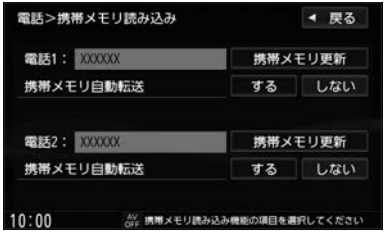
携帯電話の電話帳・発着信履歴を本機に転送する

■ 電話帳・発着信履歴の自動転送機能を設定する

“電話1”／“電話2”に割り当てた携帯電話を**Bluetooth®**接続したとき、携帯電話の電話帳・発着信履歴を自動で転送し、本機の電話帳・発着信履歴・不在着信履歴を更新できます。

1 メニュー を押して、電話 → その他設定 → 携帯メモリ読み込み をタッチする

2 “携帯メモリ自動転送”の する ／ しない から選んでタッチする



知識

- 携帯電話によっては携帯電話側で転送開始する操作が必要な場合があります。
- PBAP接続に対応していない携帯電話の場合、携帯メモリ自動転送はできません。
- 登録している携帯電話ごとに個別で自動転送の設定ができます。ただし、設定を変えたい携帯電話は、“電話1”または“電話2”に割り当て設定をしておく必要があります。
- 一度自動転送が行われた携帯電話は、次に本機の電源を入れ直すまでは自動転送が開始されません。
- する に設定している場合、発着信履歴／不在着信履歴の消去はできなくなります。
- 自動転送が開始されると転送が終了するまで以下の機能は使用できません。
  - **Bluetooth®**接続に関する操作
    ➔ **Bluetooth®**対応機器の**Bluetooth®**接続をする（P.48）
  - データ通信設定
    ➔ 携帯電話のデータ通信設定をする（P.447）
  - ハンズフリーフォンの発信・通話設定・ワンタッチダイヤルの登録

携帯電話の電話帳・発着信履歴を本機に転送する

転送した電話帳を見る／電話帳を消去する

1 メニュー を押して、電話 をタッチする

2 電話1 ／ 電話2 から選んでタッチし、電話帳 をタッチする

電話帳画面を表示します。

3 電話帳を全件消去する場合は、全消去 をタッチする

電話帳を1件消去する場合は、消去する電話帳をタッチし、消去 をタッチする

知識

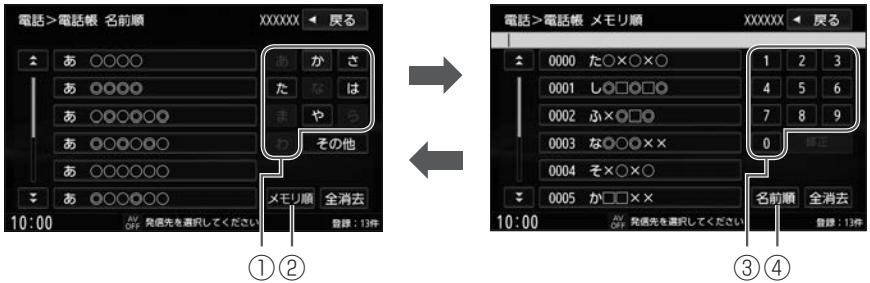
- 携帯電話によっては、本機で表示されるメモリ番号と携帯電話のメモリ番号が一致しない場合や、本機に転送した電話帳に正しく50音に割り当てされない場合があります。
- “携帯メモリ自動転送”で する を選んでいる場合は電話帳を消去できません。
  ➔ 電話帳・発着信履歴の自動転送機能を設定する（P.370）

本機の電話帳について

- 電話帳は携帯電話ごとに個別に保存されます。（転送した電話帳は別の携帯電話では使用できません。）
- 携帯電話の登録を消去すると、登録消去した携帯電話から転送された電話帳も消去されます。

■電話帳画面について

電話帳画面で 名前順 ／ メモリ順 をタッチすると、電話帳のリスト順序を切り替えることができます。



① **リスト送り**
タッチしたひらがなを頭文字に持つリストまで素早くリストを送ります。

② メモリ順
電話帳のリストをメモリ順に切り替えます。

③ **リスト送り**
タッチしたメモリ番号まで素早くリストを送ります。

④ 名前順
電話帳のリストを名前順に切り替えます。

スマートフォン連携

Apple CarPlayを使う	P.374
Android Autoを使う	P.378
NaviCon®を使う	P.383

NissanConnect サービス

NissanConnect サービスについて	P.386
オペレータサービスを利用する	P.390
交通情報を取得する	P.392
メール&SNSを使う	P.394
情報チャンネルを見る	P.395
ここです車メールを使う	P.396
お気に入りチャンネルを利用する	P.397
NissanConnect メッセージを取得する	P.399
NissanConnect サービスの履歴を見る	P.400
ユーザーIDやパスワードを設定する	P.407
オペレータ接続を設定する	P.408
情報チャンネルを設定する	P.409
交通情報の自動取得設定をする	P.410
プローブ情報を設定する	P.411
通信アダプタを設定する	P.413
車載機IDを表示する	P.414
NissanConnect サービスの設定内容をすべて初期化する	P.415
NissanConnect サービスの停止を申請する	P.416

Apple CarPlayについて

■Apple CarPlayとは

Apple CarPlayは車の中でiPhoneを使うための、より優れた、より安全なシステムです。Apple CarPlayは運転中にiPhoneでしたいことを、車のカーナビ画面で直接操作できます。また、Siriの音声認識を使って、行きかたを調べる、電話をかける、メッセージを送受信する、音楽を聴くことができ、運転に集中したままご利用いただけます。（詳しくはApple CarPlayのWebサイトをご覧ください。）

■本機でApple CarPlayが使用できるiPhone

機種：iPhone X, iPhone 8, iPhone 8 Plus, iPhone 7, iPhone 7 Plus, iPhone SE, iPhone 6s, iPhone 6s Plus, iPhone 6, iPhone 6 Plus, iPhone 5s, iPhone 5c, iPhone 5

iPhone のソフトウェアを最新バージョン（iOS10.2以降）にしてお使いください。
iOSについて詳しくはApple社のWebサイトをご覧ください。

知識

- Apple CarPlayはApple社が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

Apple CarPlayを起動する

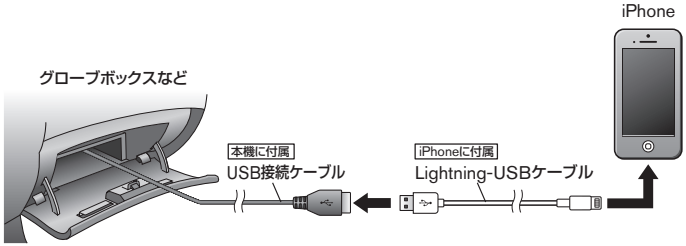
あらかじめ、“iPhone接続時の利用機能”を Apple CarPlay に設定しておく必要があります。

➔Apple CarPlay設定をする（P.377）

※iPhoneの「位置情報」の設定をONにしておいてください。

1 **iPhoneを本機に接続する**

初回のみiPhoneにロック中の動作に関する設定画面が表示されます。画面の指示に従ってiPhoneを操作してください。



2 **メニュー を押して、 Apple CarPlay をタッチする**

Apple CarPlay画面が表示されます。
以降の操作はApple CarPlayの画面となります。（詳しくはApple社にご確認ください。）

知識

- 本機の設定でApple CarPlayを使用する設定にしていても、iPhone側で使用しない設定にしている場合はApple CarPlayは使用できません。iPhone側でもApple CarPlayを使用する設定にしてください。
- iPhoneを本機に接続するとトップメニューの Drive T@lker が Apple CarPlay に変わります。
- USB接続ケーブルの場所は、車種によって異なります。詳しくは日産販売会社にご確認ください。
- Siri（音声認識）はApple CarPlay画面からのほか、 メニュー を長押ししても起動できます。
- 現在地 を押すとApple CarPlay使用中であっても、Apple CarPlayの地図画面の現在地ではなく、ナビゲーションの地図画面の現在地を表示します。また、 AV を押しても、Apple CarPlayのAV再生画面ではなく、ナビゲーションのAV再生画面（またはAVメニュー）を表示する場合があります。

■Apple CarPlay使用中に利用できない機能について

Apple CarPlay使用中は、以下の動作となります。またApple CarPlay使用中でなくても、“iPhone接続時の利用機能”を Apple CarPlay に設定し、iPhoneをUSB接続ケーブルで本機と接続しているときも同様の動作となります。

- 以下の機能がご利用できません。
  Bluetooth® Audio、SDカード再生(SDソース)、iPodの再生(iPodソース)、すべての携帯電話との**Bluetooth**®接続、ハンズフリーフォン、Drive T@lker、NaviCon®、携帯電話の電話帳・発着信履歴の転送、ワンタッチダイヤルの登録、**Bluetooth**®接続に関する操作*1、データ通信設定
- メニュー → 電話 をタッチしてハンズフリーフォンを使用できません。ハンズフリーフォンはApple CarPlayの電話機能で行ってください。

- **Bluetooth**®接続ができません。

“電話1”／“電話2”の携帯電話アイコンの表示が消えます。

＊1…**Bluetooth**®接続に関する操作についてはP.48～P.57をご覧ください。

知識

- Apple CarPlayで地図を表示したりルート案内する場合、本機の地図データは使用しません。
- 本機でルート案内中、Apple CarPlayでルートを設定すると、本機のルート案内は停止します。
- Apple CarPlay画面を表示中は、VICS緊急情報などの割り込みはしません。
- 走行中やiPhoneの状態によっては、Apple CarPlayの動作が制限されることがあります。
- 左記の機能を利用するには次のいずれかを行ってください。
  - iPhoneをUSB接続ケーブルから取り外してください。
  - “iPhone接続時の利用機能”の設定で iPod をタッチしてください。
    ➲Apple CarPlay設定をする(P.377)
- iPhoneの音楽再生はApple CarPlayで行ってください。
- ご利用の場合、通信料金がかかります。

Apple CarPlay設定をする

1	メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → スマートフォン連携 → Apple CarPlay設定 をタッチする
2	<設定項目>の設定ボタン(Apple CarPlay ／ iPod など)から選んでタッチする

<設定項目>

iPhone接続時の利用機能		Apple CarPlay対応のiPhoneをUSB接続ケーブルに接続したとき、利用できる機能を設定します。 ※本設定をiPhone接続中に行った場合、すぐには設定が有効になりません。iPhoneを取り外して次に接続したときに有効になります。
	Apple CarPlay	Apple CarPlayを利用します。
	iPod	iPod再生機能(iPodソース)を利用します。
ルート案内の音量		Apple CarPlayを使用してルート案内するときの案内音量を設定できます。
	− ／ +	音量を下げたり上げたりします。
	消音	消音と消音解除を切り替えます。 (表示灯点灯：消音、消灯：消音解除)

Android Autoについて

■Android Autoとは

Android Autoとは使い慣れたアプリやサービスを車のカーナビ画面で利用できるシステムです。
Android Autoは必要な情報を運転中でも安全かつ簡単に入手できるよう設計されています。ナビ、音楽、電話、SNSのアプリに簡単にアクセスできます。タッチパネルの他、音声認識での簡単な操作もできるので運転に集中したままでご利用いただけます。
（詳しくはwww.android.com/autoをご覧ください。）

■本機でAndroid Autoが使用できるスマートフォン

Android™ OS 5.0以上を搭載している必要があります。
Android Autoアプリのインストールが必要です。

知識

- OSの確認方法はスマートフォンなどの取扱説明書をご覧ください。
- Android Autoアプリは Playストアよりダウンロードしてください。
- スマートフォンによっては使用できない場合があります。
- Android AutoはGoogle LLCが提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

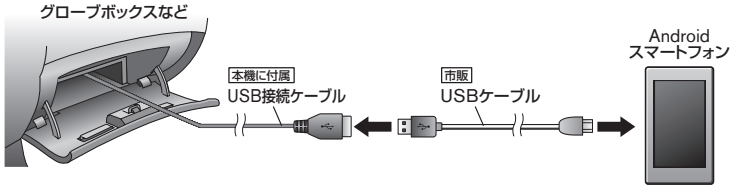
Android Autoを起動する

あらかじめ、“Android Autoの利用”を する に設定しておく必要があります。

➔Android Auto設定をする(P.382)

Androidスマートフォンの「位置情報」の設定をONにしておいてください。

1 **Androidスマートフォンを本機に接続する**



※初回のみ、下記の操作をしてください。
ナビ画面上にメッセージが表示されるので内容を確認して OK をタッチしてください。Androidスマートフォンに承諾を求める画面が表示されるので、画面の指示に従ってAndroidスマートフォンを操作してください。

2 **メニュー を押して、 Android Auto をタッチする**

以降の画面はAndroid Autoアプリケーションの画面となります。(詳しくはhttps://support.google.com/androidautoをご覧ください。)
URLは変更される場合があります。

知識

- USB接続ケーブルの場所は、車種によって異なります。詳しくは日産販売会社にご確認ください。
- Androidスマートフォンを本機に接続するとトップメニューの Drive T@lker が Android Auto に変わります。
- Android Autoの電話機能を使う場合は、Androidスマートフォンを本機と**Bluetooth®**接続をする必要があります。スマートフォンを本機に接続すると登録および割り当て設定は、自動で行われます。
- Android Auto接続中は、接続したAndroidスマートフォンのみ**Bluetooth®**接続し、他の機器との**Bluetooth®**接続は切断されます。
- 本機に**Bluetooth®**対応機器がすでに5台登録済みの場合は、登録機器一覧画面が表示されます。登録を消去する**Bluetooth®**対応機器を選んでタッチし、消去 をタッチしてください。登録を消去するとAndroidスマートフォンを自動で登録します。(Android Autoの電話機能を使うためには、登録が必要です。)

知識

- 音声認識機能はAndroid Auto画面からのほか、 メニュー を長押ししても起動できます。
- Android Autoアプリの制約により、音楽再生などの操作に制限がかかる場合があります。
- 走行中、またスマートフォンの機種や状態によっては、Android Autoの動作が制限されることがあります。
- Android Autoで地図を表示したりルート案内したりする場合、本機の地図データは使用しません。
- 本機でルート案内中、Android Autoでルートを設定すると、本機のルート案内は停止します。
- Android Auto画面を表示中は、VICS緊急情報などの割込みはしません。
- ご利用の場合、通信料金がかかります。

USBケーブルについて

- Androidスマートフォン推奨のUSBケーブルを使用してください。
- 充電／通信対応のUSBケーブルを使用してください。（充電専用のUSBケーブルは使用できません。）

■Android Auto使用中に利用できない機能について

Android Auto使用中は、以下の動作となります。またAndroid Auto使用中でなくても、“Android Autoの利用”を する に設定し、AndroidスマートフォンをUSB接続ケーブルで本機と接続しているときも同様の動作となります。

- 以下の機能がご利用できません。
  Bluetooth® Audio、SDカード再生(SDソース)、USB再生(USBソース)、他の携帯電話との**Bluetooth®**接続、ハンズフリーフォン、Drive T@lker、NaviCon®、携帯電話の電話帳・発着信履歴の転送、ワンタッチダイヤルの登録、**Bluetooth®**接続に関する操作*1、データ通信設定
- メニュー → 電話 をタッチしてハンズフリーフォンを使用できません。
  ハンズフリーフォンはAndroid Autoの電話機能で行ってください。

- 他の携帯電話との**Bluetooth®**接続ができません。

接続したAndroidスマートフォンのみ
携帯電話アイコンが表示されます。

知識

- 左記の機能を利用するには次のいずれかを行ってください。
  - AndroidスマートフォンをUSB接続ケーブルから取り外してください。
  - “Android Autoの利用”の設定で しない をタッチしてください。
    ➔Android Auto設定をする(P.382)

＊1…**Bluetooth®**接続に関する操作についてはP.48～P.57をご覧ください。

Android Auto設定をする

1	メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → スマートフォン連携 → Android Auto設定 をタッチする
2	＜設定項目＞の設定ボタン（する ／ しない など）から選んでタッチする

＜設定項目＞

Android Autoの利用		AndroidスマートフォンをUSB接続ケーブルに接続したとき、Android Autoを利用できる状態に する ／ しない を設定できます。 ※本設定をスマートフォン接続中に行った場合、すぐには設定が有効になりません。スマートフォンを取り外して次に接続したときに有効になります。
ルート案内の音量		Android Autoを使用してルート案内するときの案内音量を設定できます。
	− ／ ＋	音量を下げたり上げたりします。
	消音	消音と消音解除を切り替えます。 （表示灯点灯：消音、消灯：消音解除）

NaviCon® について

■NaviCon® とは

スマートフォンで探した目的地を本機に転送し、本機でルート探索・ルート案内などが行えるスマートフォンアプリです。
※NaviCon®アプリの入手方法、NaviCon®に関する詳細は、NaviCon®のWebサイト（https://navicon.com/user/support/）をご覧ください。

■本機でNaviCon® が使用できる端末

NaviCon®アプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォンで使用できます。（NaviCon®アプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォンについては、NaviCon®のWebサイトをご覧ください。）
※タブレット端末やiPodでは、本機でNaviCon® を使用することができません。
※スマートフォンによっては使用できない場合があります。

アドバイス

- NaviCon®アプリのバージョンによっては、NaviCon®連携できない場合があります。NaviCon®アプリは最新のバージョンでご使用ください。

知識

- NaviCon®アプリ側での操作方法は、NaviCon®のWebサイトまたはNaviCon®のヘルプをご覧ください。

NaviCon® を使う

本機は、「目的地の転送」と「友達マップの表示」に対応しています。
※本機とスマートフォンの**Bluetooth®** 接続を確認してください。
➔**Bluetooth®** 対応機器の**Bluetooth®** 接続をする（P.48）
※本機にiPodまたはスマートフォンをケーブル接続している場合は外してください。

■目的地を本機に転送してルート探索する

1	**スマートフォン側でNaviCon® アプリを起動する**
2	**スマートフォン側でNaviCon® アプリを操作して、目的地を設定する** 目的地が転送され、本機でルート探索を開始します。
3	**本機側で 案内開始 をタッチする**

■友達マップを表示する

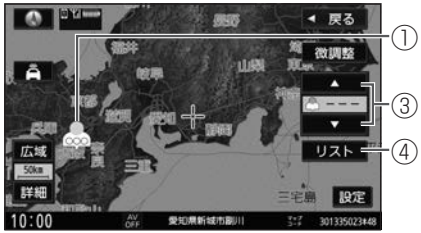
1	**スマートフォン側でNaviCon® アプリを起動する**
2	**スマートフォン側でNaviCon® アプリを操作して、友達マップを開始する**
3	**本機側で メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → スマートフォン連携 → NaviCon設定 をタッチし、“友達マップ表示” の ON をタッチする** 地図画面に切り替えると、地図上に友達アイコンが表示された友達マップ画面になります。

知識

- NaviCon®アプリ側で地図をスクロール／拡大／縮小すると、本機の地図にも反映されます。
- ご利用の場合、通信料金がかかります。

■友達マップ画面について

“友達マップ表示” の ON をタッチ後に 現在地 を押すと、友達アイコンが表示された現在地の地図画面に切り替わります。“友達マップ表示” の ON をタッチ後に 全体表示 をタッチすると、現時点で表示できる友達アイコンがすべて表示された地図画面に切り替わります。



① **友達アイコン**
色で友達の通信状態を表します。（緑色：オンライン、灰色：オフライン）

② **友達マップボタン**＊1
緑色：通信中
黄色：スマートフォンの通信回線が通信不能
灰色：スマートフォン側でNaviCon®アプリの友達マップ機能がOFFまたは
Bluetooth® 接続が未接続
友達マップボタンをタッチすると、NaviCon®設定画面を表示します。

③ ▲ ／ ▼ ＊2
選択する友達アイコンを切り替えます。

④ リスト ＊2
友達アイコンの情報をリスト表示します。

＊1… 全体表示 をタッチして地図画面に切り替えた場合は表示されません。
＊2… 全体表示 をタッチして地図画面に切り替えた場合のみ表示されます。

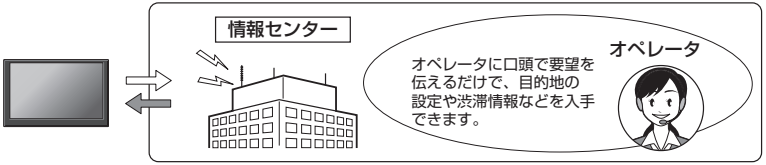
知識

- 全体表示 をタッチしても、友達アイコンをすべて表示できない場合があります。

NissanConnect サービスについて

NissanConnect サービスとは

NissanConnect サービスは本機に接続した通信アダプタ(または携帯電話)を利用して情報センターと通信し、さまざまな情報を提供するサービスです。
オペレータに要望を伝えて目的地や経由地の設定をするオペレータサービスや、情報センターから送信する交通情報を加味した、最速ルート探索ができます。



アドバイス

- 通信アダプタとは、NissanConnect サービスを利用するうえで、音声およびデータ通信を行う端末です。(オペレータサービスや交通情報取得、Gracenoteデータベースのオンライン検索などに利用できます。)
- 情報のデータ量や電波状況によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- NissanConnect サービスの中にはご利用料金がかかるものがあります。
- 情報センターから提供される情報はあくまでも参考情報であり、実際の状況と異なる場合があります。
- サービス内容の中で一部対応できないこともありますのでご了承ください。
- サービス内容は、予告なく変更、中止になる場合もありますのでご了承ください。
- サービス内容は、順次拡大していく予定です。

NissanConnect サービスについて

アドバイス

- 以下の場合は、NissanConnect サービスが利用できません。
  - 使用する通信アダプタ(または携帯電話)の圏外に車が移動したとき
  - トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
  - 電波環境がデータ通信に適していないとき
  - サービスへのお申し込み手続きをしていないとき
- 情報センターとの通信はデータ通信モードを使用するため、通常の電話と比べてサービスエリアが狭くなったり、つながりにくくなったりすることがあります。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえたり、音声が途切れたりすることがありますが、これはある通話エリアで電波が弱くなったときに隣の通話エリアへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 回線によっては音が小さい場合があります。その際には、音量を上げてご使用ください。
- デジタル回線を使用しているため、通話中に音が多少変わって聞こえたり、周囲の音が人のざわめきのように聞こえたりする場合があります。
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 電波状態などによっては、情報センターに接続できない場合や、途中で通信が途切れる場合があります。電波状態が良好になってから再度通信を行ってください。
- 各サービスはデータ通信を利用するため、電波受信状態の良好を示す が表示されていても情報センターに接続できないことがありますが故障ではありません。少し経ってから接続し直してください。

■携帯電話でのNissanConnect サービスの利用について

通信アダプタ以外に、携帯電話でもNissanConnect サービスを利用できます。
携帯電話を利用するには、以下の設定が必要です。

- 携帯電話を本機と**Bluetooth®**接続してください。（割り当て設定は“電話1”に設定してください。）
  ➔ **Bluetooth®**対応機器の**Bluetooth®**接続をする（P.48）
- 通信アダプタ設定を しない に設定してください。
  ➔ 通信アダプタを設定する（P.413）
- データ通信設定を行ってください。
  ➔ 携帯電話のデータ通信設定をする（P.447）

アドバイス

- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種については、日産販売会社またはNissanConnectお客さまセンターにお問い合わせいただくか、NissanConnect サービスWebサイト（www.nissanconnect.jp）の「適合携帯電話一覧」で必ずご確認ください。
- 携帯電話をご利用の場合、通信・通話料金がかかります。再度ダウンロードした場合でも料金はかかります。

知識

- 携帯電話での通信は、パケット交換方式を利用しています。
- 通話および通信中に本機から携帯電話が離れる（**Bluetooth®**接続が切れる）と通信は切断されます。

NissanConnect サービスをご使用上の注意

NissanConnect サービスをご利用になるには、お申し込みが必要となります。詳しくは、日産販売会社またはNissanConnect お客さまセンターにお問い合わせください。

アドバイス

- サービスを申し込むときに必要な車載機IDは、車載機IDが記載されたものを同梱していますので、そちらでご確認ください。
- サービスを提供するうえで必要となる情報(たとえば、車の位置や車載機IDなど)はご利用時にNissanConnect 情報センターへ自動的に送られます。
- サービスの内容およびお申し込みに関する詳細は、NissanConnect お客さまセンターにお問い合わせください。

  NissanConnect お客さまセンター: 0120-981-523

  受付時間　9：00～17：00(年末年始を除く)
- 本機をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。また、本機に保存されている情報は消去(初期化)してください。
  詳しくは、NissanConnect お客さまセンターにご相談ください。
  ➔NissanConnect サービスの設定内容をすべて初期化する(P.415)
- アプリサービスのためにユーザーIDとパスワードを登録された場合、サービス退会時には忘れずに本機からユーザーIDとパスワードを消去してください。

■ オペレータサービスについて

通信アダプタ音声対応版が装着されている場合には、オペレータボタンを押すだけで、情報センターのオペレータと対話することができます。
以下の場合、オペレータサービスは利用できません。

- 使用する通信アダプタの圏外に車が移動したとき

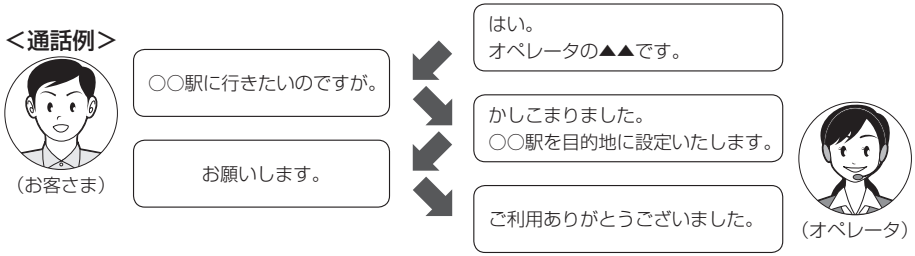
■オペレータにお願いできること

目的地設定： 目的地を伝えるだけでオペレータが目的地や経由地を設定します。

施設情報検索： 近くの飲食店や宿泊施設など、お客さまの探したい施設情報を最大で6件まで取得し、詳細情報を確認できます。

電話接続： 電話番号をお調べし、お客さまの携帯電話から直接接続できるように設定します。＊1

緊急時の対応： 急病、事故など、緊急の場合にロードサービスの取り次ぎや、最寄りの病院の案内などを行います。



＊1…あらかじめ携帯電話を本機と**Bluetooth**®接続しておく必要があります。（割り当て設定は“電話1”に設定してください。“電話2”では電話発信できません。）
➔**Bluetooth**®対応機器の**Bluetooth**®接続をする（P.48）

オペレータに接続する

1 地図画面で
（NissanConnect サービスボタン）
をタッチする

2 オペレータ接続 をタッチする

NissanConnect 情報センターに接続し、つながるとオペレータが対応します。

3 オペレータに要望を伝える

オペレータが情報を準備し、情報がダウンロードされます。

ダウンロードが終わると自動的に回線を切断し、情報が表示されます。

知識

- 情報バーに表示される が点滅中は通信中です。
  オペレータ接続すると通信の状態が情報バーに表示されます。
- − 音量 ＋ *1／ 音量 *2で受話音量を調整できます。
- オペレータリスト画面が表示された場合、リストから表示したい情報を選んでタッチすると詳細情報を見ることができます。
- 手順 3 で 終了 をタッチすると回線を切断します。（切断に時間がかかる場合があります。）
- 携帯電話をご利用の場合、ご利用の機種や設定によっては情報が自動的にダウンロードされず、 ダウンロード が表示されることがあります。その場合は、オペレータの指示に従い、 ダウンロード をタッチして情報をダウンロードしてください。ダウンロードが終わると自動的に電話回線を切断し、情報が表示されます。

＊1… MM518D-L（エルグランド） MM318D-A
＊2… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W MM318D-L MM318D-W

現在地周辺の交通情報を取得する

1 現在地の地図画面で、（NissanConnect サービスボタン）をタッチする

2 交通情報取得 をタッチする

情報を取得して地図上に交通情報を表示します。

知識

- 情報センターから取得できる交通情報は、VICS情報、プローブ交通情報です。
- プローブ交通情報は、プローブ情報設定の“プローブ情報の送信”を する に設定している場合のみ、取得できます。
- 情報センターから送信されるVICS情報はJARTIC、およびVICSセンターより提供されます。
- ルートを設定している場合は、取得した交通情報を考慮してルートを再探索します。
- 緊急情報を受信すると、現在地の地図画面に割り込み表示します。割り込み表示をしなかった場合や再度緊急情報を見る場合は、メニュー を押して、情報・設定 → 情報 → 渋滞情報 →“FM VICS”の 緊急情報 をタッチしてください。
- 新たな緊急情報を受信した場合は、古い緊急情報は消去されます。
- 情報バーに表示される が点滅中は通信中のため、本機の操作はできません。（音量調整、AVのON／OFFなどは可能です。）
- 交通情報取得（ダウンロード）中に 終了 をタッチすると交通情報取得を中止します。

スクロール先の周辺の交通情報を取得する

1	地図をスクロールさせ、交通情報を取得したい場所にカーソル(−¦−)を合わせる
2	設定 → 交通情報取得 をタッチする

知識

- スクロール先周辺の交通情報をダウンロード中は現在地画面を表示します。ダウンロードが終わるとスクロール先周辺の交通情報を表示します。

メール&SNSを使う

お客さまが普段お使いの情報と連携したサービスがご利用いただけます。

メール&SNSメニューを表示する

メール&SNSメニューからは、普段お使いのメール、カレンダー、SNSの情報、車に関するメンテナンス情報などを通信料を気にせずにご利用できます。

1 地図画面で
(NissanConnect サービスボタン)→
メール&SNS をタッチする

知識

- メール、カレンダーはGmail、Google カレンダーに対応しています。(2018年7月時点)
- メール、カレンダー、SNS連携をご利用いただくには、日産オーナーサイト「N-Link OWNERS」にご登録ください。
  N-Link OWNERS Webサイト
  http://n-link.nissan.co.jp

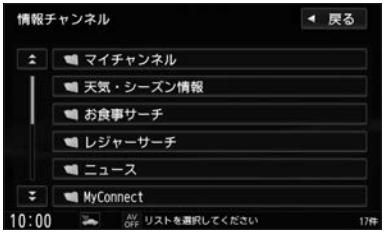
情報チャンネルを見る

交通情報や天気予報、グルメなど見たい情報を選んでダウンロードし、本機で確認できます。

情報チャンネルを見る

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ 情報チャンネル を タッチする

2 チャンネルフォルダ画面の中から見たいジャンルのフォルダを選んでタッチする



3 チャンネル一覧画面の中からダウンロードしたい情報を選んでタッチする

本機に情報をダウンロードし、チャンネル詳細情報画面が表示されます。

知識

- マイチャンネル を選ぶ前にNissanConnect サービスWebサイトでマイチャンネルにチャンネルリストを登録しておく必要があります。（本機でマイチャンネルの登録を行うことはできません。）
- 1回にダウンロードできる（本機に表示できる）データは6件までです。最大30件までの情報がダウンロードできます。
- 情報バーに表示される が点滅中は通信中のため、本機の操作はできません。（音量調整、AVのON／OFFなどは可能です。）

ここです車メールを使う

待ち合わせ場所に遅れそうなときなどに、パソコンや携帯電話にメールで用件を伝えることができます。

ここです車メールを使う

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ メール&SNS → ここです車メール をタッチする

2 電話帳から ／ 送信履歴から をタッチし、送信先をタッチする

3 送信したいメールアドレスを選んで 決定 をタッチする

4 4種のメッセージの中から送信したいメッセージを選んで 送信 をタッチする

知識

- “電話1”に割り当てた携帯電話から、メールアドレスが登録されている電話帳をあらかじめ本機に転送しておく必要があります。
  ➔ 携帯電話の電話帳・発着信履歴を本機に転送する（P.367）
- 送信履歴は最大10件まで表示されます。
- 送信するメールアドレスは、最大3件の中から選ぶことができます。

お気に入りチャンネルを利用する

よく使う情報チャンネルをお気に入りチャンネルに登録できます。

お気に入りチャンネルに登録する

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ お気に入りチャンネル をタッチする

2 登録したいチャンネル番号を選んでタッチする

3 登録したい情報がある チャンネルフォルダをタッチする

知識

- 情報チャンネルの更新を行っていない場合は、下記をご覧ください。
  ➔ 情報チャンネルを設定する（P.409）
- チャンネル1にはすでにマイチャンネルが登録されているため登録できません。
- (未登録)新規登録 のチャンネル番号のみ登録できます。

次のページに続く

お気に入りチャンネルを利用する

前のページから

4	登録したいチャンネルを選んでタッチする	

NissanConnect メッセージを取得する

本機の電源を入れたとき、未取得のNissanConnect メッセージがある場合、自動で取得します。
電源を入れたあとでも、手動で取得することもできます。

NissanConnect メッセージを取得する

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→
NissanConnect メッセージ取得 をタッチする

知識

- NissanConnect メッセージでは、車検や点検、その他お車に関する情報などの案内メッセージが配信されます。
- 取得したメッセージは、履歴で確認できます。
  ➔NissanConnect メッセージ履歴を見る（P.405）

NissanConnect サービスの履歴を見る

オペレータ履歴を見る

1 **地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス履歴 → オペレータ履歴 をタッチする**

オペレータ履歴画面が表示されます。

2 **リストの中から見たい履歴を選んでタッチする**

3 **＜利用したい項目＞をタッチする**

＜利用したい項目＞　下表は一例です。取得した情報によって利用できる項目は異なります。

地図を見る	情報先の地図を表示できます。 地図画面で、目的地の設定をしたり場所を登録したりすることができます。
ここに行く	情報先の場所を目的地に設定することができます。
立寄る	情報先の場所を立寄り地に設定することができます。
電話する	表示している情報先に電話番号情報がある場合、電話をかけることができます。 はい をタッチし、発信したい携帯電話の 発信 をタッチしてください。
地点登録	情報先の地点を登録することができます。

知識

- 履歴は最大15件まで保存されます。新しい情報が受信されると古い情報から順に消去されます。
- 履歴は3件まで保護することができます。保護をするとオペレータ履歴画面で選んだ履歴に保護マーク（ ）が付きます。
  保護を解除したい場合は 保護解除 をタッチしてください。保護マーク（ ）が消えます。

NissanConnect サービスの履歴を見る

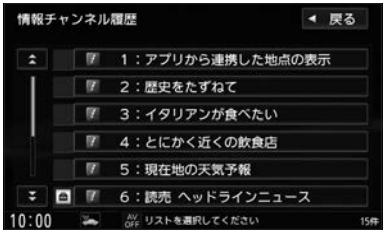
現在地表示	現在地の地図を表示できます。
チャンネル保護	新しい情報を取得しても、表示している情報が自動的に消去されないように保護できます。（3件まで）
チャンネル消去	表示している情報を消去できます。

NissanConnect サービスの履歴を見る

情報チャンネル履歴を見る

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス履歴 → 情報チャンネル履歴 をタッチする

2 見たいチャンネルを選んでタッチする



3 見たい情報を選んでタッチする
情報チャンネル詳細画面が表示されます。

■情報チャンネル履歴を保護する

1	情報チャンネル詳細画面で チャンネル保護 をタッチする

知識

チャンネル保護について

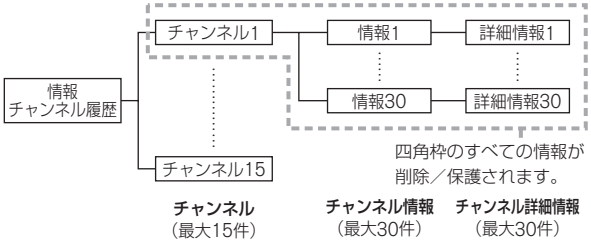
- チャンネル履歴は最大3件まで保護できます。
- チャンネル履歴を保護すると、情報チャンネル履歴画面で選んだ履歴に保護マーク( )が付きます。
  保護を解除したい場合は 保護解除 をタッチしてください。保護マーク( )が消えます。
- チャンネル保護は、新しいチャンネルをダウンロードした際に消去したくない古いチャンネルを自動的に消去しないための設定となります。履歴を消去した場合、選んだチャンネルは消去されます。
- 履歴が15件を超えると古いチャンネル(情報)から自動的に消去されますが、保護したチャンネルは消去されません。

NissanConnect サービスの履歴を見る

知識

チャンネル削除／保護のイメージ

- チャンネル削除／保護すると、選んだチャンネルのすべての情報を削除／保護します。（たとえばチャンネル1の情報を削除／保護すると、チャンネル1のすべての情報が削除／保護されます。）



NissanConnect サービスの履歴を見る

NissanConnect メッセージ履歴を見る

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス履歴 → NissanConnect メッセージ履歴 をタッチする

2 リストから見たい履歴をタッチする

3 操作メニュー → 詳細を見る をタッチする

知識

- 今までの利用履歴が最大30件まで表示されます。
- 手順 2 のリストの中で未読のメッセージには未読マーク（✉）が表示されます。
- 未読のメッセージがある場合、手順 1 の サービス履歴 ボタンおよび NissanConnect メッセージ履歴 ボタンに未読マーク（✉）が表示されます。

■NissanConnect メッセージ履歴を保護／保護解除する

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス履歴 → NissanConnect メッセージ履歴 をタッチする

2 リストから見たい履歴をタッチする

3 操作メニュー をタッチする

4 チャンネル保護 ／ 保護解除 をタッチする

知識

- NissanConnect メッセージ取得は最大3件まで保護できます。
- NissanConnect メッセージ取得を保護すると、NissanConnect メッセージ履歴画面に保護マーク（🔒）が付きます。保護を解除すると保護マーク（🔒）が消えます。

NissanConnect サービスの履歴を見る

■NissanConnect メッセージ履歴を消去する

1	地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス履歴 → NissanConnect メッセージ履歴 をタッチする
2	リストから見たい履歴をタッチする
3	操作メニュー をタッチする
4	チャンネル消去 をタッチする

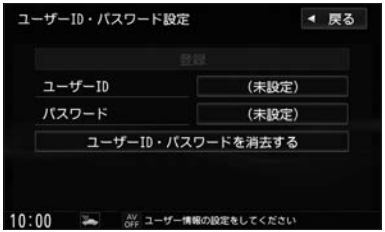
ユーザーIDやパスワードを設定する

アプリサービスをご利用になるにはユーザーIDとパスワードが必要です。

ユーザーIDやパスワードを登録する

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス設定 → ユーザーID・パスワード設定 をタッチする

2 “ユーザーID” の （未設定） および “パスワード” の （未設定） をタッチしてそれぞれ入力し、 決定 をタッチする



3 登録 をタッチする

はい をタッチすると、情報センターへ送信されます。

ユーザーIDやパスワードを消去する

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス設定 → ユーザーID・パスワード設定 をタッチする

2 ユーザーID・パスワードを消去する をタッチする

アドバイス

- ユーザーIDとパスワードを登録してから一定期間経過すると、再度登録しないとアプリのリモートサービスが使えなくなります。再度登録するには、左記の手順 1 を行い、ユーザーIDとパスワードを確認したあと、 登録 をタッチしてください。

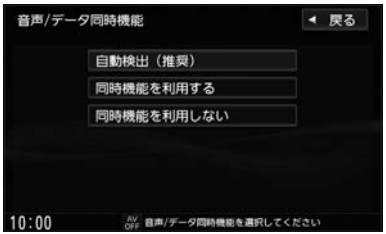
知識

- アプリサービスをご利用いただくには、専用のスマートフォンアプリが必要となります。App Store、Google Playで「NissanConnectマイカーアプリ」を検索してください。アプリのご利用は無料です。
- アプリサービスをご利用いただくには、日産オーナーサイト「N-Link OWNERS」にご登録してユーザーIDを作成してください。N-Link OWNERS Webサイト http://n-link.nissan.co.jp
- お車および本機を手放される場合は、ユーザーIDやパスワードを消去してください。
  ➔ ユーザーIDやパスワードを消去する（P.407）

オペレータ接続を設定する

オペレータ接続を携帯電話で行うとき、音声通信とデータ通信の同時機能を利用するか設定できます。
※登録した携帯電話会社によっては、設定できない場合があります。

1	地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス設定 → オペレータ接続設定 をタッチする
2	音声／データ同時機能 をタッチする
3	＜設定項目＞を選んでタッチする



＜設定項目＞

自動検出(推奨)	お使いの携帯電話に合わせて、音声とデータ通信の同時機能を利用する／利用しないの切り替えを行います。
同時機能を利用する	常に音声とデータ通信の同時機能を利用します。 ※お使いの携帯電話が同時機能に非対応の場合は選ばないでください。
同時機能を利用しない	音声とデータ通信の同時機能を利用しません。

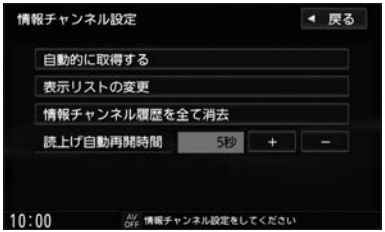
情報チャンネルを設定する

選んだ情報チャンネルを指定した間隔で自動取得したり、読み上げの自動再開時間を設定したりできます。
情報チャンネルを設定する前に情報チャンネルの表示リストの更新を行ってください。

情報チャンネルを設定する

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス設定 → 情報チャンネル設定 をタッチする

2 ＜設定項目＞の設定ボタンから選んでタッチする



＜設定項目＞

自動的に取得する	取得タイミングの選択	情報チャンネルを自動で取得するタイミングを設定します。 タイミングは 自動接続しない ／ 開始時 ／ 30分ごと ／ 1時間ごと ／ 2時間ごと から選択できます。
	情報チャンネルの選択	自動取得したい情報チャンネルを選びます。
表示リストの変更	お気に入りを登録	情報チャンネルのお気に入り登録をします。すでに登録済みのチャンネルを上書きで登録することもできます。
	表示リストの更新	情報チャンネルの表示リストを更新します。
	表示リストの初期化	情報チャンネルの表示リストを初期化、および情報チャンネルのお気に入り登録を初期化（マイチャンネル 以外を未登録にする）を行います。
情報チャンネル履歴を全て消去		情報チャンネルの履歴をすべて消去できます。
読み上げ自動再開時間		＋ ／ − をタッチして読み上げ自動再開時間を設定できます。また、自動再開をしないよう設定できます。

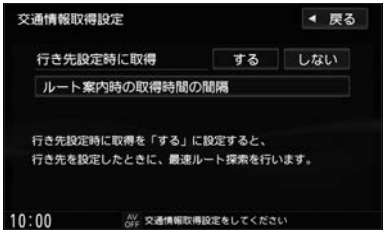
交通情報の自動取得設定をする

行き先を設定するときやルート案内しているときに交通情報を自動で取得するか設定できます。
また、ルート案内中は、取得する時間間隔も設定できます。

交通情報の自動取得設定をする

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス設定 → 交通情報取得設定 をタッチする

2 ＜設定項目＞を選んで設定する



＜設定項目＞

行き先設定時に取得	行き先設定時に交通情報を自動で取得 する ／ しない を設定できます。
ルート案内時の取得時間の間隔	ルート案内中に交通情報を自動で取得する時間間隔を選んでください。 自動取得しない をタッチすると、交通情報の自動取得を行いません。

知識

- “行き先設定時に取得”を する に設定している場合は、 ここに行く を選んでも最速ルートでルート案内されます。

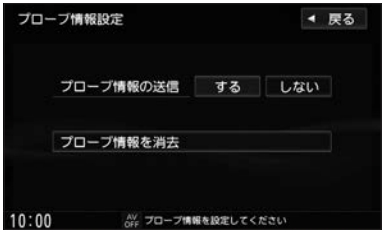
プローブ情報を設定する

プローブ情報をNissanConnect 情報センターへ送信する設定をします。
送信された走行データは、VICS情報では得られないエリアの交通情報を提供するために利用されます。

■ プローブ情報を設定する

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス設定 → プローブ情報設定 をタッチする

2 “プローブ情報の送信” の する ／ しない から選んでタッチする



知識

- プローブ情報を消去 をタッチすると、プローブ情報を消去します。
- “プローブ情報の送信” を する に設定している場合、交通情報取得時や最速ルート探索時に、プローブ交通情報を取得できます。
- プローブ交通情報はすべての地域およびすべての道路で表示されるものではありません。
- NissanConnect 情報センターに送信されたプローブ情報は、統計処理されることで、利用者個人を特定できなくしています。また、NissanConnect 情報センターでは一定期間後に自動的にプローブ情報を消去し、プライバシーを保護しています。

知識

- NissanConnect サービスへの入会にかかわらず、プローブ情報が送信されます。プローブ情報を送信したくない場合は、“プローブ情報の送信” を しない に設定してください。（“プローブ情報の送信” の設定は、NissanConnect サービスへの入会にかかわらず可能です。）なお、 しない に設定した場合、一部の NissanConnect サービスが正しく受けられませんので、ご注意ください。

プローブ情報とは

車両の走行データのことをいいます。

プローブ交通情報とは

NissanConnect サービス会員の車両から送信された走行データを修正・加工して提供される交通情報のことをいいます。

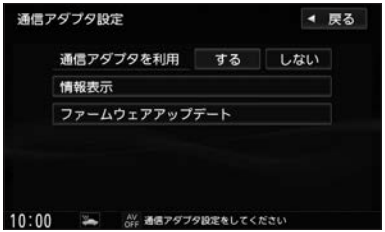
通信アダプタを設定する

本機に接続した通信アダプタの設定や情報などを見ることができます。

通信アダプタを設定する

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス設定 → 通信アダプタ設定 をタッチする

2 “通信アダプタを利用” の する ／ しない から選んでタッチする



知識

- “通信アダプタを利用” の しない に設定し、携帯電話を “電話 1” に割り当てている場合、携帯電話でデータ通信（渋滞情報の取得やGracenoteデータベースのオンライン検索など）を行うため、通信料金がかかります。
- 情報表示 をタッチすると、通信アダプタの情報を表示します。
- ファームウェアアップデート をタッチすると、通信アダプタのファームウェアをアップデートします。
  ※アップデートについては日産販売会社にお問い合わせください。

車載機IDを表示する

車載機IDを表示します。

車載機IDを表示する

1	地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス設定 → 車載機IDの表示 をタッチする

NissanConnect サービスの設定内容をすべて初期化する

NissanConnect サービスの設定内容をすべて初期化する

1 地図画面で（NissanConnect サービスボタン）→ サービス設定 → NissanConnect サービス設定を全て初期化 をタッチする

知識

- 設定内容の初期化をしてもアプリサービスご利用に設定されたユーザーID情報はNissanConnect 情報センターから消去されません。
- お車および本機を手放される場合は、ユーザーIDやパスワードを消去してください。
  ➔ ユーザーIDやパスワードを消去する（P.407）

NissanConnect サービスの停止を申請する

NissanConnect サービスの停止を申請する

1	メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → その他設定 → 初期化 → NissanConnect サービス停止申請 をタッチする
2	以降は、画面の指示に従って操作を行う

アドバイス

- 本機やお車をお譲りになるときは、停止申請を行ってください。

知識

NissanConnect サービス停止申請について

- NissanConnect サービスの登録を停止する申請通知ボタンです。
  NissanConnect サービス停止申請 をタッチするだけでは停止手続きは完了しません。オプションの有料サービスなど料金がかかるサービスの停止には、所定の解約手続きが必要です。

音声認識でルート探索する

Drive T@lker（音声認識アプリ）を使う　P.418

Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う

Drive T@lkerはスマートフォン用の音声認識アプリです。Drive T@lkerがインストールされたスマートフォンと連携することで、発話で目的地を設定したり、天気を調べたりすることができます。

Drive T@lker(音声認識アプリ)を使う

- 本機とスマートフォンの**Bluetooth®**接続を確認してください。
  ➔**Bluetooth®**対応機器の**Bluetooth®**接続をする(P.48)
- 本機とiPodまたはスマートフォンをUSB接続ケーブルで接続している場合は外してください。

1	**スマートフォン側でDrive T@lkerアプリを起動する**
2	**本機側で メニュー を長押しする**
3	**音声ガイドの問いかけに、本機のマイクに向かって発話して応答する** 音声ガイド中は発話しても認識されません。 音声ガイドのあと、効果音が鳴ってから発話してください。

アドバイス

- 音声認識を利用するには、スマートフォンアプリ「Drive T@lker」と、本アプリに適合したiPhoneまたはAndroidスマートフォンが必要です。
- Drive T@lkerアプリのダウンロードや適合スマートフォンについてはhttp://panasonic.jp/car/navi/drivetalker/をご覧ください。

知識

- 音声認識はハンズフリーフォン用のマイクを使用して行います。
- ご利用の場合、通信料金がかかります。

知識

音声認識の流れ（目的地設定での問いかけと発話の例）

音声ガイド：「こんにちは。行きたいところをお話ください。」
発話　　：「近くのガソリンスタンド。」
音声ガイド：「この付近のガソリンスタンドをお調べします。・・・・。20件のガソリンスタンドが見つかりました。
近い順に
1. ○○石油××SS
2. △△石油××SS
3. □□石油××SS です。」
発話　　：「3番。」
音声ガイド：「□□石油××SSを目的地に設定しますか？」
発話　　：「はい。」
音声ガイド：「ルートを探索します。お気をつけて。」

音声認識画面について

音声認識画面

音声認識画面(施設検索時)

① **発話エリア**
発話を認識すると枠の色が緑色になります。
(声が大きすぎる場合、赤色になります。適切な声の大きさで発話してください。)

② 終了
音声認識を終了します。

③ **問いかけ内容**
発話すると発話内容も表示します。

④ **検索結果**
検索結果をリスト表示します。発話のほか、リストをタッチしても選べます。

アドバイス

- スマートフォンがロック状態のときは、音声認識を起動できない場合があります。その場合は、スマートフォンのロックを解除してください。(ただし、Android端末の場合、Drive T@lkerアプリの常時通信設定がONに設定されていると、スマートフォンがロック状態でも音声認識を起動できます。)

知識

- 音声ガイド中に画面をタッチすると、音声ガイドをスキップできます。(スキップできない場合もあります。)
- メニュー ／ 現在地 を押すなどして音声認識画面から別の画面に切り替えたり、ハンズフリーフォンで電話を発信／着信したりすると、音声認識は終了します。
- 検索結果のリストでタッチ操作をした場合、発話の認識は終了しますので、以降はタッチ操作で目的地設定を行ってください。

音声認識が使用できるシーンについて

本機の音声認識では、「目的地(経由地)を設定する」「探索条件を設定(変更)する」「天気を調べる」を行うことができます。下記の発話例を参考にしてご使用ください。

■目的地を設定する

使用シーン例	発話例
住所で設定したい	「神奈川県横浜市都筑区池辺町4261」
近くで食事をしたい	「周辺のファミレス」
名称で目的地を設定し、 条件は“有料優先”で探索する	「東京駅。有料優先で」

■ルート案内中

使用シーン例	発話例
経由地を設定したい	「コンビニに立ち寄る」
探索条件を“一般優先”に変えたい	「一般優先で」
目的地の天気が知りたい	「目的地の天気は？」

■その他

使用シーン例	発話例
翌日以降の天気が知りたい	「明日の天気」「週間天気」
音声ガイドを再度聞きたい	「もう一度」
言い間違いや、発話内容が間違って 認識されたのでやり直したい	「違う」「やり直し」「キャンセル」

MEMO

その他の機能と設定

高速道路での逆走報知を設定する	P.425
走行軌跡を記録する	P.427
エコ運転診断の結果を表示する	P.428
ユーザーを切り替える／ユーザー名を変更する	P.432
メニューなどを英語で表示する	P.433
オプションスイッチを設定する	P.434
操作音を設定する	P.435
セキュリティ機能を設定する	P.436
画面の画質調整と表示サイズ切り替えをする	P.439
音声はそのままで画面を消す	P.441
車両のメンテナンス情報を設定する	P.442
接続状態を確認する	P.444
携帯電話のデータ通信設定をする	P.447
システム情報を見る	P.451
データを初期化（消去）する	P.452

困ったとき

故障かな？と思ったら	P.454
こんなメッセージが表示されたら	P.485

必要なとき

GPS電波受信と現在地測位	P.488
ルート案内について	P.491
ルート探索について	P.494
VICSについて	P.496
地図ソフトについて	P.501
市街地図の収録エリア	P.509
表示できる施設	P.515
Gracenoteデータベースについて	P.518
ディスクについて	P.521
SDカードについて	P.527
iPodについて	P.529
WALKMAN®／USBメモリーについて	P.531
Bluetooth®について	P.534
後席専用モニターについて	P.539
音楽ファイルについて	P.540
画像ファイルについて	P.544
動画ファイルについて	P.545
テレビ／ラジオの受信について	P.548
別売品（システムアップ）について	P.549
初期設定一覧	P.551
商標などについて	P.556

（次のページに続く）

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて P.560
保証とアフターサービス P.575
仕様 P.576
さくいん P.579

高速道路での逆走報知を設定する

1 メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 案内 をタッチする

2 “高速道路での逆走報知” の する ／ しない をタッチする

■逆走報知画面

逆走報知画面は 現在地 を押す、または ▶ ／ 解除 をタッチすると表示を解除できます。

⚠ 注意

- 高速道路での逆走報知機能は、状況によって報知しないことや、報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走をしてしまった場合は安全を確保したうえで、高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。

知識

- 下記のような条件などの場合には、報知しないことや、報知内容が実際の状況と異なることがあります。
  - 走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近における逆走
  - 周囲に分岐・合流の無い本線道路上のUターン
  - ダッシュボードの上に物を置いたなどGPS信号が受信できないとき
  - トンネルなどの遮断によりGPS信号が受信できないとき
  - 高架橋下や高層ビル群地帯などGPS信号が正しく受信できないとき
  - 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できないとき
  - 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行しているとき

走行軌跡を記録する

通った道にしるしを付けて記録し、通った道をあとで確認できます。

走行軌跡を記録する

1 メニュー を押して、 情報・設定 → ナビ設定 → 表示 をタッチする

2 “走行軌跡表示” の<操作したい項目>をタッチする

<操作したい項目>

する	走行軌跡の記録を行います。また、記録した走行軌跡を地図画面に表示します。
しない	走行軌跡の記録を止めます。また、記録した走行軌跡を地図画面に表示しません。
消去する	今まで記録した走行軌跡を消去します。

知識

- 走行軌跡の記録をやめても、やめるまでの走行軌跡の記録は残っています。走行軌跡の記録を消去するには 消去する をタッチしてください。
- 走行軌跡は、約500 kmまで記録できます。容量を超えると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 走行軌跡の記録をやめ、再度記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。
- 地図の縮尺によって軌跡を示すしるし(点)の間隔は異なります。

エコ運転診断の結果を表示する

環境にやさしく無駄の少ない運転ができているかを評価して、診断結果を見ることができます。

エコ運転診断の結果を表示する

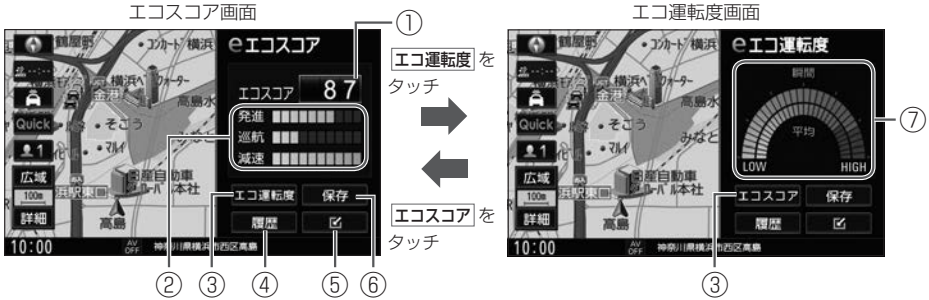
1 現在地の地図画面で、
簡易エコスコアボタンをタッチする

知識

- 地図画面の簡易エコスコアボタンは、エコスコア(評価の点数)のみ表示します。(エコスコア画面のエコスコアと同じ点数を表示します。)
- エコ運転診断を参考にして運転する場合は、地図画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。
- 急な坂道など走行環境によりエコスコアが低く計算される場合があります。
- 各評価は、前回リセットしてから次回リセットするまでのトータルの評価です。リセット間の期間が長いほど各評価は変動しにくくなります。
- エコ運転診断の表示／非表示は、メニュー を押して、情報・設定 → ナビ設定 → 表示 → “エコ運転診断機能を表示”で設定してください。

エコ運転診断の結果を表示する

■エコスコア画面とエコ運転度画面



① **走行全体の評価**

前回リセットしてから現在までの評価を100点満点で表示します。

② **シーン別評価**

③ エコ運転度 ／ エコスコア

エコ運転度画面／エコスコア画面に切り替えます。

④ 履歴

履歴をグラフで表示します。

⑤ ☑

簡易エコスコアボタン表示に戻します。

⑥ 保存

エコ運転診断データを保存します。

➔ エコ運転診断データをリセットする／データをSDカードに保存する（P.431）

知識

エコ運転のコツ

エコ運転ができると、エコスコアも良くなります。

発進：ふんわりアクセルでやさしい発進を心がけましょう。最初の5秒で時速20ｋｍが目安です。

巡航：加減速の少ない運転を心がけましょう。車間距離に余裕をもって、速度にムラの無い走行をしましょう。

減速：停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキを利用して減速しましょう。

⑦ **エコ運転度**

車の速度・加速度などから計算します。

瞬間：リアルタイムのエコ運転度

平均：前回リセットしてから現在までの平均エコ運転度

■ エコ運転診断データをリセットする／データをSDカードに保存する

リセットと同時にSDカードへE1Grand Prixに参加するためのデータを保存するか選ぶことができます。
※SDカードでデータ再生中は保存できません。

1	**エコスコア画面またはエコ運転度画面で 保存 → はい ／ いいえ をタッチする** はい をタッチすると、SDカードへデータを保存し、本機内のデータをリセットします。 いいえ をタッチすると、SDカードへデータを保存せずに、本機内のデータをリセットします。

■【E1Grand Prixのご案内】（http://e1gp.jp）

E1Grand Prixとは、燃費やスコアを競いながら、お客さまの車をエコカーにしていくプロジェクトです。他のドライバーと競争しながら、楽しくエコ運転を続けることができます。登録は無料、Webサイトからすぐにエントリーできます。
※E1 Grand Prixに関するお問い合わせは、E1 Grand Prix運営事務局（http://e1gp.jp/e1gp/cgi/FaqEtc.cgi）へお願いします。

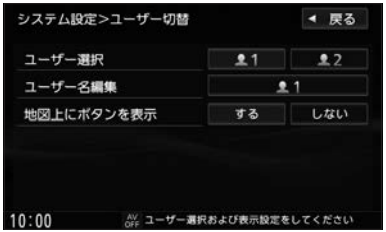
ユーザーを切り替える／ユーザー名を変更する

本機は各設定（Quick設定など）をユーザーごとに別々で設定でき、ユーザー（1／2）を切り替えることができます。
ユーザーボタンの設定（ユーザー名の変更／地図画面上のボタン表示有無）も行うことができます。

ユーザーを切り替える／ユーザー名を変更する

1 メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → ユーザー切替 をタッチする

2 ＜設定項目＞のボタンを選んでタッチする



＜設定項目＞

ユーザー選択	ユーザー（1／2）を切り替えます。
ユーザー名編集	ユーザー名を変更します。 変更したいユーザー名に切り替えた状態でタッチし、新ユーザー名を入力します。
地図上にボタンを表示	現在地の地図画面にユーザーボタンを表示 する ／ しない を設定します。 ➔ 現在地の地図表示（P.61）

知識

- ユーザー名は全角4文字／半角8文字までです。
- “地図上にボタンを表示”を する に設定しても、“友達マップ表示”を ON に設定している場合、現在地の地図画面にユーザーボタンは表示されません。
  ➔ 友達マップを表示する（P.384）

メニューなどを英語で表示する

メニューなどを英語で表示したり、ルート案内の音声を英語で案内したりすることができます。

メニューなどを英語で表示する

1 メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → Language をタッチする

2 English を選んでタッチする

一部の画面が英語で表示され、ルート案内も英語で案内します。
日本語の表示や案内に戻したい場合は、 Japanese をタッチしてください。

知識

- 地図の地名などは英語表示になりません。

オプションスイッチを設定する

本機の ☼ (オプションスイッチ)によく使う機能をひとつ選んで設定できます。

オプションスイッチを設定する

1 メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → オプションスイッチ をタッチする

2 オプションスイッチに
＜設定する機能＞を選んでタッチする

アドバイス

- インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)搭載車に本機を装着している場合は、オプションスイッチ設定はできません。(インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)の映像を表示するのに ☼ を使用しない車種があります。その車種ではオプションスイッチ設定が可能です。)

＜設定する機能＞

消音	AVソースの音声を消したり、消音を解除したりします。
AVソース切替	AVソースを切り替えます。
電話リダイヤル発信	ハンズフリーフォンで前回電話をかけた番号に発信します。
オペレータ接続	現在地の地図画面のとき、NissanConnect 情報センターのオペレータに接続します。
交通情報取得	現在地の地図画面のとき、NissanConnect サービスを利用して現在地周辺の渋滞情報を取得します。
自宅	現在地の地図画面のとき、自宅を目的地にしてルート探索します。

操作音を設定する

コントロールパネルのスイッチを押したり、タッチパネルのボタンをタッチしたりしたときに鳴る操作音を設定できます。

操作音を設定する

1	メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → その他設定 → 操作音 をタッチする
2	操作音1 ／ 操作音2 ／ OFF から選んでタッチする

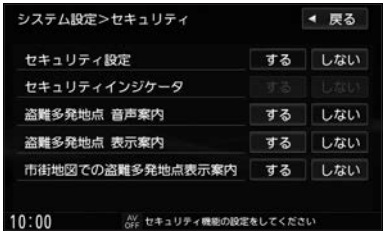
セキュリティ機能を設定する

セキュリティコードを設定する

本機をバッテリーから外して再度接続したときに、セキュリティコードを入力しないと起動できないように設定できます。

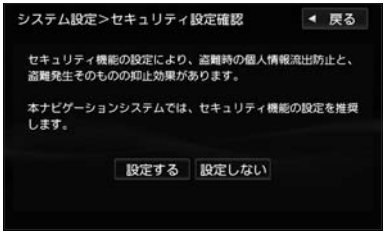
1 メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → セキュリティ をタッチする

2 “セキュリティ設定” の する をタッチする



3 設定する をタッチする

初めて、セキュリティコードを設定するときは、初期パスワード(1234)の入力が必要です。



4 4桁のセキュリティコードを入力し、決定 をタッチする

アドバイス

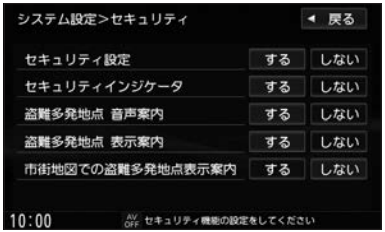
- お客さまが設定したセキュリティコードは、お客さまご自身で管理をお願いします。
- セキュリティコードを忘れた場合は日産販売会社へご相談ください。

知識

- セキュリティコードを変更したい場合は、セキュリティコードを消去してから設定し直してください。
  ➔ セキュリティコードを消去する(P.437)

セキュリティ機能を設定する

セキュリティコードを消去する

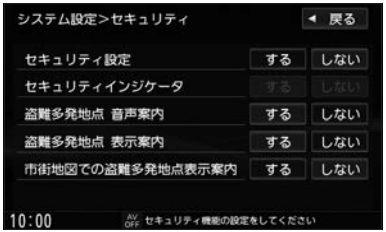
1	メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → セキュリティ を タッチする
2	“セキュリティ設定” の しない を タッチする 
3	設定中のセキュリティコードを入力し、 決定 をタッチする

セキュリティ機能を設定する

その他のセキュリティ機能を設定する

1 メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → セキュリティ をタッチする

2 各項目の設定ボタン(する ／ しない)から選んでタッチする



＜設定項目＞

セキュリティ設定	➔ セキュリティコードを設定する(P.436)
セキュリティインジケータ	本機の電源を切ったときに、インジケータが点滅するように する ／ しない を設定できます。
盗難多発地点音声案内	盗難多発地点付近を目的地に設定したときや盗難多発地点付近で本機の電源を切ったとき、音声案内を する ／ しない を設定できます。
盗難多発地点表示案内	縮尺200 m以下の地図で盗難多発地点を地図画面にマーク( )表示 する ／ しない を設定できます。
市街地図での盗難多発地点表示案内	盗難多発地点を市街地図画面にマーク表示 する ／ しない を設定できます。

知識

- セキュリティインジケータは“セキュリティ設定”を する に設定している場合のみ設定できます。
- 自宅に設定した場所付近の盗難多発地点については、お知らせを行いません。
- 盗難多発地点マーク( )は盗難の危険が高い順に赤色→橙色→黄色で表示します。(地域により基準は異なります。)
- 市街地図での盗難多発地点表示案内は“盗難多発地点表示案内”を する に設定している場合のみ設定できます。

盗難多発地点対応都道府県

岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県

※地図更新をした場合、対応の都道府県は変更になる場合があります。

画面の画質調整と表示サイズ切り替えをする

画質を調整する

1 調整したい画面を表示して、 現在地 を長押しする

2 画質調整 をタッチする

調整する画面によっては、 画質調整 のタッチは不要です。

3 ＜調整項目＞を選んでタッチし、◀／▶をタッチして調整する

※調整する画面によっては、調整項目が 明るさ と コントラスト のみになります。

＜調整項目＞

明るさ	明るさを調整します。（◀：暗くなる／▶：明るくなる）
コントラスト	コントラストを調整します。（◀：弱くなる／▶：強くなる）
色の濃さ	色の濃さを調整します。（◀：淡くなる／▶：濃くなる）
色合い	色合いを調整します。（◀：赤色を強く／▶：緑色を強く）
ダイナミックガンマ	タッチするたびにON／OFFが切り替わります。ON（表示灯が点灯）にすると、自動的に色彩やコントラストを調整します。

アドバイス

- 走行中は調整できる項目が限られます。

知識

- 別売の各カメラ映像とAVソースの各映像画面については、画面ごとに個別で調整できます。
（一部、調整結果が互いに連動する画面があります。）
- 初期値 をタッチすると、お買い上げ時の調整に戻します。
- 明るさ調整は車のライトがONのときとOFFのときとで別々に設定できます。

映像画面の表示サイズを切り替える

1 表示サイズを切り替えたい画面を表示して、 現在地 を長押しする

2 ＜表示サイズ＞を選んでタッチする

TVソースの場合、 シネマ は表示されず選べません。

＜表示サイズ＞

ノーマル	映像を4：3で表示します。＊2 ※16：9の映像は横方向に圧縮されます。
フル	映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示します。
ワイド	映像を16：9で表示します。＊2 ※4：3の映像は横方向に引きのばして表示されます。
シネマ	ノーマル表示を上下左右方向に引きのばして表示します。 ※映像は上下が切れて表示されます。

知識

- 現在地 を長押ししても、表示サイズ切り替えができない画面(Android Auto画面＊1など)では、サイズ切り替えの画面は表示されません。

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ
＊2…映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示される場合があります。

音声はそのままで画面を消す

音声はそのままで画面を消す

1 **メニュー を押して、 画面消し をタッチする**

画面をもとに戻すには、画面をタッチしてください。

知識

- バックビューモニターを接続している場合、またはインテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)搭載車に本機を装着している場合、車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消し(黒画面)中でも、モニター映像に自動的に切り替わります。
  ※シフトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。

車両のメンテナンス情報を設定する

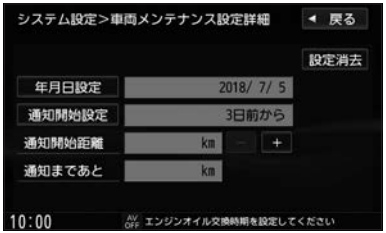
車両のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを音と画面でお知らせします。

メンテナンス情報を設定する

1 メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → その他設定 → 車両メンテナンス をタッチする

2 設定したい項目の“お知らせ設定”の する をタッチする

3 設定項目の詳細を設定する



4 戻る をタッチする

設定した項目の“お知らせ設定”が する になります。

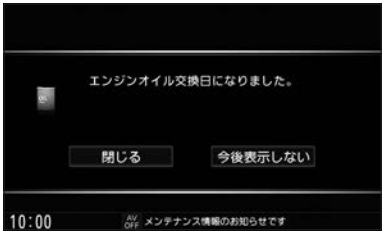
知識

- 年月日・通知開始距離のどちらかを設定してください。項目によっては年月日のみの場合や名称編集があります。
- メンテナンス内容および時期の設定は日産販売会社へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず 設定消去 をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPSからの日付情報と車速信号を使用します。

■メンテナンス情報のお知らせについて

通知開始設定の日になった／設定日当日になった／設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、本機を起動したときにそれぞれの画面でお知らせします。

※ 今後表示しない をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。（“お知らせ設定” が しない になります。）



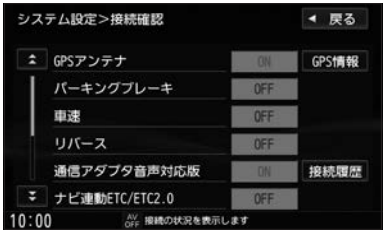
接続状態を確認する

本機が車側に正しく接続されていない場合、本機の機能が正常に働きません。
接続確認画面で接続の確認ができます。

接続状態を確認する

1 メニュー を押して、 情報・設定 → システム設定 → その他設定 → 接続確認 をタッチする

2 ＜確認項目＞を確認する



＜確認項目＞

GPSアンテナ	GPSアンテナを接続していると“ON”が赤色で表示されます。
パーキングブレーキ	正しく接続されていれば、車のパーキングブレーキをかけると“ON”が赤色で表示されます。
車速	正しく接続されていれば、走行すると“ON”が赤色で表示されます。 ※走行速度によっては、“ON”が表示されるまで時間がかかったり、“ON”／“OFF”が交互に表示されたりするときがありますが、この場合でも正しく接続されています。 ※車を動かす際、広い場所(駐車場など)で、安全確認をしてから行ってください。

接続状態を確認する

リバース	正しく接続されていれば、車のシフトレバーをリバースに入れると“ON”が赤色で表示されます。 ※バックビューモニターを接続している場合、車のシフトレバーをリバースに入れるとバックビューモニター画面が表示されます。
通信アダプタ音声対応版	通信アダプタを接続していると“ON”が赤色で表示されます。
ナビ連動ETC／ETC2.0	別売のETCユニットまたはETC2.0車載器を接続すると“ON”が赤色で表示されます。
ナビ連動ドライブレコーダー	別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続すると“ON”が赤色で表示されます。

接続状態を確認する

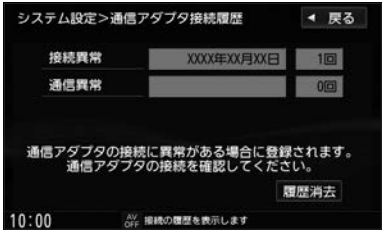
■GPS情報を見る

メニュー を押し、 情報・設定 → システム設定 → その他設定 → 接続確認 → GPS情報 をタッチすると、現在地の緯度･経度･受信中のGPS衛星の数(捕捉数)などを見ることができます。

GPS衛星マーク

■通信アダプタの接続履歴を見る

メニュー を押し、 情報・設定 → システム設定 → その他設定 → 接続確認 → 接続履歴 をタッチすると、通信アダプタの接続履歴を見ることができます。



履歴消去 ：通信アダプタの接続履歴を消去します。

知識

- 受信中のGPS衛星の数には、測位に使用できないものも含まれています。
  測位に使用できるGPS衛星の数が3個以上無い場合は、緯度と経度は表示されません。
- 現在時刻は、GPS衛星の電波を受信していても、1秒程度の誤差があります。
  電波を受信していないときは、誤差がより大きくなります。
- GPS衛星マークは、受信中のGPS衛星のおおよその位置を示します。

携帯電話のデータ通信設定をする

通信アダプタを利用している場合、本設定は不要です。
携帯電話を使ってNissanConnect サービスやオンライン検索を行う場合は、本設定が必要です。

携帯電話会社を選んでデータ通信設定をする

1 メニュー を押して、 電話 → Bluetooth設定 → “機器選択” の 選択する を タッチする

2 設定したい携帯電話を選んでタッチする

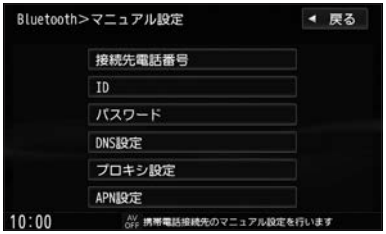
3 通信設定 → 携帯電話会社選択 を タッチする

4 携帯電話の会社名(種類)を選んでタッチする

データ通信の各設定が既存設定値に設定されます。

データ通信設定を手動で変更する

1	メニュー を押して、 電話 → Bluetooth設定 → “機器選択” の 選択する をタッチする
2	設定したい携帯電話を選んでタッチする
3	通信設定 → マニュアル設定 をタッチする
4	＜設定項目＞を選んでタッチする



＜設定項目＞

接続先電話番号	接続先の電話番号を設定します。電話番号を入力し、 決定 をタッチしてください。
ID	IDを設定します。IDを入力し、 決定 をタッチしてください。
パスワード	パスワードを設定します。パスワードを入力し、 決定 をタッチしてください。

DNS設定	接続するDNSサーバーを設定します。自動／手動から選んでタッチしてください。 手動を選んだ場合は、プライマリDNS／セカンダリDNSをタッチして、接続先DNSのIPアドレスを入力してください。
プロキシ設定	接続するプロキシサーバーの設定を設定します。“プロキシを使用”のする／しないから選んでタッチしてください。 “プロキシを使用”のするを選んだ場合は、プロキシ名称設定、プロキシアドレスをタッチして各情報の入力と、“プロキシポート設定”の自動／手動の選択を行ってください。 “プロキシポート設定”の手動を選んだ場合は、プロキシポートをタッチし、プロキシポートを入力してください。
APN設定	APNの設定します。“APNを使用”のする／しないを選んでタッチしてください。 するを選んだ場合は、“接続方式”のPPP／IPの選択と、APN名称設定をタッチしてAPN名の入力を行ってください。

NissanConnect サービス用のAPNを設定／消去する

APNの設定は通常携帯電話接続時に自動で設定されますが、自動設定に失敗した場合は設定してください。

1 メニュー を押して、電話 → Bluetooth設定 → “機器選択” の 選択する をタッチする

2 設定したい携帯電話を選んでタッチし、通信設定 をタッチする

3 NissanConnect サービス-APN設定 をタッチする

正常に設定されると設定完了のメッセージが表示されます。

知識

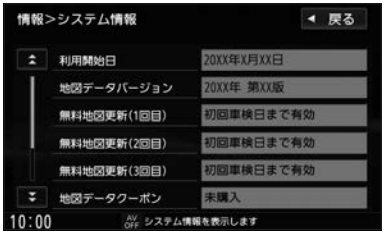
- NissanConnect サービス用にAPNの設定が必要なのは接続している携帯電話がNTTドコモ／ソフトバンクの場合のみです。
- NissanConnect サービス-APN消去 をタッチするとNissanConnect サービスのAPNを消去します。
- “携帯電話のAPN設定に失敗しました”と表示された場合は、APN設定の消去を行い、再度設定操作を行ってください。
- “携帯電話のAPN領域に空きがありません”と表示された場合は、携帯電話に登録されているNissanConnect サービス用以外のAPNを消去して空き領域を確保してください。
- NissanConnect サービス用のAPNは“電話1”に割り当て設定をしている携帯電話のみ設定／消去できます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。

システム情報を見る

地図データのバージョンやナビゲーションIDなどを見ることができます。

システム情報を見る

1 メニュー を押して、 情報・設定 → 情報 → システム情報 をタッチする

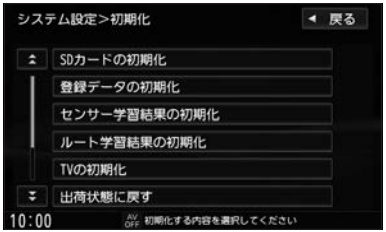


データを初期化(消去)する

1 メニュー を押して、情報・設定 → システム設定 → その他設定 → 初期化 をタッチする

2 ＜初期化したい項目＞を選んでタッチする

メッセージが表示されるので、画面に従ってください。



＜初期化したい項目＞

SDカードの初期化	SDカードのデータを初期化します。
登録データの初期化	すべての登録データ*1*2・TV設定以外の設定内容*3・センサーおよびルートの学習結果を初期化します。
センサー学習結果の初期化	自律航法に関する学習結果を初期化します。
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果を初期化します。
TVの初期化	TVの設定内容を初期化します。

⚠ 注意

- 初期化中は他の操作(AVソースを切り替える、車両のキースイッチ(電源ポジション)を切り替えるなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化すると、選んだ項目は消去され、もとに戻せません。すでにデータが書き込まれているSDカードを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することが無いように、ご注意ください。(SDカード内すべてのデータが消去されます。)

＊1…SDカード内のデータ消去は行わないため、MUSIC STOCKERの録音データは初期化されません。
＊2…Gracenoteデータベースは初期化されません。
＊3…日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定は初期化されません。

データを初期化(消去)する

出荷状態に戻す	すべての登録データや設定内容*1*3などを初期化します。
入力履歴の初期化	名称検索などで行う文字入力の履歴を初期化します。
NissanConnect サービス設定を全て初期化	NissanConnect サービスの設定をお買い上げ時の状態に戻したり、NissanConnect サービスに関する履歴を初期化したりします。
NissanConnect サービス停止申請	NissanConnect サービスの登録を停止するときに申請通知します。 ➔NissanConnect サービスの停止を申請する(P.416)

知識

- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。
「LOCK」を解除してください。
- 出荷状態に戻す をタッチしたときはAVがOFFになります。

上記以外の項目の初期化について

以下の項目を初期化するには、それぞれ下記ページをご覧ください。

- MUSIC STOCKERの録音データの初期化
  ➔録音した曲を消去する(P.293)
- Gracenoteデータベースの初期化
  ➔Gracenoteデータベースを初期化する(P.302)
- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定の初期化
  ➔日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする(P.342)

＊1…SDカード内のデータ消去は行わないため、MUSIC STOCKERの録音データは初期化されません。
＊3…日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定は初期化されません。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に、下記内容をチェックしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止して日産販売会社にご連絡ください。

本体関係

	症　　状	考えられる原因	処置
共通項目	**電源が入らない(動作しない)**	● 各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。 ● 電源コネクタのヒューズが切れている。	日産販売会社にご相談ください。
	音が出ない	音量が小さい、または“0”になっている。	− 音量 ＋ ＊1／音量 ＊2で調整してください。
		バランス／フェーダーが片方に寄っている。	バランス／フェーダーを正しく調整してください。 ➲ バランス／フェーダー設定をする(P.177) ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。
		本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。
	本機に登録した情報が消失している	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に登録した情報が消失する場合がある。	消失したデータについては補償できません。
	ディスプレイが閉じない	ディスク排出の処理中である。	排出が終わったらディスクを取り出してください。
		SDカードが奥まで挿入されていない。	奥まで挿入してください。
		カード挿入口カバーが閉まっていない。	カード挿入口カバーを確実に閉めてください。
	ディスクが出ない	ディスクに汚れ、キズ、指紋が付いている。	▲ を長押ししてください。
	映像が出ない	走行している。	AVソースの映像は走行中に見ることができません。
		明るさ／コントラスト調整が最も暗い調整になっている。	明るさ／コントラストを調整してください。 ➲ 画質を調整する(P.439)
		画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示してください。

＊1… MM518D-L(エルグランド) MM318D-A　　＊2… MM518D-L(セレナ) MM518D-L(エクストレイル) MM518D-W MM318D-L MM318D-W

故障かな？と思ったら

	症　状	考えられる原因	処置
共通項目	**映像が出ない**	HDMI＊1／VTRソースになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り替えてください。（HDMI＊1／VTR未入力時は黒い画面になります。）
	画面が乱れる	本機の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合がありますので、本機と離してください。
	表示が暗く見づらい	● 車両側のオートライトにより、ライトが点灯している。 ● ライトをONにした。	画面の明るさはイルミネーションに連動します。 （トンネル内など画面が急に暗くなります。）
	DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。 ➔ 画質を調整する（P.439）
	映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響で起きることがある。	妨害電波を受けない場所に移動してください。
	ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素があるが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがある。	故障ではありません。
	タッチパネルが動作しない	タッチ操作が速い、またはタッチする力が弱い。	ゆっくり操作してください。または少し強くタッチしてください。
	車を後退時にAVの音量が下がる	“リバース時のAV音量ダウン”の設定が［する］になっている。	［しない］にしてください。 ➔ 音量設定をする（P.173）

＊1…［MM518D-L］［MM518D-W］のみ

ナビゲーション関係

	症　状	考えられる原因	処置
自車マーク	**平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる**	3D表示では画面が煩雑にならないよう、文字表示の間引き処理を行っている。	故障ではありません。
	現在地が正しく表示されない	走行条件やGPS衛星の受信状態により、表示誤差が生じた。	見晴らしのよい場所を一定速度でしばらく走行し、GPS衛星電波を受信してください。
	自車を移動しても地図がスクロールしない	現在地画面になっていない。	現在地 を押してください。
	自車マークが表示されない		
	地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のままになっている	GPSアンテナ上に雪などが覆い被さって、GPS衛星からの電波が受信できない。	積もった雪などを取り除いてください。
		GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。
	自車位置精度が悪い	タイヤチェーンの装着、本機の他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ（進みや遅れ）が発生した。	しばらく（およそ30 km/hの速度で30分程度）走行すると自動的に調整されます。または、センサー学習結果の初期化を行ってください。 ➔ データを初期化（消去）する（P.452）
		GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。
ルート探索	**走行すると道路が消える**	走行中は細街路を表示しない。	故障ではありません。
	探索されたルートが表示されない	目的地の近くに道路が無い。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意のうえ、道路上に目的地や経由地を設定してください。
		出発地と目的地が近い。	故障ではありません。

	症　　状	考えられる原因	処置
ルート探索	**遠回りな自動ルートを探索する**	● 探索では、広い道路を優先して使用する場合がある。 ● 細街路を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先している。 ● 車の方向が目的地方向と逆になっている。	故障ではありません。
		出発地、目的地付近の道路に規制がある。(一方通行など)	出発地や目的地を少しずらして設定してください。または、通りたいルートに経由地を設定してください。
	ランドマークの表示が実際と異なる	地図データに不備や誤りがある。	地図ソフトが古い場合がありますので、日産販売会社にご相談ください。
	出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていない。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。
	意図したルートとは違うルートが引かれる	● 目的地の近くに探索可能な道路が無い。 ● 目的地を建物の中心に設定している。	目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。(目的地と逆の車線に設定され、正しいルートが作れないことがあります。)
		中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	最詳細地図で車線などを確認して設定してください。(一方通行を考慮するので大回りなルートを引く場合があります。)
	NaviCon® アプリ側で目的地を設定しても本機に送信されない	スマホ連携アプリ選択 で Drive T@lker を選んでいる。	スマホ連携アプリ選択 で NaviCon を選んでください。 ➔ スマホ連携アプリ選択をする(P.53)
	再探索時、経由地を探索しない	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。
	ルート情報が表示されない	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。 ➔ ルートを探索する(P.120)

故障かな？と思ったら

	症　　状	考えられる原因	処置
ルート探索	**ルート情報が表示されない**	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。 ➔ ルート案内を開始する（P.129）
	ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない	自車マークが探索されたルートを走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示します。）	探索されたルート上を走行してください。
	経由地が設定できない	すでに経由地を5地点設定している。	経由地は6地点以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。
	ルート案内が終了したにも関わらず、地図画面上の目的地（🏁）が消えない	案内終了後でもルートを消去するまでは設定した目的地（🏁）は地図画面上から消えません。	故障ではありません。ルートを消去すると地図画面上の目的地（🏁）は消えます。
音声案内	**音声案内しない**	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。
		ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。 ➔ ルート案内を開始する（P.129）
		案内音量画面の 消音 をタッチして音声が出ないようにしている。	消音 をタッチして解除してください。 ➔ 音声案内の音量調整／詳細設定をする（P.150）
	音声案内やハンズフリーフォン時の音量が急に大きくなる	－ 音量 ＋ ＊1／ 音量 ＊2を操作してしまっている。	音声案内の音量は案内音量画面、ハンズフリーフォン時の音量は通話設定画面で、調整し直してください。 ➔ 音声案内の音量調整をする（P.150） ➔ ハンズフリーフォンの通話設定をする（P.365）
	実際の道路と案内が異なる	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより、異なった内容になる場合がある。	実際の交通ルールに従って走行してください。

＊1… MM518D-L（エルグランド） MM318D-A　　＊2… MM518D-L（セレナ） MM518D-L（エクストレイル） MM518D-W MM318D-L MM318D-W

	症　状	考えられる原因	処置
音声案内	**高速道路を走行中に一般道路の案内をする**	高速道路と一般道路が平行になっている道路を走行している。	Quick をタッチして 道路切替 をタッチしてください。 ➔ 自車位置の道路を切り替える（P.84）
	一般道路を走行中に高速道路の案内をする		
VICS	**VICS情報が表示されない**	VICS情報の受信が完了できていない。	情報を受信できるまでお待ちください。
NissanConnect サービス	**NissanConnect 情報センターに接続されない（通信アダプタを利用する場合）**	通信アダプタが圏外になっている。	通信アダプタが圏内になる場所に移動してください。
		通信アダプタの設定を しない にしている。	通信アダプタの設定を する にしてください。 ➔ 通信アダプタを設定する（P.413）
		NissanConnect サービスの申し込みをしていない。	NissanConnect サービスへの申し込みを行ってください。詳しくは日産販売会社または、NissanConnect お客さまセンターにお問い合わせください。
	NissanConnect 情報センターに接続されない（通信アダプタを利用しない場合）	携帯電話が電話1で**Bluetooth®**接続されていない。	携帯電話を正しく割り当て設定してください。 ➔ 割り当て設定をする（P.52）
		携帯電話の電波状態が悪い。圏外表示になっている。	故障ではありません。圏内表示になるとお使いいただけます。
		携帯電話が**Bluetooth®**のDUNプロファイルに対応していない。	携帯電話でご使用の場合、DUNプロファイルに対応した携帯電話でないとNissanConnect サービスをご利用できません。
		携帯電話の回線が混雑している。	しばらくしてからおかけ直しください。
		携帯電話にダイヤルロックがかかっている。	携帯電話のダイヤルロックを解除してください。
		携帯電話に発信規制が設定されている。	携帯電話の発信規制を解除してください。

	症　　状	考えられる原因	処置
NissanConnect サービス	**NissanConnect 情報センターに接続されない（通信アダプタを利用しない場合）**	携帯電話がNissanConnect サービスに適合していない。	NissanConnect サービスWebサイト（www.nissanconnect.jp）の「適合携帯電話一覧」で確認のうえ、適合した携帯電話をお使いください。
		auの携帯電話の通信モードを「回線交換モード」のまま接続して使用している。	機種によっては通信モードに「回線交換モード（ASYNC／FAX）」と「パケットモード」がありますが、「パケットモード」にしてご使用ください。
		「市外局番メモリ」を設定した携帯電話を使用している。	設定を解除してご使用ください。
		NissanConnect サービスの申し込みをしていない。	NissanConnect サービスへの申し込みを行ってください。詳しくは日産販売会社または、NissanConnect お客さまセンターにお問い合わせください。
		Bluetooth® 対応オーディオ機器を接続している。	登録している **Bluetooth®** 対応オーディオ機器を消去してください。（機器によっては、複数の **Bluetooth®** 機能の同時利用ができない場合があります。）
	サービス利用時、通常の音声電話（携帯電話など）に比べてサービスエリアが狭くなったり、つながりにくかったりする	NissanConnect 情報センターとの通信はデータ通信モードを使用している。	故障ではありません。しばらくしてから操作をやり直してください。

	症　　状	考えられる原因	処置
NissanConnect サービス	**メニュー項目が一部タッチできない**	走行中である。	車を安全な場所に停車してから、操作してください。
	一部の画面が表示されない		
	ダウンロード中の画面が表示される時間よりも、実際の通信時間の方が長い	携帯電話によっては、携帯電話で実際に通信が開始・終了されるタイミングよりも、本機の画面表示や切り替わるタイミングの方がやや速い場合がある。	故障ではありません。
	オペレータと通話時、音声が途切れるまたはデータが到達するのが遅くなる	通信回線の状況や基地局の設置状況によって、通話やデータ通信が不安定になる場合がある。	故障ではありません。しばらくしてからかけ直してください。
Drive T@lker	**音声認識を利用できない**	スマートフォンが本機と**Bluetooth®**接続されていない。	スマートフォンを本機に登録し、“電話1”または“電話2”に割り当て設定してください。 ➔ 割り当て設定をする（P.52）
		本機の携帯電話登録一覧画面で割り当て設定が間違っている。	“電話1”または“電話2”に割り当て設定したスマートフォンを“スマホ連携”に設定してください。 ➔ 割り当て設定をする（P.52）
		スマートフォンにDrive T@lkerアプリがダウンロードされていない。	スマートフォンへDrive T@lkerアプリをダウンロードしてください。
		スマートフォンでDrive T@lkerアプリを起動していない。	スマートフォン側のDrive T@lkerアプリを起動してから、メニュー を長押ししてください。
		スマートフォンのWi-Fi機能を利用している。	スマートフォンのWi-FiをOFFにし、携帯電話回線に切り替えてください。
		スマートフォンの省電力機能をONにしている。	スマートフォンの省電力機能はOFFにしてください。

	症　　状	考えられる原因	処置
Drive T@lker	**音声認識を利用できない**	スマートフォンで「Drive T@lker」以外のアプリを起動している。	「Drive T@lker」以外のアプリは終了してください。
		スマートフォンにDrive T@lker画面と違う画面が表示されている。	スマートフォンにDrive T@lker画面が表示されているか確認してください。
		スマホ連携アプリ選択 で NaviCon を選んでいる。	スマホ連携アプリ選択 で Drive T@lker を選んでください。 ➔ スマホ連携アプリ選択をする（P.53）
	サーバーへの接続が失敗する	スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できない場合がある。	● 場所を移動して、電波状況の良好な場所でお使いください。 ● しばらくしてから「音声認識」を起動してください。
	誤認識が多い	周りで雑音が多い。はっきりと発声していない。	車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。
		効果音が鳴る前に発声した。	効果音が鳴ってから、続けて発声してください。
	音声認識に失敗する	● 声が小さい。 ● はっきりと発声していない。	適正な音量ではっきり発声してください。
	音声が出力されない	本機またはスマートフォンの音量が小さい。	本機またはスマートフォンの音量を確認してください。

AV関係

	症　状	考えられる原因	処置
CD	**CDソースに切り替わらない**	ディスクが挿入されていない。	ディスクを挿入してください。 ➔ ディスクを挿入する（P.242）
	● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まったりする ● 音が飛んだり音質が悪かったりする	ディスクに問題がある。	他のCD、MP3／WMAを聴いてみてください。問題なければ、CD、MP3／WMAのディスク自体に問題のある可能性があります。
		ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニングをしてみてください。また、キズの付いているディスクは使用しないでください。
		ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。
		CD-R／RWの特性は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右される。	一番遅い速度での書き込みをお試しください。
		結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使用してください。
	ディスクを挿入できない	すでにディスクが挿入されていて2枚目を挿入しようとしている。	挿入されているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。
	CD-RやCD-RWを再生できない	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。（ファイナライズの方法は、ご使用のソフトウェアの取扱説明書をお読みください。）
	ディスクを取り出したときディスクが熱い	● 本体を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスク自体が熱くなることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はありません。気をつけて取り出してください。
	MP3／WMAファイルが再生できない	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在している場合、MP3／WMAファイルは再生できません。

	症　　状	考えられる原因	処置
CD	**MP3／WMAファイルが再生できない**	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	正しい拡張子が付いたファイルを記録したディスクに交換してください。
		ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
		対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録してください。 ➲ 音楽ファイルについて（P.540）
	MP3／WMAファイルの再生が始まるまでに時間がかかるまたは止まる	ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。
	再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする	ファイルの形式と拡張子が合っていない。	ファイルの形式と拡張子が合っていないファイルは再生しないでください。
	聴きたいMP3／WMAファイルが見つからない	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	正しい拡張子が付いたファイルを記録したディスクに交換してください。
	フォルダ名やファイル名が正しく表示されない	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	MP3／WMAファイルの再生順序が記録した順と異なる	ディスク書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並べ替える可能性がある。	ライティングソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。
	CDのタイトル情報が異なって表示される	Gracenoteデータベースはすべてのタイトル情報の取得、正確性を保証するものではない。	オンライン検索またはカスタムアップデート（個別更新）をしてタイトル情報を更新してください。 ➲ オンライン検索をする（市販の音楽CDのみ）（P.279） ➲ 更新方法の種類（P.296）
	ジャケット写真が表示できない	CD再生ではジャケット写真は表示できません。	

	症　状	考えられる原因	処置
CD	**オンライン検索ができない（通信アダプタを利用する場合）**	通信アダプタが圏外になっている。	通信アダプタが受信できる場所に移動してください。
		通信アダプタの設定を しない にしている。	通信アダプタの設定を する にしてください。 ➔ 通信アダプタを設定する（P.413）
	オンライン検索ができない（通信アダプタを利用しない場合） ※通信アダプタ使用の場合は、通信アダプタを利用してオンライン検索を行ってください。	**Bluetooth®** 対応の携帯電話を登録していない。	オンライン検索を行うには、**Bluetooth®** 対応の携帯電話を登録し、“電話 1” に割り当て設定してください。 ➔ **Bluetooth®** 対応機器の **Bluetooth®** 接続をする（P.48）
		Bluetooth® で携帯電話と通信できない状態になっている。	● 携帯電話の電源を入れ直す、または本機の電源を入れ直してください。 ● **Bluetooth®** Audio、ハンズフリーフォンなど携帯電話操作を終了し、待受画面にしてください。
		Bluetooth® 対応の携帯電話を使用していない。	**Bluetooth®** 対応の携帯電話を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうか日産販売会社にご確認ください。
		携帯電話が電話 1 で **Bluetooth®** 接続されていない。	携帯電話を正しく **Bluetooth®** 接続してください。 ➔ **Bluetooth®** 対応機器の **Bluetooth®** 接続をする（P.48）
		携帯電話が **Bluetooth®** の DUN プロファイルに対応していない。	DUN プロファイルに対応した携帯電話を使用してください。
		NTT ドコモの携帯端末でご使用の場合、mopera U サービスを契約していない。	NTT ドコモの携帯端末を使用してオンライン検索を行うには mopera U サービスの契約が必要となります。mopera U についての詳細は、NTT ドコモにお問い合わせください。 ※ NissanConnect サービスは mopera U なしでも通信できます。

	症　　状	考えられる原因	処置
MUSIC STOCKER	**音楽CDを再生しても、自動で録音されない**	録音設定が 手動録音 に設定されている。	録音設定を 自動録音 に設定してください。 ➲ 録音設定をする（P.286）
		MP3／WMAファイルを再生している。	MP3／WMAは録音できません。
	録音できない	録音済みのディスクである。	1曲でも録音済みのディスクは自動で録音しません。手動で録音してください。 ➲ 手動で録音する（P.284）
		録音中に車両のキースイッチ（電源ポジション）を切り替えてエンジンを始動した。	別のSDカードに交換して使用してください。（録音中のエンジン始動の影響などでSDカードが壊れている可能性があります。）
		SDカードの容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済みの曲を消去すると新たに録音できます。 ➲ 録音した曲を消去する（P.293）
		SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	「LOCK」を解除してください。
		本機でSDカードに録音した曲ファイルのフォルダ名やファイル名などをパソコンなどで変更した。	別のSDカードに交換して使用してください。
	録音したはずの曲（アルバム）が再生されない、または止まる	再生選択画面で再生しない設定にしている。（✔印を消している）	✔印を付けてください。 ➲ 再生しないアルバム／トラックを選ぶ（P.305）
		再生管理データが読み取れていない。	別のSDカードに交換して使用してください。（録音中のエンジン始動の影響などでSDカードが壊れている可能性があります。）

	症　状	考えられる原因	処置
MUSIC STOCKER	**録音したはずの曲が再生されない または止まる**	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。
		SDソースを選んでいる。	本機で録音した曲を再生する際は、MUSIC STOCKERソースを選んでください。
	現在地 を押しても現在地が表示されない	Gracenoteデータベース更新中または録音データ初期化中は表示されません。	更新後または初期化後に 現在地 を押してください。
	オンライン検索ができない（通信アダプタを利用する場合）	通信アダプタが圏外になっている。	通信アダプタが受信できる場所に移動してください。
		通信アダプタの設定を しない にしている。	通信アダプタの設定を する にしてください。 ➔ 通信アダプタを設定する（P.413）
	オンライン検索ができない（通信アダプタを利用しない場合） ※通信アダプタ使用の場合は、通信アダプタを利用してオンライン検索を行ってください。	**Bluetooth®** 対応の携帯電話を登録していない。	オンライン検索を行うには、**Bluetooth®** 対応の携帯電話を登録し、“電話1”に割り当て設定をしてください。 ➔ **Bluetooth®** 対応機器の **Bluetooth®** 接続をする（P.48）
		Bluetooth® で携帯電話と通信できない状態になっている。	● 携帯電話の電源を入れ直す、または本機の電源を入れ直してください。 ● **Bluetooth®** Audio、ハンズフリーフォンなど携帯電話操作を終了し、待受画面にしてください。
		Bluetooth® 対応の携帯電話を使用していない。	**Bluetooth®** 対応の携帯電話を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうか日産販売会社にご確認ください。
		携帯電話が電話1で **Bluetooth®** 接続されていない。	携帯電話は正しく割り当て設定してください。 ➔ 割り当て設定をする（P.52）

	症　　状	考えられる原因	処置
MUSIC STOCKER	**オンライン検索ができない（通信アダプタを利用しない場合）** ※通信アダプタ使用の場合は、通信アダプタを利用してオンライン検索を行ってください。	携帯電話が**Bluetooth®**のDUNプロファイルに対応していない。	DUNプロファイルに対応した携帯電話を使用してください。
		NTTドコモの携帯端末でご使用の場合、mopera Uサービスを契約していない。	NTTドコモの携帯端末を使用してオンライン検索を行うにはmopera Uサービスの契約が必要となります。mopera Uについての詳細は、NTTドコモにお問い合わせください。 ※NissanConnect サービスはmopera Uなしでも通信できます。
	ジャケット写真を登録できない	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。 ➔ 画像ファイルについて（P.544）
	ジャケット写真が小さく表示される	登録に使用する画像の解像度が小さい。	176×176ピクセル以上、1 024×1 024ピクセル以下の画像サイズをおすすめします。
	録音中に再生している音が飛ぶ	同梱のSDカードを使用していない。	同梱のSDカードを使用してください。

	症　状	考えられる原因	処置
SD／WALKMAN®／USB	**SD、WALKMAN®／USBがタッチできない**	SDカード未挿入またはWALKMAN®／USBメモリー未接続である。	SDカードを挿入またはWALKMAN®／USBメモリーを接続してください。 ➔SDカードを挿入する／取り出す（P.228） ➔WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する（P.226）
	アルバム／アーティスト／ジャンルの選曲ができない	MP3／WMA／AACファイルにタグ情報が入っていない。	パソコンでMP3／WMA／AACファイルのタグ情報を編集してください。
	選曲時に空のリストが表示される	タグ情報が正しく入っていない。タグ情報にスペースなどの文字が入っている。	パソコンでMP3／WMA／AACファイルのタグ情報を編集してください。
	MP3／WMA／AACファイルを再生できない	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。 ➔音楽ファイルについて（P.540）
		音楽ファイル を選んでいない。	モード切替 で 音楽ファイル に切り替えてください。 ➔SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの音楽を聴く（P.229）
		AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データが混在しているSDカードまたはWALKMAN®／USBメモリーを再生しようとした。	AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合、AACファイルは再生できません。
		● 著作権保護された音楽データで記録されている。 ● SD-Audioで録音された音楽を再生しようとした。	著作権保護された音楽ファイル（SD-Audio規格など）は再生できません。対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルを再生してください。
	再生が始まるまでに時間がかかる	SDカードまたはWALKMAN®／USBメモリーに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC以外のデータや不要なフォルダは書き込まないようにしてください。
		動画ファイルのサイズが大きすぎる。	ファイルサイズが大きいと、再生までに時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。

	症　状	考えられる原因	処置
SD／WALKMAN®／USB	**再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする**	ファイルの形式と拡張子が合っていない。	ファイルの形式と拡張子が合っていないファイルは再生しないでください。
	WALKMAN®に転送したファイルを再生できない	転送したファイルの形式が本機に対応していない。	本機で対応している形式のファイルを転送してください。 ➲音楽ファイルについて（P.540）
		x-アプリを使用して転送している。	ドラッグ＆ドロップ転送、またはMusic Center for PCを使用して転送してください。
		著作権保護されたファイルを転送している。	著作権保護されたファイルは再生できません。
	WALKMAN®／USBメモリーを認識していない	WALKMAN®／USBメモリーが本機に対応していない。	本機に対応しているWALKMAN®／USBメモリーか確認してください。 ➲WALKMAN®／USBメモリーについて（P.531）
		USB接続ケーブルに正しく接続されていない。	正しく接続してください。 ➲WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する（P.226）
	動画ファイルを再生できない	動画ファイル を選んでいない。	モード切替 で 動画ファイル に切り替えてください。 ➲SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの動画を見る（P.239）
		対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMPEG4／H.264ファイルにしてください。 ➲動画ファイルについて（P.545）
	動画ファイルを再生中に映像が止まったり、モザイクがでたり、次のファイルに移ったりする	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMPEG4／H.264ファイルにしてください。 ➲動画ファイルについて（P.545）
	JPEGファイルを再生できない	対応していないファイル形式で記録されている。	対応したファイル形式で記録されたJPEGファイルにしてください。 ➲画像ファイルについて（P.544）

	症　状	考えられる原因	処置
SD／WALKMAN®／USB	**JPEGファイルを再生できない**	画像ファイル を選んでいない。	モード切替 で 画像ファイル に切り替えてください。 ➔SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの画像を見る（P.235）
	画像リストで選んだものと異なった画像が表示される	ファイルに登録されているサムネイル画像が実際の画像と異なっている。	画像編集ソフトによっては実際の画像と異なったサムネイル画像が登録される場合があります。
	再生できない	SDカードを本機で初期化（フォーマット）していない。	SDカードを本機で初期化（フォーマット）してからファイルを入れてください。 ➔データを初期化（消去）する（P.452）
		本機で再生できないSDカードまたはWALKMAN®／USBメモリーを使用している。	● 再生可能なSDカードまたはWALKMAN®／USBメモリーを使用してください。 ➔SDカードについて（P.527） ➔WALKMAN®／USBメモリーについて（P.531） ● 対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。 ➔音楽ファイルについて（P.540）
		結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。
		Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンがUSB接続ケーブルに接続されている。＊1	Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンを外してください。
		“Android Autoの利用”が する に設定されている状態で、WALKMAN®を再生しようとした。＊1	WALKMAN®を再生する場合は、いったんWALKMAN®を取り外し、“Android Autoの利用”を しない に設定した後、再度接続してください。 ➔WALKMAN®／USBメモリーを本機に接続する（P.226）
	SDカードを初期化できない	SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	「LOCK」を解除してください。

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

	症　　状	考えられる原因	処置
SD／WALKMAN®／USB	**ジャケット写真が表示できない**	MP3／WMA／AACファイルにジャケット写真が登録されていない。	● iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。 ● アプリケーションが自動で取得したジャケット写真（アートワーク）は音楽ファイルに自動で付加されない場合があります。そのような場合は、手動でジャケット写真を登録してください。
		登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	JPEGファイルを使用してください。
		登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	ジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。
		1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。
	ジャケット写真が小さく表示される	登録に使用する画像の解像度が小さい。	176×176ピクセル以上、1 024×1 024ピクセル以下の画像サイズをおすすめします。
	MP3／WMA／AAC再生時にエラーメッセージが表示される	MacでSDカード／USBメモリーで再生している。	使用するSDカード／USBメモリーから隠しファイルを削除してください。（Macでファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。）
	音楽ファイル再生中に音飛びが発生する	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	1 024×1 024ピクセル以下の画像サイズのジャケット写真を登録してください。

故障かな？と思ったら

	症　状	考えられる原因	処置
SD／WALKMAN®／USB	**ファイル再生が記録した順と異なる**	SDカードまたはWALKMAN®／USBメモリー書き込み時（コピー時）にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並べ替える可能性がある。	書き込む際、パソコン上で期待する順に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む（コピーする）ことで並び順を正しく表示できる場合があります。
	動画ファイル再生中に縞状のノイズ（コーミングノイズ）が発生する	もとがインターレースの映像を使用し、動画ファイルを作成した。	動画ファイル作成時に、動画作成ソフトでフィルタなど（デインターレース）をかけてノイズを除去してください。
	動画ファイル再生中に音飛び、コマ落ち、スキップが発生する	対応していないファイル形式の動画ファイルを再生している。	対応しているファイル形式で動画ファイルを作成してください。 ➔ 動画ファイルについて（P.545）
		ビットレートが高すぎる。	動画ファイル作成時に、ビットレートを低く設定することで、音飛びやコマ落ち、スキップを抑えられる場合があります。 ➔ 動画ファイルについて（P.545）
iPod	**正常に動作しない**	正しく接続していない。	本機とiPodの接続を確認してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。（リセットの方法はApple社にお問い合わせください。） ➔ iPodを接続する（P.211）
		iPodのソフトウェアバージョンが古い。	本機で対応しているバージョンにしてください。 ➔ 本機で接続確認済みのiPod（P.530）
		突然、iPodと通信ができなくなった。	iPodを再起動してください。
		Apple CarPlayを起動している。＊1	Apple CarPlayを終了し、“iPhone接続時の利用機能”を iPod に設定したあと、iPhoneを接続し直してください。 ➔ iPodを接続する（P.211）

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

	症　　状	考えられる原因	処置
FM／AM	**ラジオの自動選局ができない**	強い電波の放送局が無い。	手動で選局してください。 ➔ 選局する（P.208）
	● **ラジオが受信できない** ● **ラジオの入りが悪い**	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品の動作を止めてください。電装品が動くとノイズが入る場合があります。
		本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので、なるべく本機から離してご使用ください。また、使用しない場合は携帯電話や無線機の電源を切ってください。
		周波数再編が実施された。	新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。 ➔ ユーザープリセットリストに放送局を登録する（P.209）
Bluetooth® Audio	**Bluetooth® 対応オーディオ機器を登録できない**	Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンがUSB接続ケーブルに接続されている。＊1	Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンを外してください。
	Bluetooth® Audioが使用できない		
	Bluetooth® 対応オーディオ機器を接続できない	本機との接続情報が消えている。	一度登録を消去し、登録・割り当てをし直してください。 ➔ **Bluetooth®** 対応機器の **Bluetooth®** 接続をする（P.48）
		● **Bluetooth®** 対応オーディオ機器の設定が、**Bluetooth®** 接続待ちの状態になっていない。 ● 本機から接続を受け付けない。 ● 特定の状態（例：携帯電話での音楽プレイヤーの起動中）でしか接続できない。	**Bluetooth®** 対応オーディオ機器の取扱説明書をご確認ください。
		“**Bluetooth**” が しない（OFF）になっている。	する（ON）にしてください。 ➔ 本機の **Bluetooth®** 機能をON／OFFする（P.57）

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

	症　状	考えられる原因	処置
Bluetooth® Audio	**Bluetooth®対応オーディオ機器を接続できない**	Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンがUSB接続ケーブルに接続されている。＊1	Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンを外してください。
	音楽が流れない	**Bluetooth®** Audioの音声転送プロファイルである、A2DPが接続されていない。	● **Bluetooth®**対応オーディオ機器がA2DPに対応しているかを確認してください。対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を消去し、登録・割り当てをし直してください。 ➲**Bluetooth®**対応機器の**Bluetooth®**接続をする（P.48） ● **Bluetooth®**対応オーディオ機器によっては、A2DPに対応していても音楽が流れない場合があります。
	Bluetooth®対応オーディオ機器の操作を本機からできない	**Bluetooth®**のリモコン操作プロファイルである、AVRCPが接続されていない。	● **Bluetooth®**対応オーディオ機器がAVRCPに対応しているかを確認してください。対応しているにもかかわらず操作ができない場合は、一度登録を消去し、登録・割り当てをし直してください。 ➲**Bluetooth®**対応機器の**Bluetooth®**接続をする（P.48） ● **Bluetooth®**対応オーディオ機器によっては、AVRCPに対応していても操作ができない場合があります。
	● **音が飛ぶ** ● **操作がおくれる** ● **再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる**	**Bluetooth®**対応オーディオ機器が本機から離れすぎている。	**Bluetooth®**対応オーディオ機器を本機に近づけてください。
		ハンズフリーフォン、データ通信などを行っている。	故障ではありません。通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。
	リストが操作できない	接続機器がリスト表示機能に対応していない。	AVRCP1.4 に対応した機器を使用してください。 ※**Bluetooth®**対応オーディオ機器によってはAVRCP1.4に対応していても、リスト表示ができない場合があります。
	ジャケット写真が表示できない	**Bluetooth®** Audioではジャケット写真は表示できません。	

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

	症　　状	考えられる原因	処置
TV	**文字スーパーが出ない**	● 文字スーパーのある番組を選局していない。 ● 文字スーパー表示設定で 表示しない にしている。 ● 受信モードがワンセグである。	文字スーパー表示設定で言語を選んでください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。 ➲ 信号切り替えを行う（P.199）
	字幕が出ない	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。
		字幕表示の設定がされていない。	字幕表示を設定してください。 ➲ 信号切り替えを行う（P.199）
	受信できない	長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。	ユーザープリセットのスキャンを行ってください。 ➲ ユーザープリセットのチャンネル設定をする（P.204）
	映像が止まったりモザイクがかかったりする	電波が弱い場所で受信している。	12セグ／ワンセグを自動で切り替える設定にしておくと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。 ➲ TVメニューの見かた（P.190） ※自動で切り替える設定にしても、放送局によってワンセグ放送を行っていない場合があるため、映像が映らない場合があります。
	データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる	データ取得中である。	多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。
	本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している	● 初期化を行った ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した ● スキャンを行った などにより本機に設定した内容が消失する場合がある。	消失したデータについては補償できません。

	症　状	考えられる原因	処置
Blu-ray Disc＊1／DVD	**字幕が出ない**	再生しているディスクに字幕が収録されていない。	字幕が収録されているか確認してください。
		字幕設定がオフになっている。	字幕設定を変えてください。 ➔ 再生言語の設定（P.266）
	音声が出ない	静止画、スロー戻し／スロー送り中は音声が出ません。	通常再生にしてください。
	再生できない	ディスクが挿入されていない、または、裏向きに挿入されている。	記録面を下にして、正しく挿入してください。 ➔ ディスクを挿入する（P.242）
		ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズの付いているディスクは使用しないでください。
		ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれていないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。
		結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使用してください。
		本機で再生できないディスクを挿入している。	本機で再生できるディスクを挿入してください。 ➔ ディスクについて（P.521）
		本機で再生できないリージョン番号のDVDを挿入している。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」（2を含むもの）または「ALL」のディスクを再生してください。
		視聴制限の機能が働いて、本機がディスクの再生を禁止している。	視聴制限の設定を確認してください。 ➔ 視聴制限の設定（P.271）
	“⃠”（禁止マーク）を表示するだけで、操作ができない	● 再生しているディスクがその操作を禁止している。 ● ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作を使用することはできません。再生しているディスクを確認してください。（ディスクに付属されている取扱説明書もあわせてご覧ください。）

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

	症　　状	考えられる原因	処置
Blu-ray Disc＊1／DVD	**メニュー画面をタッチしても動作しない**	ディスクによってはメニューのボタンのタッチでは動作しない場合があります。	カーソル操作ボタンで操作してください。 ➔ 操作画面の見かた（P.246） ➔ 操作画面の見かた（P.258）
	音声や映像が乱れる	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。また、キズの付いているディスクは使用しないでください。
		振動の生じる所で使用している。	本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れたりすることがあります。振動が止まると通常の動作に戻ります。
	音声言語／字幕言語が切り替わらない	再生しているディスクに1つの言語しか収録されていない。	複数の言語が収録されていないディスクは、言語を切り替えることはできません。
		再生しているディスクが、言語の切り替えを禁止している。	言語を切り替えることはできません。
	言語設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない	再生しているディスクに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されている言語で再生してください。
	字幕が消せない	再生しているディスクが、字幕を消すことを禁止している。	字幕を消すことはできません。
	アングルを切り替えることができない	再生しているディスクが、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。
		再生しているディスクが、アングルの切り替えを禁止している。	アングルを切り替えることはできません。

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

	症　　状	考えられる原因	処置
Blu-ray Disc＊1／DVD	**タイトルを選んで決定しても、再生が始まらない**	視聴制限の機能が働いて、本機がディスクの再生を禁止している。	視聴制限の設定を確認してください。 ➔ 視聴制限の設定（P.271）
	視聴制限をしているのに、再生が制限されない	再生しているディスクには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。
	メニューが外国語で表示される	メニュー言語が外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	メニュー言語を確認してください。 ➔ 再生言語の設定（P.266）
	VRディスクを再生できない（DVDのみ）	ファイナライズしていない。	ディスクをファイナライズしてください。 （ファイナライズ方法については、DVDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

■ その他

	症　　状	考えられる原因	処置
ハンズフリーフォン	**ビルの谷間などで音声が乱れる**	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられたりしている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。
	鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。	妨害電波を受けない場所に移動してください。
	AVの音声にブーンというノイズが入る	携帯電話からの電波が混入した。	妨害電波を受けない場所に移動してください。
	発信できない	電波が届きにくい場所にいる。	携帯電話の電波状況がよい場所に移動してください。
		“通話中の着信拒否”を［する］に設定し、もう一方の端末が通話中である。	● “通話中の着信拒否”を［しない］に設定してください。 ➔ ハンズフリーフォンの通話設定をする（P.365） ● もう一方の端末の通話が終わってから発信してください。

＊1…［MM518D-L］［MM518D-W］のみ

	症　状	考えられる原因	処置
ハンズフリーフォン	**着信音／相手の声が聞こえない**	音量が最小になっている。	着信音量、受話音量を調整してください。 ➔ ハンズフリーフォンの通話設定をする（P.365）
		携帯電話が本機より離れすぎている。	● 携帯電話を本機に近づけてください。 ● 携帯電話の電波状態を確認してください。
	通話後、AVの音声が聞こえない	音を消している。（ ☼ （オプションスイッチ）を 消音 に設定している場合）	☼ を押して消音を解除してください。
		ハンズフリーフォンで通話しているときに**Bluetooth®** Audioの再生が止まる場合がある。	通話終了後、**Bluetooth®** Audioを再度、再生してください。
	着信時に応答できない	携帯電話側が応答保留に対応していない。	携帯電話側が応答保留に対応している必要があります。
		“通話中の着信拒否”を する に設定し、もう一方の端末が通話中である。	“通話中の着信拒否”を しない に設定してください。 ➔ ハンズフリーフォンの通話設定をする（P.365）
	携帯電話を登録できない	Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンがUSB接続ケーブルに接続されている。＊1	Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンを外してください。
	ハンズフリーフォンが使用できない		
	携帯電話と接続できない	**Bluetooth®** で携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れ直す、または本機の電源を入れ直してください。
		Bluetooth® 対応の携帯電話を使用していない。	**Bluetooth®** 対応の携帯電話を使用してください。
		Bluetooth® 対応オーディオ機器を接続している。	登録している**Bluetooth®** 対応オーディオ機器を消去してください。（機器によっては、通信量が増加するため他の**Bluetooth®** 機能を制限してしまう場合があります。）
		他の**Bluetooth®** 機能が動作中になっている。	他の**Bluetooth®** 機器の動作が終わってから接続をしてください。

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

故障かな？と思ったら

	症　状	考えられる原因	処置
ハンズフリーフォン	**携帯電話と接続できない**	“通話中の着信拒否”を［する］に設定し、もう一方の端末が通話中である。	●“通話中の着信拒否”を［しない］に設定してください。 ➔ ハンズフリーフォンの通話設定をする（P.365） ●もう一方の端末の通話が終わってから発信してください。
		携帯電話によっては、“スマホ連携”に割り当て設定していると**Bluetooth®**接続できない場合がある。	“スマホ連携”の割り当て設定を解除してください。 ➔ 割り当て設定をする（P.52）
		“**Bluetooth**”が［しない］（OFF）になっている。	［する］（ON）にしてください。 ➔ 本機の**Bluetooth®**機能をON／OFFする（P.57）
HDMI＊1	**音声が出ない**	HDMI接続した外部機器が本機以外の機器と**Bluetooth®**接続をしている。	本機以外との**Bluetooth®**接続を解除してください。
	映像が出ない	スマートフォンをHDMI接続するために利用しているHDMI変換アダプタが正しく動作していない。	スマートフォンからHDMI変換アダプタを一旦取り外し、再度接続してください。
バックビューモニター	**映像が出ない**	シフトレバーがリバースの位置になっていない。	シフトレバーがリバースの位置になっているか確認してください。
	映像の映りが悪い	カメラのレンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布等で軽く拭いてください。
		太陽光や後続車のヘッドライトの光が直接カメラレンズ面にあたっている。	レンズ面にあたっている光が消えれば元に戻ります。
	映像が暗い	画面の明るさ等が正しく調整されていない。	画面の明るさ等の調整を行ってください。 ➔ 画質を調整する（P.439）
	目安線が表示されない	目安線が非表示になっている。	目安線を表示してください。 ➔ 目安線の表示／非表示を切り替える（P.322）

＊1…［MM518D-L］［MM518D-W］のみ

	症　　状	考えられる原因	処置
インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）	**映像が表示されない**	車の速度が表示条件を満たしていない。	減速してください。 ※表示条件は車両取扱説明書をご覧ください。
		● 接続に異常がある。 ● 本機または接続した機器のヒューズが切れている。	日産販売会社にご相談ください。
	映像の映りが悪い	レンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
	画面上に×や！マークが表示される	エラーが発生している。	日産販売会社にご相談ください。
ドライブレコーダー＊1	**映像が表示されない**	ドライブレコーダーが起動していない。	ドライブレコーダーの取扱説明書に従って起動してください。
	ドライブレコーダーの設定ができない	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー以外のドライブレコーダーを接続している。	本機でドライブレコーダーの設定ができるのは、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合のみです。

＊1…日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーに関しては、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

	症　状	考えられる原因	処置
Apple CarPlay＊1	**Apple CarPlayとの接続ができない**	iPhone側でApple CarPlayが異常終了した。	iPhoneをUSB接続ケーブルから取り外し、iPhoneの電源を入れ直してから、再度接続してください。
Android Auto＊1	**Android Autoとの接続ができない**	● スマートフォン側でAndroid Autoアプリが異常終了した。 ● 使用中にスマートフォンの電源を切った。	スマートフォンをUSB接続ケーブルから取り外し、スマートフォンの電源を入れ直してから、再度接続してください。
		Androidスマートフォンの USB接続モードが、USBメモリーとして認識されるモード（例：「外部メモリ」など）に設定されていない。	Androidスマートフォンを操作して、USB接続モードの設定を確認してください。 ※名称や設定のしかたは機器によって異なりますので、Androidスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。もしくは、スマートフォンメーカーにお問い合わせください。
	Android Autoで電話中に相手の音声が聞こえない、相手に声が伝わらない	**Bluetooth®** 接続ができていない。	**Bluetooth®** 接続を確認してください。 ➔ **Bluetooth®** 対応機器の **Bluetooth®** 接続をする（P.48）
	音声が出ない	Android Autoの音声認識機能が正常に終了していない。	スマートフォンをUSB接続ケーブルから取り外し、スマートフォンの電源を入れ直してから、再度接続してください。

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

	症　　状	考えられる原因	処置
Android Auto＊1	**「接続した携帯端末をハンズフリー登録できませんでした。Android Autoの電話機能はご利用になれません。」と表示される**	**Bluetooth®** 接続が失敗している。	以下を行ってください。 ①スマートフォンをUSB接続ケーブルから取り外します。 ②接続していたスマートフォンの携帯電話の登録を消去します。 ➲ 登録した**Bluetooth®**対応機器の登録を消去する（P.53） ③接続していたスマートフォンの**Bluetooth®** Audioの登録を消去します。 ④再度接続します。
後席専用モニター	**映像が出ない**	TVやDVDなどのAVソースを選んでいない。	地図画面、ラジオ（FM／AM）、CDなどは後席専用モニター側では黒画面が表示されます。映像表示が可能なAVソースを選んでください。 ➲ 後席専用モニターに表示できる映像について（P.539）
		ディスクを読み込んでいる。	ディスクを読み込んでいる間は、黒画面が表示されます。故障ではありませんので映像が表示されるまでしばらくお待ちください。
		AVソースを切り替えた。	AVソースを切り替えた直後は、数秒間黒画面が表示される場合があります。故障ではありませんので映像が表示されるまでしばらくお待ちください。

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
し	**受信局が変化しました。情報を受信中です。（FM多重）**	FM多重のVICS情報（文字表示／簡易図形表示）表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にいる、または放送エリア内にいるが電波状況が悪いため、受信できない可能性があります。放送エリア内、または電波の良い所へ移動してください。
	受信できません。（0020）	地上デジタル放送／ワンセグ放送の受信レベルが低い。	受信できる場所に移動してください。
	受信できません。（E202）	地上デジタル放送／ワンセグ放送の電波を受信できていない。	受信できる場所に移動してください。
	受信できません。（E203）	地上デジタル放送／ワンセグ放送の受信レベルが非常に低い。	受信できる場所に移動してください。
		放送休止のチャンネルを見ている。	視聴できるチャンネルを選んでください。
	使用できないSDカードが挿入されています	対応していないSDカードが挿入されている。	本機で使用できるSDカードで試してください。 ➔SDカードについて（P.527）
		SDカードを正しくフォーマットしていない。	本機でSDカードの初期化を行ってください。 ➔データを初期化（消去）する（P.452）
		本機がSDカードを正しく認識できない。	SDカードを本機から一度取り出し、再度挿入してください。
	情報の受信中です。（FM多重）	表示しようとしている情報が受信できていない。（受信感度は良い）	受信できるまでしばらくお待ちください。
	情報を受信していません。（FM多重）	受信エリア外にいる。	受信エリア外では、受信できません。受信エリア内に移動してください。
		受信エリア内にいるが、電波状況が悪く、受信できない。	場所を移動してみてください。

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
し	**情報を受信していません。（FM多重）**	放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。	サーチが完了して周波数が表示された後、文字情報 ／ 図形情報 をタッチしてください。
		VICS放送局でない放送局（周波数）を受信している。	すべてのFM多重放送局がVICS情報を放送しているわけではありません。VICS情報を放送している放送局を受信してください。 ➲FM多重放送の選局をする（VICS受信）（P.162）
せ	**接続できませんでした。設定を確認し、もう一度行ってください。**	オンライン検索に失敗した。	● **Bluetooth®** 対応の携帯電話を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうか日産販売会社にご確認ください。 ● オンライン検索中に **Bluetooth®** Audio再生、ハンズフリーフォンなどを行った場合、検索に失敗する場合があります。（マニュアル設定にして接続設定を変更している場合）
た	**対応していない機器が接続されています**	対応していないWALKMAN®／USBメモリーが接続されている。	本機に対応したWALKMAN®／USBメモリーで試してください。
て	**データが受信できません。〔E400〕**	データ放送のBMLドキュメントが取得できない。	視聴できるチャンネルを選んでください。
と	**登録できませんでした。**	他の **Bluetooth®** 対応機器からの登録が行われている。	携帯電話の登録を行う際には、誤登録を防ぐために周囲の他の **Bluetooth®** 対応機器の電源はお切りください。
	ドライブレコーダーと接続できません。（ID:D01）	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーと通信エラー、コネクター部の接触不良、ワイヤーの断線、コネクターの抜けが発生している。	本機、または日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの電源を入れなおしてください。日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの操作については日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。電源を入れ直しても改善されない場合はお買い上げの日産販売会社にご相談ください。

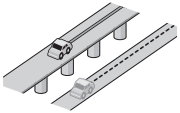
こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因	処置
は	**パソコンからSDカードに転送した曲を再生するにはSDソースを選択してください。**	パソコンからSDカードに転送した曲(音楽ファイル)をMUSIC STOCKERソースで再生しようとしている。	パソコンからSDカードに転送した曲を再生するにはSDソースを選んでください。
ほ	**本機で録音した曲を再生するにはMUSIC STOCKERソースを選択してください。**	本機で録音した曲をSDソースで再生しようとしている。	本機で録音した曲を再生するにはMUSIC STOCKERソースを選んでください。
る	**ルート探索ができません。**	極端に長い距離のルートを探索した。	目的地を近くに設定し直し、再度ルート探索してください。
ろ	**録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。**	SDカードに十分な空き容量が無い。	不要な音楽データを削除してください。
C	**CDを読み込めませんでした。CDの状態を確認し、もう一度録音してください。**	CDに汚れ、キズがある。	CDを確認してください。汚れなどを拭き取り、再度録音してください。
E	**ETCエラーコード：XX(XXには数字が入ります)**	原因と処置については別売のETCユニットの取扱説明書をご覧ください。	
S	**SDカード内の再生管理データが読み取れません。電源(キースイッチ)を入れ直すことで、復旧する場合があります。復旧しない場合は、SDカードを確認してください。**	オーディオファイル管理データが読み取りできない。	車両のキースイッチ(電源ポジション)をいったんOFFにし、30秒以上待ってから車両のキースイッチ(電源ポジション)をONにしてください。それでもメッセージが表示されるときは、SDカードの初期化をタッチし、SDカードを初期化してください。 ➔ データを初期化(消去)する(P.452)
	SDカードの書き込みができませんでした。SDカードを確認してください。	SDカードの書き込みで異常が発生した。	ご使用のSDカードに汚れや破損がないかを確認してください。

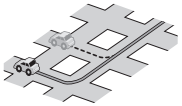
現在地測位について

- 本機はGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地を測位しています。
  また自律航法やマップマッチングを行って、測位誤差を補正しています。
- 本機は準天頂衛星「みちびき」も利用して、現在地を測位しています。
- 本機表示の現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

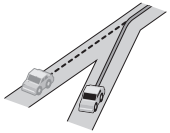
高速道路と一般道路が近くにある



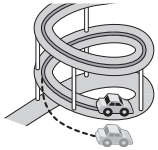
碁盤目状の道路を走行している



角度の小さなY字路を走行している



らせん状の道路などを走行している



– 地図画面に表示されない道路上の走行や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などを走行しているとき
– 本機の電源が切れている間にターンテーブルなどで旋回したとき、また立体駐車場から出てきたとき
– 旋回、切り返しを繰り返したとき
– S字の連続する道路を走行しているとき
– 直線や緩やかなカーブを長距離走行しているとき

知識

自律航法とは
本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出す方法

マップマッチングとは
現在地測位をして道路以外の場所を走行しているという結果が出た場合、測位に誤差が生じたと判断し、近くの道路に現在地補正すること

みちびきとは
内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。
※準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。

GPS電波受信と現在地測位

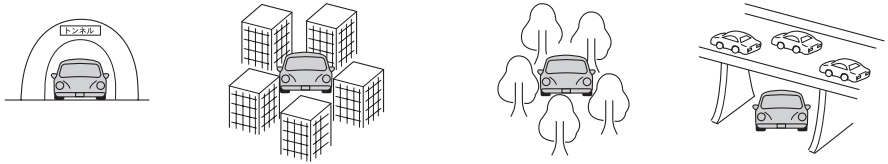
知識

- GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。
- 自律航法は実際の走行を重ねてデータを蓄積することで算出精度の向上を図っています。そのため、初めてお使いのときや、蓄積データを初期化(センサー学習結果の初期化)をした直後は十分に現在地測位ができない場合があります。
- 現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。また、衛星側の都合により、精度が落ちたり、電波を利用できなくなったりすることがあります。

GPS電波受信について

- 以下のような場所ではGPS電波がさえぎられやすいため受信しにくくなります。

トンネルの中　高層ビルに囲まれた所　樹木の密集した所　高速道路の下など



- 車内でご使用の電子機器(レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETCなど)からの電波により、また一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信しにくくなる場合があります。
- 通常は、本機を起動してから数分でGPS電波を受信します。ただし、初めてお使いのときや車のバッテリーなど交換後、また長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります(GPS衛星から送られる衛星の軌道データの受信周期により、データの取り込みに時間がかかるため)。走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

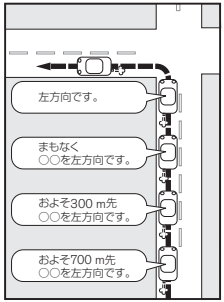
知識

- 測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替え、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習結果の初期化を行ってください。
  ➔ データを初期化(消去)する(P.452)
- エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

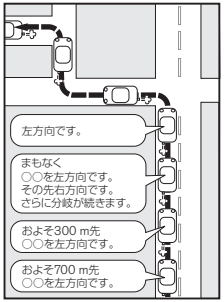
ルート案内中の音声案内例

交差点案内

一般的な左折

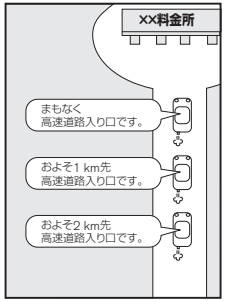


連続する右左折

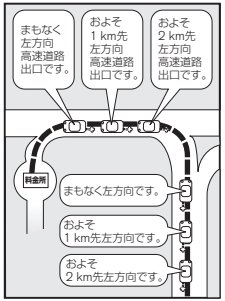


高速道路の出入口案内

高速道路入口付近



高速道路出口付近



知識

- 音声案内の音量を調整する場合は下記をご覧ください。
  ➔ 音声案内の音量調整をする（P.150）
- 音声案内を再度聞きたいときは 現在地 を押してください。
  ※タイミングによっては直前の音声案内ではなく次の分岐点の案内になる場合があります。

ルート案内のご注意

- 道路は日々変化しているため、地図ソフト作成時期により、交通規制やルートなどの案内が実際の道路と合致しない場合があります。
- 音声案内は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった案内内容になったり、音声案内しなかったりします。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくと“まもなく経由地1付近です。”と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します。”と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。音声案内終了後は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。

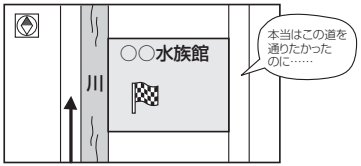
有料道路の料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 一部の有料道路で料金表示ができない場合があります。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2つ目の区間だけの料金が表示される場合があります。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行うと、料金表示はされず、「－－－円」と表示される場合があります。（ルートの出発地／目的地が高速（有料）道路上にあるときも、料金の表示は「－－－円」となります。）
- “○○IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「－－－円」または実際の料金と異なる場合があります。このような場合は、実際の料金に従ってお支払いください。

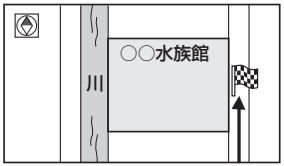
ルート探索について

- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上りと下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路が案内ルートの起点／中継点／終点になります。以下のようなケースに注意して目的地を設定してください。

  例)「名称で施設検索して探す」で“○○水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合
  （駐車場情報が無い場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合）

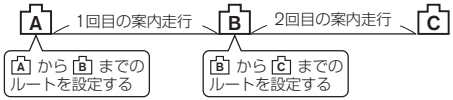


目的地マークに一番近い道路は川を挟んで左にあるため、この道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。



詳細地図で、水族館に面した道路上に目的地を設定してください。

- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。
  - 交通規制で目的地や経由地まで到達できないとき
  - 極度に迂回したルートしかないとき
  - 現在地と目的地が遠すぎるとき（この場合はルートを複数に分けて探索してください。）



出発地Aから目的地Cの探索ができなかったときは、途中のB地点で区切って探索してください。

  - その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

ルート探索について

- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートを別々に探索していますので、以下のようになることがあります。
  - どれか1区間でもルートが探索できなかったときは、ルート探索ができません。
  - 経由地付近でルートがつながらないことがあります。
  - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- ルート探索をする前に、本機が現在地と進行方向を正しく表示しているかどうかを確認してください。
- 自車マークの前または後からルートを表示したり、目的地の前または後にルートを表示したりすることがあります。
- ルート探索中に車両のキースイッチ(電源ポジション)をOFFにすると、ルート探索を中止します。このあとに車両のキースイッチ(電源ポジション)をACCまたはONにすると前回探索途中のルートは消去されています。

VICSに関する問い合わせ先について

- VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは日産販売会社へお問い合わせください。
- VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く)

VICSセンター

電話番号	0570-00-8831 ※PHS、IP電話等からはご利用できません。 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
電話受付時間	平日9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
FAX番号	(03)3562-1719
FAX受付時間	24時間
URL	https://www.vics.or.jp/

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契 約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK–FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]　視聴料金 300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重　要　!!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使　用　規　定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器1台に限り使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
   (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
   (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
   (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道

路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)

(3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

(1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。

(2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。

(3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。

(4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。

(5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

地図ソフトについて

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

⚠ 警告

指示

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

禁止

運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

⚠ 警告

禁止

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。（承認番号平29情使、第444-B66号）
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日）
- 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しています。（ 承認番号 平29情使、第26-001号 ）
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。（測量法第44条に基づく成果使用承認12-0040）
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 「市街地図」データは（株）ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2017年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2017年10月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

◆3D交差点……ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
◆ジャンクションビュー……ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
◆方面看板……ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。（全国の主要交差点を表示）
※3D交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。

- 細街路規制データは、おおむね2017年7月までに収集された情報に基づき製作されています。時間指定の一方通行規制は、推奨ルートの探索にあたっては、考慮されません。また、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。（予測データ提供元：NTTデータ　予測の元となる情報：JARTIC／VICSセンター）なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。

【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2017年11月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。
  また、お客様が電話番号や店舗名称等を用いて対象となる店舗の位置を検索した場合、該当する店舗の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会に帰属しています。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【登録商標について】

- “ゼンリン” および “ZENRIN” は(株)ゼンリンの登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。

VICSに関するお問い合わせ

VICS センター　お客様相談窓口

【電話番号】 0570-00-8831（PHS、IP電話等からはご利用できません）
【受付時間】 平日　9:30～17:45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）
【FAX番号】 03-3562-1719（24時間受付）
【URL】 https://www.vics.or.jp/

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2017年12月（高速・有料道路）／2017年10月（国道・都道府県道）
■交通規制※1　：2017年11月
■電話番号検索：2017年11月
■ジャンル検索：2017年10月
■市街地図　　：2017年7月
■住所検索　　：2017年11月
■郵便番号検索　：2017年11月
■高速・有料道路料金※2：2017年12月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETC レーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア（PA）、サービスエリア（SA）の施設情報は表示されない場合があります。

2018年7月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2017 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2017 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2018 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図ソフトについて

地図に関するお問い合わせ先
株式会社ゼンリン　カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-210-616
受付時間 9:30～17:30　月～土（祝日・弊社指定休日は除く）

※携帯・PHS からもご利用いただけます。
※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

市街地図の収録エリア

北海道	**＜ほぼ全域を収録＞** 札幌市、室蘭市、江別市、北広島市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 函館市、 小樽市、 旭川市、 釧路市、 帯広市、 北見市、 夕張市、 苫小牧市、 稚内市、 美唄市、 芦別市、 赤平市、 紋別市、 士別市、 名寄市、 三笠市、 根室市、 千歳市、 恵庭市、 石狩市、 当別町、 釧路町、 岩見沢市、 網走市、 留萌市、 滝川市、 砂川市、 歌志内市、 深川市、 富良野市、 登別市、 江差町、 斜里町、 伊達市、 白老町、 音更町、 北斗市、 池田町、 洞爺湖町、 新ひだか町、 清水町、 芽室町、 幕別町、 七飯町、 八雲町、 岩内町、 余市町、 奈井江町、 鷹栖町、 東神楽町、 美瑛町
青森県	**＜ほぼ全域を収録＞** 三沢市、田舎館村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町
岩手県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 盛岡市、 宮古市、 大船渡市、 花巻市、 北上市、 久慈市、 遠野市、 陸前高田市、 釜石市、 二戸市、 雫石市、 岩手町、 滝沢市、 一関市、 紫波町、 矢巾町、 大槌町、 山田町、 岩泉町、 八幡平市、 奥州市、 金ケ崎町、 平泉町
宮城県	**＜ほぼ全域を収録＞** 多賀城市、 仙台市、 塩竈市、 名取市、 岩沼市、 大河原町、 松島町、 七ヶ浜町、 利府町、 富谷市、 色麻町、 加美町、 美里町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 石巻市、 気仙沼市、 白石市、 角田市、 山元町、 登米市、 栗原市、 東松島市、 大崎市、 蔵王町、 村田町、 柴田町、 亘理町、 大和町、 大衡村、 涌谷町

秋田県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 秋田市、 能代市、 横手市、 大館市、 男鹿市、 湯沢市、 鹿角市、 五城目町、 井川町、 由利本荘市、 潟上市、 大仙市、 北秋田市、 にかほ市、仙北市、八郎潟町
山形県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 山形市、 米沢市、 鶴岡市、 酒田市、 新庄市、 寒河江市、 上山市、 村山市、 長井市、 天童市、 東根市、 尾花沢市、 南陽市、 山辺町、 中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町
福島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 福島市、鏡石町、西郷村、矢吹町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 会津若松市、 郡山市、 いわき市、 白河市、 須賀川市、 喜多方市、 相馬市、 二本松市、 桑折町、 国見町、 本宮市、 小野町、 田村市、 南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、 広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
茨城県	**＜ほぼ全域を収録＞** 水戸市、 土浦市、 取手市、 ひたちなか市、 五霞町、 境町、 守谷市、 利根町、 結城市、 龍ケ崎市、 下妻市、 牛久市、 つくば市、 鹿嶋市、 潮来市、 茨城町、 大洗町、 東海村、 鉾田市、 神栖市、 那珂市、 筑西市、坂東市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 日立市、古河市、石岡市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、 阿見町、 常陸大宮市、 稲敷市、 かすみがうら市、 桜川市、 行方市、 城里町、大子町、美浦村、八千代町
栃木県	**＜ほぼ全域を収録＞** 小山市、上三川町、壬生町、野木町、さくら市、下野市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 宇都宮市、 足利市、 栃木市、 佐野市、 鹿沼市、 日光市、 真岡市、 大田原市、矢板市、益子町、市貝町、芳賀町、那須町、那須塩原市、 那須烏山市、茂木町

市街地図の収録エリア

群馬県	**＜ほぼ全域を収録＞** 前橋市、 伊勢崎市、 太田市、 榛東村、 甘楽町、 玉村町、 板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、館林市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 高崎市、 桐生市、 吉岡町、 中之条町、 東吾妻町、 嬬恋村、 草津町、みなかみ町、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村
埼玉県	**＜ほぼ全域を収録＞** 川越市、 熊谷市、 川口市、 さいたま市、 所沢市、 飯能市、 加須市、本庄市、 春日部市、 狭山市、 深谷市、 上尾市、 草加市、 越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、 北本市、 八潮市、 富士見市、 三郷市、 蓮田市、 鶴ヶ島市、吉川市、 三芳町、 毛呂山町、 松伏町、 行田市、 秩父市、 東松山市、羽生市、 鴻巣市、 坂戸市、 幸手市、 日高市、 伊奈町、 越生町、滑川町、 嵐山町、 小川町、 川島町、 吉見町、 鳩山町、 横瀬町、皆野町、 長瀞町、 小鹿野町、 東秩父村、 美里町、 神川町、 上里町、寄居町、宮代町、白岡市、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町
千葉県	**＜ほぼ全域を収録＞** 千葉市、 市川市、 船橋市、 木更津市、 松戸市、 野田市、 茂原市、佐倉市、 旭市、 習志野市、 柏市、 勝浦市、 市原市、 流山市、八千代市、 我孫子市、 鎌ケ谷市、 浦安市、 四街道市、 袖ケ浦市、八街市、 印西市、 白井市、 銚子市、 館山市、 成田市、 東金市、鴨川市、 君津市、 富津市、 酒々井町、 富里市、 栄町、 神崎町、多古町、 東庄町、 大網白里市、 九十九里町、 山武市、 横芝光町、芝山町、 一宮町、 睦沢町、 長生村、 白子町、 南房総市、 匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市

東京都	**＜ほぼ全域を収録＞** 千代田区、 中央区、 港区、 新宿区、 文京区、 台東区、 墨田区、江東区、 品川区、 目黒区、 大田区、 世田谷区、 渋谷区、 中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、 調布市、 町田市、 小金井市、 小平市、 日野市、 東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、 武蔵村山市、 多摩市、 稲城市、 羽村市、 瑞穂町、日の出町、あきる野市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 檜原村、奥多摩町
神奈川県	**＜ほぼ全域を収録＞** 横浜市、 川崎市、 相模原市、 横須賀市、 平塚市、 鎌倉市、 藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、 南足柄市、 綾瀬市、 葉山町、 寒川町、 大磯町、 二宮町、中井町、 大井町、 開成町、 愛川町、 秦野市、 座間市、 松田町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 山北町
新潟県	**＜ほぼ全域を収録＞** 新潟市、燕市、聖籠町、見附市、田上町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、糸魚川市、 五泉市、 上越市、 阿賀野市、 佐渡市、 魚沼市、 村上市、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	**＜ほぼ全域を収録＞** 滑川市、砺波市、小矢部市、射水市、舟橋村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 富山市、 高岡市、 魚津市、 氷見市、 黒部市、 南砺市、 上市町、立山町、入善町、朝日町

市街地図の収録エリア

石川県	**＜ほぼ全域を収録＞** 内灘町、能美市、野々市市、川北町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 金沢市、 七尾市、 小松市、 輪島市、 珠洲市、 加賀市、 羽咋市、津幡町、 かほく市、 白山市、 志賀町、 宝達志水町、 中能登町、能登町
福井県	**＜ほぼ全域を収録＞** 鯖江市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 福井市、 坂井市、 大野市、 勝山市、 あわら市、 越前市、 永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	**＜ほぼ全域を収録＞** 富士吉田市、 都留市、 大月市、 南アルプス市、 昭和町、 中央市、西桂町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 甲府市、山梨市、韮崎市、北杜市、甲斐市、笛吹市、富士河口湖町、上野原市、 甲州市、 市川三郷町、 身延町、 忍野村、 山中湖村、鳴沢村、富士川町
長野県	**＜ほぼ全域を収録＞** 岡谷市、諏訪市、飯山市、千曲市、下諏訪町、坂城町、小布施町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松本市、 長野市、 上田市、 飯田市、 須坂市、 小諸市、 伊那市、駒ヶ根市、 中野市、 大町市、 茅野市、 塩尻市、 佐久市、 東御市、軽井沢町、 御代田町、 富士見町、 辰野町、 箕輪町、 南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村

岐阜県	**＜ほぼ全域を収録＞** 岐阜市、 多治見市、 岐南町、 関ケ原町、 神戸町、 瑞浪市、 羽島市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、北方町、輪之内町、安八町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 大垣市、 高山市、 関市、 中津川市、 美濃市、 下呂市、 恵那市、飛騨市、 本巣市、 郡上市、 海津市、 養老町、 垂井町、 揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	**＜ほぼ全域を収録＞** 浜松市 *、 富士市、 静岡市、 熱海市、 三島市、 富士宮市、 伊東市、磐田市、 焼津市、 掛川市、 藤枝市、 御殿場市、 袋井市、 下田市、裾野市、 湖西市、 東伊豆町、 松崎町、 函南町、 清水町、 長泉町、御前崎市、吉田町、菊川市、牧之原市 ＊印…浜松市北区は市街中心部、または一部地域を収録したエリアになります。 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 沼津市、 島田市、 伊豆市、 河津町、 西伊豆町、 小山町、 森町、伊豆の国市
愛知県	**＜ほぼ全域を収録＞** 名古屋市、 岡崎市、 一宮市、 瀬戸市、 春日井市、 津島市、 碧南市、刈谷市、 安城市、 西尾市、 蒲郡市、 犬山市、 江南市、 小牧市、稲沢市、 東海市、 大府市、 知多市、 知立市、 尾張旭市、 高浜市、岩倉市、 豊明市、 日進市、 田原市、 東郷町、 長久手市、 豊山町、清須市、 大口町、 扶桑町、 大治町、 蟹江町、 飛島村、 弥富市、阿久比町、 東浦町、 南知多町、 武豊町、 幸田町、 豊橋市、 半田市、豊川市、常滑市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 豊田市、新城市

市街地図の収録エリア

三重県	**＜ほぼ全域を収録＞** 津市、 東員町、 四日市市、 伊勢市、 鈴鹿市、 名張市、 鳥羽市、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、朝日町、川越町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松阪市、 いなべ市、 菰野町、 桑名市、 尾鷲市、 亀山市、 熊野市、木曽岬町、多気町、明和町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
滋賀県	**＜ほぼ全域を収録＞** 草津市、 守山市、 栗東市、 湖南市、 日野町、 竜王町、 東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 近江八幡市、大津市、彦根市、長浜市、野洲市、甲賀市、米原市、高島市、多賀町
京都府	**＜ほぼ全域を収録＞** 城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、宇治市、亀岡市、長岡京市、南山城村、大山崎町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、宇治田原町、笠置町、和束町、京丹後市、南丹市、伊根町、与謝野町
大阪府	**＜ほぼ全域を収録＞** 大阪市 *、 堺市、 岸和田市、 豊中市、 池田市、 吹田市、 泉大津市、貝塚市、 守口市、 枚方市、 茨木市、 八尾市、 泉佐野市、 富田林市、寝屋川市、 松原市、 大東市、 和泉市、 箕面市、 柏原市、 羽曳野市、門真市、 摂津市、 高石市、 藤井寺市、 東大阪市、 四條畷市、 交野市、大阪狭山市、 阪南市、 田尻町、 高槻市、 河内長野市、 泉南市、島本町、 豊能町、 能勢町、 熊取町、 岬町、 太子町、 河南町、千早赤阪村 ＊印…大阪市此花区は市街中心部、または一部地域を収録したエリアになります。 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 忠岡町

兵庫県	**＜ほぼ全域を収録＞** 尼崎市、 明石市、 西宮市、 芦屋市、 伊丹市、 宝塚市、 三木市、播磨町、 太子町、 神戸市、 洲本市、 相生市、 加古川市、 赤穂市、西脇市、 高砂市、 川西市、 小野市、 三田市、 加西市、 猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、たつの市、加東市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 福崎町、 上郡町、 姫路市、 豊岡市、 篠山市、 養父市、 丹波市、宍粟市、朝来市、多可町、香美町、新温泉町、市川町、神河町
奈良県	**＜ほぼ全域を収録＞** 橿原市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、 大和郡山市、 天理市、 五條市、 御所市、 香芝市、葛城市、 上牧町、 王寺町、 広陵町、 河合町、 安堵町、 川西町、三宅町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 奈良市、 桜井市、 宇陀市、 高取町、 吉野町、 大淀町、 下市町、黒滝村
和歌山県	**＜ほぼ全域を収録＞** 和歌山市、海南市、岩出市、橋本市、有田市、御坊市、紀の川市、太地町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** かつらぎ町、 湯浅町、 田辺市、 新宮市、 白浜町、 那智勝浦町、有田川町、高野町、紀美野町、九度山町、広川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、上富田町、串本町
鳥取県	**＜ほぼ全域を収録＞** 米子市、倉吉市、境港市、三朝町、日吉津村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 鳥取市、岩美町、八頭町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、伯耆町
島根県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松江市、 浜田市、 出雲市、 益田市、 大田市、 安来市、 江津市、雲南市

市街地図の収録エリア

岡山県	**＜ほぼ全域を収録＞** 岡山市、 倉敷市、 玉野市、 備前市、 早島町、 勝央町、 久米南町、 笠岡市、 井原市、 総社市、 和気町、 里庄町、 矢掛町、 鏡野町、 奈義町、 西粟倉村、 美作市、 吉備中央町、 瀬戸内市、 赤磐市、 美咲町、浅口市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 津山市、高梁市、新見市、真庭市
広島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 福山市、 府中町、 坂町、 江田島市、 広島市、 竹原市、 大竹市、 廿日市市、海田町、熊野町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 呉市、 尾道市、 府中市、 三原市、 三次市、 庄原市、 東広島市、 安芸高田市
山口県	**＜ほぼ全域を収録＞** 宇部市、防府市、下松市、山陽小野田市、周南市、和木町、平生町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 下関市、山口市、萩市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周防大島町、田布施町
徳島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 徳島市、 鳴門市、 小松島市、 石井町、 松茂町、 北島町、 藍住町、 板野町、上板町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 阿南市、 吉野川市、 阿波市、 美馬市、 三好市、 つるぎ町、 東みよし町
香川県	**＜ほぼ全域を収録＞** 坂出市、 善通寺市、 さぬき市、 東かがわ市、 土庄町、 宇多津町、 琴平町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 高松市、 丸亀市、 観音寺市、 綾川町、 まんのう町、 多度津町、 三豊市、小豆島町、三木町

愛媛県	**＜ほぼ全域を収録＞** 新居浜市、松前町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松山市、 今治市、 宇和島市、 八幡浜市、 西条市、 大洲市、 伊予市、 四国中央市、 砥部町、 伊方町、 久万高原町、 西予市、 東温市、 内子町
高知県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 高知市、 室戸市、 安芸市、 南国市、 土佐市、 須崎市、 宿毛市、 土佐清水市、 佐川町、 梼原町、 四万十市、 香南市、 香美市、 四万十町、黒潮町、いの町、越知町
福岡県	**＜ほぼ全域を収録＞** 糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、 春日市、 志免町、 粕屋町、 水巻町、 直方市、 田川市、 筑後市、 大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、古賀市、 那珂川町、 宇美町、 篠栗町、 須恵町、 新宮町、 久山町、 芦屋町、 岡垣町、 遠賀町、 大刀洗町、 苅田町、 吉富町、 福津市、 宮若市、 鞍手町、大木町、みやま市、小竹町、糸田町、大任町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 宗像市、 飯塚市、 柳川市、 八女市、 うきは市、 嘉麻市、 朝倉市、 築上町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、添田町、川崎町、赤村、 福智町、みやこ町
佐賀県	**＜ほぼ全域を収録＞** 鳥栖市、基山町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 佐賀市、 唐津市、 多久市、 伊万里市、 武雄市、 鹿島市、 小城市、 白石町、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、上峰町、みやき町
長崎県	**＜ほぼ全域を収録＞** 時津町、島原市、平戸市、波佐見町、壱岐市、雲仙市、長与町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 佐世保市、 長崎市、 諫早市、 大村市、 松浦市、 五島市、 対馬市、 西海市、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町

市街地図の収録エリア

熊本県	**＜ほぼ全域を収録＞** 熊本市 *、荒尾市、水俣市、宇土市、菊陽町、合志市、益城町 ＊印…熊本市南区は市街中心部、または一部地域を収録したエリアになります。 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 玉名市、 八代市、 人吉市、 山鹿市、 菊池市、 大津町、 阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町
大分県	**＜ほぼ全域を収録＞** 別府市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 大分市、 中津市、 日田市、 佐伯市、 臼杵市、 津久見市、 竹田市、豊後高田市、 杵築市、 宇佐市、 豊後大野市、 由布市、 九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 宮崎市、 都城市、 延岡市、 日南市、 小林市、 日向市、 串間市、西都市、 えびの市、 三股町、 高原町、 国富町、 高鍋町、 新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
鹿児島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 垂水市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 鹿児島市、 鹿屋市、 姶良市、 枕崎市、 いちき串木野市、 阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町
沖縄県	**＜ほぼ全域を収録＞** 那覇市、 宜野湾市、 浦添市、 名護市、 糸満市、 沖縄市、 本部町、北中城村、 中城村、 西原町、 豊見城市、 与那原町、 南風原町、うるま市、南城市、八重瀬町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 読谷村、嘉手納町、北谷町、石垣市、宮古島市

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
駐車場	駐車場
交通機関	駅
	高速・都市高速・有料道路施設
	道の駅
	フェリーターミナル
	港
	空港
	タクシー
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)
	レジャー公園・牧場
	その他レジャー施設
	海洋・海浜公園
	サファリパーク
	海水浴場
	川くだり
	果物狩り
	遊覧船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	釣り
	キャンプ場
	公営ギャンブル

ジャンル	企業名・中分類
遊ぶ（続き）	パチンコ
	麻雀
	ゲームセンター
	ビリヤード
	ボウリング場
	カラオケボックス
	マンガ喫茶
	インターネットカフェ
	アニメ・ゲームグッズ
	プラネタリウム
	クラブ・ライブハウス
	マリーナ
	待ち合わせ場所
	趣味・娯楽・教養
観る	動物園
	植物園
	水族館
	美術館
	博物館
	資料館
	文化施設
	ホール会館
	劇場
	映画館
	城・城跡
	史跡
	名所・観光地等

ジャンル	企業名・中分類
観る（続き）	イベント
	ビューポイント
	住宅展示場
泊まる	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	ペンション
	公共の宿
	ファッションホテル
	カプセルホテル
	家族旅行村
	国民休暇村
	民宿
	その他宿泊施設
買う	カー用品
	ホームセンター
	ディスカウント
	スーパー
	デパート
	複合大型商業施設
	アウトレットモール
	家電
	本
	ファッション
	衣服・呉服・小物
	シューズ

ジャンル	企業名・中分類
買う（続き）	バッグ・コート・毛皮
	その他繊維製品
	スポーツ
	雑貨
	ドラッグストア
	100円ショップ
	その他日用品・雑貨・文具
	チケット売買・プレイガイド
	携帯電話ショップ
	リサイクルショップ
	おもちゃ屋
	子供用品・服
	酒屋
	食材
	パン・お菓子
	花屋
	園芸店
	家具店
	インテリア用品店
	メガネ・コンタクトレンズ
	釣具店
	アウトドア用品店
	CDレコード店

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類
買う（続き）	中古CDレコード店
	レンタルビデオ・CD
	化粧品・装飾品・民工芸品
	オーディオ・パソコン・OA
	金物店・刃物店
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	ファミリーレストラン
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場

ジャンル	企業名・中分類
食べる（続き）	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懐石料理
	割烹・料亭
	スパゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
	鳥料理店
	ピザハウス
	アイスクリーム
	その他和風飲食店
	その他洋風・中華飲食店
生活施設	郵便
	理容・美容
	クリーニング
	温泉
	銭湯
	サウナ･健康センター
	クアハウス・スパ
	教養施設・福祉施設
	写真・写真館
	組合
	人材紹介・代行サービス
	録音スタジオ

ジャンル	企業名・中分類
生活施設（続き）	クレジット・質屋・買取
	宅配便・運輸
	リース・レンタル・修理
トイレ	トイレ
銀行	都市銀行
	地方銀行
	その他銀行
公共施設	役所
	警察署・交番
	消防署
	図書館
	裁判所
	税務署
	年金事務所
	保健所
	法務局
	運転免許試験場
	ハローワーク
学校・教育施設	大学
	高校
	中学校
	小学校
	短大
	高専
	中等教育学校

ジャンル	企業名・中分類
学校・教育施設（続き）	幼稚園
	保育園
	特別支援学校
	自動車学校
	各種専門学校
	予備校
	その他学校・教育施設
病院	病院
冠婚葬祭	冠婚葬祭場
	結婚式場
	霊園・墓地
	造花・装飾・花環
	火葬場
スポーツ施設	ゴルフ
	スキー・スケート
	マリンスポーツ
	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館
	武道館
	スポーツクラブ
	バッティングセンター

ジャンル	企業名・中分類
スポーツ施設(続き)	公営スポーツ施設
	その他スポーツ施設
神社･仏閣･教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会
	全国著名巡礼名所
カーディーラー	日産
	日産部品
自動車関連	自動車整備工場
	中古車販売
	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	オートバイ販売・部品・用品
	レンタルバイク
	その他自動車・自転車
エコステーション	エコステーション
その他ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業
	農園・果樹園

Gracenoteデータベースについて

CDをMUSIC STOCKERに録音した場合、本機に収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、トラック名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

知識

- 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

● Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。
適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、Gracenoteのホームページをご覧ください。

Gracenote、CDDB、MusicID、Media VOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

● Gracenoteデータベースのご利用について

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。
本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報

をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenoteデータベースについて

Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

再生できるディスク

■CD

CD	ディスクの種類	市販の音楽CD、CD-R、CD-RW
	フォーマット	CD-DA、MP3、WMA

- コピー防止機能付きCD(コピーコントロールCD)には対応していません。
- CD-R／CD-RWは、拡張フォーマットを除いたISO9660 レベル1／レベル2で書き込まれたディスクに対応しています。
- マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。
- MP3／WMAファイルについては、下記もお読みください。
  ➔ 音楽ファイルについて(P.540)
- 本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■DVD

DVD	ディスクの種類	市販のDVD、DVD-R、DVD-RW
	フォーマット	DVD-Video、DVD-VR(CPRMも再生可能)、AVCREC ※AVCRECは、MM518D-L MM518D-Wのみ再生可能

- リージョン番号「2」ではないディスクやNTSC方式以外(PAL、SECAM)で収録されたディスクは再生できない場合があります。
- DVD-Rに記録する場合、ファイナライズ処理が必要です。
  DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

知識

- 次のような場合は再生できないことがあります。
  - ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
  - データ書き込みに失敗し再度録音した場合
  - 記録に使用したレコーダ／ディスクと本機の相性が悪い場合
  - 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、BD-R、BD-REは、通常のBlu-ray Disc、DVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。

■Blu-ray Disc MM518D-L MM518D-W のみ

Blu-ray Disc	ディスクの種類	市販のBlu-ray Disc、BD-R、BD-RE
	フォーマット	BDMV、BDAV

- BD-R(XL)、およびBD-RE(XL)は再生できません。
- BD-RE Version 1.0 は再生できません。
- リージョンコード「A」(Aを含むもの)が表示されているディスクが再生できます。
- Ultra HD Blu-rayは再生できません。

知識

- 下記のディスクには対応していません。(再生できても正常に再生されないことがあります。)
  - CD-G
  - フォトCD
  - CD-ROM
  - CD-EXTRA
  - VIDEO CD
  - SACD
  - HD DVD
  - DVD-ROM
  - DVD-RAM
  - DVDオーディオ
  - SVCD
  - DVD+R／+RW／+R DL
  - BD-ROM　など

ディスクに記載されているマークについて

■リージョンコード／リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号。
  ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
  - 本機のBlu-rayのリージョンコードは、「A」です。
    「A」(Aを含むもの)が表示されている、ディスクが再生できます。
  - 本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。
    「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。

■字幕言語数／音声言語数／アングル数

字幕言語数

音声言語数

アングル数

■画面サイズ(横：縦の比)＊1

4：3の標準サイズ

16：9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4：3)のときは、レターボックスで再生されます。

レターボックス

画面サイズが標準 (4：3) のときは、パン＆スキャンで再生されます。

＊1…映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

ディスク再生時のご注意

- 下記のディスクは使用しないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク

シールやテープ、のりが付着している

プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート

ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

破損・変形したディスク

そっている

ひびやキズがある・欠けている

透明なディスク

全体が透明

一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形

カード型

三角形

バリがある

- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクにキズが付く、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

■無許可コピーコンテンツの利用制限について　MM518D-L MM518D-W のみ

Cinaviaの通告

- この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
- Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。
- この製品はVerance Corporation(ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。
- CinaviaはVerance Corporationの商標です。
  Copyright 2004-2014 Verance Corporation.
- すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

ディスクについて

■ディスクの取り扱いについて

- ディスクを持つときは記録面に触らないように持ってください。

- 使用する前など、記録面に付いたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。
- 長時間使用しないときはディスクを本機から取り出してください。

SDカードについて

- 本書ではSD規格に準拠したメモリーカードをSDカードと記載しています。
  ただし、
  – microSDカードと記載している場合は、microSDXCメモリーカード／microSDHCメモリーカード／microSDメモリーカードを指します。
  – miniSDカードと記載している場合は、miniSDメモリーカードを指します。
- SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。
- 本機は下記のSDカードに対応しています。

使用できるSDカードの種類（下記以外のSDカードは使用できません。）	
・SDXCメモリーカード （32 GB超～2 TBまで、512 GB以下を推奨） ・SDHCメモリーカード（2 GB超～32 GBまで） ・SDメモリーカード（2 GBまで）	※SDロゴ、SDHCロゴ、SDXCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用可 ※セキュリティ機能など特殊な機能が付いているSDカードには対応していません。

※microSDカード挿入口（Blu-ray Discを楽しむときに使用）で使用できるSDカードについては下記をご覧ください。
➔microSDカードを挿入する（P.243）

- 対応ファイルシステムはFAT16、FAT32、exFATです。
- SDカードの初期化は本機で行ってください。
- SDカードへのデータ書き込み中／読み込み中（再生中／初期化中など）にSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、SDカードが破損したりするおそれがあります。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しなかったりする場合があります。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼り付けられたりしているSDカードは使用しないでください。
- 無線LAN内蔵のSDカードは対応していません。
- 本機はUHS規格の転送速度には対応しておりません。

SDカードの取り扱いについて

- 使用する前など、カートリッジの表面についたほこりやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光の当たる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のものがある場所など）でのご使用や保管はしないでください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 静電気や電気的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。

iPodについて

- 本書では特にことわりの無い限り、iPod／iPhoneを「iPod」と表記しています。
- 本機に接続すると、起動中はiPodへ充電を行います。（iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。）
- iPod touch／iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch／iPhone本体側のアプリケーションを終了してから使用してください。音飛びや誤動作の原因となる場合があります。
- iPodソースのときに、iPodの接続･取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。（正しく動作しない場合があります。）
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを本機から外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- 本機の電源を切ったあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電池を消耗することがあります。

本機で接続確認済みのiPod

2017年12月現在

iPod／iPhoneモデル名	ソフトウェアバージョン(iOS)
iPhone X	11.2
iPhone 8	11.2
iPhone 8 Plus	11.2
iPhone 7	11.2
iPhone 7 Plus	11.2
iPhone SE	11.2
iPhone 6s	11.2
iPhone 6s Plus	11.2
iPhone 6	11.2
iPhone 6 Plus	11.2
iPhone 5s	11.2
iPod touch（第6世代）	11.2
iPod nano（第7世代）	1.1.1

※第4世代以前のiPod、iPod miniおよびiPod photoには対応しておりません。
※上表はiPodソースでの音楽再生に関するものです。他のソース、他の機能での使用可否を記載しているものではありません。
※本機でApple CarPlayが使用できるiPhoneについては下記をご覧ください。
➔ 本機でApple CarPlayが使用できるiPhone（P.374）

知識

- iPodは最新のソフトウェアバージョンをApple社のホームページよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。

WALKMAN®／USBメモリーについて

WALKMAN®／USBメモリーについて

- WALKMAN®／USBメモリーに記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- WALKMAN®／USBメモリーは再生中に本機から外さないでください。
- WALKMAN®／USBメモリーは市販のUSBハブまたはUSB延長ケーブルを介して接続しないでください。
- 本機にWALKMAN®を接続すると、本機起動中はWALKMAN®へ充電を行います。

対応可能なWALKMAN®／USBメモリー

本機では下記条件を満たしたWALKMAN®／USBメモリーを使用できます。

- USBマスストレージ規格準拠
- ファイルシステム：FAT16、FAT32
- USBコミュニケーションフォーマット：USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

知識

- すべてのWALKMAN®／USBメモリーの動作を保証するものではありません。
- 使用するWALKMAN®／USBメモリーがUSBマスストレージ規格に準拠しているかは、WALKMAN®／USBメモリーのメーカーにお問い合わせください。

WALKMAN®／USBメモリーについて

知識

- 下記のWALKMAN®／USBメモリーには対応していません。
  - パーティションが複数あるもの
  - 電流が500 mAを超えるもの
  - パソコンに接続した際、ドライバを要求されるもの
  - セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
  - パソコンなど、他のUSB機器へ電源供給が可能なもの
- 本機はUSB3.0には対応していません。USB3.0のものを接続した場合、USB2.0で動作します。

WALKMAN®の再生について

- 再生可能なファイルは下記をご覧ください。
  ➔ 音楽ファイルについて（P.540）
  ➔ 画像ファイルについて（P.544）
  ➔ 動画ファイルについて（P.545）
- ハイレゾ音源には対応していません。
- ATRAC（oma）／WAV（PCM）／FLAC等のファイル形式には対応していません。
- DRM（デジタル著作権管理）には対応していません。
- WALKMAN®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。

知識

- WALKMAN®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字／半角64文字となります。
- 本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。（WALKMAN®が対応している階層とは異なります。）
- 拡張子は正しく付けてください。正しく付けないと大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 「歌詞ピタ」サービス／「ちょい聴きmora」サービス／おまかせチャンネル／おでかけ転送／ポッドキャスト／カラオケ・語学学習モードには対応していません。
- microSDカードに転送したファイルの再生には対応していません。
- microSDカード対応のWALKMAN®を本機に接続する場合、WALKMAN®の「保存するメモリー」を「本体メモリー」に設定してください。
  ※機種により表現が異なる場合があります。詳しくはWALKMAN®の取扱説明書をご確認ください。

Bluetooth® について

- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機（レーダー探知機）を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 本機は全ての**Bluetooth®**対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続する**Bluetooth®**対応機器はBluetooth SIG. Incの定める**Bluetooth®**標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続する**Bluetooth®**対応機器が上記**Bluetooth®**標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  - 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）が運用されています。
    1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
    2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、日産販売会社へご相談ください。
    3 その他、何かお困りのことが起きたときは、日産販売会社へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 分解や改造をする　– ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- **Bluetooth®**対応機器と本機以外の機器が**Bluetooth®**接続されている場合、本機と**Bluetooth®**接続を行うことはできません。その場合は、**Bluetooth®**対応機器と本機以外の機器との**Bluetooth®**接続を切断してください。

■Bluetooth® の対応規格と対応プロファイル

対応規格
Bluetooth® 標準規格Ver. 3.0＋EDR準拠

対応プロファイル	使用する本機の機能
HFP（Hands-Free Profile）ver.1.6	ハンズフリーフォンの通話、音声認識（Drive T@lker）
OPP（Object Push Profile）ver.1.2	電話帳の転送
PBAP（Phone Book Access Profile）ver.1.0	電話帳・発着信履歴の転送および自動転送
DUN（Dial-Up Networking Profile）ver.1.2	NissanConnect サービス、オンライン検索
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）ver.1.2	**Bluetooth®** Audio
AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）ver.1.4	
SPP（Serial Port Profile）ver.1.1	NaviCon®、音声認識（Drive T@lker）

Bluetooth® Audioについて

- **Bluetooth®** Audio再生中に**Bluetooth®** 接続された携帯電話を操作すると、**Bluetooth®** Audioの音楽が出なくなることがあります。**Bluetooth®** Audio再生中は、**Bluetooth®** 接続された携帯電話の操作はお控えください。
- **Bluetooth®** 接続された携帯電話に電話がかかってきたときや通話している間は、自動的に**Bluetooth®** Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後は**Bluetooth®** 対応オーディオ機器の仕様によっては、**Bluetooth®** Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機で**Bluetooth®** 対応オーディオ機器をご使用になる場合は、**Bluetooth®** 対応オーディオ機器の取扱説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のう

えご使用ください。

- **Bluetooth®** 対応オーディオ機器によっては、登録後や接続後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- **Bluetooth®** Audioの仕様により、音楽の音質が低下することがあります。
- 本機で **Bluetooth®** 対応オーディオ機器を充電することはできません。
- **Bluetooth®** 対応オーディオ機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- **Bluetooth®** Audio対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によっては **Bluetooth®** 操作を行えない場合があります。その場合は **Bluetooth®** Audioの登録を削除してください。
- **Bluetooth®** 対応オーディオ機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所に **Bluetooth®** 対応オーディオ機器を置いてください。本機と **Bluetooth®** 対応オーディオ機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- **Bluetooth®** 対応オーディオ機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合もあります。
- **Bluetooth®** Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- **Bluetooth®** 対応機器の音楽再生アプリによっては **Bluetooth®** Audioが正しく動作しない場合があります。

ハンズフリーフォンについて

- ハンズフリーフォンを使用するときの通話料は、お客さまのご負担になります。
- 安全な場所へ停車してから通話を行ってください。
- 割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除しておいてください。割込通話（キャッチホン）や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
- 本機の電源を入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  – 悪路走行時　– 高速走行時　– 窓を開けているとき
  – エアコンのファンの音が大きいとき
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリーフォン発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 以下の場合は、ハンズフリーフォンは使用できません。
  – 使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  – トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- **Bluetooth®** 通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できなかったりする場合があります。

Bluetooth® について

- ハンズフリーフォンは付属のマイクを使用して通話します。
  安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。（マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意になったりしないようにしてください。）
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーフォンで通話中に車両内のスイッチ（ハザード）などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリーフォンで通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- AVソース再生中に発信および着信された場合、再生中の音声は消音（ミュート）状態となります。
  ※録音中に発着信があった場合、録音は継続されます。
- 通話中に車（本機）から離れる（無線通信が不可能な状態になる）と通信は終了（切断）されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してから**Bluetooth®** 接続してください。
- ハンズフリーフォン状態で、携帯電話側での操作はしないでください。誤動作をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、**Bluetooth®** の接続性が低下する場合（発信ができないなど）があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリーフォン操作を行ってください。
- 携帯電話を車内に放置しないでください。炎天下など、車内が高温となり、故障の原因となります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリーフォンは対応していません。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種は、日産販売会社にお問い合わせください。

後席専用モニターについて

別売の後席専用モニターを接続することにより、後席でAVソースの映像を楽しむことができます。前席(本機)でナビを表示しながら、後席(後席専用モニター)でAVソース映像を表示することもできます。

後席専用モニターに表示できる映像について

表示できる映像	TV、DVD、Blu-ray Disc＊1、SD(動画のみ)、WALKMAN®(動画のみ)、USB(動画のみ)、HDMI＊1、VTR、ドライブレコーダー
表示できない映像	上記以外の映像

- 後席専用モニターによっては、後席専用モニターのリモコンを使って本機の一部の操作が可能です。詳しくは後席専用モニターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の操作を行えない後席専用モニターの場合、直接本機で操作を行う、または別売のナビリモコンをご利用ください。
- 後席専用モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。
- コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで本機とモニターを直接接続してください。
- 車種によっては取り付けできない場合があります。後席専用モニターの詳細は日産販売会社にご相談ください。
- MM318D-L、MM318D-W、MM318D-Aの場合、本機から後席専用モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。TVを受信している場合、放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるため後席専用モニターへ出力できないときもあります。
- AVをOFFにすると後席専用モニター側の表示も消えます。
- 後席専用モニターでは、AV映像(TV、ビデオなどの動画)のみ表示します。
  ※MM518D-LとHDMI対応の後席専用モニターを接続すると、Blu-ray Discの表示もできます。
- Apple CarPlay、Android Autoの映像は表示しません。
- DVD／Blu-ray Disc＊1を再生するとき、ディスク読み込み中は映像が表示されません。ディスクによっては読み込みに時間がかかる場合がありますので、映像が表示されるまでしばらくお待ちください。

＊1…Blu-ray Disc、HDMIソースの映像を表示するには、別売のHDMI対応の後席専用モニターとの接続が必要です。

音楽データの規格について

注)CD=CD-R／CD-RW、SD=SDカード、USB=WALKMAN®／USBメモリー

	MP3	WMA	AAC
再生可能メディア	CD、SD、USB		SD、USB
データの規格、バージョン	MPEG1 Audio Layer3 MPEG2 Audio Layer3	Windows Media Audio Version7、9 ※Standardのみ	AAC Low Complexity
ファイル拡張子	mp3、MP3	wma、WMA	m4a、M4A
サンプリング周波数	16 kHz／22.05 kHz／24 kHz／ 32 kHz／44.1 kHz／48 kHz	32 kHz／44.1 kHz／48 kHz	16 kHz／22.05 kHz／24 kHz／ 32 kHz／44.1 kHz／48 kHz
ビットレート	8 kbps～320 kbps、VBR	48 kbps～320 kbps、VBR	8 kbps～320 kbps
フォルダ名／ファイル名の 最大文字数	CD　　：全角32文字／半角32文字 SD、USB：全角32文字／半角64文字 ※フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。		
フォルダ名／ファイル名の 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、 カタカナ(全角／半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255 ※ファイル数＋フォルダ数の合計が255以下であること		
1メディア内の最大ファイル数	CD　　：512 SD、USB：10 000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD　　：255 SD、USB：400		
表示可能なタグ	CD　　：トラック名／アーティスト名／アルバム名 SD、USB：トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名		

音楽ファイルについて

	MP3	WMA	AAC
タグ表示可能文字数	[ID3タグ Ver1.0／1.1] 全角15／半角30文字 [ID3タグ Ver2.2／2.3] CD： 全角30／半角60文字 SD、USB： 全角32／半角64文字	CD： 全角30／半角30文字 SD、USB： 全角32／半角64文字	全角32／半角64文字
ジャケット写真のファイル規格	CD　　：ジャケット写真は非対応 SD、USB　：JPEG形式		

※m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
※WMA Professional／WMA Lossless には対応していません。
※DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
※著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。
※2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
※ID3タグバージョン1、バージョン2 が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
※フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

音楽ファイルについて

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（再生しません。）
- 拡張子は正しく付けてください。正しく付けないと（たとえばWMAのファイルに“MP3”の拡張子）大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMA／AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客さまが予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“01～99”など番号を付けてパソコンで期待する順番（名前順）などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示する順番は変わりません。
- CDで同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

知識

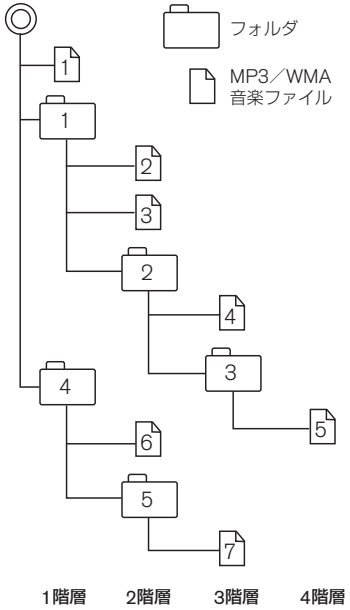
ジャケット写真について

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となったりします。
- 176×176ピクセル以上、1 024×1 024ピクセル以下の画像を推奨します。
- 176×176ピクセル未満の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真を登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

階層と再生順について（CDのMP3／WMAのみ）

〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

- ルートフォルダは1つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、1つのフォルダとして数えます。選んだ場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器（プレーヤー）によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されなかったりします。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。



再生可能な画像ファイルについて

再生可能メディア	SDカード、WALKMAN®、USBメモリー
対応形式	Baseline JPEG方式
ファイル拡張子	JPG／jpg
フォルダ名／ファイル名の最大文字数	全角32文字／半角64文字
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	255（ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む）
1メディア内の最大ファイル数	10 000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z（全角／半角）、0～9（全角／半角）、_（アンダースコア）、全角漢字（JIS第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角／半角）
ファイルサイズ	10 MB以下
画像サイズ	16×16ピクセル～4 092×4 092ピクセル

- Progressive JPEG、カラーフォーマットがGray scale、RGB、CMYKのJPEGファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面に合わせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

再生可能な動画ファイルについて

再生可能メディア	SDカード、WALKMAN®、USBメモリー
ファイル拡張子	MP4／M4V／mp4／m4v
フォルダ名／ファイル名の最大文字数	全角32文字／半角64文字
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	100（ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む）
1メディア内の最大ファイル数	10 000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z（全角／半角）、0～9（全角／半角）、_（アンダースコア）、全角漢字（JIS第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角／半角）
ファイルサイズ	2 GB以下

映像	コーデック、プロファイル	MPEG4 （Advanced Simple Profile（レベル5まで）、Simple Profile（レベル6まで）） H.264 （Main Profile（レベル3.1まで）、High Profile（レベル3.1まで）、Baseline Profile（レベル3.1まで））
	ビットレート	216 kbps～8 Mbps
	フレームレート	15 fps／30 fps
	最大解像度	1 280×720
音声	コーデック	AAC Low Complexity
	ビットレート	8 kbps～320 kbps
	サンプリング周波数	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

知識

- 著作権保護された動画ファイル（SD-Video規格など）の映像は再生できません。
- ビットレートが低いと十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート（VBR）で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
- Windows Media Videoには対応していません。
- Global Motion Compensation、Quarter-pel Motion Compensationには対応していません。映像が乱れ正しく再生できません。
- AAC-Plusには対応しておりません。
- 左記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかったり音飛びやコマ落ちなどが起こったりするおそれがあります。

動画ファイルについて

知識

- 動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
- 動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声、映像が乱れたりする場合があります。

動画ファイルについて

動画ファイルの再生について

- 極端にサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかったりすることがあります。
- 極端に再生時間の長いファイル、短いファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかったりすることがあります。
- 同一ファイル内に音声／映像以外の情報（画像など）が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
- チャンネル数が2を超える音声データを含む動画ファイルは再生できません。
- 映像が含まれない動画ファイルは再生できません。
- フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客さまが予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※ファイルの先頭に番号を付け（例：001～100など）、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- 対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子（MP4／M4V／mp4／m4v）を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
- 動画ファイルの作りかたによっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
- SDカード／WALKMAN®／USBメモリーの種類によっては、転送速度の関係でデータ転送が間に合わずコマ落ち／音飛びの原因となる場合があります。

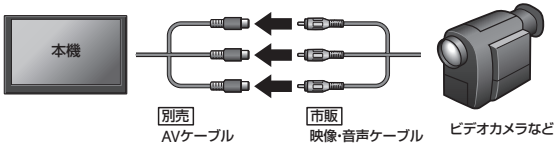
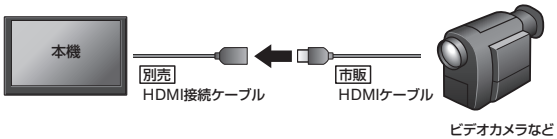
著作権について

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

テレビ／ラジオの受信について

- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。
- 放送方式（12セグ／ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、音がとぎれたり、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- ラジオやテレビの受信は受信環境によって、電波の強さの変化、障害物や他電波などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
  - トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかったりすると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなったりする場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - 電車の架線、高圧線、ラジオやテレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入ったりする場合があります。
  - 一部の地域において、ラジオやテレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
  - 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
  - ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなどが動作すると受信感度が悪化する場合があります。

別売品(システムアップ)について

別売品が必要な機能	別売品の名称
本機でETC／ETC2.0の情報を見る	・ETCユニット(ナビ連動タイプ) ・ETC2.0車載器
● 本機でiPodの音楽を聴く ● 本機でWALKMAN®やUSBメモリーの音楽／画像／動画を再生する	・USB接続ケーブル ※ MM518D-L MM518D-W にはUSB接続ケーブルが付属されています。
本機で車載カメラの映像を見る	・バックビューモニター
本機でドライブレコーダーの映像を見る	・日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー ・ドライブレコーダー
本機で外部機器の映像を見る／音声を聴く(VTRソースの場合)	・AVケーブル 
本機で外部機器の映像を見る／音声を聴く(HDMIソースの場合、MM518D-L MM518D-Wのみ)	・HDMI接続ケーブル 

知識

- 本機で使用できる別売品については、日産販売会社にお問い合わせください。
- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー、ドライブレコーダー、AVケーブルは、いずれか1つのみ接続できます。

別売品(システムアップ)について

別売品が必要な機能	別売品の名称
後席でTVやDVDなどを見る	・後席専用モニター
本機をリモコンで操作する	・ナビリモコン

初期設定一覧

各項目の初期設定は下記のとおりです。

地図画面

縮尺

メイン画面＝100 m
右画面＝200 m

Quick

設定

地図画面表示変更	ルート消去
ランドマーク表示／消去	ランドマーク設定
再探索	スマートフォン連携
案内音量	AV設定
走行軌跡消去	消音

情報

渋滞情報

周波数設定	自動選局＝ON プリセット選局＝未設定

ナビ設定

表示

メイン画面用地図設定
名称の文字サイズ＝ 大
吹き出しを表示＝ する
標高地図を表示＝ する
地図モード＝ 進行方向
3D視角調整＝10目盛中左から4目盛目

右画面用地図設定
右画面に地図表示＝ しない
名称の文字サイズ＝ 大
吹き出しを表示＝ する
標高地図を表示＝ する
地図モード＝ 3D
3D視角調整＝10目盛中左から4目盛目

地図色設定
昼夜切り替え＝ 時刻連動
地図切り替え＝ 標準
標高地図色＝ 季節連動

ナビ設定

表示

情報バー表示設定
マップコードを表示＝ する
地図情報を表示＝ 住所名
AV情報を表示＝ しない
残距離・到着時刻を表示＝ 目的地

その他設定
緯度・経度を表示＝ しない
冠水注意ポイントを表示＝ する
市街地図での冠水注意ポイントを表示＝ しない
登録地を表示＝ する
安全運転メッセージ＝ する
エコ運転診断機能を表示＝ する
デュアルウィンドウを表示＝ しない
時計表示＝ する
ランドマーク
　カーディーラー＝日産、日産部品
　レンタカー＝日産レンタカー
　カー用品＝ピットワーク
ランドマーク表示＝ する
走行軌跡表示＝ しない

ナビ設定

案内

表示項目設定

ルートの全表示＝ **する**
交差点情報を表示＝ **常時**
ETCレーンを表示＝ **する**
JCTビューを表示＝ **する**
目的地方向を表示＝ **する**
ルート情報を表示＝ **しない**
ハイウェイモードを表示＝ **する**
交差点拡大図を表示＝ **する**
リアル3D表示＝ **する**
方面看板を表示＝ **常時**
高速道路での逆走報知＝ **する**
AV画面中の案内割込み＝ **する**
デュアルウィンドウ中の案内割込み＝ **する**
EWS（緊急情報）の割込み＝ **する**

音声項目設定

分岐案内頻度＝ **高**
合流案内＝ **案内中**
踏切案内＝ **案内中**
専用レーン案内＝ **する**
VICS案内＝ **する**
休憩メッセージ案内＝ **する**
トンネル出口案内＝ **する**
AVスイッチで案内音声の取消し＝ **しない**

ナビ設定

探索

探索条件＝ **推奨**
有料道路優先＝ **中**
道幅優先＝ **中**
渋滞回避＝ **中**
自動再探索＝ **する**
フェリーを優先＝ **しない**
季節規制考慮＝ **する**
時間規制道路を考慮＝ **する**
スマートICを利用＝ **しない**
ルート学習結果を利用＝ **する**
新旧ルート比較画面を表示＝ **する**
VICS自動再探索＝ **する**
リアルタイム交通／VICS情報を考慮＝ **する**
到着予想＝ **自動**
手動 選択時　一般道＝50 km/h
国道＝65 km/h
有料道路＝80 km/h
料金表示＝ **普通車**

渋滞情報

VICS表示設定	情報点滅＝ON 一般道＝ON 規制＝ON 渋滞・混雑＝ON	有料道＝ON 駐車場＝ON 範囲＝ON 渋滞なし＝OFF
渋滞情報保存時間設定＝ **1時間**		
ETC2.0設定	ETC2.0 受信音＝ **する** ETC2.0 割込み＝ **する** ETC2.0 自動音声再生＝ **する** ETC2.0 アップリンク＝ **する**	

ナビ設定

NissanConnect サービス

ユーザーID・パスワード設定	ユーザーID＝未設定 パスワード＝未設定
情報チャンネル設定	自動的に取得する 取得タイミングの選択 ＝ **自動接続しない** 表示リストの変更 お気に入りを登録＝未設定 読上げ自動再開時間＝5秒
交通情報取得設定	行き先設定時に取得 ＝ **しない** ルート案内時の取得時間の間隔 ＝ **自動取得しない**
プローブ情報設定	プローブ情報の送信＝ **する**
通信アダプタ設定	通信アダプタを利用＝ **する**

ETC

ETC音声ガイド＝ **する**
カード入れ忘れ案内＝ **する**
カード抜き忘れ案内＝ **する**
カード有効期限切れ案内＝ **する**

登録地編集

登録地編集	自宅＝未登録 お気に入り登録＝未登録 登録地点＝未登録

初期設定一覧

AV設定

バランス／フェーダー設定

各項目の調整値＝0

音響効果設定

モード＝ MM518D-L MM518D-W 音の匠
MM318D-L MM318D-W MM318D-A OFF
サラウンド
音の匠*1＝匠 TAKUMI マスターサウンド
SRS CS Auto
FOCUS　各スピーカー＝4
TruBass　各スピーカー＝4
MixToRear＝4
DSP=HALL

イコライザー設定

設定＝ MM518D-L MM518D-W **OFF**
MM318D-L MM318D-W MM318D-A **おすすめ**

車速連動音量

設定＝ **MIDDLE**

その他設定

スピーカー設定	スピーカー出力レベル 各スピーカー＝0 dB スピーカーディレイ 各スピーカー＝100 cm

システム設定

Bluetooth®

Bluetooth® ＝ **する**
Bluetooth® 機器情報パスキー＝1212
デバイス名＝ MM518D-L MM518D-W
NISSAN MM518D
MM318D-L MM318D-W MM318D-A
NISSAN MM318D
携帯電話接続確認案内＝ **する**

セキュリティ

セキュリティ設定＝ **しない**
盗難多発地点音声案内＝ **する**
盗難多発地点表示案内＝ **する**
市街地図での盗難多発地点表示案内＝ **しない**

オプションスイッチ

消音

音量

案内音量	15段階中5段階目 消音＝OFF
	詳細設定 案内音量の車速連動＝ **する** 案内時のAV音量消音＝ **しない**
通話音量	着信音量＝＋8 受話音量＝＋8 送話音量＝＋8 送話雑音除去＝ **ON** 通話中の着信拒否＝ **する** 自動応答保留＝ **しない**

システム設定

音量

音量スイッチでの案内／通話音量調整＝ **する**
リバース時のAV音量ダウン＝ **する**

ユーザー切替

ユーザー選択＝ 1
地図上にボタンを表示＝ **する**

スマートフォン連携

Apple CarPlay設定*1
iPhone接続時の利用機能＝ **Apple CarPlay**
ルート案内の音量＝5
Android Auto設定*1
Android Autoの利用＝ **する**
ルート案内の音量＝5
スマホ連携アプリ選択＝ **Drive T@lker**

Language

Japanese

その他設定

車両メンテナンス	エンジンオイル交換＝ **しない** オイルフィルタ交換＝ **しない** タイヤ交換＝ **しない** クリーンフィルタ交換＝ **しない** バッテリー交換＝ **しない** タイヤローテーション＝ **しない** お好み1＝ **しない** お好み2＝ **しない**

操作音＝ **操作音1**

＊1… MM518D-L MM518D-W のみ

初期設定一覧

電話(その他設定)

携帯メモリ読み込み

携帯メモリ自動転送＝ **しない**

画面調整(画面の表示サイズの切り替え)

映像の表示サイズ	**フル**

画質調整 ※(　)内はイルミネーションON時の設定値

明るさ	バックビューモニター	23(15)＊1 30(18)＊2
	上記以外の画面	23(11)＊1 30(11)＊2
コントラスト	各画面共通	16(16)
色の濃さ	各画面共通	16(16)
色合い	各画面共通	16(16)
ダイナミックガンマ	Apple CarPlay＊3＝ **OFF** Android Auto＊3＝ **OFF** バックビューモニター＝ **OFF** インテリジェントアラウンドビューモニター(移動物検知機能付き)＝ **OFF** ドライブレコーダー＝ **OFF** 上記以外の画面＝ **OFF** ＊1 **ON** ＊2	

AV音量調整

音量＝10

SD

モード切替＝ **音楽ファイル**
選曲モード＝ **全曲**
再生モード＝通常再生

FM／AM

FM周波数＝76.0 MHz
AM周波数＝522 kHz

TV

受信モード＝ **自動切替**
オート放送局サーチ＝ **する**
地上D選局対象＝ **テレビ**
番組表表示形式＝ **第一内容**
地上D／ワンセグ切替設定＝ **遅延補正あり**
設定
　信号切替
　　マルチビュー＝ **主番組**
　　映像＝ **映像1**
　　音声＝ **日本語**
　　二重音声＝ **主**
　　字幕＝ **表示しない**
　　文字スーパー＝ **表示しない**

WALKMAN®／USB

モード切替＝ **音楽ファイル**
選曲モード＝ **全曲**
再生モード＝通常再生

CD／DVD／Blu-ray Disc＊3

CD	再生モード＝通常再生 録音設定 　録音管理＝ **自動録音** 　録音音質＝256 kbps
Blu-ray Disc＊3／DVD	設定 　音声言語＝日本語 　字幕言語＝日本語 　メニュー言語＝日本語 　ダイナミックレンジ圧縮＝ **OFF** 　HDMI出力音声＊3＝ **ビットストリーム** 　副映像用音声・操作音＊3＝ **ON** 　視聴年齢制限(Blu-ray Disc)＝255 　視聴制限レベル(DVD)＝ **制限なし** 　初期パスワード＝0000

MUSIC STOCKER

選曲モード＝ **全曲**
再生モード＝通常再生

交通情報

交通情報＝ **1620kHz**

＊1… **MM518D-L(セレナ)** **MM518D-L(エクストレイル)** **MM318D-L**
＊2… **MM518D-L(エルグランド)** **MM518D-W** **MM318D-W** **MM318D-A**
＊3… **MM518D-L** **MM518D-W** のみ

初期設定一覧

ドライブレコーダー＊1	
駐車録画設定	録画時間＝ **30秒間** 録画待機開始時間＝ **降車時から** 録画待機終了時間＝ **乗車時まで** 上書き保存＝ **する** 感度設定＝＊2
動画記録設定	動画画質＝ **標準画質(SP)** 音声記録＝ **する(手動・イベント・駐車録画)** 上書き保存(手動)＝ **する** 上書き保存(イベント)＝ **する** 感度設定(イベント)＝＊2
システム設定	通知音量＝3 再生音量＝4

＊1…別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー接続時

＊2…お買い上げ時の設定は車種により異なります。ただし、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定を初期化すると、車種にかかわらず **3(中)** になります。

商標などについて

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotiveで動作します。
- Microsoft、Windows、Windows Automotive、およびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」、「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSの特許については、http://patents.dts.comをご参照ください。DTS, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマークおよびDTSとシンボルマークとの複合ロゴはDTS, Inc.の登録商標です。DTS 2.0+Digital OutはDTS, Inc.の商標です。SRS CS Autoは、DTS, Inc.の商標です。© DTS, Inc.無断複写・転載を禁じます。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- **Bluetooth®**のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- “DVD Logo”は、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、BD-Live™、BDXL™、Ultra HD Blu-ray™、AVCREC™ 及びその関連のロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は、株式会社ゼンリンの登録商標です。

商標などについて

- “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- ウォークマン®、WALKMAN®、ATRACは、ソニー株式会社の登録商標または商標です。
- “Music Center for PC” は、ソニービデオ＆サウンドプロダクツ株式会社の商標です。
- “x-アプリ” は、ソニービデオ＆サウンドプロダクツ株式会社の商標です。
- 歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
- 「mora」およびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。
- Google、Android、Android Auto、Gmail、Google カレンダーおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標または登録商標です。
- 本製品はコピー防止機能を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVCビデオ)を記録すること。
  - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。

商標などについて

- MM518D-LおよびMM518D-Wは、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - 画像情報をVC-1規格に準拠して(以下、VC-1ビデオ)を記録すること。
  - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたVC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手し　たVC-1ビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iPod nano, Lightning and Siri are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc.
- The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

商標などについて

- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 本製品の取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

■本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

(1)パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア

(2)パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア

(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア*1

(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア*1

(5) GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

ＧＰＬ：http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html

LGPL：http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。

これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。

http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03

GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア(「GPL/LGPLソフト」)は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。
商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の

＊1 … MM518D-L MM518D-W のみ

料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。
ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。
Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口]
〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地
パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 技術管理部門
責任者 宛

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03

■前記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

- **RSA Data Security's MD5 License**
  RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this

software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

- **Independent JPEG Group's License**
  This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
- **Apache License 2.0** MM518D-L MM518D-W
  This software includes Google Protocol Buffers and Bonjour. You may obtain a copy of the License at "http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.
- **Apache License 2.0** MM318D-L MM318D-W MM318D-A
  This software includes Google Protocol Buffers. You may obtain a copy of the License at "http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.
- **OpenSSL License**
  This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)
  Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
  All rights reserved.
  This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
  The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
  This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
  This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
- **Bitstream Vera Fonts（MM518D-L MM518D-W のみ）**
  Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is a

trademark of Bitstream, Inc.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license (“Fonts”) and associated documentation files (the “Font Software”), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.
The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words “Bitstream” or the word “Vera” .
This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the “Bitstream Vera” names.
The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.
THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” , WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT.
IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.
Except as contained in this notice, the names of Gnome, the Gnome Foundation,

and Bitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from the Gnome Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact: fonts at gnome dot org.

- **libtiff License**（MM518D-L MM518D-W のみ）

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

- **MIT License**（MM518D-L MM518D-W のみ）

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy,

modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- **zlib License（MM518D-L MM518D-Wのみ）**
  Please be noted that this software is altered from TinyXML, 2.5.3.
  Please be noted that this software is altered from zlib, 1.2.8.

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。
http://panasonic.jp/car/navi/license/genue/NDOP/

■前記(2)に分類されるソフトウェアには、Oracle Java MEが含まれています。
（MM518D-L MM518D-Wのみ）
このソフトウェアのユーザーを規定する契約条件については、以下のURLをご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03/oracle_licence.htm

Oracle Java MEエンドユーザー使用許諾契約書
（END USER LICENSE AGREEMENT）

BEFORE USING THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT, PLEASE READ ALL OF THE FOLLOWING TERMS AND CONDITIONS OF THIS END USER LICESE AGREEMENT ("Agreement") CAREFULLY. THIS AGREEMENT IS A LEGALLY

BINDING CONTRACT BETWEEN END USER (“you”) AND PANASONIC THAT SETS FORTH THE TERMS AND CONDITIONS THAT GOVERN YOUR USE OF ORACLE JAVA ME MEDIA PACK FOR CDC (the “program”) IMPLEMENTED IN THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT.

(1) **Java Technology Restrictions.** You are prohibited from creating, modifying, changing the behavior of classes, interfaces, or subpackages that are in any way identified as “Java” , “Javax” , “Sun” or similar convention as specified by Oracle in any naming convention designation.

(2) **Trademarks and Logos.** You shall acknowledge that Oracle owns the Java trademark and all Java-related trademarks, logos and icons including the Coffee Cup and Duke (“Java Marks”) and shall agree to: (a) comply with the Java Trademark Guidelines at http://www.oracle.com/us/legal/third-party-trademarks/index.html; (b) not do anything harmful to or inconsistent with Oracle’s rights in the Java Marks; and (c) assist Oracle in protecting those rights, including assigning to Oracle any rights acquired by you in any Java Mark.

(3) **Third Party Code.** You shall read additional copyright notices and license terms applicable to portions of the programs are set forth below.

==========
COMPONENTS
==========

The following software (or certain identified files distributed with the software) may be included in this product. Unless otherwise specified, the software identified in this file is licensed under the licenses described below. The disclaimers and copyright notices provided are based on information made available to Oracle by the third party licensors listed.

3DES

Des3Cipher - the triple-DES encryption method
Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities:
http:www.acme.com/java/

AES

Cryptix General License
Copyright (c) 1995-2005 The Cryptix Foundation Limited. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

DES

DesCipher - the DES encryption method

@@ The meat of this code is by Dave Zimmerman <dzimm@widget.com>, and is:

Copyright (c) 1996 Widget Workshop, Inc. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for NON-COMMERCIAL or COMMERCIAL purposes and without fee is hereby granted, provided that this copyright notice is kept intact.

WIDGET WORKSHOP MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES ABOUT THE SUITABILITY OF THE SOFTWARE, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. WIDGET WORKSHOP SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY DAMAGES SUFFERED BY LICENSEE AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THIS SOFTWARE OR ITS DERIVATIVES.

THIS SOFTWARE IS NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE OR RESALE AS ONLINE CONTROL EQUIPMENT IN HAZARDOUS ENVIRONMENTS REQUIRING FAIL-SAFE PERFORMANCE, SUCH AS IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE (“HIGH RISK ACTIVITIES”). WIDGET WORKSHOP SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES.

@@ The rest of the code is:
Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities:
http:www.acme.com/java/

JPEG library

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.
This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.
---
zlib 1.1.3

@@ Acknowledgments:
Oracle gratefully acknowledges the contributions of Jean-loup Gailly and Mark Adler in creating the zlib general purpose compression library which is used in this product.
@@ Copyright notice:
(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.
Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly　Mark Adler
jloup@gzip.org　madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind.

The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

(4)Others.

(i)You shall not install the programs separately and independently from this Blu-ray product.

(ii)You agree not to reply on the future availability of any programs or services which Oracle will provide.

(5)ENTIRE AGREEMENT

You agree that this Agreement is the complete agreement pertaining to the subject matter hereof (including references to information contained in a URL) and this Agreement supersedes all prior or contemporaneous written or oral agreements or representations existing between you and Panasonic with respect to such subject matter. If any term of this Agreement is found to be invalid or unenforceable, the remaining provisions will remain effective. Panasonic's failure to enforce any right or provisions in this Agreement will not constitute a waiver of such provision, or any other provision of this Agreement.

■Apple CarPlayについて（MM518D-L MM518D-Wのみ）

Apple CarPlay Communication Plug-in.

Disclaimer: IMPORTANT: This Apple software is supplied to you, by Apple Inc. ("Apple"), in your capacity as a current, and in good standing, Licensee in the

MFi Licensing Program. Use of this Apple software is governed by and subject to the terms and conditions of your MFi License, including, but not limited to, the restrictions specified in the provision entitled “Public Software” , and is further subject to your agreement to the following additional terms, and your agreement that the use, installation, modification or redistribution of this Apple software constitutes acceptance of these additional terms. If you do not agree with these additional terms, please do not use, install, modify or redistribute this Apple software.

Subject to all of these terms and in?consideration of your agreement to abide by them, Apple grants you, for as long as you are a current and in good-standing MFi Licensee, a personal, non-exclusive license, under Apple's copyrights in this original Apple software (the "Apple Software"), to use, reproduce, and modify the Apple Software in source form, and to use, reproduce, modify, and redistribute the Apple Software, with or without modifications, in binary form. While you may not redistribute the Apple Software in source form, should you redistribute the Apple Software in binary form, you must retain this notice and the following text and disclaimers in all such redistributions of the Apple Software. Neither the name, trademarks, service marks, or logos of Apple Inc. may be used to endorse or promote products derived from the Apple Software without specific prior written permission from Apple. Except as expressly stated in this notice, no other rights or licenses, express or implied, are granted by Apple herein, including but not limited to any patent rights that may be infringed by your derivative works or by other works in which the Apple Software may be incorporated.

Unless you explicitly state otherwise, if you provide any ideas, suggestions, recommendations, bug fixes or enhancements to Apple in connection with this software (“Feedback”), you hereby grant to Apple a non-exclusive, fully paid-up, perpetual, irrevocable, worldwide license to make, use, reproduce, incorporate, modify, display, perform, sell, make or have made derivative works of, distribute (directly or indirectly) and sublicense, such Feedback in connection with Apple products and services. Providing this Feedback is voluntary, but if you do provide

Feedback to Apple, you acknowledge and agree that Apple may exercise the license granted above without the payment of royalties or further consideration to Participant.

The Apple Software is provided by Apple on an "AS IS" basis. APPLE MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, REGARDING THE APPLE SOFTWARE OR ITS USE AND OPERATION ALONE OR IN COMBINATION WITH YOUR PRODUCTS.

IN NO EVENT SHALL APPLE BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE, REPRODUCTION, MODIFICATION AND/OR DISTRIBUTION OF THE APPLE SOFTWARE, HOWEVER CAUSED AND WHETHER UNDER THEORY OF CONTRACT, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), STRICT LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 2008-2014 Apple Inc. All Rights Reserved.

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお取付け日から3年です。
ただし、その期間内でも走行距離が60 000 kmまでといたします。
日産販売会社から発行される「日産純正オプション部品保証書」に必要事項が記入されているかお確かめのうえ、お客さまの「車検証入れ」などに入れて大切に保管してください。

アフターサービスについて

本機が正常に動作しないときは、この取扱説明書を再度ご覧になってお調べください。
それでも本機が正常に動作しないときは、日産販売会社にご相談ください。

仕様

MM518D-L MM518D-W

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

モニター部	
種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	MM518D-L(セレナ) 9 V型 MM518D-L(エクストレイル) 9 V型 MM518D-L(エルグランド) 8 V型 MM518D-W 7 V型
使用光源	LED

ナビゲーション部	
受信周波数	1575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	− 145 dBm
位置更新時間	約0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリーフォーマット

地上デジタルテレビ部	
受信チャンネル	000～999 UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ／ワンセグ

DVD／Blu-ray Disc部	
周波数特性	20 Hz～20 000 Hz
S／N比	80 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)
ダイナミックレンジ	80 dB以上

CD部	
S／N比	75 dB以上

CD部	
周波数特性	20 Hz～20 000 Hz
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部	
回路方式	AM／FM／MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0 MHz～99.0 MHz AM 522 kHz～1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S／N比	FM 55 dB(15 kHz L.P.F使用時) AM 50 dB(15 kHz L.P.F使用時)
ステレオセパレーション	FM 20 dB(15 kHz L.P.F使用時)
歪率	FM／AM 0.5 %

入出力端子	
電源入力端子	TH18専用コネクタ
外部入力端子	TH08専用コネクタ HDMI端子 タイプEコネクタ
外部出力端子	HDMI端子 タイプEコネクタ (後席専用モニター用)
GPSアンテナ入力端子	GT5専用コネクタ
DTVアンテナ入力端子	GT13S専用コネクタ
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	GT13SH専用コネクタ (ラジオ入力端子と共用)
ETC／ETC2.0端子	5ピン専用コネクタ
マイク入力端子	TH04専用コネクタ
AUX入力端子	φ3.5ミニジャック
USB端子	GT17(A)専用コネクタ

入出力端子	
通信アダプタ端子	GT17(B)専用コネクタ
ETC2.0端子	GT17(C)専用コネクタ

その他	
MM518D-L(セレナ)	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W × 4(14.4 V)
外形寸法	285.5 × 234 × 180 mm(幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く
質量	3.9 kg
MM518D-L(エクストレイル)	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W × 4(14.4 V)
外形寸法	228 × 142 × 167 mm(幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く
質量	3.1 kg
MM518D-L(エルグランド)	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W × 4(14.4 V)
外形寸法 (本体のみ)	201 × 124 × 162 mm(幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く
質量(本体のみ)	2.9 kg
MM518D-W	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W × 4(14.4 V)
外形寸法 (本体のみ)	206 × 105 × 168 mm(幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く
質量(本体のみ)	2.8 kg

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。 ※画面サイズのV型(9 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

仕様

MM318D-L MM318D-W MM318D-A

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

モニター部	
種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	MM318D-L(セレナ) 9 V型 MM318D-L(エクストレイル) 9 V型 MM318D-W 7 V型 MM318D-A 7 V型
使用光源	LED

ナビゲーション部	
受信周波数	1 575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	− 145 dBm
位置更新時間	約0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリーフォーマット

地上デジタルテレビ部	
受信チャンネル	000～999 UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ／ワンセグ

DVD部	
周波数特性	20 Hz～20 000 Hz
S／N比	80 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)
ダイナミックレンジ	80 dB以上

CD部	
S／N比	75 dB以上
周波数特性	20 Hz～20 000 Hz
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部	
回路方式	AM／FM／MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0 MHz～99.0 MHz AM 522 kHz～1 629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S／N比	FM 55 dB(15 kHz L.P.F使用時) AM 50 dB(15 kHz L.P.F使用時)
ステレオセパレーション	FM 20 dB(15 kHz L.P.F使用時)
歪率	FM／AM 0.5 %

入出力端子	
電源入力端子	TH18専用コネクタ
外部入力端子	TH08専用コネクタ
外部出力端子	RCAコネクタ (後席専用モニター用) (同梱24ピンケーブルより出力)
GPSアンテナ入力端子	GT5専用コネクタ
DTVアンテナ入力端子	GT13S専用コネクタ

入出力端子	
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	GT13SH専用コネクタ (ラジオ入力端子と共用)
ETC／ETC2.0端子	5ピン専用コネクタ
マイク入力端子	TH04専用コネクタ
AUX入力端子	φ3.5ミニジャック (MM318D-L、MM318D-Wのみ)
USB端子	GT17(A)専用コネクタ
通信アダプタ端子	GT17(B)専用コネクタ
ETC2.0端子	GT17(C)専用コネクタ

その他	
MM318D-L(セレナ)	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W×4(14.4 V)
外形寸法	285.5×234×180 mm(幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く
質量	3.9 kg
MM318D-L(エクストレイル)	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W×4(14.4 V)
外形寸法	228×142×167 mm(幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く
質量	3.1 kg

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。 ※画面サイズのV型(9 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

その他	
MM318D-W	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W × 4（14.4 V）
外形寸法	206 × 105 × 168 mm （幅×高さ×奥行き） ※突起部は除く
質量（本体のみ）	2.6 kg
MM318D-A	
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W × 4（14.4 V）
外形寸法	178 × 100 × 165 mm （幅×高さ×奥行き） ※突起部は除く
質量（本体のみ）	2.5 kg

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。 ※画面サイズのV型（9 V型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

A

AAC.....540
Android Auto.....378
Apple CarPlay.....374
AUX（外部入力）.....313
AV画面に切り替え.....174
AV情報表示設定（情報バー）.....80
AVをON／OFFする.....171

B

Bluetooth® Audio.....219
Blu-ray Disc.....243

D

Drive T@lker.....418
DVD.....257

E

E1Grand Prixのご案内.....431
ETC2.0.....348
ETC音声ガイド.....349
ETCカード入れ忘れ案内の設定.....349
ETCカード抜き忘れ案内の設定.....349
ETCカード有効期限切れ案内の設定.....349
ETC情報（ETC履歴・ETC管理情報）.....351

F

FM多重.....157

G

GPS受信表示.....62
GPS情報.....446

H

H.264.....545
HDMI（外部入力）.....313

I

iPod.....212
iPod／iPhone（接続確認済みモデル）.....530
iPodの接続.....211

J

JCTビューを表示.....146
JPEG.....544

L

Language（英語）.....433

M

microSDカードを挿入する.....243
microSDカードを取り出す.....244
MP3.....540
MPEG4.....545
MUSIC STOCKER（再生）.....287
MUSIC STOCKER（録音）.....282

N

NaviCon® 383
NissanConnect サービス 386

Q

QRコード表示 3
Quick メニュー 86

S

SDカード 229, 527
SDカードの初期化 452
SDカードを挿入する／取り出す 228

T

TVの初期化 452
TVの設定 202

U

USBメモリー 229, 531
USBメモリーの接続 226

V

VICS自動再探索 143
VICS渋滞情報（矢印表示・破線表示） 161
VICS情報 157
VICS情報提供時刻表示 62
VICSマーク 161
VTR（外部入力） 313

W

WALKMAN® 229, 531
WALKMAN®の接続 226
WMA 540

ア

案内停止／開始 129
案内表示の設定 145

イ

イコライザー設定 181
一般優先（ルート探索条件） 141
緯度・経度検索 119
緯度・経度を表示／非表示 80
インテリジェントアラウンドビューモニター
（移動物検知機能付き） 328

ウ

迂回ルート探索 140

エ

英語表示 433
エコ運転診断 428
エコ（ルート探索条件） 141
エラーメッセージ 485

オ

お気に入り地点に登録 154
お気に入り地点を解除 154
オプションスイッチ 434
オペレータ接続（NissanConnect サービス） 391
音響効果の設定 178
音声案内 150, 491
音声認識 418
オンライン検索 279, 296

カ

回転（画像ファイル） 236
各部の名称と機能 23
画質の調整 439
カスタムアップデート（個別更新） 298
画像再生 235
画面消し 441
冠水注意ポイントを表示 81

キ

距離優先（ルート探索条件） 141
緊急情報（FM多重） 159

ケ

携帯電話の電話帳転送 367
携帯電話の発着信履歴転送 367
経由地の入れ替え 135
経由地の消去 135
経由地の追加 135
経由地の変更 134
経由地までの残距離・到着予想時刻 64
経由地を設定 124, 134
言語コード 267
現在地を表示 72

コ

交差点情報 68
高速道路での逆走報知 425
交通情報取得 392
交通情報（ラジオ） 210

サ

細街路 61
再生モード 218, 222, 225, 278, 292
最速ルート探索 122
サンプリング周波数 540

シ

時間規制道路を考慮 143
時刻連動（昼夜切り替え） 79
自車位置設定 83
施設の詳細 66
自宅登録の消去 156
自宅の新規登録 45
自宅までのルート探索 126
自動再探索（ナビ設定） 142
自動録音 286
シャッフル再生（iPod） 218
ジャンル検索（施設を探す） 112
渋滞情報保存時間設定（VICS） 165
周辺施設検索 103
出荷状態に戻す 452
出発地に設定 66
出発地の変更 134
手動録音 286
消音（オプションスイッチ） 434
初期化 452
初期設定一覧 551
新旧ルート比較 143

ス

推奨（ルート探索条件）..... 141
スキャン再生..... 234, 278, 292
ステアリングスイッチ.....27
スピーカー出力レベル設定.....184
スピーカーディレイ設定.....185
スマートIC.....143
スマートフォン連携.....374
スライドショー（画像ファイル）.....238
3D地図表示.....76

セ

セキュリティインジケータ.....25, 438
セキュリティ設定.....436
接続確認.....444
全曲録音.....285
センサー学習結果の初期化.....452
選択曲録音.....285

ソ

走行軌跡.....427
操作音.....435

タ

探索条件..... 141

チ

地図画面の表示内容.....61
地図情報表示設定（情報バー）.....80
地図の拡大・縮小.....75
地図表示記号.....71
地図表示（方位）の切り替え.....76
地図をスクロール.....72
地点を登録.....152
地点を編集.....153

テ

ディスクを挿入する／取り出す.....242
テナント情報.....67
デモ走行.....125
デュアルウィンドウ.....81, 91
電話番号検索..... 117

ト

到着予想時刻表示.....64
盗難多発地点表示.....438
道路切替（Quick メニュー）.....84
登録消去（**Bluetooth**® Audio）.....53
登録消去（携帯電話）.....53
登録設定（**Bluetooth**® Audio）.....49
登録設定（携帯電話）.....49
登録地点の消去.....156
登録地点の並べ替え.....154
登録地点の編集.....153
登録地表示設定.....81
登録データの初期化.....452
ドライブレコーダー..... 329, 347

ニ

入力履歴の初期化..... 452

ハ

ハイウェイモード.....90, 146
バックビューモニター.....318
バランス／フェーダー設定.....177
番組表（TV）.....193
ハンズフリーフォン.....354
ハンズフリーフォンの通話設定.....365

ヒ

ビットレート.....540

フ

フェリーを優先 142
フォルダ名編集（登録地点用フォルダ） 155
複数ルート探索 123

ホ

方面看板を表示 147
保存したルートの消去 139
保存したルートの呼び出し 139

マ

マップコード検索 118
マルチセッション 521

メ

メンテナンス設定 442

モ

モード切替 229
目的地の入れ替え 135
目的地の追加 135
目的地の変更 134
目的地までの残距離表示・到着予想時刻 64
目的地履歴探索 99
文字サイズ（地図設定） 77
文字入力 37

ユ

ユーザー切替 432
有料優先（ルート探索条件） 141

ラ

ライト連動（昼夜切り替え） 79
ラジオ 205
ランダム再生 225, 278
ランドマーク 85

リ

リダイヤル 358
リピート再生 218, 225, 234, 254, 264, 278, 292

ル

ルート学習 143
ルート学習結果の初期化 452
ルート情報 69, 91
ルート沿い 105
ルート探索 120
ルート探索条件設定 141
ルートの全表示 127

ロ

ローカルアップデート（定期更新） 299
録音音質 286
録音可能曲数 286
録音設定 286
録音中止 285

ワ

割り当て（**Bluetooth**® Audio） 52
割り当て（携帯電話） 52
ワンセグ 191
ワンタッチダイヤル 359, 363

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

本ナビゲーションシステムは、日産自動車株式会社向けに、
パナソニック株式会社オートモーティブ＆インダストリアル
システムズ社が開発・製造しています。
お問い合わせは、「日産自動車株式会社 お客さま相談室」へ
お願いいたします。

NissanConnect サービスに関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

NissanConnect お客さまセンター

0120-981-523

受付時間：**9:00～17:00**（年末年始を除く）

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

お客さま相談室

0120-315-232

受付時間：**9:00～17:00**（年末年始を除く）

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただいております。
なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ（http://www.nissan.co.jp）にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号

印刷　2018年4月　Printed in Japan

YEFM0412074　S0418-0